# 日光市 公共施設マネジメント白書

平成 24 年6月 日 光 市

# はじめに



平成18年3月20日に2市2町1村の合併により誕生した日光市では、合併を行財政改革の最大の機会と捉え、「日光市行政改革大綱」、「日光市集中改革プラン」及び「日光市行政改革プラン」を順次策定し、行財政改革に積極的に取り組んできました。

こうした取り組みの一方で、社会環境の変化、

市民ニーズの多様化などに応える形で、教育文化施設、コミュニティ施設、観光施設等様々な公共施設の整備を進めてきたことから、現在、その当時に建設された公共施設の大量更新への対応が大きな課題となっています。

これら公共施設の多くは、経年による施設の老朽化や設備、機能の低下が進んでおり、 今後、本格的な大規模改修や建替えが集中する時期を迎えることになります。しかし、人 口減少や超高齢社会の進行に伴い、大きな経済成長が見込めない状況において、公共施設 を現在の姿のまま維持し続けることは、市政経営に大きな負担となり、ひいては真に必要 な行政サービスにまで影響を及ぼしかねないことが予測されます。

そこで、市が保有し管理運営している公共施設について、全体像を明らかにするとともに、その機能や配置状況、利用状況や稼働状況、また施設運営に要する経費や施設の老朽度等について実態を把握することが重要と考え、その基礎的な資料となる「公共施設マネジメント白書」を作成いたしました。

この白書では、市の保有施設を重要な資産の一つとして捉え、その現状を様々な角度から整理・分析した上で、公共施設を通した行政サービスの現状と課題を明確化しています。

今後、この白書を活用し、次の世代に負担を残さない公共施設のあり方について、市民の皆様の声をお聴きしながら、改善及び有効活用に向けた計画の策定につなげていくとともに、選択と集中の視点に立った、より効率的、効果的な市政経営に取組んでまいります。

平成24年(2012年)6月

日光市長 斎藤 文夫

# 日光市 公共施設マネジメント白書 目次

第1章 日光市の概況の把握	1
1 市の概要	3
	10
3 市の財政状況	20
	30
5 産業及び観光の状況	32
6 市の現況から見える課題	36
	39
	41
	ト試算 52
	54
4 投資的経費の今後の見通し	55
	57
	59
	60
	62
	63
	63
	78
	94
	109
	119
	157
	169
	188
	206
	225
	239
	261
	275
(14)放課後児童クラブ	289
(15)市営住宅	303

第4章 地域別実態把握	315
(1)今市地域	318
(2)日光地域	327
(3)藤原地域	335
(4)足尾地域	343
(5)栗山地域	348
第5章 保有資産の有効活用	355
1 課題等のまとめ	357
2 資産の有効活用の必要性	360
3 今後の取組み	361
用語集	363

- ※1 本白書では、推移を除いて「平成22年度」データを基本に調査を行っています。
- ※2 本白書では、次のような端数処理をしています。
  - ・ 文章中の合計数値は、「億円」「万円」で記載しているため、グラフ等の数値と一致しない ことがあります。「約」を付けずに標記している場合があります。
  - · 図及び表のデータ数値は、端数処理をしているため、合計と一致しない場合があります。

# 第1章 日光市の概況の把握

- 1 市の概要
- 2 市の人口状況
- 3 市の財政状況
- 4 市の職員数の推移
- 5 産業及び観光の状況
- 6 市の現況から見える課題

# 第1章 日光市の概況の把握

# 1 市の概要

# (1) 位置·地勢

日光市は、栃木県の北西部に位置し、南は宇都宮市、鹿沼市に、西は群馬県みどり市、片品村、沼田市に、北は福島県檜枝岐村、南会津町に、東は那須塩原市、塩谷町に接しています。

市の総面積は、約1,450k ㎡で、県土のおよそ4分の1を占め、全国でも3番目の広さとなります。そのうち、森林面積が、約87%を占め、豊かな自然環境の源となっています。

地形的には、北部と南西部に市域の大部分を占める山地が広がり、急峻な山岳地帯が形成されています。南部には大谷川が運んだ土砂の堆積により形成された今市扇状地(平地)があります。標高は、一番高い白根山が 2,578m、一番低い行川の谷が約 200mで、その差は約 2,380mにもなります。

面積	1,449.87km (平成22年1月1日現在)
	【内訳】
	農用地 62.89k㎡( 4%)
	宅地 23.61 k m ( 2%)
	森林 1,255.31 k㎡(87%)
	湖沼 20.80k㎡( 1%)
	その他 87.26k㎡ (6%)
人口・世帯数	人口 90,066 人 (平成 22 年 1 0 月 1 日)
	男 43,864 人 女 46,202 人
	世帯数 33,926 世帯

(資料:栃木県統計年鑑・H22 国勢調査)

#### (2) 歴史

平成18年3月20日、今市市、日光市、藤原町、足尾町、栗山村の5市町村が合併し、人口約9万6千人の「日光市」が誕生しました。

日光市を構成する旧5市町村の地域は、豊かな自然環境や貴重な歴史的・文化的遺産、随所に 湧出する豊富な温泉など、恵まれた観光資源を基盤として発展してきました。

歴史的には、8世紀末の勝道上人による日光開山以後、山岳信仰の地として崇拝されてきた日光に、17世紀はじめに徳川家康公の霊廟である東照宮が建立され、日光地域は二社一寺の門前町として、今市地域は日光街道・例幣使街道・会津西街道の結節点の宿場町として栄えてきました。さらに、藤原地域では、17世紀末に鬼怒川温泉が、18世紀初頭には川治温泉が発見され、日本有数の温泉保養地としても発展するようになりました。

また、同じ勝道上人によって開山された足尾地域も、庚申講信仰の総本山として多くの信仰を 集めていましたが、17世紀初頭に銅鉱脈が発見された後は、日本を代表する銅山として栄え、 日本の近代化に大きな功績を残しました。

一方、栗山地域は、平家の落人により集落が築かれたともいわれ、平家杉や平家塚などの歴史 が残されており、湯西川や奥鬼怒温泉郷をはじめとする温泉保養地としても栄えて来ました。

#### 〈日光市の沿革〉

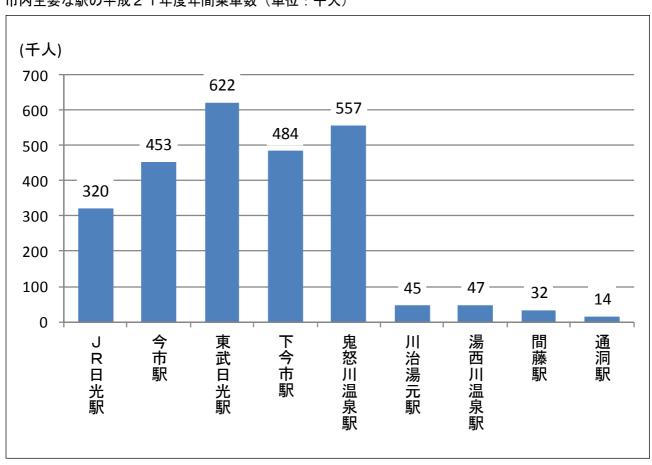
合併等年月日	合併市町村名
平成 18年 (2006年) 3月20日	今市市、日光市、藤原町、足尾町、栗山村
旧市町村の変遷	
(旧今市市)	
明治 22 年(1889 年)	町制施行(今市町)
昭和29年(1954年)3月31日	今市町に落合村、豊岡村を編入し、市制施行(今市市)
昭和 29 年(1954 年)11 月 1 日	大沢村、篠井村北部を編入
(旧日光市)	
明治 22 年(1889 年)	町制施行(日光町)
昭和29年(1954年)2月11日	日光町に小来川村を編入し、市制施行(日光市)
(旧藤原町)	
明治 22 年(1889 年)	村制施行(藤原村)
明治 26 年(1893 年)	三依地区が三依村として分離
昭和10年(1935年)5月5日	町制施行(藤原町)
昭和30年(1955年)5月5日	三依村を編入
(旧足尾町)	
明治 22 年(1889 年)	町制施行(足尾町)
(旧栗山村)	
明治 22 年(1889 年)	村制施行(栗山村)

# (3) 道路•交通網

市内の道路網は、日光宇都宮有料道路をはじめ、国道と主要地方道が基幹道路となり、これに連結する市道が網目状に配置されています。なお、市民 1,000 人当たりの自動車保有台数が 750 台程度となっていることから、自動車が市民の主たる移動手段であることがわかります。

また、市内のバス路線は、日光市が運営しているものが 14 路線、他市の運営によるものが 1 路線、民間運営によるものが 4 社 29 路線あります。主に高齢者や若年層の市民に密着した輸送 機関として重要な役割を果たすとともに、観光客の移動手段となっています。

鉄道網は、JR日光線、東武日光線、東武鬼怒川線、野岩鉄道会津鬼怒川線、わたらせ渓谷鐵道の5線があり、市内外はもとより、都心や他県と連絡する重要な交通網となっています。なお、駅ごとの年間乗車人数は、東武日光駅で60万人を超えているほか、鬼怒川温泉駅でも55万人と多くの人が利用していることがわかります。



市内主要な駅の平成21年度年間乗車数(単位:千人)

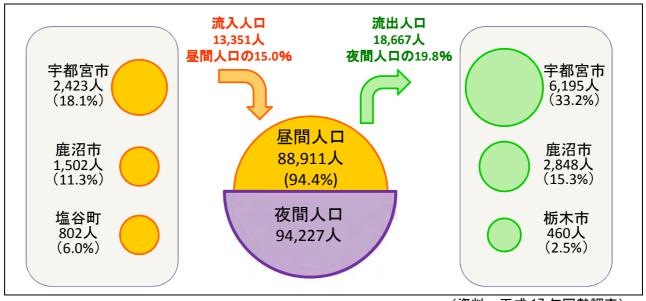
(資料:平成22年度日光市統計書)

#### (4) 流出入の状況

日光市においては、流入人口よりも流出人口のほうが多く、流出超過傾向となっています。また、流入元、流出先については、いずれも隣接する宇都宮市、鹿沼市が多くなっています。

市内の流入・流出状況をみると、今市地域を中心とした人口移動となっており、特に日光地域・藤原地域から今市地域への流入が多くなっています。

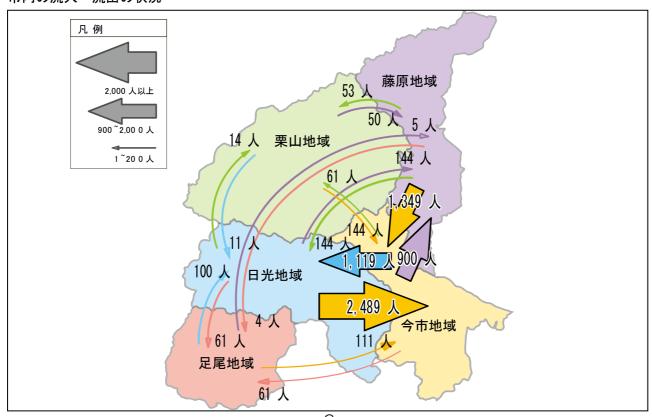
日光市における流入・流出の状況



(資料:平成17年国勢調査)

- ※流入・流出数は、平成23年10月1日までの市町村合併を反映した旧市町村の合算値
- ※流入人口とは、日光市に通勤、通学している他市町村の居住者の数をいう。
- ※流出人口とは、他市町村に通勤、通学している日光市民の数をいう。
- ※昼間人口=夜間人口(=日光市の人口)一流出人口+流入人口

市内の流入・流出の状況



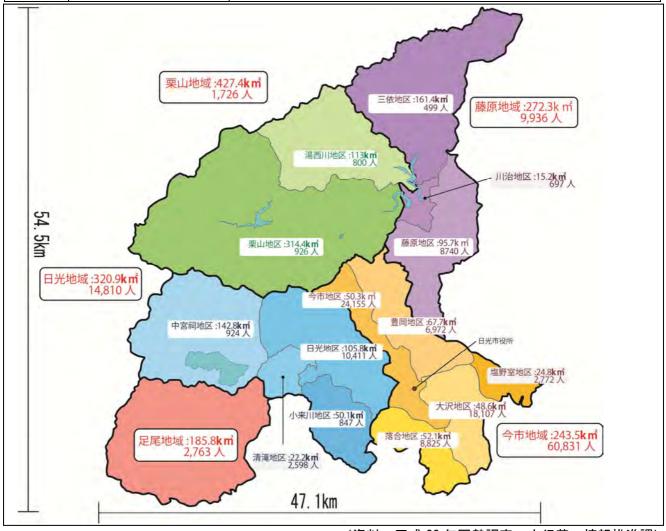
6

(資料:平成17年国勢調査)

# (5) 地域特性の把握

日光市では、合併以前の旧今市市に本庁舎を、旧日光市、旧藤原町、旧足尾町、旧栗山村の4地域に行政サービスの拠点として総合支所を設置しています。白書では、公共施設を通した行政サービスの実態を地域ごとに把握するため、旧市町村単位の5地域と、行政サービスの拠点施設である総合支所、支所、出張所及び公民館等を考慮し、便宜的に次の15区域に分けて整理し、分析します。

5地域	15 地区	概要
今市	今市地区、落合地区、	• 今市地域は、昭和の合併時前の上都賀郡今市町、同郡落合村、
	豊岡地区、大沢地区、	河内郡豊岡村、同郡大沢村及び同郡篠井村の北部(塩野室地区)
	塩野室地区(5 地区)	を地区としています。
日光	日光地区、小来川地区、	• 日光地域は、昭和の合併時の上都賀郡日光町、小来川村の単位
	清滝地区、中宮祠地区	に加え、清滝地区、中宮祠地区を分け 4 地区としています。
	(4地区)	
藤原	藤原地区、川治地区、	• 藤原地域は、昭和の合併時の藤原町と三依村の単位に加え、川
	三依地区(3地区)	治地区を分ける地区としています。
足尾	足尾地区(1 地区)	• 旧足尾町を地区で区分せず、1地区としています。
栗山	栗山地区、湯西川地区	• 栗山地域は、旧栗山村の9つの大字を栗山地区と湯西川地区に
	(2地区)	分け、2地区としています。



7 (資料:平成 22 年国勢調査・市行革・情報推進課)

# 人口密度が一番低い地域

# 栗山地域:427.4km (旧栗山村) 約4人/km

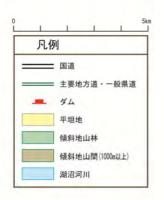
- ・地域全域が都市計画区域外となっています。
- ・地域南東部の栗山市街地は、地域の日常生活 に必要な諸機能の集積した、地域の拠点として 機能するほか、地域北部の湯西川温泉とともに、 豊富な温泉を活用した観光地区として機能して います。

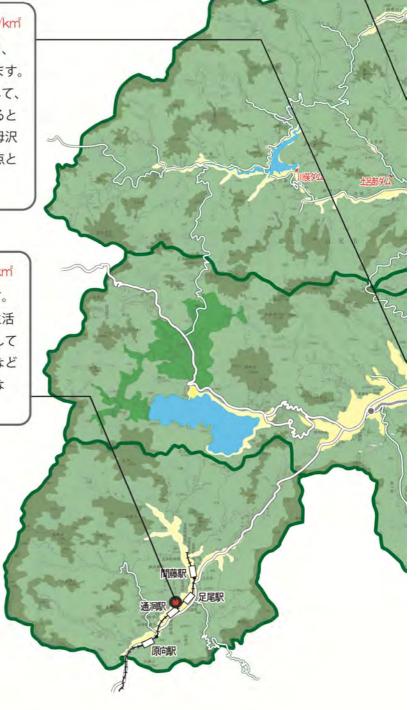
# 日光地域:320.9km (旧日光市)約46人/km

- ・南部と西部の一部が都市計画区域外であり、 その他は非線引き都市計画区域となっています。
- ・東部の日光市街地は、日光地域の拠点として、 行政サービスや日常生活の各種機能を有すると ともに、世界遺産「日光の社寺」や日光田母沢 御用邸記念公園などがあり、観光交流の拠点と しても機能しています。

# 足尾地域:185.8km (旧足尾町)約15人/km

- ・地域全域が都市計画区域外となっています。
- ・地域中央部の足尾市街地は、地域の日常生活 に必要な諸機能の集積した、地域の拠点として 機能するとともに、銅山の坑道跡や製錬所など の産業遺産があり、近代化を支えた歴史的な 地区として機能しています。







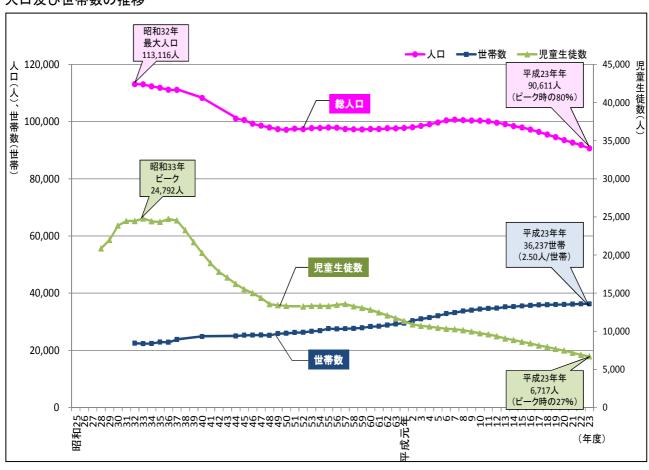
# 2 市の人口状況

# (1) 人口の推移

住民基本台帳に基づく日光市の人口は、昭和32(1957)年の113,116人をピークに減少傾向となっており、平成23(2011)年時点では、90,611人とピーク時の約80%となっています。一方で、世帯数は増加傾向にありましたが、平成23(2011)年にわずかに減少し、36,237世帯(1世帯当たり2.50人)となっています。

また、児童生徒数については、昭和 33 (1958) 年の 24,792 人をピークに急激に減少しており、平成 23 (2011) 年時点では、6,717 人とピーク時の約 27%となっています。

#### 人口及び世帯数の推移



(資料:住民基本台帳、市学校教育課)

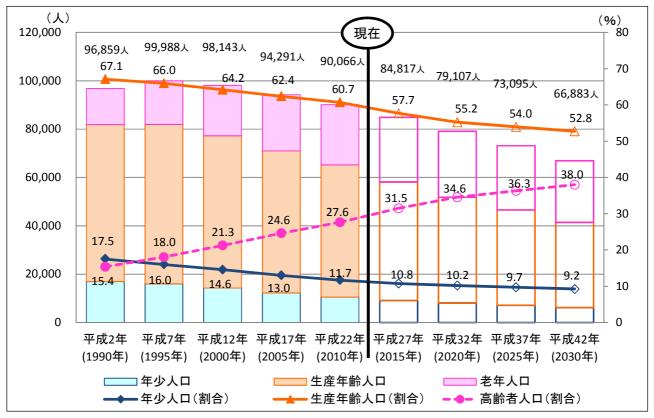
※平成 17 年以前の数は、合併前の市町村の合算値

#### (2) 将来人口予測

平成7 (1995) 年から平成22 (2010) 年までの4回の国勢調査結果をもとに、日光市の将来の人口を予測すると、人口は減少し続け、平成42 (2030) 年には、67,000 人を下回ると推計されます。

また、年少人口(14歳以下)、生産年齢人口(15~64歳)、高齢者人口(65歳以上)の3階層別に見ると、今後も生産年齢人口の割合が減少し続ける一方で、少子高齢化がさらに進展することが予想されます。

#### 3階層別人口推移及び将来予測



※人口推計は、センサス変化率法(コーホート法)により算出

#### (3) 年齢階層別人口の推移

人口推計と将来の予測から、市の年齢階層別人口を過去 20 年間と今後 20 年間に分けて分析すると次のようになります。

#### 【過去 20 年間】〈1990 年(平成 2 年)~2010 年(平成 22 年)〉

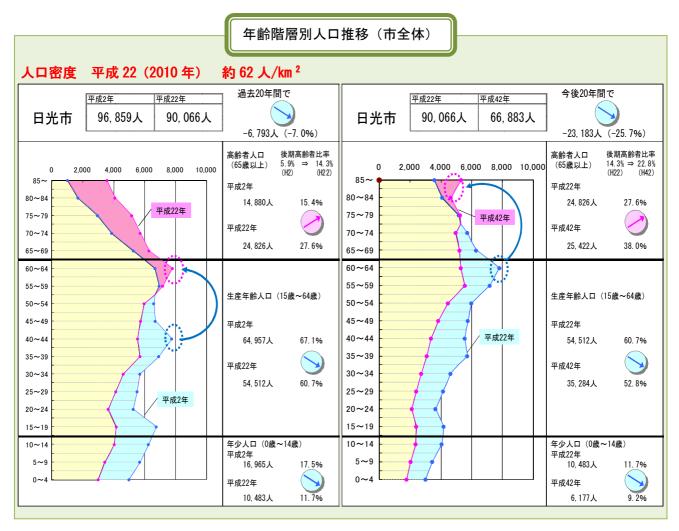
1990年に96,859人であった人口が、2010年には6,793人減少し、90,066人となりました。年齢階層別の構成を見ると、若年層で大幅に減少しており、生産年齢人口で10,445人、年少人口でも6,453人の減少が見られました。その一方で、高齢者人口は9,946人増加しています。また、構成比でみると、過去20年間で生産年齢人口と年少人口の割合が6ポイント程度減少している一方で、高齢者人口の割合は12.2ポイント上昇し、27.6%となっており、高齢社会から超高齢社会へ移行しています。特に、75歳以上の後期高齢者の割合は、8.4ポイントも上昇し、年少人口の11.7%を上回る14.3%となっています。

#### 【今後 20 年間】 (2010 年 (平成 22 年) ~2030 年 (平成 42 年))

2030年には、人口が66,883人となり、今後20年間で23,183人(2010年人口の25.7%に相当する人数)とこれまでに経験したことのないスピードで人口が減少していくと予測されます。年齢階層別の構成では、高齢者人口が微増にとどまる一方で、生産年齢人口が現在の7割弱となる35,000人程度に、年少人口が現在の6割弱となる6,000人程度に激減すると見込まれます。さらに、構成比でみると、2030年には高齢者人口の割合が38.0%に上昇するとともに、後期高齢者の割合も22.8%にまで達する一方で、生産年齢人口が52.8%、年少人口が9.2%となり、深刻な少子高齢化の時代を迎えることになります。

#### 【過去 20 年間と今後 20 年間の比較】

両者を比較すると、いずれも人口が減少している状況にあります。しかし、これまでの20年間が、7,000人程度という比較的緩やかなスピードで減少してきたことに対して、これからの20年間では、23,000人を超える急激なスピードで減少していくことが予想されます。また、いずれの20年も高齢化率が上昇していますが、これまでの20年間が高齢者人口の増加に伴う高齢化率の上昇であったことに対して、今後の20年間は、高齢者人口に大きな変動がないことから、総人口の減少に伴う相対的な高齢化率の上昇であることがわかります。さらにグラフを見ると、人口構成の山が生産年齢人口から高齢者人口に移行するとともに、若年層に大きな山がなく、人口減少が深刻な状況であることがわかります。



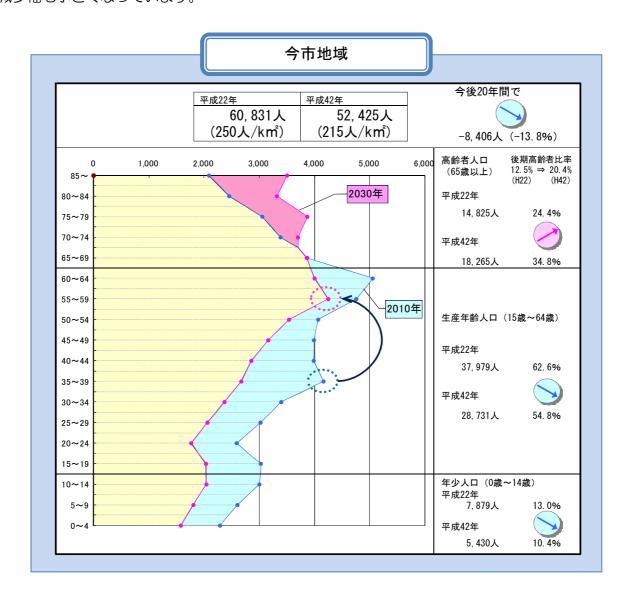
※人口推計の基礎となった平成2(1990)年、平成22(2010)年の国勢調査結果に年齢不詳があるため、各年齢階層区分の合計と総人口は合致しないことがあります。

# (4) 地域別の将来人口予測

地域別の将来予測人口を見ると、全ての地域で人口が減少し、少子高齢化の進展が見込まれるという点で共通していますが、人口規模等により次のような特性があります。

#### ① 人口規模大/人口減少率小(今市地域)

今市地域は、市内の他地域と比べて人口規模が大きく、人口密度が高くなっています。2010年から2030年までの今後20年間で8,406人減少しますが、減少率としては、市全体の25.7%に比べ小さく、13.8%にとどまっています。また、年齢階層区分で見ると、市全体と同様の傾向となっていますが、他地域に比べ、高齢化率が低く、生産年齢人口や年少人口と言った若年層の減少幅も小さくなっています。



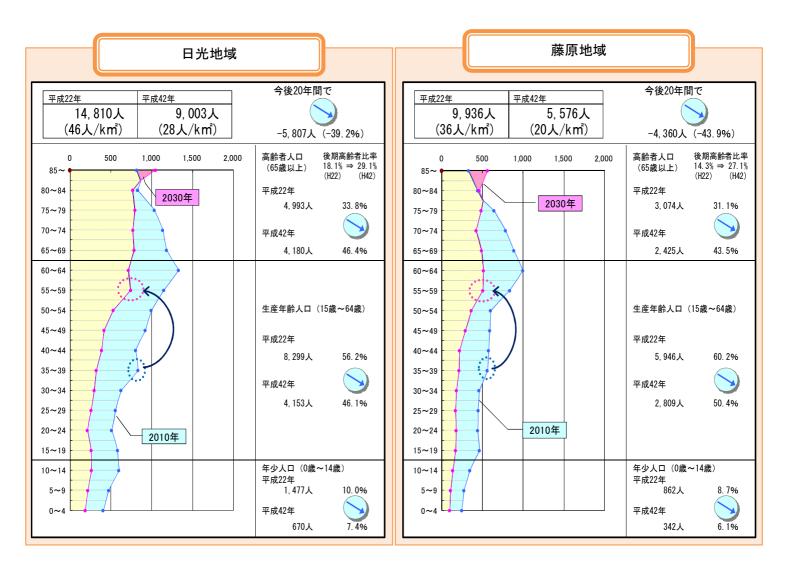
# 【今市地域人口特性】

- ▶ 5地域のなかで、格段に人口規模が大きく、2010年から2030年までの地域人口減少率は13.8%となっています。5地域中、最も人口減少率が低いことが特徴です。
- ▶ 生産年齢人口、年少人口の割合は5地域中最も高くなっています。
- ▶ 2030年における75歳以上人口の割合が5地域中最も低くなっています。
- ▶ 2010年では、60~64歳が最も人口の多い年齢層ですが、2030年には、55~59歳が最も多くなり、5地域の中で今市地域だけが最多人口が低年齢化しています。

# ② 人口規模中/人口減少率大(日光地域・藤原地域)

日光、藤原地域の人口規模は、今市地域の16~24%程度で、いずれの地域も年齢別人口構成が似ており、今後20年間で、4割程度の人口が減少する見込みとなっています。

また、年齢階層別に見ても、同じような傾向を示しており、高齢者人口で 12.5 ポイント程度 上昇する一方で、生産年齢人口が 10 ポイント程度の減少、年少人口が 2.6 ポイントの減少となっています。さらに、後期高齢者の人口が占める割合が、いずれの地域でも 10 ポイント以上増加し、20%台後半から 30%弱まで達する見込みです。



#### 【日光地域人口特性】

- 2010年から2030年までの地域人口の減少率は、4割弱で、人口は、10,000人を割り込み、9,000人程度になる見込みです。
- ▶ 生産年齢人口が5割を割り込み、高齢者人口とほぼ同数になると予測されます。
- ▶ 2010年では、60~64歳が最も人口の多い年齢層ですが、2030年には、55歳以上の各年齢層でほぼ同数となり、85歳以上が最も人口の多い年齢層となります。
- ▶ 55歳以上の各年齢層における人口と、45歳以下の各年齢層における人口との差が著しいことから、 将来も減少傾向が続き、高齢化が加速すると予想されます。

#### 【藤原地域人口特性】

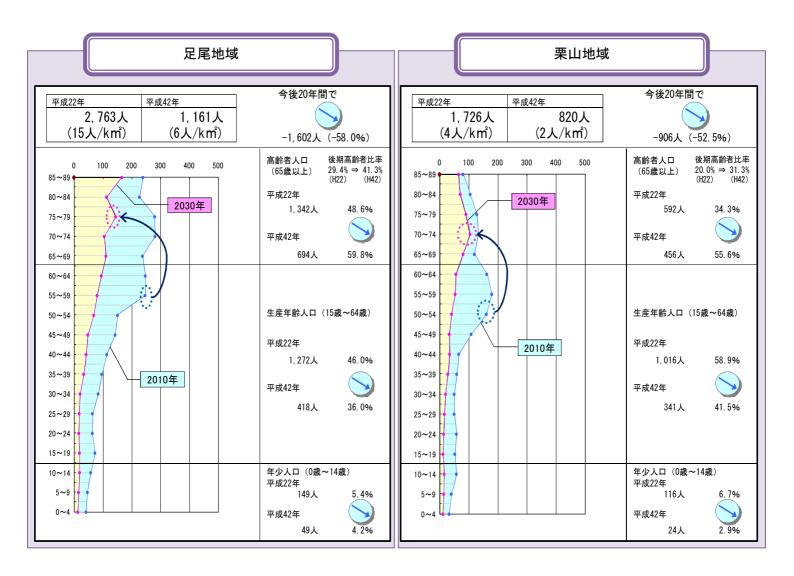
- ▶ 2010年から2030年までの地域人口の減少率は、4割を超え、人口は、5,500人程度まで減少する見込みです。
- ▶ 2010年では、60~64歳が最も人口の多い年齢層ですが、2030年には、55歳以上の各年齢層でほぼ同数となります。
- ▶ 55 歳以上の各年齢層における人口と、40 歳以下の各年齢層における人口との差が著しいことから、 将来も減少傾向が続き、高齢化が加速すると予想されます。

# ③ 人口規模小/超高齢化·過疎化(足尾·栗山地域)

足尾、栗山地域は、いずれも人口規模が小さく、今後 20 年間で人口が半数以下となり、これまで以上に、過疎化が進むと予想されます。

年齢階層別に見ても、すべての年齢階層で減少しており、特に生産年齢人口と年少人口の減少幅が大きく、減少率が65%を超え、地域の活力低下が危惧されます。

また、年少人口が50人を割り込み、その割合も5%に達しない反面、高齢者人口の割合は、55~60%にまで達し、超高齢社会が深刻な状況となると予想されます。



#### 【足尾地域人口特性】

- ▶ 2010 年から 2030 年までの地域人口の減少率はおよそ6割で、5 地域中、最も人口減少率が大きくなっています。
- ▶ すべての年齢階層で人口が半数以下に減少し、将来も減少傾向が続くと予想されます。
- ▶ 2010年で、高齢者人口が5割近く、75~79歳が最も人口の多い年齢層となっていることから、 既に超高齢化地域となっています。
- ▶ 2030 年には、人口構成が逆ピラミッドの形状で、地域人口の6割が65歳以上の高齢者、4割が75歳以上の後期高齢者、最も人口が多い年齢層が85歳以上となり、将来において、高齢者人口の割合がさらに高まるものと予想されます。

#### 【栗山地域人口特性】

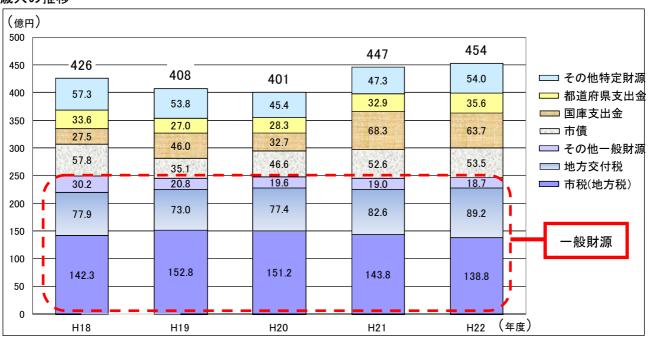
- ▶ 5 地域のなかで、人口が最も少ない地域であり、2010 年から 2030 年までの地域人口の減少率はおよそ5割となっています。
- ▶ すべての年齢階層で人口減少が見られ、将来も減少傾向が続くと予想されます。
- ▶ 今後20年間で、高齢者人口の割合が約20ポイント以上増加し、2030年には55.6%と予測されています。そのため、他地域と比べて高齢化が急速に進展すると見込まれます。
- ▶ 2030年の年少人口の割合は、約3%となり、最も低い地域になることが予想されます。
- ▶ 2010年では、55~59歳が最も人口の多い年齢層ですが、2030年には、70~74歳が最も人口の多い年齢層となります。

# 3 市の財政状況

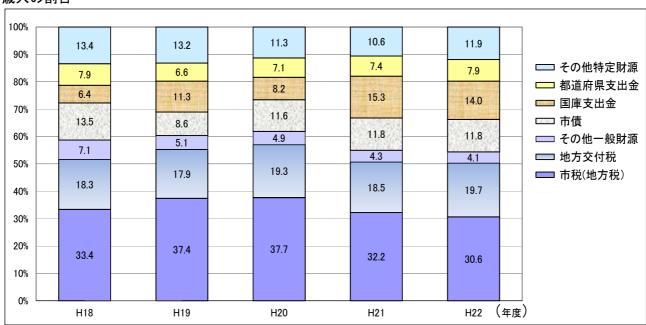
#### (1) 歳入(収入)

日光市の普通会計の歳入は、平成 18 年度から徐々に減少していましたが、平成 21 年度に国が資金の使途を指定する「国庫支出金」(定額給付金や地域活性化交付金など)の増加とともに上昇し、平成 22 年度には 454 億円となりました。歳入の構成は、市が自由な裁量を持つことができる「一般財源」のなかでも、固定資産税などを含む「市税」が 30.6%と最も大きな割合を占めており、次いで「地方交付税」の割合が高くなっています。なお、「市税」は、平成 19 年度をピークに減少傾向で推移しています。

#### 歳入の推移



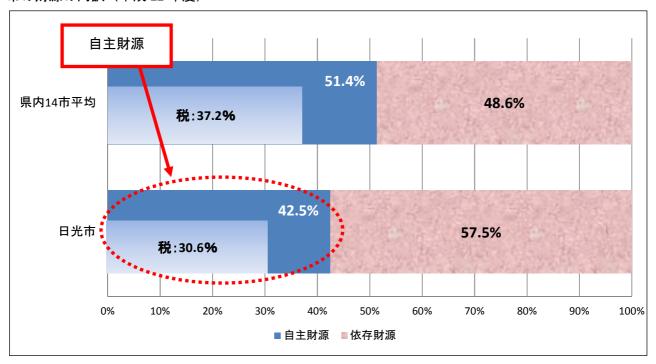
# 歳入の割合



(資料:地方財政状況調査)

次に、平成 22 年度歳入の財源内訳を見ると、税収が 30.6%で歳入の 1/3 程度にとどまり、税収を含めた自主財源の割合が県内 14 市の平均 51.4%を大きく下回り、42.5%となっています。

# 市の財源の内訳(平成22年度)



(資料:平成22年度地方財政状況調査)

【普通会計】一般会計と診療所事業など一部の特別会計(水道・下水道・国保・介護保険などの公営事業会計を除く。) を統合し、自治体間の財政比較をするための会計区分です。

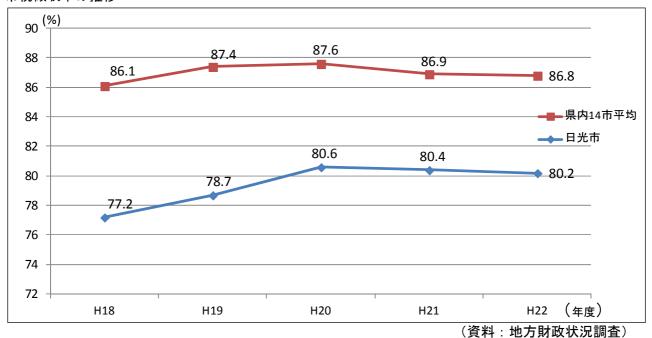
【自主財源】地方公共団体が自主的に収入することができる財源。市税・使用料・手数料・財産収入など

【依存財源】国や県から交付される財源。地方交付税・地方譲与税・国庫支出金・県支出金・市債など

【地方交付税】全国的に一定の行政水準を確保するために、国が行う地方財政調整制度。地方税収入の不均衡による地方公共団体間の財政力格差を調整するもので、自治体独自の判断で使える一般財源として交付される。

市税の徴収率の推移を見ると、合併当初に比べ、徴収率は向上しているものの、県内 14 市の 平均と比較すると6ポイント程度低くなっており、徴収率の増加は、今後も課題となっています。

# 市税徴収率の推移



※市税徴収率は、過年度の滞納繰越分を含む市税全体の徴収率

市税徴収率の比較(県内14市)

市名	徴収率
下野市	93. 5
宇都宮市	92. 2
栃木市	90. 7
大田原市	90. 5
さくら市	90. 5
佐野市	89. 7
鹿沼市	88. 4
小山市	87. 9
真岡市	87. 9
矢板市	87. 9
那須塩原市	84. 5
足利市	84. 2
日光市	80. 2
那須烏山市	67. 5
県平均	86.8
	下野市 宇都木市 大田く 野の市市 大田の 佐鹿川 岡 板 塩 川 岡 板 原 野市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市

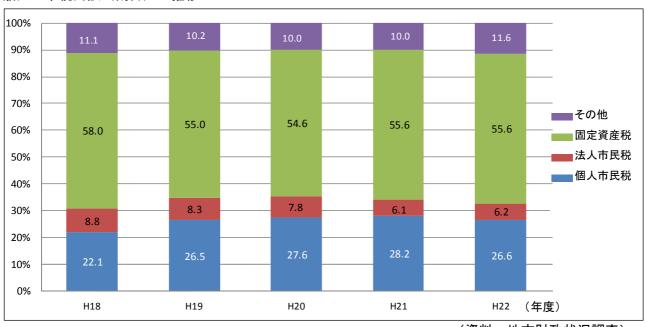
(資料:地方財政状況調査)

さらに、市税の推移を見ると、概ね 140~150 億円となっており、平成 19 年度をピークに減少傾向にあることがわかります。内訳では、固定資産税が最も多く、市税の 5 割以上を占めています。また、個人市民税は、2 割以上の割合を占めていますが、収入額は、平成 20 年度を境に減少傾向にあり、平成 22 年度は 37.0 億円で、前年に比べ、9%近く減少しています。さらに、法人市民税の割合は低く、平成 22 年度では、8.6 億円、6.2%となっています。なお、中長期的な視点で見ると、20 年後となる平成 42 年には、生産年齢人口が現在の約 65%となる35,000 人程度まで減少すると見込まれ、個人市民税は、今以上に厳しい状況になることが予想されます。

歳入:市税の推移



歳入:市税内訳(割合)の推移



(資料:地方財政状況調査)

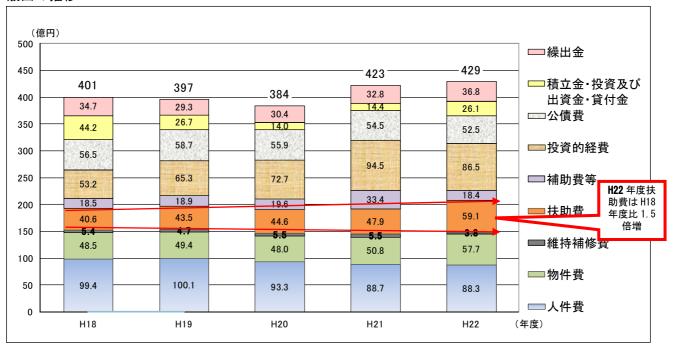
#### (2) 歳出(支出)

平成 22 年度の日光市の普通会計の歳出は、429億円となっています。平成 18~22 年度までの歳出の推移を見ると、平成 20 年度までは減少傾向にありましたが、平成 21 年度以降増加しています。特に、「投資的経費」の支出割合が平成 18~21 年度にかけて伸びており、「人件費」と並んで高い割合を占めています。平成 22 年度の「人件費」は、「職員定員適正化計画」に基づく職員数の削減を進めてきたことにより、平成 19 年度に比べ 12%減少している反面、「投資的経費」は、平成 22 年度で平成 18 年度の約 1.6 倍となっています。

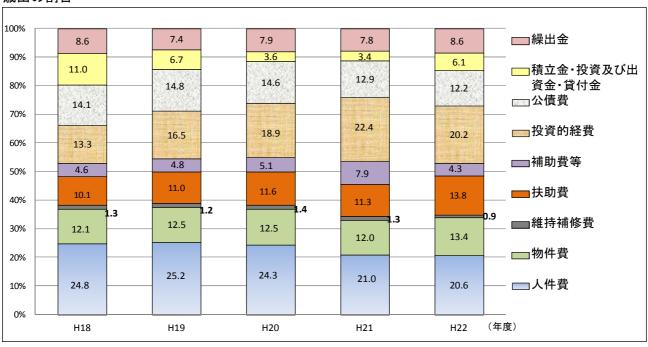
歳出のうち、消費的経費は、平成 18 年度から「扶助費」の増加とともに、年々増加しています。平成 22 年度の「扶助費」は、平成 18 年度の約 1.5倍となっており、高齢化の進展や厳しい社会情勢の影響により、今後も、拡大していくものと予想できます。なお、「物件費」「公債費」においては、毎年 12~14%台の一定の割合で推移しています。「人件費」については、平成 19 年度以降、減少傾向にあり、平成 22 年度は平成 19 年度に比べ約 10%減少しています。

- 【投資的経費】その支出の効果が資本の形成のためのものであり、将来に残る施設等を整備するための経費。普通建設 事業費など
- 【消費的経費】支出の効果が単年度の短期間で終わる性質の経費。人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費等など
- 【扶助費】社会保障制度の一環として、現金や物品などで支給される費用。生活保護法・児童福祉法・老人福祉法など の法令に基づくもののほか、乳幼児医療の公費負担など市の施策として行うものも含まれる。
- 【物件費】人件費、維持補修費、扶助費、補助金等以外の消費的経費の総称。賃金、旅費、備品購入費、委託料など 【公債費】自治体が借り入れた地方債の元利償還金と一時借入金利子

# 歳出の推移



# 歳出の割合



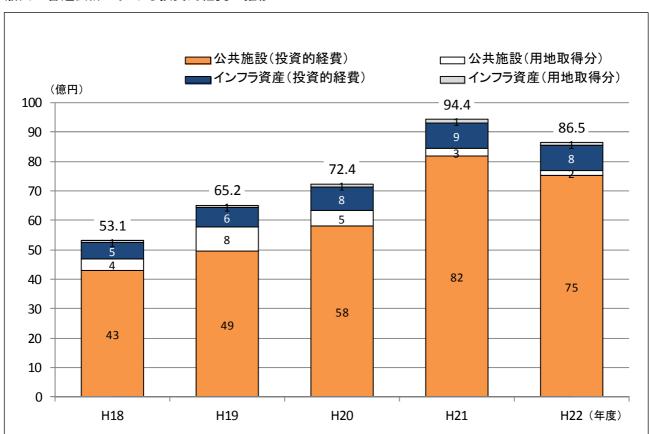
(資料:地方財政状況調査)

# (3) 投資的経費の状況

# ① 投資的経費の推移

普通会計における投資的経費の推移をみると、平成 18 年度以降、年々増加し、平成 21 年度には、平成 18 年度の約 1.8 倍になっています。これは、合併特例債や国からの交付金など市にとって有利な資金を活用した湯西川ダムの建設に伴う地域振興事業や鬼怒川・川治温泉における地域再生事業などがこの期間に集中したことによるものです。

また、平成22年度の投資的経費の内訳をみると、およそ87億円のうち「公共施設に係る投資的経費」が約75億円(約87%)、「公共施設の用地取得費」が約2億円、「インフラ資産に係る投資的経費」が約8億円(約9%)、「インフラ資産の用地取得費」が約1億円となっています。



歳出:普通会計における投資的経費の推移

(資料:地方財政状況調査)

【公共施設】行政サービスを行うための施設。庁舎、公園、学校、住宅、社会教育施設など。ただし、インフラ資産 を除く。

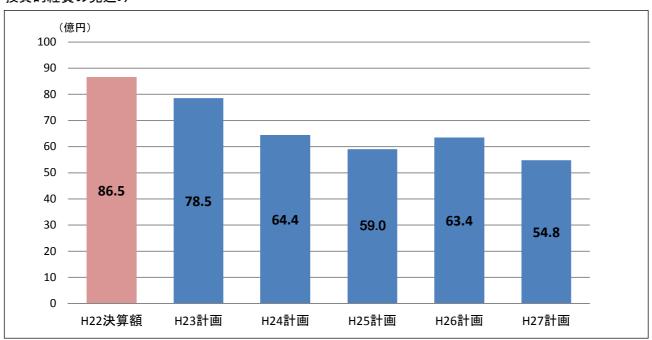
【インフラ資産】市民生活に不可欠な資産。道路、橋りょう、水道、下水道。ただし、上記グラフは、普通会計のため水道、下水道に係る経費は含まれていません。

# ② 今後の投資的経費の見込みについて

第2期財政健全化計画(H24年1月策定)では、普通会計の歳入は、平成24年度以降、400億円程度で推移すると見込んでいます。一方、歳出は、引き続き、職員定員適正化計画に基づく職員数の削減を進め、人件費を70億円台まで減少させるとともに、投資的経費を55億円程度まで抑制することとしています。なお、扶助費が毎年度5%増加する見込みとしています。

また、平成28年度以降は、合併に伴う国からの財政支援措置が終了に向かう中、人口減少や 景気回復の遅れによる税収の低迷、少子高齢化等に伴う扶助費の増大等が懸念され、合併算定替 の終期を見据えた財政運営に努める必要があります。

#### 投資的経費の見込み

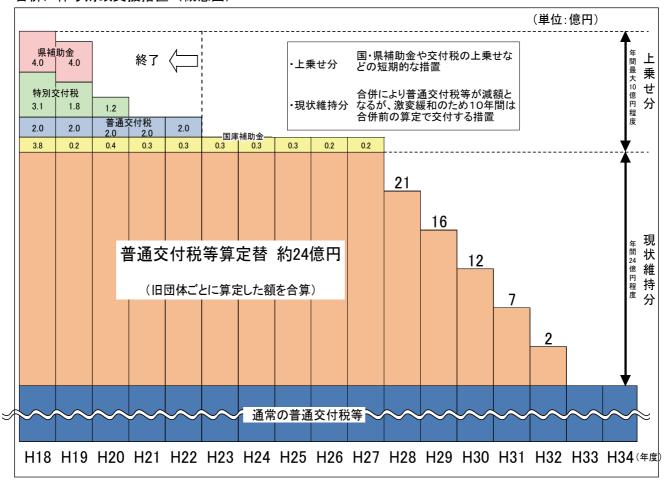


(資料:第2期財政健全化計画)

# (4) 合併に伴う財政支援

合併に伴う国からの財政支援のうち、普通交付税等の合併算定替は、平成 24 年度以降も継続されますが、5年間の段階的に減少する期間も含め、平成32年度で終了となります。

合併に伴う財政支援措置(概念図)



(資料:第2期財政健全化計画)

#### (参考) 県内14市との比較(平成22年度普通会計決算ベース)

日光市の財政面の位置付けの参考として、栃木県内 14 市における財政力指数、経常収支比率、 実質公債費比率、市債残高について比較しました。

財政力指数は、自治体の財政力を示すもので、一般に数値が大きい自治体ほど財政に余裕があ ると見なされます。日光市は、0.700 となっており、県内 14 市中 12 位で、平均値(0.783) を下回り、財政力は弱いと言えます。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を示すもので、一般に数値が高いほど一般財源の使途が決 まっており、自由に使える財源の割合が低くなると見なされます。日光市は、合併直後、97.1% でしたが、年々減少し、平成 22 年度では 91.0%まで回復してきたものの、県内 14 市中 10 位で、平均値(88.5%)を上回り、柔軟性に乏しく、硬直度が高いと言えます。

市民 1 人当たりの市債残高は、523,267 円で、県内 14 市で最も多く、平均(346,845 円) を大きく上回っています。ただし、日光市の場合、借入金の大半を国が負担する合併特例債や過 疎債などを多く活用しているため、地方交付税への算入見込額も多く、実質的な市債残高は、16 万円程度になる見込みです。

実質公債費比率は、実質的な公債費負担の状況を示すもので、数値が高いほど、財政構造の弾 力性を圧迫することになります。日光市は、10.4%となっており、県内 14 市中 8 位で、平均 値(9.9%)に近く、平均的な負担率であると言えます。

財政力(財政力指数) H20-22 平均

<u> </u>	<b>」(か」以入ノココロタス</b> / 「	20 22 1 22
順位	団体名	財政力指数
1	小山市	1.020
2	宇都宮市	1.010
3	真岡市	0.910
4	那須塩原市	0.850
5	下野市	0.840
6	佐野市	0.760
6	さくら市	0.760
8	足利市	0.750
8	矢板市	0.750
10	鹿沼市	0.740
11	栃木市	0.720
12	日光市	0.700
13	大田原市	0.680
14	那須鳥山市	0.470
平均	0.783	

公債費負担の状況(実質公債費比率) 市民1人当たりの市債残高

順位	団体名	実質公債費比率
1	鹿沼市	6. 8
2	足利市	7. 5
3	小山市	7. 6
4	佐野市	8. 2
5	宇都宮市	9. 0
6	真岡市	9. 6
7	下野市	10. 1
8	日光市	10. 4
9	栃木市	10. 6
10	さくら市	10. 8
11	那須塩原市	11. 2 11. 5
12	那須鳥山市	11. 5
13	矢板市	12. 2
14	大田原市	12. 6
平均	9.86	3

財政構造の弾力性(経常収支比率)

順位	団体名	経常収支比率
1	真岡市	83.7
2	下野市	84.1
3	さくら市	84.6
4	小山市	85.1
5	佐野市	85.5
6	那須鳥山市	87.4
7	栃木市	88.1
8	大田原市	88.9
9	鹿沼市	90.8
10	日光市	91.0
11	矢板市	91.3
12	足利市	91.8
13	那須塩原市	93.3
14	宇都宮市	93.4
平均	88.50	

順位	団体名	市債残高 (1人当たり)	交付税算入見 込額
14	宇都宮市	255, 188	93, 187, 692
13	鹿沼市	293, 624	20, 690, 031
12	真岡市	294, 147	16, 799, 206
11	小山市	298, 957	26, 712, 822
10	足利市	299, 173	20, 839, 705
9	栃木市	301, 924	28, 783, 969
8	下野市	312, 280	12, 396, 152
7	佐野市	331, 287	30, 112, 219
6	矢板市	341, 413	10, 195, 255
5	那須塩原市	347, 566	34, 259, 793
4	さくら市	384, 068	11, 869, 708
3	那須鳥山市	423, 398	10, 247, 494
2	大田原市	449, 532	24, 845, 348
1	日光市	523, 267	32, 740, 830
	平均	346,845	

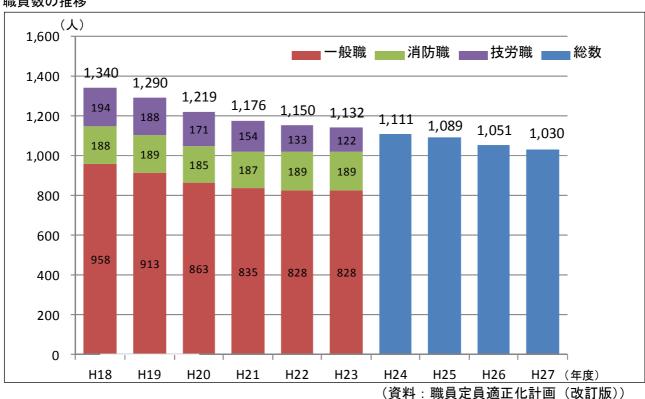
(資料:総務省平成22年度全市町村の主要財政指標)

#### 4 市の職員数の推移

平成 19 年2月に職員定員適正化計画を策定し、退職勧奨制度の導入や新規採用職員の抑制、 技能労務職員の退職不補充などにより、職員数の削減に努めてきた結果、平成 18 年の 1,340 人が平成 23 年には、1,132人となり、約 200 名(15.3%) の職員を削減することができま した。

しかし、人口 1,000 人当たりの職員数を県内 14 市で比較すると、最も少ない宇都宮市の約 1.7 倍となっており、市の面積を考慮に入れても、引き続き、職員数を削減していかなければな らない状況にあります。一方で、新たな市民ニーズへの対応や権限移譲に伴う業務の拡大が進む 中で、急激に職員数を減少すると職員への負担が増し、組織を維持していくことが困難になって しまうことから、当初の計画よりは、緩やかな曲線で減少するよう平成23年度にこの計画を見 直し、平成27年度までにさらに100名程度の削減を進めることとしました。

# 職員数の推移



※H24 年度以降は、目標値

# (参考) 県内 14 市における職員数比較(平成 22 年 4 月 1 日現在)

(単位:人)

			(手位・人)
	住民基本	職員数	人口千人当たり
	台帳人口		の職員数
宇都宮市	505,804	3,074	6.08
足利市	155,061	1,037	6.69
栃木市	140,888	1,050	7.45
佐野市	122,816	976	7.95
鹿沼市	103,003	827	8.03
日光市	92,176	950	10.31
小山市	159,055	1,006	6.32
真岡市	79,351	507	6.39
大田原市	74,089	670	9.04
矢板市	35,340	267	7.56
那須塩原市	116,739	857	7.34
さくら市	43,781	334	7.63
那須烏山市	30,302	287	9.47
下野市	59,518	428	7.19

(資料:職員定員適正化計画(改訂版))

※職員数には、消防、交通及び病院は市により設置状況が異なるため含みません。

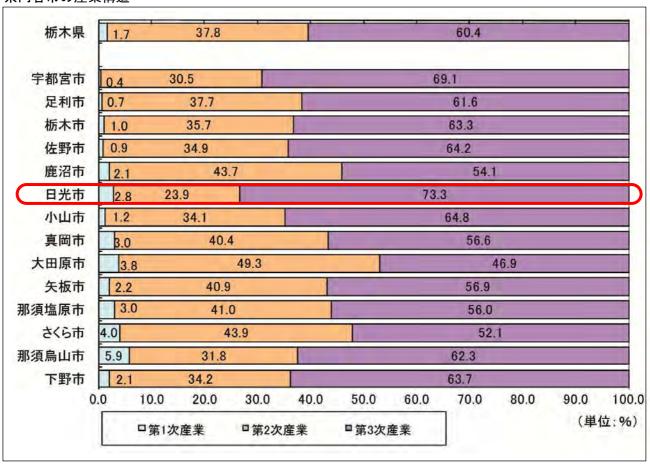
# 5 産業及び観光の状況

# (1) 産業

# ① 産業構造

日光市の産業総生産額は、平成20年度で2,938億円となっており、県内14市中10位となっています。また、構造的には、第3次産業が73.3%となっており、県全体のなかで最も高い割合となっています。なお、産業別就業者数の割合でも、栃木県全体に比べ第3次産業の割合が高くなっています。

# 県内各市の産業構造

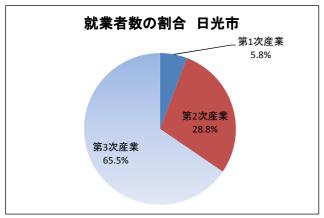


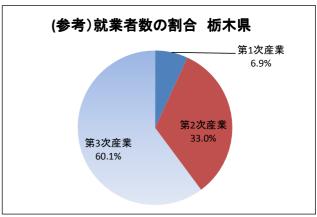
(資料:平成20年度 とちぎの市町村民経済計算(概要))

第1次産業:農業、林業、漁業 第2次産業:鉱業、建設業、製造業

第3次産業:電気・ガス・熱供給・水道業、運輸・通信業、卸売・小売業、飲食店・宿泊業、金融・保険

業、不動産業、サービス業



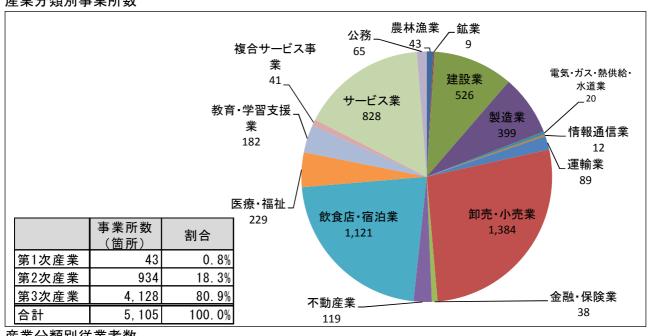


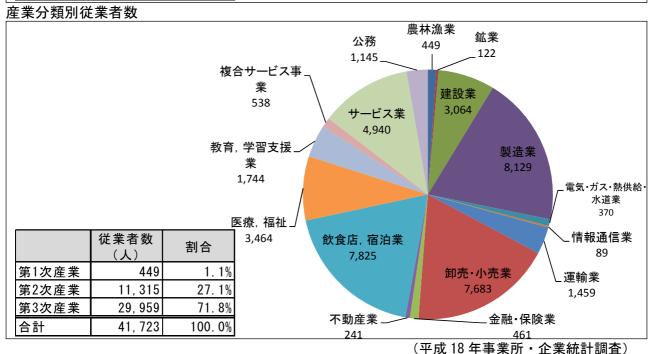
# ② 産業分類別事業所数及び従業者数

平成 18 年度の事業所数をみると、第 1 次産業(農林漁業)が 43 箇所(約 0.8%)、第 2 次産業(鉱業・建設業・製造業)が 934 箇所(約 18.3%)、第 3 次産業が 4,128 箇所(約 80.9%)で、第 3 次産業が過半を占めています。第 3 次産業の中でも、有数の観光地であることから卸売・小売業と飲食店・宿泊業の割合が多くなっています。

従業者数をみると、第1次産業(農林漁業)が449人(約1.1%)、第2次産業(鉱業・建設業・製造業)が11,315人(約27.1%)、第3次産業が29,959人(約71.8%)で、事業所数と同様の傾向となっています。従業者数では、第2次産業の中で製造業の割合が卸売・小売業や飲食店・宿泊業と同等の割合となっています。

# 産業分類別事業所数





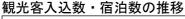
# (2) 観光の状況

市内には、世界遺産「日光の社寺」、ラムサール条約登録湿地「奥日光の湿原」をはじめ、日 本で唯一、特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受けている「日光杉並木街道」や日本の近代 化を支えた「足尾銅山」など世界に誇る雄大な自然や歴史的・文化的遺産があります。また、鬼 怒川・川治温泉をはじめ、湯西川・川俣・奥鬼怒温泉、日光湯元・中禅寺温泉など湯量豊富で良 質な温泉にも恵まれ、多彩な観光資源を有しています。

# ① 観光客入込数及び宿泊数

市の観光客入込数及び宿泊数については、平成 19 年及び平成 22 年に一時回復していますが、 ピーク時に比べ全体としては減少傾向にあります。

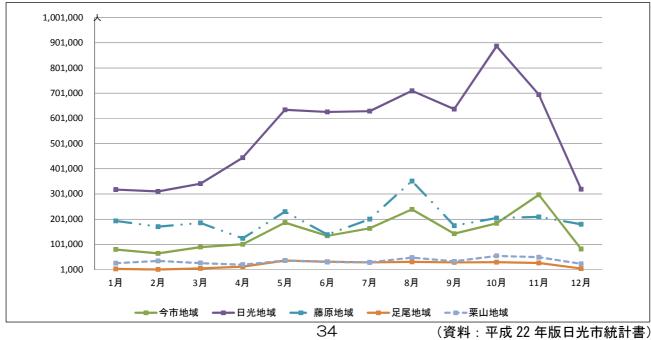
また、観光客入込数を平成22年の月別で見ると、日光地域においては紅葉シーズンである秋 季に、藤原地域においては夏季が観光のピークとなっています。





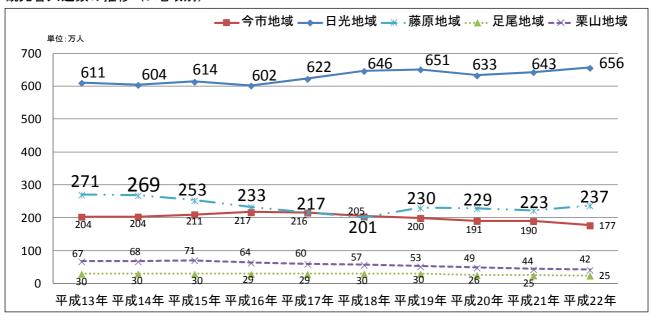
月別観光客入込数(平成22年)

(資料:平成22年版日光市統計書)

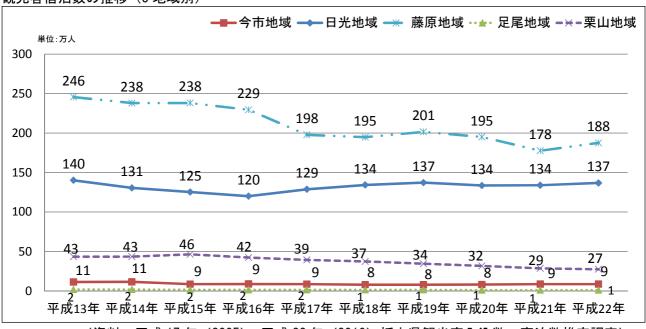


地域別の観光客入込数の推移をみると、日光地域で増加傾向にあり、平成 22 年度には、約656 万人となっています。また、藤原地域でも合併以降、増加傾向にあり、237 万人にまで回復しています。一方、その他の地域は、減少傾向にあり、特に、栗山地域で41%減、今市地域でピーク時の18%減となっています。また、平成 22 年度の観光客宿泊数については、鬼怒川温泉、川治温泉などの温泉街として有名な藤原地域が最も多く約 188 万人となっているものの、平成 13 年度に比べ、24%減となっています。なお、日光地域は、合併以降、130 万人台で安定して推移しています。

# 観光客入込数の推移(5地域別)



#### 観光客宿泊数の推移(5地域別)



(資料:平成17年(2005)、平成22年(2010)栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査)

# 6 市の現況から見える課題

#### 1) 人口状況

# 《市の人口特性・人口動態》

- ・ 市の人口は、昭和32(1957)年をピークに減少傾向が続いており、平成22(2010)年時点ではピーク時の約80%となっています。特に、過去20年間と今後20年間の人口の推移を比較すると、これまでにないスピードで急激に減少していく見込みです。また、年少人口及び生産年齢人口が減少し、高齢者人口が急速に増加する傾向が顕著になり、高齢者人口の比率は、平成42(2030)年には38.0%になると予想されます。
- このため、今後の人口動態の変化に的確に対応できるよう、公共施設や各地域での公共サービスの在り方について、抜本的な見直しも視野に入れ、検討していく必要があります。例えば、今後20年間、毎年平均215人の年少人口が減少していく状況を見据えて、学校施設のあり方や余裕教室の活用方法などを考えていくことが重要となります。

#### 《地域別、階層別の人口変化の状況と地域特性の把握》

- 地域ごとに見ると、階層別の人口変化率やその構成比は、かなり差が大きく、今後ますます 拡大することが予想されます。
- 5 地域ごとの異なる地域特性を、人口の推移やまちづくり等の観点から詳細に整理し、把握することで、それぞれの地域の特色を活かした公共施設の配置や活用方法などを検討することが可能となります。
- 特に、過疎地域に指定されている足尾地域と栗山地域では、少子高齢化が著しく、人口減少が加速しています。このため、それぞれの地域における年齢階層別の人口変化等の状況を踏まえた公共施設の配置等について検討することが重要になります。

#### 2) 財政状況

- 合併に伴う財政支援措置の終了や人口減少による税収の減が懸念される一方で、少子高齢化に伴う扶助費の増や老朽化する公共施設への対応などにより、ますます厳しい財政運営を迫られることになります。そのため、新たな歳入の確保に努めるとともに、人口減少や人口構成の変化などに対応した歳出の抑制に取り組んでいくことが不可欠となります。
- 特に、投資的経費の削減には、公共施設の利用状況やコストなども勘案し、機能の集約化や 施設の複合化などを進めることが有効な手段の一つと考えられます。

#### 3) 職員数

- 合併後、200名以上の職員数を削減してきたものの、人口千人当たりで見た職員数は、県内 1位となっています。今後の財政状況を勘案すると、引き続き職員数の適正化に努めていく 必要があります。
- 特に、職員数の削減に当たっては、市民サービスが低下しないよう留意した上で、指定管理 者制度や業務委託など民間活力を有効に活用し、経営資源を活かした効率的な行政経営を進 める必要があります。

# 4) 観光の状況

- 観光は、全体的に回復傾向にあるものの、非常に厳しい状況が続いています。観光客入込数 や宿泊数を見ると、地域によって大きな偏りが生じています。このため、5地域間で連携を 図り、各地域を訪れている観光客をその他の地域への周遊に結び付ける工夫が必要です。
- そのためには、官民一体となった観光行政に取り組むとともに、市の観光施設と民間施設と の連携や公衆トイレの効果的な配置など観光客が利用しやすい公共施設のあり方について検 討することが重要となります。

# 5) 市民の移動

• 市民の主要な移動手段が車であること踏まえつつ、高齢者や交通弱者にも配慮し、市民が利用しやすい公共施設の配置を検討する必要があります。

# 第2章 市が保有する財産の状況

- 1 保有する公共施設の状況
- 2 公共施設の建替え・改修等にかかるコスト試算
- 3 インフラ資産のコスト試算
- 4 投資的経費の今後の見通し

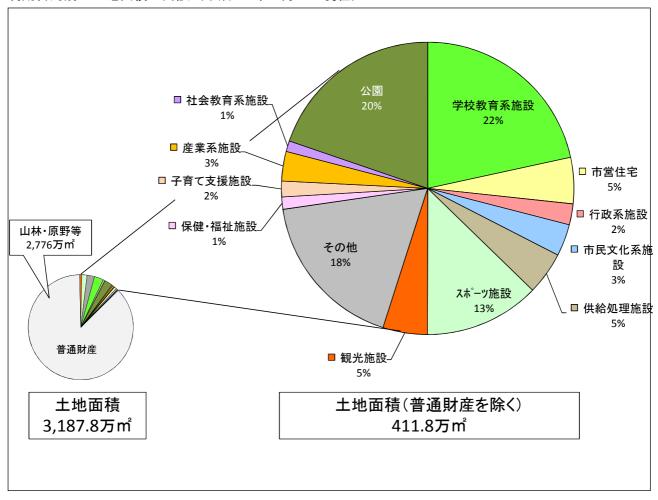
# 第2章 市が保有する財産の状況

# 1 保有する公共施設の状況

# (1)土地財産の内訳

日光市が保有する土地は、約3,188万㎡で、そのうち約87%(2,776万㎡)が普通財産(山林・原野等)で、行政サービスを行う土地は、全体の約13%(412万㎡)となります。利用目的別では、学校が88.9万㎡(22%)と最も多く、次いで公園の81.3万㎡(20%)、スポーツ施設の52.5万㎡(13%)の順になっています。

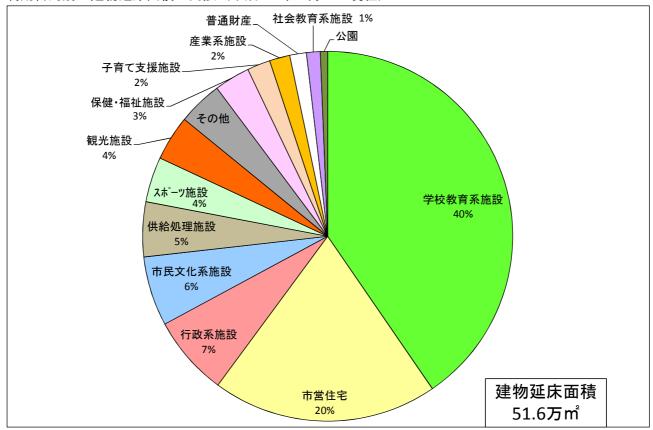
利用目的別の土地面積の内訳(平成23年4月1日現在)



# (2) 建物財産の内訳

市が保有する建物の延床面積は、約51.6万㎡で、保有する公共施設を用途別にみると、学校教育系施設が約20.8万㎡で最も多く全体の40%、次いで、市営住宅が10.2万㎡で20%と学校と市営住宅の割合が特に高くなっています。また、スポーツ施設、観光施設がそれぞれ約2万㎡で4%となっていることが特徴です。

利用目的別の建物延床面積の内訳(平成23年4月1日現在)



用途	延床面積	構成比	用途	延床面積	構成比
学校教育系施設 小学校、中学校、給食センター	208,660 m <sup>2</sup>	40.4 %	その他 駐車場、公衆便所、職員住宅、 斎場等	20,085 m <sup>2</sup>	3.9 %
市営住宅市営住宅	101,562 m²	19.7 %	保健福祉施設 保健センター、福祉保健センター、 診療所等	16,081 m²	3.1 %
行政系施設 市役所、総合支所、消防・防災施設、 市民サービスセンター	36,194 m <sup>2</sup>	7.0 %	子育て支援施設 保育園、児童館、放課後児童クラブ、	10,426 m²	2.0 %
市民文化系施設 文化会館、公民館、 コミュニティセンター、集会場 等	31,412 m²	6.1 %	産業系施設 農村環境改善センター、農村広場 等	9,190 m <sup>2</sup>	1.8 %
供給処理施設 ポンプ場、温泉源泉配湯所、 水処理センター 等	24,715 m <sup>2</sup>	4.8 %	<b>普通財産</b> 旧職員住宅等	7,495 m <sup>2</sup>	1.5 %
スポーツ施設 体育館、運動場 等	20,400 m²	4.0 %	<b>社会教育系施設</b> 図書館、美術館、 歴史民俗資料館	6,214 m <sup>2</sup>	1.2 %
<b>観光施設</b> 温泉施設、宿泊施設、観光案内等	20,361 m <sup>2</sup>	4.0 %	公園、駅前広場等	3,277 m <sup>2</sup>	0.6 %

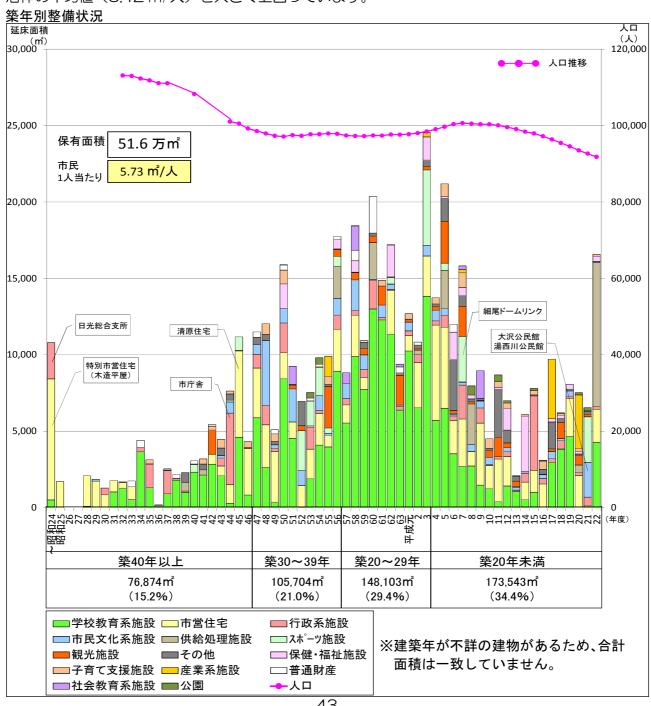
# (3) 市が保有する施設の築年別整備状況

市が保有する建物を築年別にみると、昭和56年から平成7年までがピークとなっており、そ の間に建てられたものが全体の 45%を占めています。また、市庁舎が建設された昭和 44 年か ら 55 年にかけて毎年のように 1 万㎡の建物が建設され、今後これらの施設が一度に老朽化して いきます。

なお、築40年以上の施設では、学校施設が36%、市営住宅が36%、行政系施設が15%の 順で多く、それらの中には大正から昭和初期に建設されたものも含まれていることから、施設の 性格上、老朽化への対応が急務であることがわかります。

さらに、合併前からの懸案であったクリーンセンターの建設や地域再生事業、湯西川ダム建設 に伴う地域振興事業などにより、平成19年以降、再び建築面積が増えていることが特徴となっ ています。

また、市民1人当たりが保有する施設の面積でみると、5.73 ㎡/人となっており、全国の自 治体の平均値(3.42 ㎡/人)を大きく上回っています。



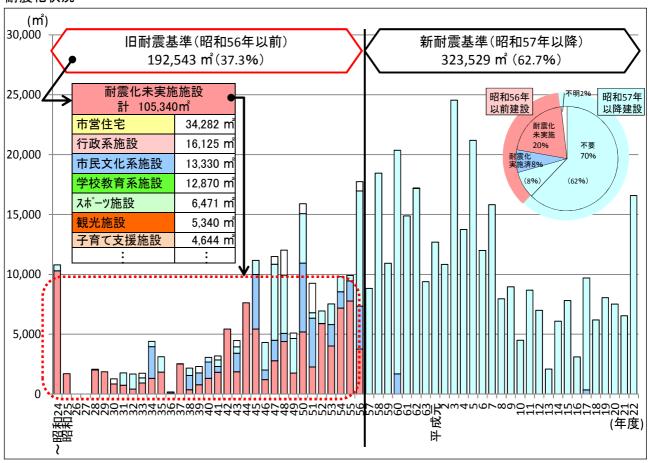
(参老)	公共施設延床面積の比較	(データ時点・	2010 年 3 月)
(シワ)		\	

	人口1人当たりの公共施設延床面積(㎡/人)
日光市	5. 47
全国平均	3. 42
人口9~10万人自治体平均	4. 08
人口8~9万人自治体平均	3. 40
県内市平均	3. 71

(資料:東洋大学 PPP 研究センター社会資本基礎データ研究会、市行革・情報推進課) ※県内市平均は、那須烏山市が未算出のため、13 市の平均値

市が保有する建物の耐震化の状況を見ると、建築年不詳建物約 1.2 万㎡を含む約 51.6 万㎡の うち、旧耐震基準となる昭和 56 年以前に建設された建物は約 19.3 万㎡ (37%)、新耐震基準 となる昭和 57 年以前に建設された建物は約 32.3 万㎡ (63%) となっています。しかし、昭和 56 年以前の建物の中には、旧耐震基準で建設されたものの新耐震基準を満たしている建物が 4.4 万㎡ (8%) あるほか、大規模改修などの際に耐震化したものが 3.6 万㎡ (8%)、耐震診断を実施していないため耐震性を確認できない施設が 1 万㎡ (2%) となっており、耐震化未実施の施設は、10.5 万㎡ (20%) となります。

# 耐震化状況

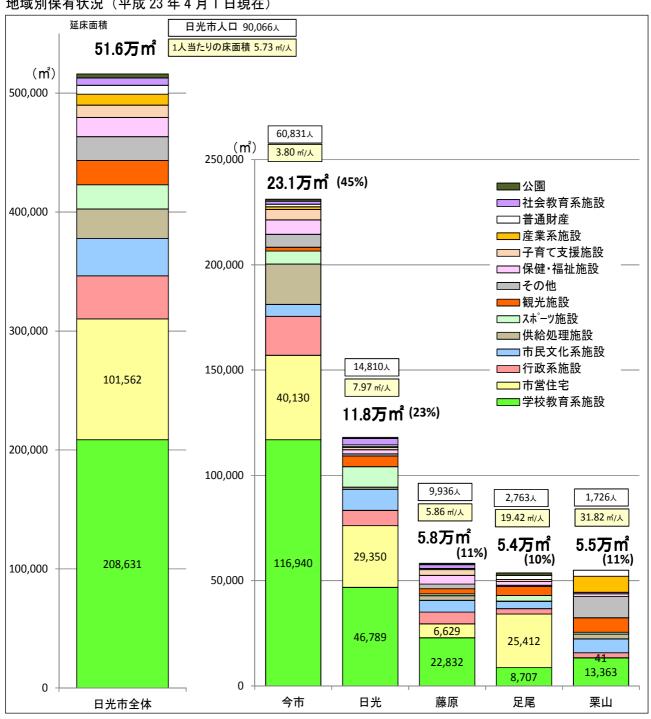


※建築年不詳建物のうち、「耐震化不要」建物は新耐震基準面積に、「耐震化未実施」建物は旧耐震基 準面積に含んでいます。

#### (4) 5地域別公共施設保有状況

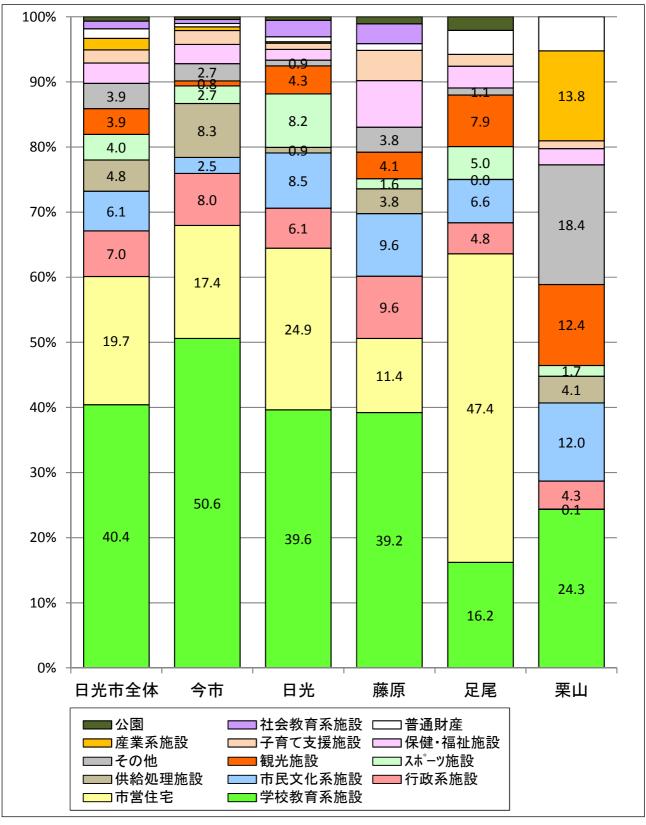
5地域ごとの保有状況では、市全体人口の約68%を占める今市地域に多くの公共施設があり、 約 23.1 万㎡(約 45%)と半数近く保有している状況にあります。次いで、日光地域が 11.8 万㎡ (約23%) となっており、他の3地域は、それぞれ約5.5万㎡ (約11%) 程度の保有面 積となっています。また、用途別の内訳を見ると、すべての地域で行政活動に必要な主要施設を 保有しており、地域間で機能が重複していることがわかります。なお、公共施設は、図書館やス ポーツ施設など市内全域に対応する広域的な施設と、集会所など地域限定の施設に区分すること ができますが、そのような施設の利用形態を問わず、地域ごとの施設保有面積をそれぞれの地域 の人口で単純に割ると、地域市民一人当たりの床面積に大きな差があることがわかります。

#### 地域別保有状況(平成23年4月1日現在)



用途別延床面積の割合を見ると、足尾地域で市営住宅が約47%と最も多くなっているほかは、各地域とも学校の割合が最も高くなっています。また、日光、足尾、栗山地域で観光施設とスポーツ施設を併せると10%を超えているほか、栗山地域では産業系施設が約14%、集会所や公民館などの市民文化系施設が約12%と高くなっています。

地域別・用途別延床面積割合 (平成23年4月1日現在)



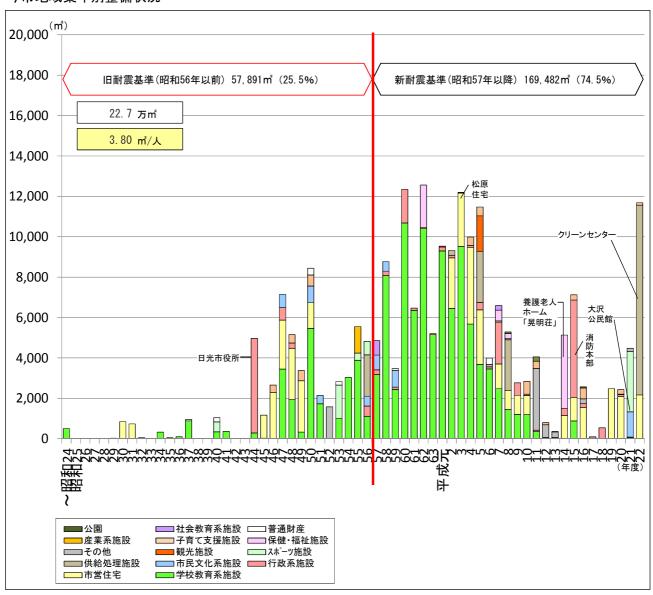
# ■地域別 築年別整備状況

# <今市地域>

施設の割合: ①学校教育系施設 50.6%、②市営住宅 17.4%、③行政系施設 8.0%

7割を超える施設が新耐震基準となっており、昭和58年から平成7年までの間に学校を中心に多くの施設が建設されている状況です。また、合併後、クリーンセンターなど広域的利用施設が新たに建設されています。

# 今市地域築年別整備状況



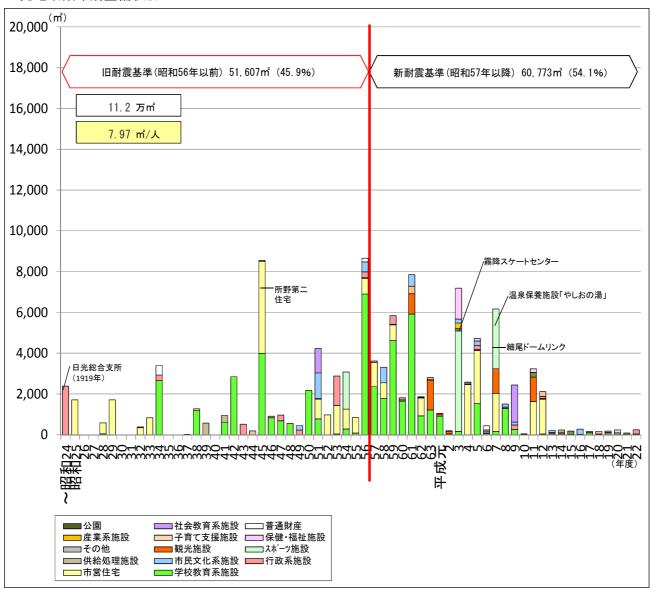
※建築年が不詳の建物があるため、合計面積は一致していません。

# <日光地域>

施設の割合: ①学校教育系施設 39.6%、②市営住宅 24.9%、③市民文科系施設 8.5%

6割近くが新耐震基準後に建設され、今市地域とほぼ同時期に当たる昭和 56 年から平成7年までの間がピークとなっています。なお、近年、大きな施設が造られていないことが特徴です。

# 日光地域築年別整備状況

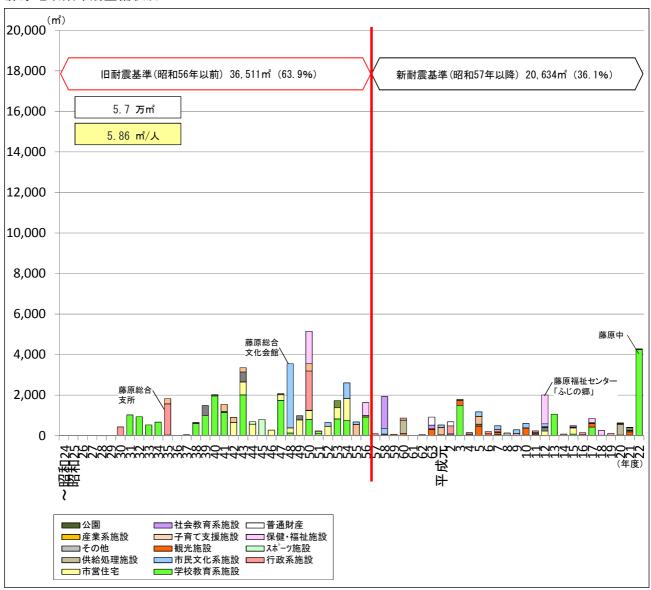


※建築年が不詳の建物があるため、合計面積は一致していません。

# <藤原地域>

施設の割合: ①学校教育系施設 39.2%、②市営住宅 11.4%、③市民文化系 9.6%、行政系施設 9.6% 旧耐震基準となる昭和 56 年以前に建てられた施設が7割を超え、5地域の中で最も早く老朽化のピークを迎えることになります。

# 藤原地域築年別整備状況



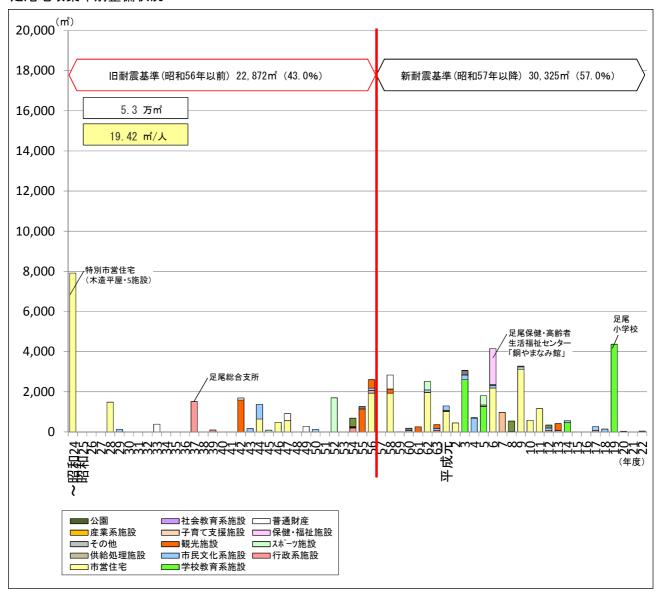
※建築年が不詳の建物があるため、合計面積は一致していません。

# <足尾地域>

施設の割合: ①市営住宅 47.4%、②学校教育系施設 16.2%、③観光施設 7.9%

平成3年から9年に建設されたものが多くなっているほか、昭和24年以前に建てられた特別市営住宅が8,000 ㎡近くあることが特徴です。

# 足尾地域築年別整備状況

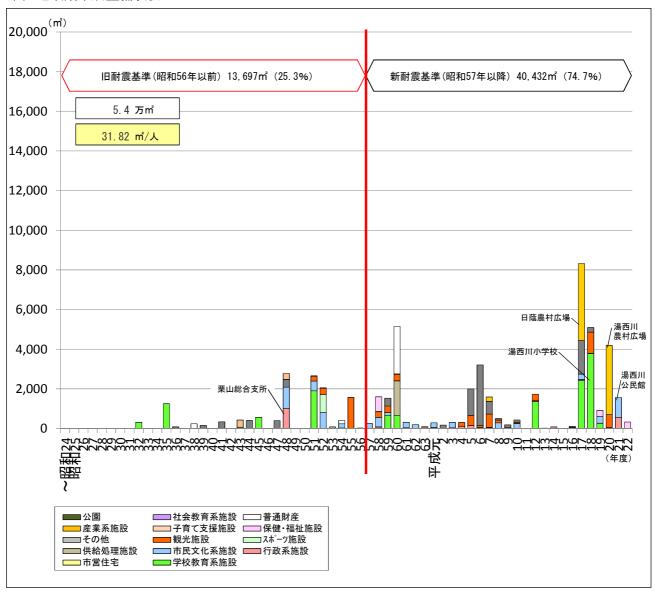


※建築年が不詳の建物があるため、合計面積は一致していません。

< 栗山地域>施設の割合: ①学校教育系施設 24.3%、②その他(普通財産含む) 18.4%、③産業系 13.8%

新耐震基準で建設されたものが7割を超えています。特に、平成 17年以降に建設された新しい施設が多いことが特徴です。

# 栗山地域築年別整備状況



※建築年が不詳の建物があるため、合計面積は一致していません。

# 2 公共施設の建替え・改修等にかかるコスト試算

市が保有する施設は、昭和56年度から平成7年度にかけて建設した施設が多く、今後、施設の老朽化に対応しなければならず、大規模改修、建替え等に多くのコストの発生が予測されます。ここでは、今後40年間にかかるコストを総務省が公表している試算ソフトにより算出しました。

#### <総務省ソフトの試算条件>

1) 耐用年数の設定

目標耐用年数 60年(日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」)

- 2) 更新年数の設定
  - 建設時より30年後に大規模改修を行い、60年間使用して建替え
  - 現時点で、建設時より31年以上、60年未満の施設については、今後10年間で均等に大規模改修を行うと仮定
  - 現時点で、建築時より61年以上経過しているものは、建替えの時期が近いので、 大規模改修は行わないと仮定
- 3) 建替え、大規模改修時の単価設定(※建替えについては、解体費含む。)

	建替え	大規模改修
市民文化系·社会教育系·行政系施設等	40 万円/㎡	25 万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設等	36 万円/㎡	20 万円/㎡
学校教育系、子育て支援施設等	33 万円/㎡	17 万円/㎡
公営住宅	28 万円/㎡	17 万円/㎡

※単価は、先行して試算に取り組んでいる地方自治体の調査実績や設定単価等を 基に総務省が設定

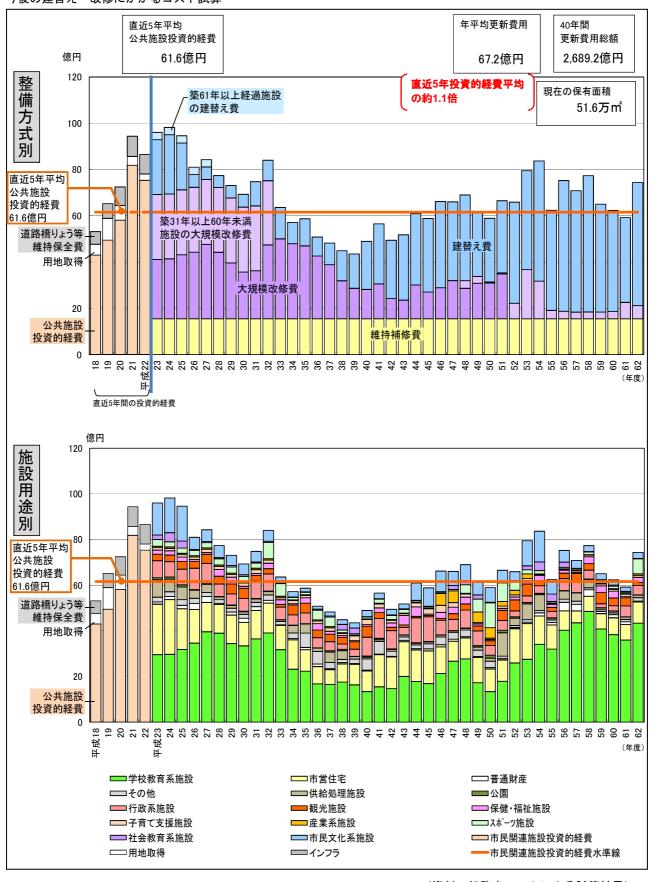
4) 全施設対象 毎年老朽箇所の修繕を実施 3千円/㎡×施設面積

#### <試算結果>

今後、建替え・改修等にかかるコストを試算すると、40年間総額で2,689.2億円となります。 年平均で、67.2億円であり、現状の公共施設にかかる投資的経費(H18~H22の平均)61.6 億円の約1.1倍となることが見込まれます。

なお、直近5年間の投資的経費は、合併特例債の活用や湯西川ダム建設関連事業、地域再生事業等による影響が大きいことから、今後は、合併に伴う財政支援措置の終了や、人口減少による税収の伸び悩み、高齢化に伴う扶助費の増加等を考慮すると、低い水準の金額しか確保できず、大幅な財源不足が予測されます。

今後の建替え・改修にかかるコスト試算



(資料:総務省ソフトによる試算結果)

# 3 インフラ資産のコスト試算

日光市が保有するインフラ資産(道路、橋りょう、上水道、下水道)の状況は、次のとおりです。インフラ資産も、公共施設と同様、今後、耐震化及び老朽化等の維持・更新費用が必要とされています。そこで、インフラ資産も含めて、今後 40 年間にかかるコストを総務省が公表している試算ソフトにより算出しました。

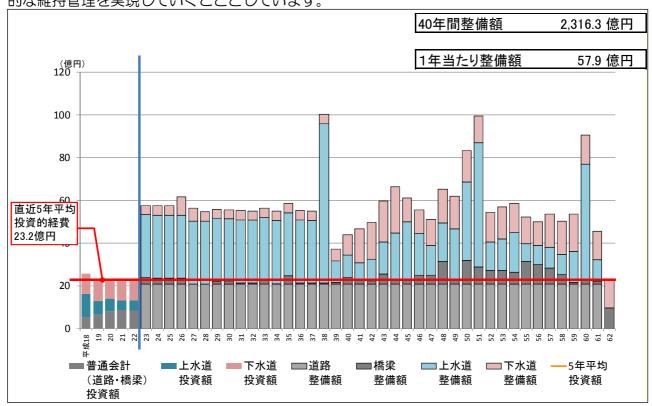
	保有状況			<u>f</u>	<b>呆有状況</b>
道路	一般道路 自転車歩行者道	6,643,748 m <sup>2</sup> 18,436 m <sup>2</sup>	上水道	総延長	970,327m
橋りょう	橋りょう 橋りょう面積	727 本 53,581 ㎡	下水道	総延長	388,684m

#### <総務省ソフトの試算条件及び試算結果>

- 1) 道路
  - 全整備面積を 15 年で割った面積の舗装部分を毎年度更新していくと仮定 40 年間総額 813.2 億円 年平均 20.3 億円
- 2) 橋及び橋梁(歩道橋等) 整備した年度から法定耐用年数 60 年を経過した年度に更新すると仮定 40 年間総額 137.8 億円 年平均 3.4 億円
- 3)上水道
  - 上水道管は、整備した年度から法定耐用年数 40 年を経過した年度に更新すると仮定 40 年間総額 952.0 億円 年平均 23.8 億円
- 4)下水道
  - 下水道管は、整備した年度から法定耐用年数 50 年を経過した年度に更新すると仮定 40 年間総額 413.4 億円 年平均 10.3 億円

上記の結果、道路等のインフラ整備にかかる費用として今後 40 年間の総額で 2,316.3 億円、年間平均約 57.9 億円が必要と予測されます。

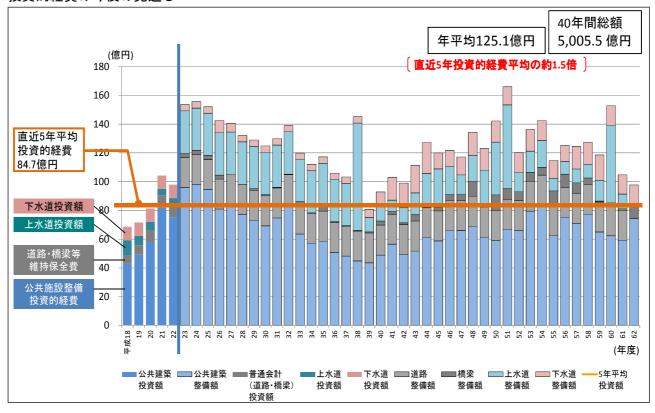
なお、インフラ資産については、日常生活を営む上で最低限必要な施設であることから、長期 的な維持管理を実現していくこととしています。



# 4 投資的経費の今後の見通し

公共施設の建替え、改修等にかかるコスト試算とインフラ資産に係るコスト試算を合算し、日 光市における今後の投資的経費を見通すと、今後 40 年間総額で 5,005.5 億円、年平均 125.1 億円が必要となり、平成 18年度から 22年度までの投資的経費(上下水道にかかる投資的経費 を含む。)の平均額 84.7 億円の約 1.5 倍となることが見込まれます。

# 投資的経費の今後の見通し



# 第3章 用途別実態把握

- 1 コスト情報とストック情報の的確な把握
- 2 公共施設の建物総合評価
- 3 公共施設の配置状況
- 4 主な施設の実態把握
  - (1) 庁舎等及び窓口業務
  - (2) 文化会館等施設
  - (3) 美術館等施設
  - (4) 産業系施設
  - (5) 観光施設
  - (6) 福祉施設
  - (7) スポーツ施設
  - (8) 図書館
  - (9) 公民館
  - (10) コミュニティセンター等施設
  - (11) 集会等施設
  - (12) 小学校・中学校
  - (13) 保育園
  - (14) 放課後児童クラブ
  - (15) 市営住宅

# 第3章 用途別実態把握

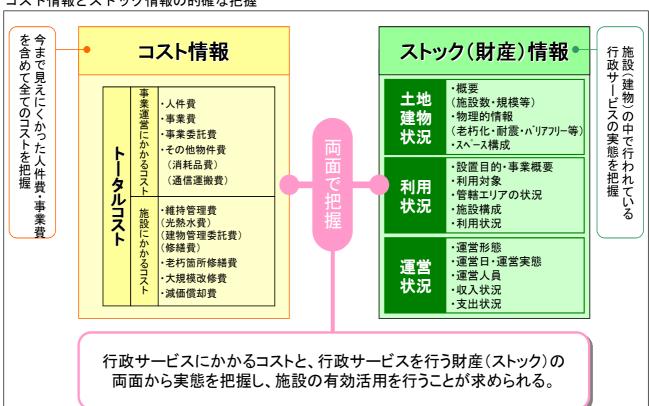
# 1 コスト情報とストック情報の的確な把握

公共施設の実態を把握するためには、老朽化や耐震化の状況だけでなく、利用状況や運 営実態、さらには施設にかかる費用など複眼的な視点で分析することが重要です。具体的 には、コスト情報として行政コスト計算書等を活用し、建物全体及びそこで行われている 行政サービスの人件費や事業費も含め、全体でいくらかかっているか、また、ストック情 報として、土地・建物の老朽化状況などの物理的な状況に加え、利用状況、運営状況を整 理する必要があります。

そこで、第3章では、市民利用の多い公共施設を中心に、コスト情報とストック情報を 整理し、この2つの情報から見えてきた公共施設の実態を総合的に把握することで、今後、 公共施設に何を求め、何をすべきかなど、改善に向けた検討の方向性を明らかにしました。

なお、対象とした公共施設は、庁舎等(本庁舎、総合支所、支所、出張所)、文化会館等、 美術館等、産業系施設、観光施設、福祉施設、スポーツ施設、図書館、公民館、コミュニ ティセンター、集会施設、小学校・中学校、保育園、放課後児童クラブ及び市営住宅の施 設です。

#### コスト情報とストック情報の的確な把握



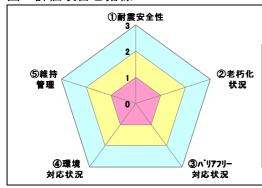
- 両面から的確な実態把握をすることで、次のような視点から施設の有効活用に向けた分析・検討を 行うことができる。
  - (1) 同一コストで、よりよいサービスを提供できないか
  - ② サービスの質を落とすことなく、費用を削減できないか
  - ③ もう少し費用をかければ、より大きい便益(効果)を出せないか
  - ④ 事業効果をより公平に、また効率的に達成できないか
  - ⑤ 公共が自ら行うよりも、民間が行った方が良いサービスになるのではないか

# 2 公共施設の建物総合評価

# ■ 公共施設の建物総合評価の方法

建物総合評価は、次の5項目の評価軸で各施設を簡易的に評価し、評価軸の重要度に基づいた代表的なパターンに分類します。各施設の評価結果をこのパターンに当てはめ、施設用途単位で課題整理の目安にします。

#### 図 評価項目と指標



# <5 軸での評価>

- ① 耐震安全性:耐震診断、耐震補強の実施状況
- ② 老朽化状況: 築年数による評価
- ③ バリアフリー対応状況:機能改善
- ④ 環境対応状況:太陽光発電の導入等の対応実施状況
- ⑤ 維持管理:光熱水費、小規模修繕費、建物管理委託費

評価指	<b>i標</b>	3	2	1
① 耐震安全性	現行の耐震基準への適合	問題なし (新耐震基準以降又は、 補強等を実施した建物)	対策中	対策が必要

評価指	<b></b>	3	2	1
②	築年数による	問題なし	老朽対策が必要	老朽化が進行している
老朽化状況	評価	(築 20 年未満)	(築 20 年以上 30 年未満)	(築30年以上)

評価指標	3	2	1
③ バリアフリー対応状況	対応済み (6 項目全て実施)	一部未実施の項目が ある (1項目~5項目実施)	バリアフリー対応が必要

<以下の項目に対応しているか>

車いす用エレベータ、身障者用トイレ、道路から入り口までの車いす用スロープ、自動ドア、手すり、 点字ブロックの6項目

評価指標	3	2	1
④ 環境対応状況	対応済み (3 項目全て実施)	一部改善の可能性が ある (1項目~2項目実施)	環境対応が必要

<以下の項目に対応しているか>

自然エネルギー・太陽光発電の導入、屋上緑化・壁面緑化等の実施、環境対応設備(節水型便器・高効率照明器具・LED、雨水・中水設備)の導入

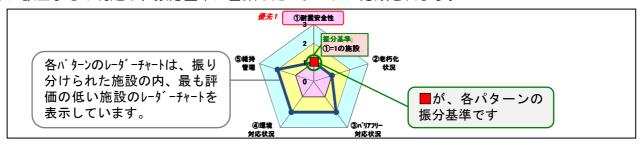
評価指標	3	2	1
⑤ 維持管理費	妥当 (延床面積当たりの単 価が平均値の140%未満 の建物)	<del>_</del>	改善の可能性がある (平均値の 140%以上の 建物)

※維持管理費=建物管理委託費(清掃費・警備費・機械保守費等)+光熱水費(電気・ガス・水道・燃料等) +小規模修繕費(建物等の軽微な故障等に対する修繕)

# ■ 建物総合評価結果のパターン分類

建物総合評価結果を次の4パターンに分類します。

パターン分類を行う際の優先順位は、パターン①を最優先とします。パターン①から順に振分基準に該当するか判定し、振分基準に合致したパターンに分類されます。



# > パターン①《最優先》

評価内容: 耐震安全性が確保されていない、さらに

老朽化が進行している施設

振分基準:評価軸「①耐震安全性」が"1"(対策が必要)

と評価された施設

# > パターン②

評価内容:老朽化が進行している施設

振分基準:評価軸「②老朽化状況」が"1"

(老朽化が進行している)と評価された施設

#### > パターン③

評価内容:今後、老朽化対策の検討が必要な施設

振分基準:評価軸「②老朽化状況」が"2"

(対策検討が必要)と評価された施設

# > パターン④

評価内容:バリアフリー化および環境対策が必要な施設

振分基準:評価軸「③バリアフリー対応状況」

「④環境対応状況」のいずれかが"1"

(対策が必要)、もしくは"2"(一部未実施

の項目がある)と評価された施設

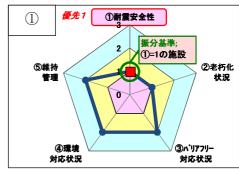
#### > 問題なし

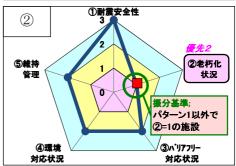
評価内容:現状、特に問題がない施設

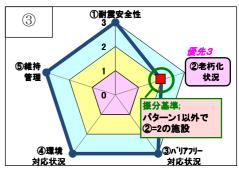
振分基準:評価軸が全て"3"

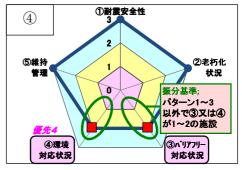
#### 維持管理費

評価内容:維持管理費3項目の床面積単価が、 それぞれの用途平均値の140%以上の施設 (パターン①~④とは別個に評価する)









# 3 公共施設の配置状況

公共施設の配置状況については、次のとおりです。

# 4 主な施設の実態把握

# (1) 庁舎等及び窓口業務

# 1) 施設概要

# ① 施設一覧

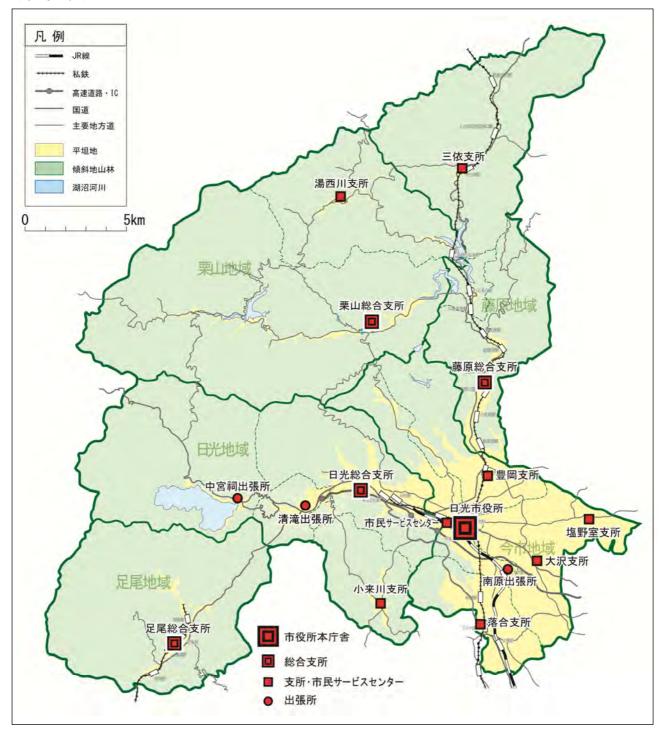
市は、市民サービスの拠点施設として、市役所(第2・3・4庁舎含む)のほか、総合支所4施設、支所7施設、出張所3施設及び市民サービスセンターの合計19施設を保有しています。

施設一覧

名称		7 TL	12. Tr	延床面積	建築年度	併設施設							
		<b>台</b>	住所	( m²)	(年度)	公民館	コミュニティ センター	振興会館 等	スポーツ	その他			
	1	本庁舎		4, 552. 0	昭和44								
市役所	2	第2庁舎	今市本町1番地	508. 9	昭和56			単独					
ולז אַל נוו	3	第3庁舎	フリイツ・甘心	2, 011. 7	平成6			半					
	4	第4庁舎		1, 614. 5	昭和50								
	5	日光総合支所	中鉢石町999番地	2, 381. 0	大正8			単独					
総合支所	6	藤原総合支所	藤原1番地	1, 539. 0	昭和35			単独					
総合文所	7	足尾総合支所	足尾町松原1番19号	1, 514. 3	昭和37			単独					
	8	栗山総合支所	日蔭575番地	2, 084. 0	昭和46	_		•		_			
	9	落合支所	小代440番地1	750. 1	昭和57	•	_	_		_			
	10	豊岡支所	大桑町130番地3	826. 6	昭和49	•	_	_		_			
	11	大沢支所	大沢町809番地1	4, 243. 5	平成21	•	_	_	● (体育館)	_			
支所	12	塩野室支所	沓掛260番地	651.0	昭和47	•		_		_			
	13	小来川支所	中小来川2667番地1	514. 3	昭和43	•	_	_		_			
	14	三依支所	中三依319番地	432. 7	昭和47	•	_	_		_			
	15	湯西川支所	湯西川709番地	1, 184. 0	平成21	•		_		_			
	16	南原出張所	土沢2086番地	276. 1	昭和59	_	•			_			
出張所	17	清滝出張所	清滝2丁目5番22号	452.4	昭和49	•	_	_		_			
	18	中宮祠出張所	中宮祠2478番地4	778. 6	昭和56	•	•			● (分署)			
窓口 S C	19	市民サービスセンター	今市456番地 ショッピングプラザ日光1階	99. 0	平成13 (開所)	_	_	_		● (商業施設)			
		合計	-	26,314.7	-	-	-	-	-	-			

<sup>※</sup>市民サービスセンターは、民間施設を利用しています。

# 庁舎等配置図



# ② 建物総合評価の結果

平成 22 年度において、市が保有する庁舎等 17 施設(市民サービスセンター及び落合支所を除く。)の建物総合評価を行いました。

	其木	情報	① ② ③バリアフリー対応						<b>(4</b> )	で音号	协	⑤維持管理							
金件情報		IFFK	耐震化	老朽化	الله (۱۰٫۲۰۰)				④環境対応			維持	管理費( <del>-</del>	千円)	床面積当たり(円/㎡)				
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	車いす用エレベータ※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり		太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
本庁舎	昭和44	4,552	未実施	42	0	0	0	0	0	×	×	×	×	14,564	14,982	3,370	3,199	3,291	740
第2庁舎	昭和56	509	未実施	30	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,054	3,299	102	4,036	6,483	200
第3庁舎	平成6	2,012	-	17	0	×	0	0	×	×	×	×	×	7,388	6,059	96	3,673	3,012	48
第4庁舎	昭和50	1,615	実施済み	36	0	0	0	0	0	0	×	×	×	3,360	3,924	92	2,081	2,430	57
日光総合支所	大正8	2,381	未実施	92	×	0	0	0	0	×	×	×	×	2,243	4,799	4,564	942	2,016	1,917
藤原総合支所	昭和35	1,539	未実施	51	×	0	×	0	×	0	×	×	×	4,239	3,239	772	2,755	2,104	502
足尾総合支所	昭和37	1,514	未実施	49	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,400	871	167	925	575	110
栗山総合支所	昭和46	2,084	未実施	40	×	0	0	0	×	×	×	×	×	3,963	3,788	2,401	1,902	1,818	1,152
豊岡支所	昭和49	827	未実施	37	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,549	1,330	1,013	1,873	1,609	1,225
大沢支所	平成21	4,243	ı	2	ı	0	0	0	0	0	×	×	×	5,746	8,173	15	1,354	1,926	3
塩野室支所	昭和47	651	未実施	39	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,196	1,045	203	1,837	1,605	313
小来川支所	昭和43	514	未実施	43	×	×	×	×	×	×	×	×	×	610	879	314	1,186	1,708	610
三依支所	昭和47	433	未実施	39	×	0	0	×	×	×	×	×	×	446	374	2,035	1,031	865	4,703
湯西川支所	平成21	1,184	-	2	-	0	0	×	0	0	×	×	×	1,492	1,119	-	1,260	945	-
南原出張所	昭和59	276	-	27	-	×	×	×	×	×	×	×	×	470	106	72	1,703	383	261
清滝出張所	昭和49	452	未実施	37	×	×	×	0	×	×	×	×	×	481	732	137	1,063	1,618	302
中宮祠出張所	昭和56	779	-	30	×	0	0	×	0	×	×	×	×	2,540	591	450	3,263	759	578
合計		25,565												53,741	55,310	15,802	2,102	2,164	618

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等

※2 節水型便器、高効率照明器具·LED照明、雨水·中水設備

実施済み÷○ 記載例 未実施 = × 不 要 ⇒—

:床面積当たり(円/㎡)の平均値

(床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計)

\_\_\_\_: 平均値の1.4倍

※落合支所は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い施設の損傷が激しく今後の利用が困難なため、評価の対象から除外します。

※市民サービスセンターは、民間施設のため、建物総合評価の対象から除外します。

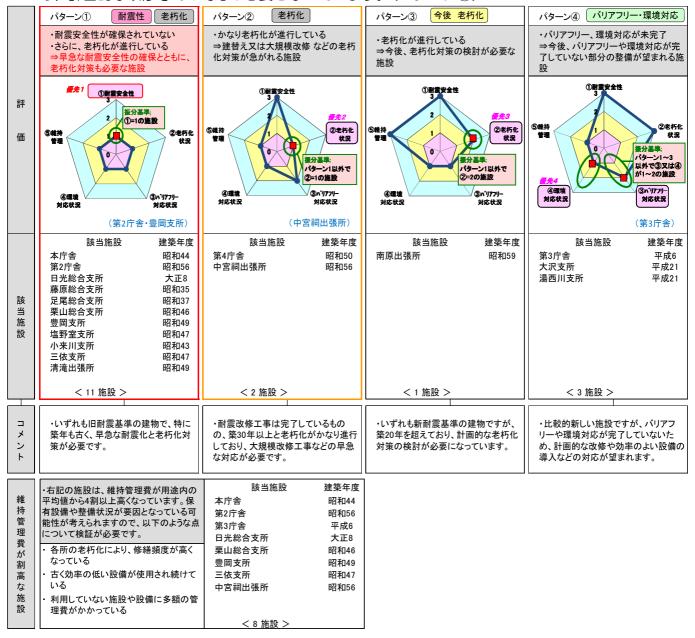
※第2庁舎及び第3庁舎光熱水費等については、一括で支出しているため、面積により按分しています。

庁舎等 17 施設のうち、本庁舎をはじめ 1 1 施設は、いずれも築 30 年以上が経過し、すべて 旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が 必要です。(パターン①)

第4庁舎は耐震改修工事が完了しており、また、中宮祠出張所は新耐震基準の建物ですが、いずれも老朽化が進行しており、今後、建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっております。(パターン②)

また、南原出張所、中宮祠出張所は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築 20 年以上が経過し、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

第3庁舎、大沢支所、湯西川支所は、新しい施設ですが、環境対応等が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



# 2) 窓口業務の利用実態

# ① 運営時間・運営日数

市では、市民課のほか、各総合支所市民福祉課、各支所出張所及び市民サービスセンターにおいて、住民票や戸籍証明書等の発行、さらに、各種申請の受付等の窓口業務を行っています。

平成22年度における基本的な運営時間は、平日の午前8時30分~午後5時30分(平成23年度からは、午後5時15分まで。)までとなっています。ただし、毎週月曜日は、市民課及び各総合支所市民福祉課で、午後7時まで窓口を延長し運営しています。

なお、市民サービスセンターについては、午前 10 時~午後 7 時までで、毎週月曜日が休所日となっています。

運営時間·運営日数

	平日	平日夜間 (毎週月曜日)	土日祝日	運営日数
本庁市民課	8:30~17:30	17:30~19:00	_	243 日
日光総合支所市民福祉課	8:30~17:30	17:30~19:00	_	243 日
藤原総合支所市民福祉課	8:30~17:30	17:30~19:00	_	243 日
足尾総合支所市民福祉課	8:30~17:30	17:30~19:00	_	243 日
栗山総合支所市民福祉課	8:30~17:30	17:30~19:00	_	243 日
落合支所	8:30~17:30	_	_	243 日
豊岡支所	8:30~17:30	_	_	243 日
大沢支所	8:30~17:30	_	_	243 日
塩野室支所	8:30~17:30	_	_	243 日
小来川支所	8:30~17:30	_	_	243 日
三依支所	8:30~17:30	_	_	243 日
湯西川支所	8:30~17:30	_	_	243 日
南原出張所	8:30~17:30	_	_	243 日
清滝出張所	8:30~17:30	_		243 日
中宮祠出張所	8:30~17:30	_	_	243 日
市民サービスセンター	10:00~19:00	月曜日休館	10:00~19:00	308 日

# ② 業務内容の整理

これら市の窓口では、住民票や戸籍に関する届出、証明書の発行などを行っています。なお、総合支所、支所などにおいては、同じ窓口で市税等の収納事務も実施しています。

施設別業務内容			総合支所														
		市民課	日光総合 支所 市民福祉 課	支所	足尾総合 支所 市民福祉 課	士託	落合支所	豊岡支所	大沢支所	塩野室 支所	小来川支所	三依支所	湯西川支所	南原 出張所	清滝 出張所	中宮祠出張所	市民サー ビス センター
証	戸籍に関する証明書	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	
明明	住民登録関係証明書	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
書	印鑑登録証明書	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
交	外国人登録記載事項証明書	•	•	•	•	•	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	-
付	臨時運行	•	•	•	•	•	•	•	•	•	_	•	_	_	_	_	-
業務	戸籍・住民登録に係るその他証明書	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
務	パスポート(10月以降)	•	•	•	_	-	_	-	-	_	_	-	_	_	_	_	•
	住民異動届出	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
届異出動	戸籍届出	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
山刬	印鑑登録	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
市税等	収納	_	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•

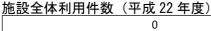
#### ③ 利用状況

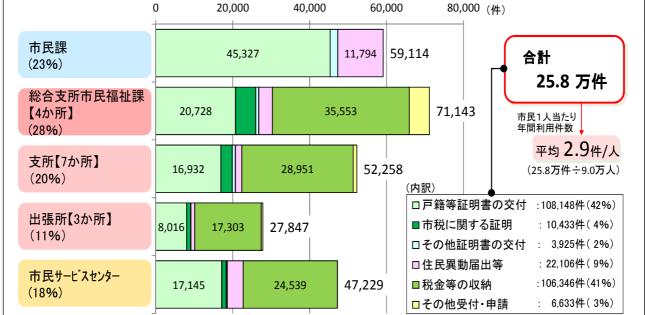
# ■ 全体利用件数

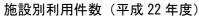
市民課のほか15施設の平成22年度の窓口総利用件数は、257,591件です。

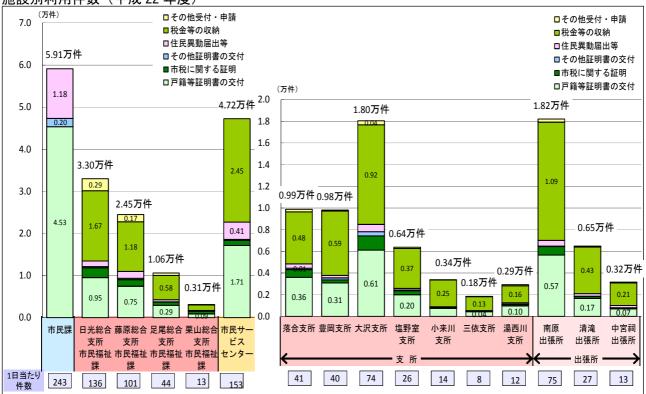
これを窓口ごとに単純に比較すると、市民課が59,114件、総合支所は3,081件~33,007件、市民サービスセンターは47,229件、支所は1,843件~18,048件、出張所は3,163件~18,205件となっています。

※市役所における税金等の収納は、収税課など他の窓口で行っているため、今回の調査対象から除いてあります。









## ■ 市民サービスセンターの利用状況

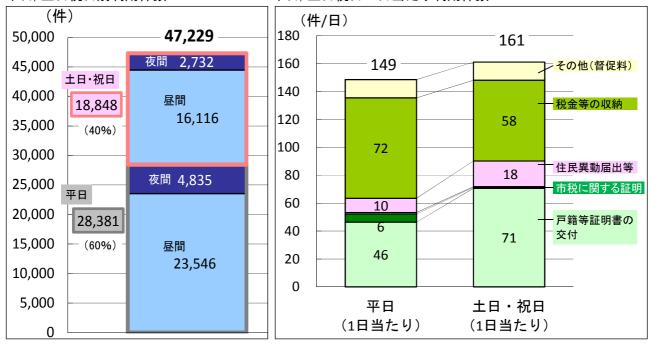
平成 22 年度の市民サービスセンターの窓口利用件数 47,229 件について、平日及び土日祝日 別に見ると、平日で28,381件(60%)、土日祝日が18,848件(40%)となっていますが、 これを 1 日当たりの利用件数で比較してみると、平日が 149 件/日、土日祝日が 161 件/日 と、1日当たりだけでは土日祝日が多いことがわかります。

また、その内訳をみると、平日が税金等の収納が48%あるのに対し、土日祝日は、戸籍等証 明書の交付が44%と最も多くなっています。

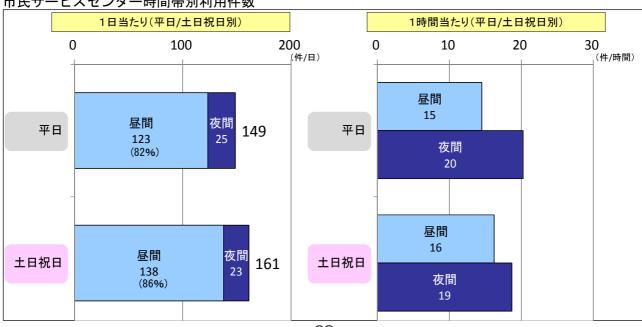
さらに、平日及び土日祝日別の昼間(10時~17時30分まで)と夜間(17時30分~19 時まで)の利用件数を比較すると、いずれも昼間の利用が1日の84%前後と大半を占めていま すが、1時間当たりの利用件数では、平日及び土日祝日ともに、夜間の利用件数が多くなってい ます。

平日/土日祝日別利用件数

平日/土日祝日1日当たり利用件数



市民サービスセンター時間帯別利用件数



## ④ 運営状況

平成22年度の市民課のほか15施設の窓口業務に携わる職員数は、82人です。その内訳は、 証明書等の発行・申請書等の受理及び異動事務から庶務事務に約67人、その他の事務に約15 人が従事しています。

### 運営人員(平成22年度)

(人)

	市民課	日光総合 支所 市民福祉 課	藤原総合 支所 市民福祉 課	支所	栗山総合 支所 市民福祉 課	落合支所	豊岡支所	大沢支所	塩野室 支所	小来川	三依支所	湯西川支所	南原出張所	清滝出張所	中宮祠出張所	市民サービ	合計
証明書等の発行・申請書等の 受理及び異動事務	8.3	2.6	1.9	1.4	1.8	1.2	0.9	1.3	1.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.3	1.2	3.2	28.7
市税等収納及び税関連事務	0.2	1.4	1.2	0.6	1.0	1.0	1.1	0.9	0.9	0.1	0.7	0.5	0.5	0.6	0.7	0.9	12.3
その他各種申請、交付業務	1.9	3.1	2.1	2.9	2.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	14.4
臨時運行許可事務	0.7	0.3	0.3		0.5	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		2.3
庶務事務(一般職員)	1.1	0.5	0.4	0.5	0.2	0.4	0.2	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.6	0.3	6.8
庶務事務(臨時職員)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
庶務事務(嘱託職員)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0
その他の事務	4.8	0.1	0.1	0.6	0.1	0.4	0.2	1.1	0.4	1.2	0.5	2.4	1.4	0.7	0.5	0.0	14.5
合計	18.0	8.0	6.0	6.0	6.0	3.0	3.0	4.0	3.0	3.0	2.0	4.0	3.0	3.0	3.0	7.0	82.0

#### 運営体制



## 3) コスト状況

# ① 庁舎等のコスト状況

### ■ 庁舎等のトータルコスト

平成22年度の庁舎等19施設にかかる維持管理費等の年間トータルコストは、3億3,519万円です。

このコストは、施設にかかる費用や減価償却相当額等、今まで見えてこなかったコストを含めたトータルコストになります。(公民館等と併設している施設については、施設全体の維持管理費を把握するため、それぞれで支出している費用の合算になります。)

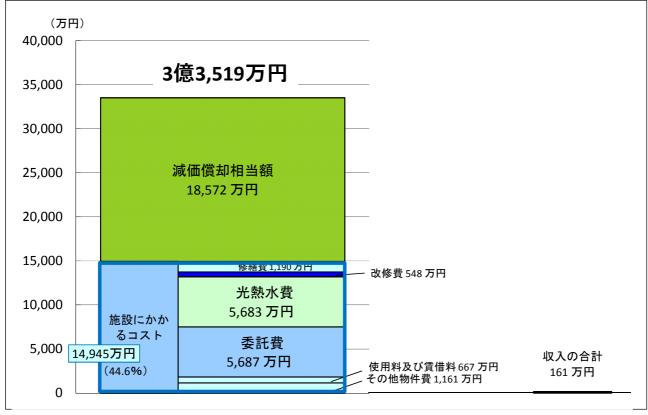
その内訳は、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は、1億4,947円(45%)、 減価償却相当額は、1億8,572万円(55%)となります。

※減価償却相当額とは、長期間にわたって使用される固定資産(白書では、建築物を対象にしている。)の 取得に要した費用を、その資産が使用できる期間にわたって配分したものになり、企業会計では、減価 償却相当額を資産の価値減少分の「コスト」として計上しています。

なお、今回の各施設で示している減価償却費相当額は、施設全体の統一を図るため、

「減価償却費相当額 = 再調達価額 ÷ 法定耐用年数」により算出しています。

施設5	別行政コス	スト計算	書(平成	22 年度	)						(	(千円)
I .現金収支 【コストの部	部】		本庁舎	第2庁舎	第3庁舎	第4庁舎	日光総合支 所	藤原総合支 所		栗山総合支 所	落合支所	豊岡支所
	8繕費		3,370		96	92	424	772	167	2,401	240	1,013
	女修費		171	3,854	0	0	0	131	0	0	1,325	0
設った。多	光熱水費		14,564	2,054	7,338	3,360	4,564	4,239	1,400	3,963	448	1,549
コに	<b>長託費</b>		14,982	3,299	6,059	3,924	4,799	3,239	871	3,788	1,537	1,330
スかし	使用料及び賃借料		0			11	2,243	342	0	407	0	0
	負担金補助及び3	を付金	13	0		0		17	0	34	0	0
るる	その他物件費		260	13	88	10	2,985	2,546	1,761	1,519	295	459
抗	色設にかかるコス	ا.	33,360	9,322	13,581	7,397	15,052	11,286	4,199	12,112	3,845	4,351
【収入の部】	]											
収入	使用料収入		1,208	0	0	168	50	100	0	85	0	0
収入の合計			1,208	0	0	168	50	100	0	85	0	0
Ⅱ.現金収支	を伴わないもの											
コスト源	或価償却相 <b>当</b> 額		36.416	5.356	21,176	12,916	0	12,312	0	16,672	6.001	6,613
Ⅲ.総括			,									-,
コストの部分	合計(トータルコ	スト)	69,776	14,678	34,757	20,313	15,052	23,598	4,199	28,784	9,846	10,964
収支差額(オ	ネットコスト)		68,568	14,678	34,757	20,145	15,002	23,498	4,199	28,699	9,846	10,964
大沢支所	塩野室支所	小来川支所	三依支所	湯西川支所	南原出張所			市民サービス センター	合計			
1	5 203	314	2,035	0	72	137	450	0	11,903	繕費		
	0 0	0	0	0		0	0	0	5,481	修費		施
5,74		610	446	1,492	470	481	2,540	373	56,833光			コスト
8,17		879	374	1,119	106	732	591	21	56,868	記賀 エバール	٠	<u></u>
	0 0	0	0		0	0	0	3,667 0		用料及び賃借料 担金補助及び交		トかか
53		34	182	142	0	271	43	0		の他物件費	CIVIE	る
14,46		1,837	3,037	2,757	648	1,621	3,624	4,061		設にかかるコス	٢	
									_			
	0 0	0				0	0	0		用料収入		収入
	0 0	0	0	0	0	0	0	0	1,611 収	!入の合計		
			T		,				A			
33,94	5,205	4,114	3,462	9,472	2,209	3,619	6,229	0	185,720	·価償却相当額		コスト
48,41	5 8,118	5,951	6,499	12,229	2,857	5,240	9,853	4,061	335,190 =	ストの部合計(	トータルコスト)	
48,41	5 8,118	5,951	6,499	12,229	2,857	5,240	9,853	4,061	333,579 43	【支差額(ネットコ	1スト)	

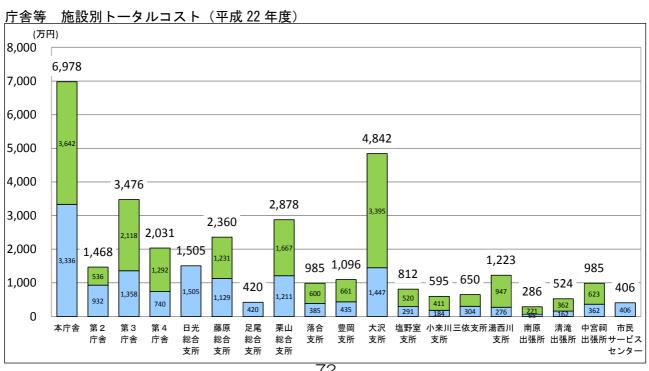


庁舎等 全施設トータルコスト (平成 22 年度)

※収入の合計については、日光市行政財産使用料条例に基づく使用料収入になります。

### ■ 施設別のトータルコスト

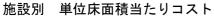
施設別トータルコストでは、本庁舎が 6,978 万円で全施設トータルコストの約 21%を占めて います。第2庁舎1,468万円、第3庁舎3,476万円、第4庁舎2,031万円となっています。 総合支所では、足尾総合支所の 420 万円~栗山総合支所の 2.878 万円、支所は、小来川支所 の 595 万円~大沢支所の 4,842 万円、出張所は、南原出張所の 286 万円~中宮祠出張所の 985 万円となっています。

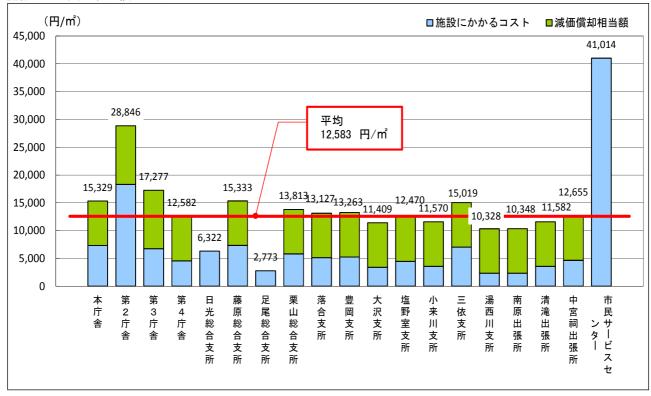


72

# ■ 床面積(m)当たりのコスト

延床面積とトータルコストから施設 1 ㎡当たりにかかる年間コストを算出すると、庁舎等19施設の平均は、12,583円/㎡です。内訳をみると、足尾総合支所の2,773円/㎡~市民サービスセンターの41,014円/㎡となっています。





# ② 窓口業務のコスト状況

18,815

24,145

16,786

33,245

23,909

# ■ 窓口業務のトータルコスト

平成22年度の窓口業務にかかる年間トータルコストは、7億1,097万円です。

全て事業運営にかかるコスト(人件費・その他物件費等)となります。

特に、事業運営にかかるコストの内訳では、一般職員・嘱託職員の人件費の合計が、6億5,846万円で全施設トータルコストの約93%を占めています。

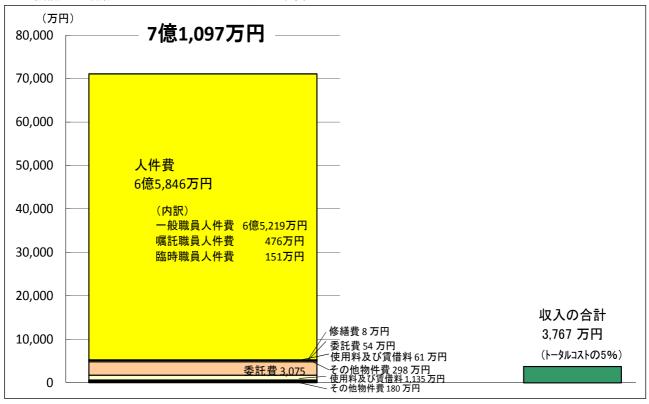
施詞	殳別	行政コ	スト	計算書(	平成 22 年	度)							(千円)
I .瑪		支を伴うも			市民課	日光総合支 所市民福祉 課	藤原総合支 所市民福祉 課				落合支所	豊岡支所	大沢支所
		一般職員			140,34	66,04	5 49,5	34 49,	534 4	9,534	24,767	24,767	33,022
	事	嘱託職員					0	0	0	0	(		
	務	臨時職員	人件費		1,51		0	0	0	0	(		0
	-	修繕費				~~~	0	0	0	77			***************************************
	庶	委託費	ッド/手 /出	: Med	39		0	0	50	101	(		0
-	125	使用料及		「木斗	61- 2,72			0	0 59	0 183	(		0
事業		その他物 事務・庶利		4	145,58					103	24.767		33,022
運		委託費	<u> </u>	1	30,63			13	0	0			
営	シ	使用料及	7、信件	· ¥:1	11,33			13	0	0			
1 12	管ス	備品購入	na a constantina a di constantina di constantina di constantina di constantina di constantina di constantina d	177	1,66	0000 T0000 T000000000 T000000000000000	0	0	o o	0			normonomonomonomonomonomonomonomonomonom
か	理テ	負担金補		で付金	4		ol .	0	ol .	0			
か		その他物		~11#	1,51			25	0	0			
る		システム		等 小計	45,18			51	0	0			0
	女	修繕費	<u> </u>	, , , <sub>11</sub>	10,10		0	0	0	0			
ス	所					0	0	0	0	0	49	0	
<b> </b>	事及	使用料及	び賃借	料		0	0	0	0	0	(	0	0
	業び費出	/世口昭二				0	0	0	0	0	(	0	0
	張			交付金	•	0	0	0	Ö	0		0	0
	所	その他物	件費			o l	0	0	0	0	96	65	88
		支所及び	出張所	事業費 小計		0	0	0	0	0	145	65	88
		事業運営	にかか	るコスト	190.77	66,05	9 49,8	85 49.	643	19,895	24,912	24,832	33,110
-C A				•,	,								
垷金	収支	を伴うコス	ト計		190,77	66,05	9 49,8	85 49,	643 4	19,895	24,912	24,832	33,110
【収.	入の部	部】											
収	入	手数料収	:入		16.67	3,59	4 2,8	01 1.	438	432	1,224	1,058	2,016
	の合				16,67				438	432	1,224		2,016
		P I			10,07	0,03	2,0	01  1,	400	702	1,22-	1,000	2,010
Ⅲ.総	括					_							
コス	トのŧ	部合計(ト	ータル	コスト)	190,77	66,05	9 49,88	49,6	643 49	9,895	24,912	24,832	33,110
収支	差額	(ネットコス	( <b>/</b> )		174,09	62,46	5 47,0	84 48,	205	9,463	23,688	23,774	31,094
塩野	室支所	近 小来川	l支所	三依支所	湯西川支所	南原出張所			市民サービス	×	合計	•	
								所	センター			THIS I 14 TH	
	24,7		16,511	16,511	33,022	24,767	24,767	24,767	49,53		652,195 一般		00100000000000000000000000000000000000
		0	2,378	0		0	0	0	2,37	3		職員人件費	事
		0	0	0		0	0	0		)		職員人件費	務
		0	0	0		0	0	0		)	77 <mark>修總</mark> 542 <mark>委計</mark>		
		0	0	0		0	0	0		) )		.貝  料及び賃借料	庶
		0	0	0		0	0	0		)	2.982 その		務 事
	24.7		18,889	16.511	33.022	24.767	24.767	24.767	51.91		662.677 事務		業
		0	0	0	0	0	0	0		)	30,746 委託		運
		0	0	0	0	0	0	0		0		料及び賃借料	ショニ
		0	0	0	0	0	0	0		0	1,664 備品	購入費	管えに
		0	0	0	0	0	0	0		)		!金補助及び交付金	理テか
		0	0	0		0	0	0		)	1,738 <mark>その</mark>		サイン サイン サイン サイン カース サイン ス
		0	0	0	-	0	0	0		0		テム管理費等 小詞	† <sup>等</sup> る
		0	0			0	0	38		)	126 修繕	費	-
		0	0	114	0	451	0	0		)	614 委託	.費	所 ト
		0	93	0		10	15	15	7	***	204 使用	料及び賃借料	———事 及
		0	0	. 0		14	0	0	~~~~~	0	14 備品	順人賞   会場はながさいへ	業び費出
		0	3	0		0	0	0	40			金補助及び交付金 	張
		77 77	94 190	221	439	186	55 70	79 132	40	_	1,800 <mark>その</mark>	<del>他物件質</del> 及び出張所事業費	小計
	0.4.0			423	439	661							
	24,8		19,079	16,934	33,461	25,428	24,837	24,899	52,38			運営にかかるコスト	
	24,8	344	19,079	16,934	33,461	25,428	24,837	24,899	52,38	3	710,976 現金	収支を伴うコスト	st e
	F	699	264	148	216	1,519	487	320	4,77	9	37,674 手数	料収入	収入
		699	264	148		1,519	487	320	4,77		37,674 収入		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
		,,,,,	204	140	210	1,519	40/	320	4,77	1	37,074		
	24,8	44 1	9,079	16,934	33,461	25,428	24,837	24,899	52,383	3	710,976 コス	トの部合計(トータ	リルコスト)

24,579

47,604

673,302 収支差額(ネットコスト)

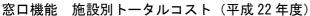
24,350

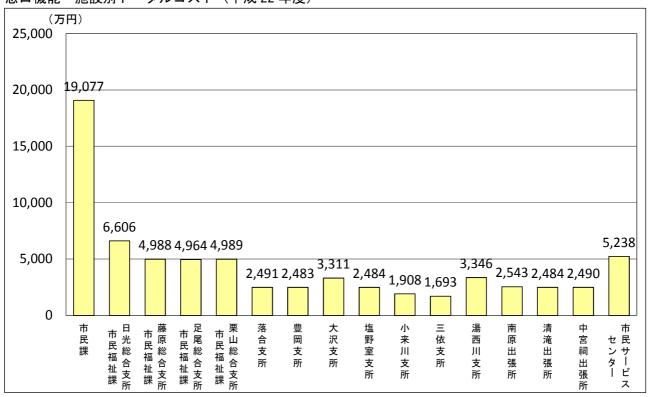


窓口機能 全施設トータルコスト (平成22年度)

### ■ 施設別のトータルコスト

施設別では、すべての施設で利用するシステム管理費含め市民課が 1 億 9,077 万円 (システム管理費を除くと 1 億 4,559 万円)、総合支所が 4,964 万円~6,606 万円、支所及び出張所が 1,693 万円~3,346 万円、市民サービスセンターが 5,238 万円となっています。



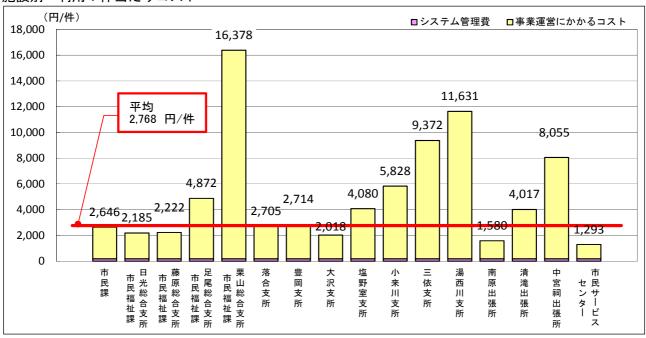


### ■ 利用1件当たりのコスト

平成22年度の年間利用件数と事業運営にかかるトータルコストから利用1件当たりにかか るコストを算出すると、全施設の平均は、2,768円/件になります。内訳は、市民サービスセン ターの 1,293 円/件~栗山総合支所の 16,378 円/件となっています。

なお、システムに関する費用は、全施設共通の費用として算出してあります。

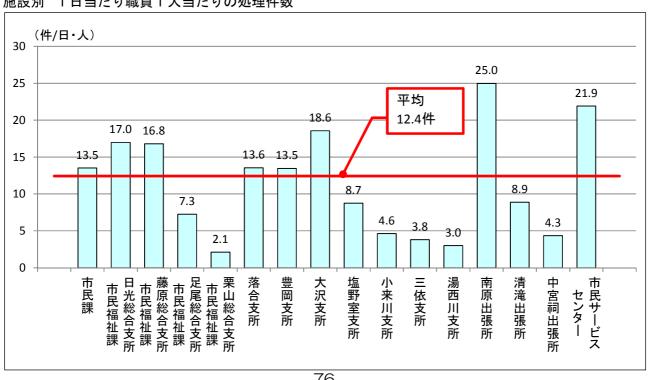
### 施設別 利用1件当たりコスト



#### ■ 職員1人当たりの処理件数

運営人員と利用件数から職員 1 人当たりの 1 日の処理件数を算出すると、全施設の平均は、 12.4 件/人になります。 内訳は、 栗山総合支所の 2.1 件/人 ~ 南原出張所の 25.0 件/人となって います。

施設別 1日当たり職員1人当たりの処理件数



## 4) 今後の検討の視点

- 建物総合評価の結果、建物の耐震性及び老朽化の面では、庁舎等 17 施設のうち、1 1 施設で耐震安全性が確保されていません。庁舎等の建物は、行政機能の中枢だけでなく、地域振興の中核となる施設であり、さらに災害時には、防災の拠点としての役割も担う重要な施設でもあります。そのため、災害対策本部である本庁舎を含めた1 1 施設について、早急な対応が必要です。
- 支所及び出張所は、公民館・コミュニティセンター等、地域利用の施設と併設していることから、施設の建替え・改修等を行う際には、利用状況や地域のニーズにあわせた、施設整備の検討をする必要があります。。
- 総合支所の建物は、旧市町村時代の庁舎をそのまま活用しているため、施設の維持管理にかかるコストが、他の施設(本庁舎を除く)より高くなっているため、コストの低減に向けた検討が必要です。
- 窓口業務については、トータルコストを低減するため、事務の効率化や業務の一部委託、 さらには職員配置のあり方について検討が必要です。

## (2) 文化会館等施設

## 1) 施設概要

## ① 施設一覧

市では、多くの市民を収容することが可能なホール機能を保有し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与することを目的として、文化会館等3施設(今市文化会館、日光総合会館、藤原総合文化会館)を保有しています。

今市文化会館及び藤原文化会館は、教育施設として公民館と併設していますが、日光総合会館は、観光部が所管する複合的かつ、観光的施設として位置づけられ、市民及び観光客向けの駐車場が併設しているとともに、複数の会議室を所有しています。

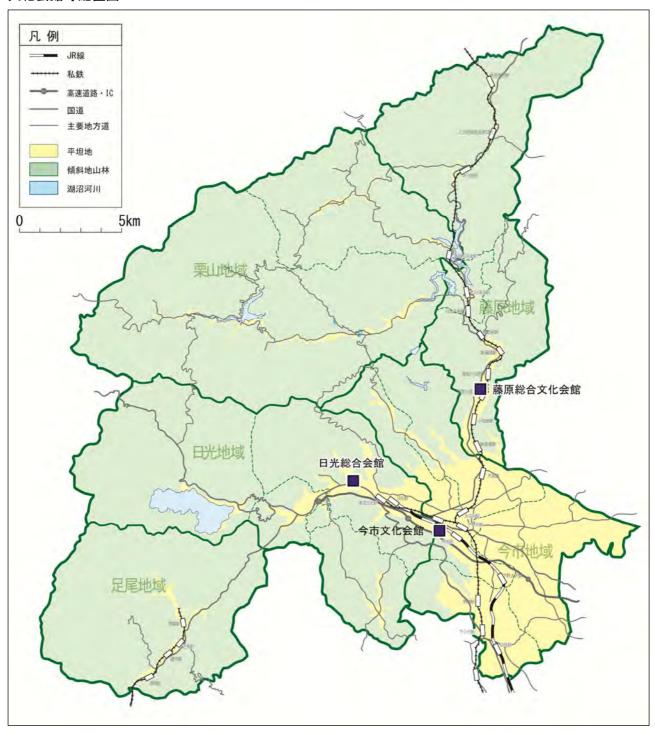
### 設置目的

今市文化会館・藤原総合文化会館:市民の福祉の増進及び文化の向上を図る。 日光総合会館:本市の観光、経済及び文化の向上並びに市民福祉の増進を図る。

### 施設一覧

名称	住所	延床面積 (m²)	建築年度 (年度)	併設施設 公民館	備考
1 今市文化会館	平ケ崎160番地	3,741.5	昭和51	•	
2 日光総合会館	安川町2番47号	5,679.2	昭和47		
3 藤原総合文化会館	鬼怒川温泉大原1404番地1	3,158.0	昭和48	•	
Í	· 計	12,578.7	_	_	

# 文化会館等配置図



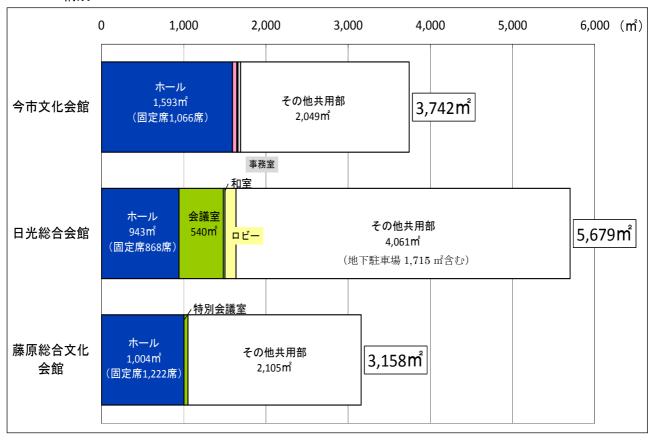
# ② スペース構成

文化会館等3施設の規模は、今市文化会館3,742 ㎡、日光総合会館5,679 ㎡、藤原総合文化会館3,158 ㎡となっています。また、各施設の主な保有スペースでは、ホール機能がメインであり、施設別にみると、今市文化会館が1,294 ㎡(舞台及び1F・2F・3F客席)で固定席1,066 席、日光総合会館が695 ㎡(舞台及び客席)で固定席868 席、藤原総合文化会館が850 ㎡(舞台及び客席)で固定席1,222 席となっています。

※今市文化会館には、併設している中央公民館及び勤労青少年ホームは含まれません。

※藤原総合文化会館には、併設している藤原公民館は含まれません。

スペース構成



## ③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度における文化会館等 3 施設の建物総合評価を行いました。

	其 7	<b>卜情報</b>	1	2		(3)	ベロマー	フリーネ	t rich		(A):	喂培女	·ικ			⑤維:	特管理		
	~~	P I H TX	耐震化	老朽化		3,	197.	, , ,	יטוו ני		④環境対応		維持管理費(千円)			床面積当たり(円/㎡)			
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築 年 数	1 車いす用エレベータ※	障がい者用トイレ	車いす用スロープ		手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
今市文化会館	昭和51	3,742	実施済み	35	×	0	0	0	0	0	×	×	×	-	-	1,430	-	-	382
日光総合会館	昭和47	5,679	未実施	39	×	×	0	×	×	×	×	×	×	ı	-	1,647	-	-	290
藤原総合文化会館	昭和48	3,158	未実施	38	×	×	×	×	×	×	×	×	×	5,047	11,964	544	1,598	3,788	172
合計		12,579												5,047	11,964	3,621	-	-	-

※1手すり・鏡・低い操作ボタン等

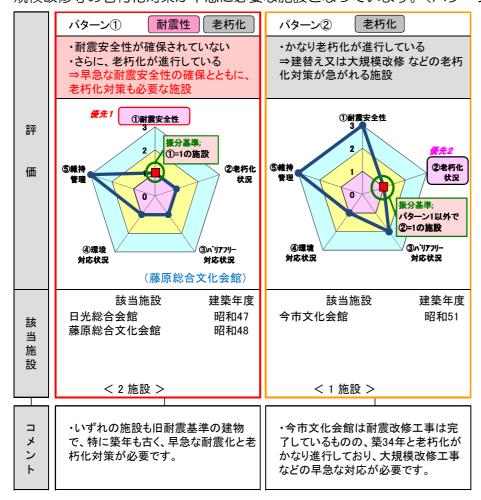
※2 節水型便器、高効率照明器具·LED照明、雨水·中水設備

	実施済み=〇
記載例	未実施 =×
	不 要 ⇒—

※維持管理費は、市が 直接支出している 費用

いずれの施設も旧耐震基準の建物ですが、日光総合会館と藤原総合文化会館は、耐震安全性が 確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

今市文化会館は、耐震安全性は確保されているものの、老朽化がかなり進行し、建替え又は大 規模改修等の老朽化対策が早急に必要な施設となっています。(パターン②)



## 2) 施設状況

## ① 開館状況

平成22年度の文化会館等3施設の開館状況は、次の表のとおりです。

開館時間·休館日

名称	開館時間	休館日
今市文化会館	午前 8 時 30 分~午後 10 時 (利用区分:午前・午後・夜間)	月曜日(※) 年末年始(12 月 29 日~1 月 3 日)
日光総合会館	午前 8 時 30 分~午後 10 時 (利用区分:午前・午後・夜間)	火曜日 年末年始(12月29日~1月3日)
藤原総合文化会館	午前 8 時 30 分~午後 10 時 (利用区分:午前・午後・夜間)	月曜日 (※) 年末年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)

<sup>※</sup>祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

## ② 利用方法

文化会館等3施設は、あらかじめ使用許可申請手続きが必要です。申込方法は、直接来館のうえ申し込みます。受付期間は、使用する日の1年前にあたる月の初日(休館日の場合は翌日)から使用する日の7日前までとなっています。なお、各施設とも原則として有料です。

### (例) 藤原総合文化会館を使用する場合の使用料

使用区分〉	·使用時間	午前	午後	夜間	全日	暖房料(1時間)	冷房料(1時 間)
施設名	定員			午後6時から 午後9時まで	午前9時から 午後10時まで	1時間当たり	1時間当たり
ホール	人	12,000	18,000	18,000	42,000	4,120	2,000
	1,222	-18,000	-27,000	-27,000	-63,000		
ステージの		3,000	5,000	5,000	12,000	4,120	2,000
み		-4,500	-7,500	-7,500	-18,000		
ロビー・ホ		1,000	1,500	1,500	3,500	300	
ワイエ		-1,500	-2,250	-2,250	-5,250		
ホワイエ		500	700	700	1,600	150	
(2階)		-750	-1,050	-1,050	-2,400		
特別会議	15	1,080	1,560	1,560	3,600	150	150

<sup>※</sup>料金の下段「一」以下の金額は、市外居住者が使用する場合の使用料となります。

## ③ 利用状況

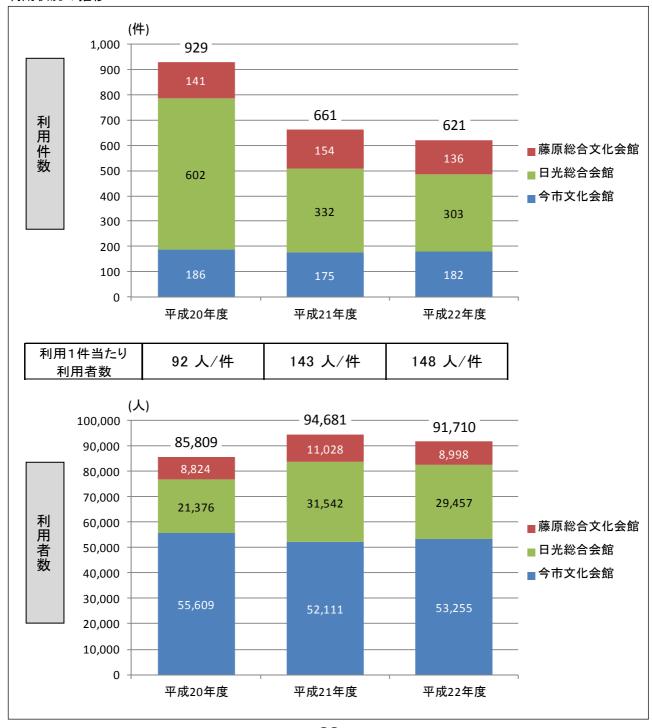
### ■ 利用状況の推移

平成 22 年度のホールや会議室などすべての利用件数及び利用者数の合計は、それぞれ、621件・91,710人です。

平成20年度との比較では、利用件数が平成20年度の929件から平成22年度の621件と268件約33%減少している。一方、利用者数は、平成20年度の85,809人から平成22年度の91,710人と7%増加していることが分かります。

そのため、利用1件当たりの利用者数は、平成20年度に比べ増加し、1.6倍となっています。

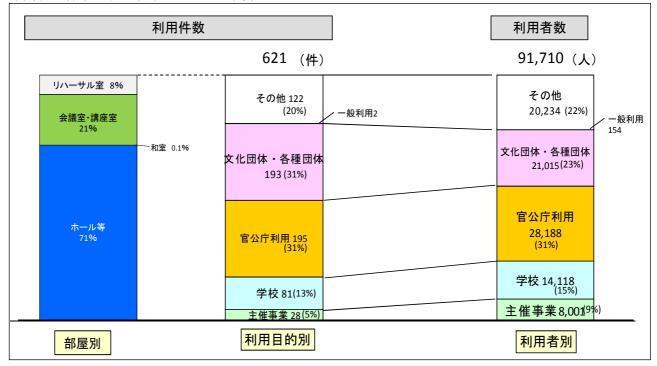
### 利用状況の推移



### ■ 目的別の利用状況

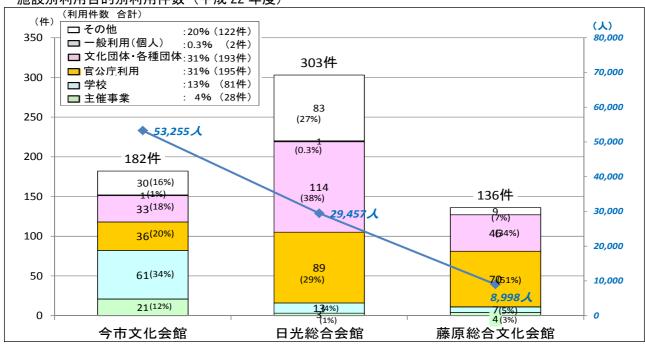
平成22年度の目的別利用状況では、利用件数別でみると、官公庁利用の195件(31%)と最も多く、次いで文化団体・各種団体が193件(31%)となっています。これを利用者別でみると、官公庁利用が28,188人(31%)、文化団体・各種団体が21,015人(23%)となっています。

年間利用件数·利用者数 (平成 22 年度)



利用状況を施設別でみると、今市文化会館では学校利用が約34%と最も多く、それ以外は官公庁利用、文化団体・各種団体、その他利用が同程度利用しています。日光総合会館では、文化団体・各種団体の利用が約38%と最も多くなっており、次に官公庁利用も約29%利用されています。藤原総合文化会館では、官公庁利用が最も多く約51%と過半の利用を占めています。

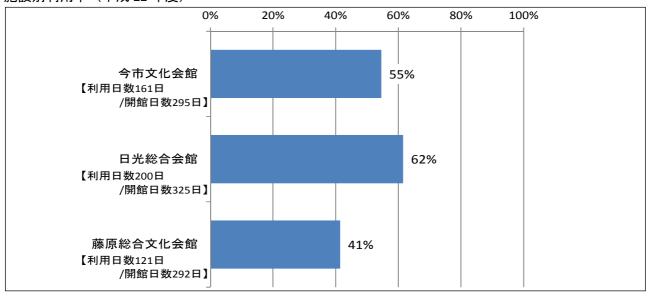
施設別利用目的別利用件数 (平成 22 年度)



### ■ 施設別の利用率

平成22年度の施設別の利用率について、施設の開館日数に対し利用した日数を「利用率」と して算出すると、今市文化会館は約55%、藤原総合文化会館は約41%、日光総合会館は約62% となっています。

### 施設別利用率 (平成 22 年度)



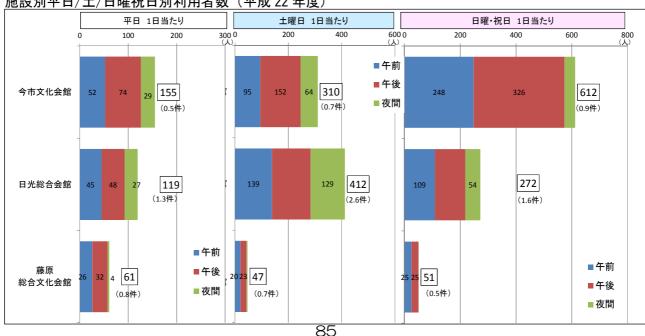
### ■ 曜日別利用状況

平成22年度の施設別の曜日別(平日/土/日祝日)の1日当たりの貸出件数は、今市文化会 館が日曜・祝日の利用が最も多く、平日の利用の約4倍となっていますが、1日当たりの利用件 数では、いずれも 1 件以下となっており、1 日 1 件利用されていない日もあることが分かりま す。

藤原総合文化会館は、日曜・祝日では2日に1件程度の利用となっています。

日光総合会館は、土曜日の利用が最も多くなっており、平日の約3.5倍、日曜・祝日の約1.5 倍の利用者があります。1日当たりの利用件数でみると、会議の利用が多いため、他の施設と異 なり、1日1件以上利用されている状況です。

施設別平日/土/日曜祝日別利用者数(平成22年度)



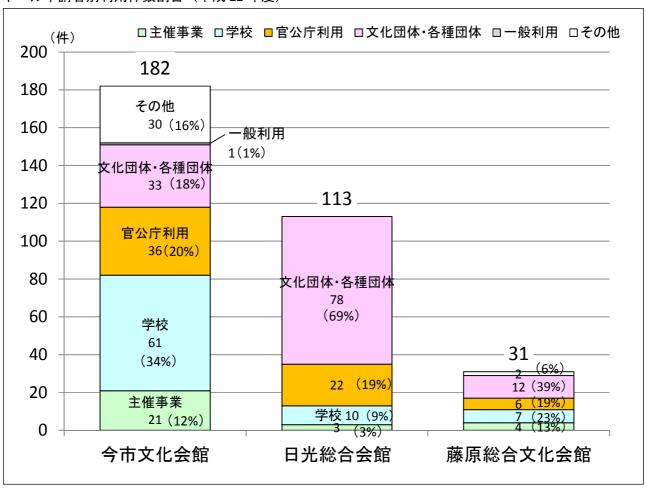
## ④ ホールの利用状況

文化会館等の保有機能のうち、ホールに着目して利用実態を把握しました。

### ■ 利用目的別利用状況

平成 22 年度のホール利用状況を利用目的別利用件数の割合でみると、今市文化会館は、学校利用が約 34%、官公庁利用が約 20%となっています。日光総合会館では、文化団体・各種団体利用が約 69%と過半を占めています。藤原総合文化会館は、文化団体・各種団体利用が約 39%となっています。

### ホール申請者別利用件数割合(平成22年度)



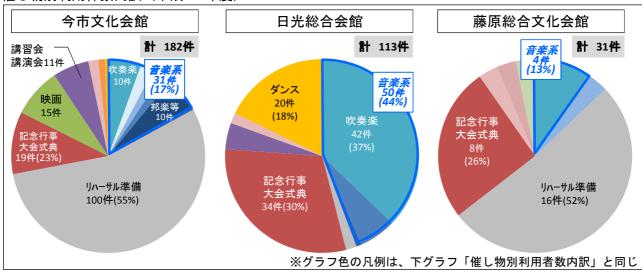
### ■ 催し物別の利用状況

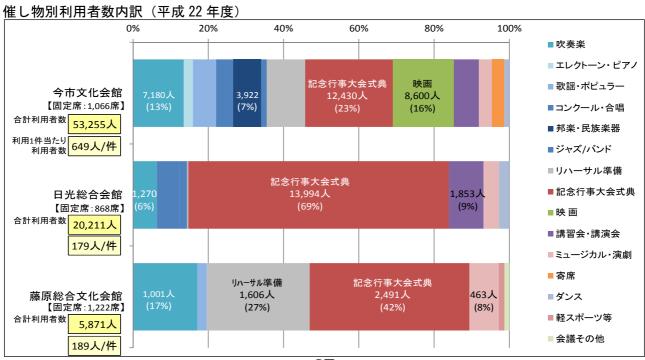
催し物別に各施設の利用件数をみると、今市文化会館では、リハーサル準備室の利用が 100件(55%)と最も多く、次に吹奏楽や邦楽コンサート等の音楽系利用が 31件(38%)、記念行事大会式典 19件(23%)となっています。今市文化会館は、近隣学校の吹奏楽の練習以外にも市の中心に位置していることから演奏会や映画会・講演会等の利用となっています。

日光総合会館では、吹奏楽や合唱等の音楽系利用が50件(44%)と最も多く、次に記念行事大会式典34件(30%)、ダンス20件(18%)となっています。利用者数の内訳では、記念行事大会式典での利用者が多くなっており、日光総合会館では約66%を占めています。そのほか、学校の吹奏楽の練習やダンス等の地域利用が多くなっています。

藤原総合文化会館では、リハーサル準備室の利用が16件(52%)と最も多く、次に記念行事大会式典8件(26%)となっています。藤原総合文化会館は、鬼怒川温泉駅前に立地していることもあり、観光協会や東武鉄道等の会社利用が多くなり、そのため、会議その他利用が4分の1を占めています。

## 催し物別利用件数内訳(平成22年度)





# ⑤ 管理運営の状況

平成22年度の文化会館等3施設の管理運営は、今市文化会館及び日光総合会館が財団法人日 光市公共施設振興公社を指定管理者として管理運営を行っており、藤原総合文化会館は、市の直 営施設となっています。

## 運営方式

	指定管理者	直営
今市文化会館	(財)日光市公共施設振興公社 (3名)	
日光総合会館	(財)日光市公共施設振興公社(3名)	_
藤原総合文化会館	_	〇 (3名)

<sup>※</sup>今市文化会館については、平成23年度から指定管理者が変更になっています。

## 3) コスト状況

# ① トータルコスト

## ■ 全体のトータルコスト

平成22年度の文化会館等の3施設の年間トータルコストは、2億8,090万円です。

その内訳は、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)が2,007万円(7%)、事業運営にかかるコスト(人件費・委託費等)が2,827万円(10%)、指定管理料が1億1,758万円(42%)、減価償却相当額が1億1,498万円(41%)となっています。

## 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

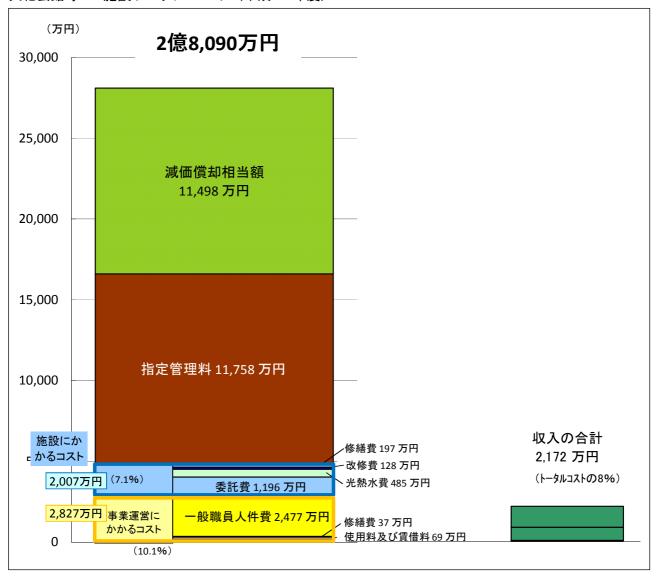
I .現金収 【コスト(	ス支を伴うもの の部】	今市文化会館	日光総合会館	藤原総合 文化会館	合計	(千円)
施	修繕費	1,430	0	544	1,974	
一設	改修費	0	1,281	0	1,281	
コにスた	光熱水費	0	0	4,850	4,850	
ربر ا	委託費	0	0	11,964	11,964	
゚ゕ	施設にかかるコスト	1,430	1,281	17,358	20,069	
	一般職員人件費	0	0	24,767	24,767	
事	修繕費	0	366	0	366	
事業運営にか	委託費	0	0	1,450	1,450	
コピ	使用料及び賃借料	0	0	686	686	
コスト	備品購入費	0	0	49	49	
トか	負担金補助及び交付金	0	0	5	5	
かる	その他物件費	0	0	951	951	
ବ	事業運営にかかるコスト	0	366	27,908	28,274	
	指定管理料	91,368	26,216	0	117,584	
現金収支	を伴うコスト 計	92,798	27,863	45,266	165,927	
【収入の	部】					
	分担金及び負担金(収入)	0	0	649	649	
収入	使用料収入	5,631	1,632	787	8,050	
	諸収入	11,557	906	556	13,019	
収入の合	計	17,188	2,538	1,992	21,718	
Ⅱ.現金収	Z支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	29,932	59,781	25,264	114,977	
	不納欠損額	0	0	0	0	
収入	収入未済額等	0	0	0	0	

### Ⅲ.総括

コストの部合計(トータルコスト)	122,730	87,644	70,530	280,904
収支差額(ネットコスト)	105,542	85,106	68,538	259,186

※今市文化会館の指定管理料には、併設する中央公民館にかかる光熱水費が含まれています。

# 文化会館等 3施設トータルコスト (平成22年度)



## ■ 施設別のトータルコスト

文化会館等3施設の施設別トータルコストは、今市文化会館が1億2,273万円、日光総合会館が8,764万円、藤原総合文化会館が7,053万円です。

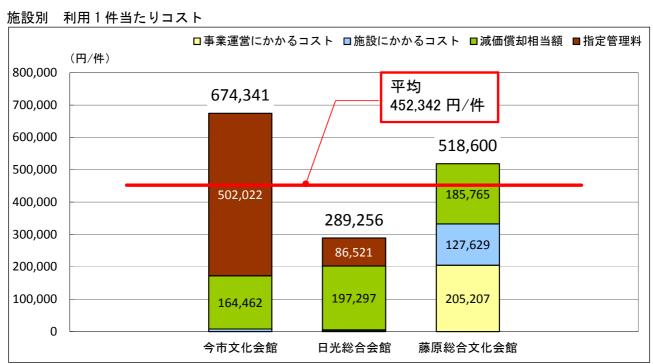
(万円) 14,000 一 □事業運営にかかるコスト□施設にかかるコスト■指定管理料□減価償却相当額 12,273 12,000 2,993 10,000 8,764 8.000 7,053 6,000 2,526 5,978 9,137 4,000 1,736 2,000 2,622 2,791 0 今市文化会館 日光総合会館 藤原総合文化会館

文化会館等 施設別トータルコスト (平成 22 年度)

## ② 利用者当たりのコストと床面積当たりのコスト

#### ■ 利用1件当たりのコスト

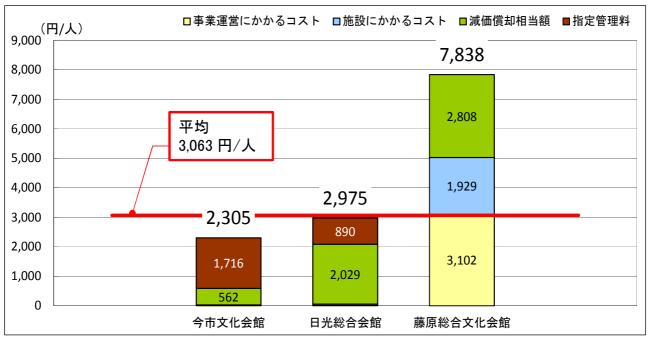
平成22年度の年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、文化会館等の平均は452,342円/件となり、施設別でみると、今市文化会館は674,341円/件、日光総合会館は289,256円/件、藤原総合文化会館は518,600円/件となっています。



### ■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、文化会館 等の平均は3,063円/人となり、施設別でみると、今市文化会館は2,305円/人、日光総合会館 は 2,975 円/人、藤原総合文化会館は 7,838 円/人となっています。

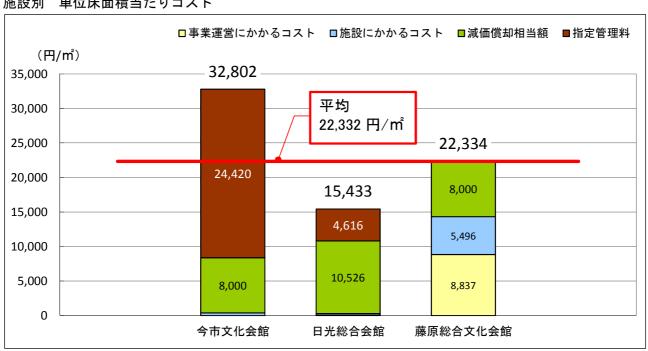
施設別 利用者1人当たりコスト



### ■ 床面積(1m²)当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、文化会館等の 平均は22,332円/㎡となり、施設別でみると、今市文化会館は32,802円/㎡、日光総合会館 は 15,433 円/㎡、藤原総合文化会館は 22,334 円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



## 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、文化会館等3施設のうち、日光総合会館及び藤原総合文化会館の2施設は耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要です。また、今市文化会館も耐震安全性確保は完了しているものの、築後34年が経過し老朽化が進行しているため大規模改修等を検討する必要があります。
- 施設別の利用件数及び利用率をみると、今市文化会館が 182 件 55%、日光総合会館 303 件 62%、藤原総合文化会館 136 件 41%と比較的高くなっています。ただし、ホールの利用状況だけをみると、今市文化会館が 182 件と変わらないものの、日光総合会館が 113 件、藤原総合文化会館が 57 件とホールの利用件数が施設別の利用件数の半数にも満たない状況です。文化会館等3施設は、ホールの占める面積が大きく、維持するためのコストが高いことから、施設間の連携を図り、ホールの利用率を高めるための工夫が必要です。
- 現在、3 施設中 2 施設が公民館と併設施設になっていることから、建物全体の維持管理や 運営を含め、効果的・効率的な施設のあり方を検討する必要があります。

## (3)美術館等施設

## 1) 施設概要

## ① 施設一覧

市では、市民文化の振興発展に寄与することを目的として、歴史民俗資料館、杉並木公園ギャラリー、小杉放菴記念日光美術館の美術館等3施設を保有しています。

歴史民俗資料館は、市内に残る歴史民俗や自然科学に関する資料を収集・保存し、活用を図って市民の歴史や生活文化に関する知識と理解を手助けすることを目的とした施設です。

杉並木公園ギャラリーは、市民の文化活動の成果を展示・発表し、交流するための市民ギャラリーです。

小杉放菴記念日光美術館は、日光で唯一の「市立」美術館として、日光市出身の画家小杉放菴の画業を紹介するとともに、画家を育んだ近代日光における様々な文化的事象について、考察することを目標としています。

#### 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	備考
1 歴史民俗資料館	中央町29番地1	720.5	昭和57	今市図書館と併設
2 杉並木公園ギャラリー	今市533番地5	233.4	平成7	東武上今市駅と併設
3 小杉放菴記念日光美術館	山内2388番地3	1,825.0	平成9	
合計	_	2,778.9	_	_

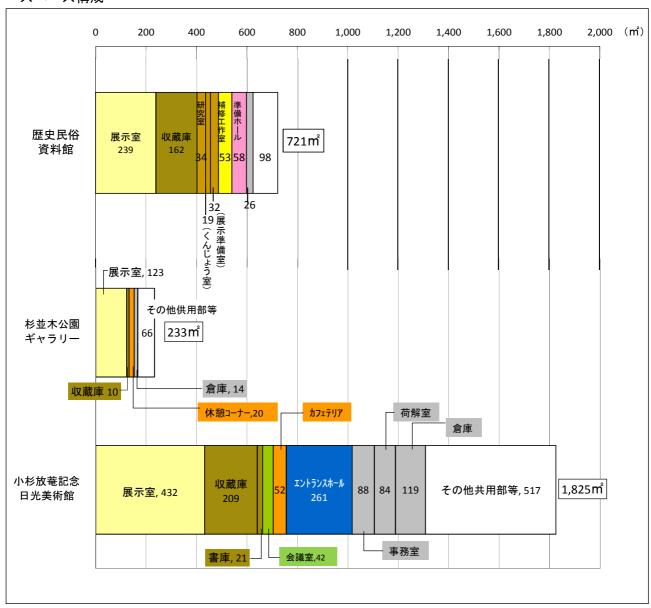
# 美術館等配置図



# ② スペース構成

美術館等 3 施設の規模は、歴史民俗資料館 721 ㎡、杉並木公園ギャラリー233 ㎡、小杉放菴記念日光美術館 1,825 ㎡となっています。

スペース構成



## ③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度における美術館等 3 施設の建物総合評価を行いました。

※歴史民俗資料館の光熱水費については、今市図書館が一体となっていることから、把握することが難しい。

	# + 4 + t								_			⑤維持管理							
	基本情報			老朽化	③バリアフリー対応			④環境対応		維持管理費(千円)		床面積当たり(円/㎡)							
施設名	建築年度	( 3。) 雙甲 半前	耐震改修	築年数	車いす用エレベータ※	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※ 2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
歴史民俗資料館	昭和57	721	-	29	-	×	0	0	×	0	×	×	×	-	4,900	1,594	-	<del>6,</del> 801	2 <del>,2</del> 12
杉並木公園ギャラリー	平成7	233	-	16	-	0	-	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
小杉放菴記念日光美術館	平成9	1,825	-	14	0	0	0	0	0	×	×	×	×	1	-	2,478	1	-	1,358
合計		2,779												-	4,900	4,072	- 0	-	-

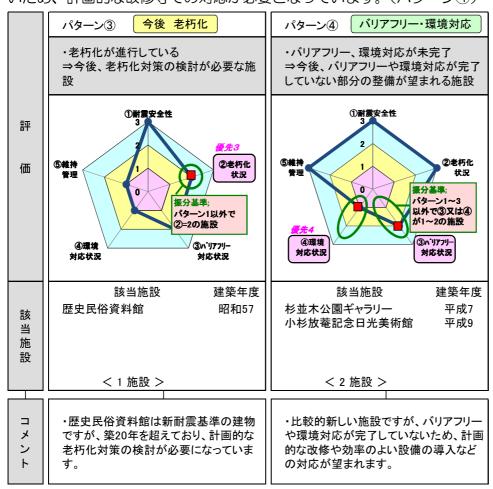
※1手すり・鏡・低い操作ボタン等

※2 節水型便器、高効率照明器具·LED照明、雨水·中水設備

実施済み÷ ○ 記載例 <u>未実施 = ×</u> 不 要 ⇒ — ※維持管理費は、市が直 接支出している費用

美術館等3施設のうち、歴史民俗資料館は、新耐震基準の建物ですが、老朽化がかなり進行しており、大規模改修等の老朽化対策が早急に必要な施設となっています。(パターン③)

その他2施設は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応や環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



97

## 2) 施設状況

### ① 開館状況

平成22年度の美術館等3施設の開館日数及び開館時間は、次のとおりです。

### 開館時間・休館日

名称	開館時間	開館 日数	休館日		
歴史民俗資料館	午前9時~午後6時	262 日	月曜日(月曜日が祝日にあたる場合は翌日も休館)、国民の祝日、年末年始(12月29日~1月3日)、展示替期間中		
杉並木公園ギャラリー	午前 10 時~午後 6 時	359 日	年末年始(12月29日~1月3日) 利用がない場合は、臨時休館する場合あり		
小杉放菴記念日光美術館	午前9時30分~午後5時 (入館は午後4時30分)	283 日	月曜日(※)、展示替期間中、館内メン テナンス期間中は休館		

<sup>※</sup>祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

## ② 利用方法(入館料等)

各施設の利用方法(入館料等)は、次のおとおりです。

#### ■歴史民俗資料館

入館料:無料

### ■杉並木公園ギャラリー

利用申込:利用希望日の6か月前にあたる月の初日から利用希望日の5日前までに窓口

へ利用申込書を提出

使用料金:利用料1日1,010円(予約時支払い)

※販売を目的にする場合や入場料を徴収する場合には上記使用料に1日7,000円

を加算

### ■小杉放菴記念日光美術館

入場料:日光市民(一般 300 円、大学生・高校生 200 円、中学生以下無料) 市民以外(一般 700 円、大学生・高校生 500 円、中学生以下無料)

(平成23年度以降)

入場料:日光市民(一般 300 円、大学生 200 円、高校生以下無料)

市民以外(一般700円、大学生500円、高校生以下無料)

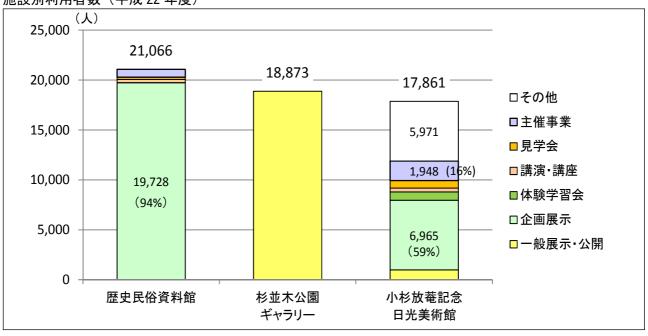
# ③ 利用状況

### ■ 利用者数

平成 22 年度の美術館等 3 施設の利用者数は、歴史民俗資料館が 21,066 人、杉並木公園ギャ ラリーが 18,873 人、小杉放菴記念日光美術館が 17,861 人となっています。

小杉放菴記念日光美術館や歴史民俗資料館では、企画展示の利用者が多くなっています。

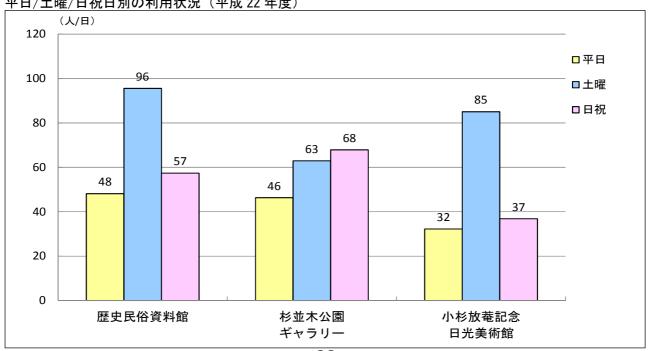
### 施設別利用者数 (平成 22 年度)



#### ■ 曜日別利用状況

平成22年度の美術館等3施設別の曜日別(平日/土/日祝日)の1日当たりの平均利用者数は、 歴史民俗資料館は、土曜日の利用者が平日・日祝日の約1.8倍、杉並木公園ギャラリーは、土曜・ 日祝日の利用者が平日の約1.4倍、小杉放菴記念日光美術館は、土曜日の利用者が平日・日祝日 の約2.5倍となっています。

平日/土曜/日祝日別の利用状況 (平成 22 年度)

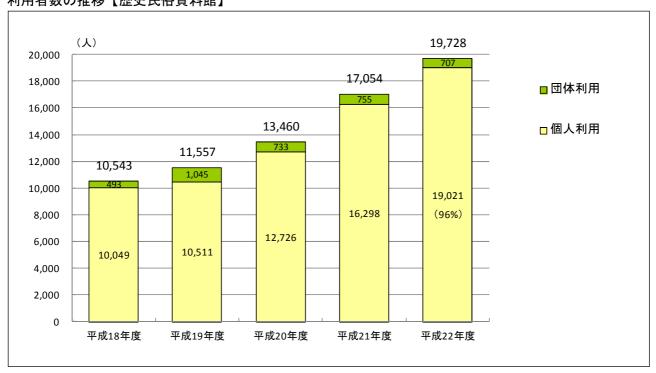


## ④ 施設別の利用状況

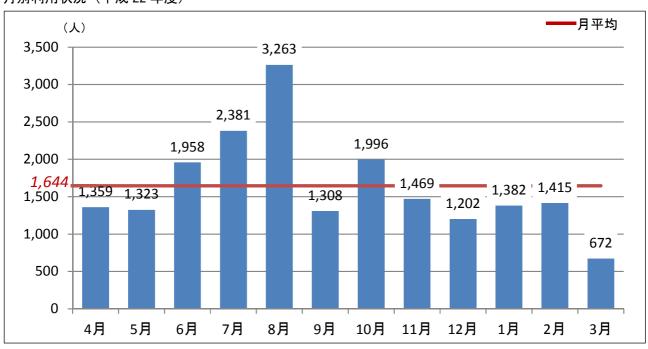
# ■ 歴史民俗資料館

歴史民俗資料館は、平成 18 年度の 10,543 人から平成 22 年度の 19,728 人と、約 1.9 倍 に増加していることが分かります。また、平成 22 年度の利用者割合では、個人利用の割合が全体の約 96%を占めています。

平成22年度の月別利用者数では、672人~3,263人と月により差がみられますが、夏休み期間中(8月)の利用が特に多くなっています。ひと月当たり平均では、1,644人となります。利用者数の推移【歴史民俗資料館】



### 月別利用状況 (平成 22 年度)



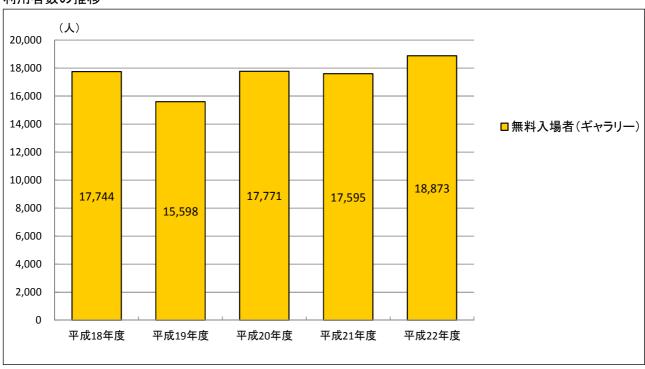
(資料:平成22年度生涯学習事業実績報告書)

## ■ 杉並木公園ギャラリー

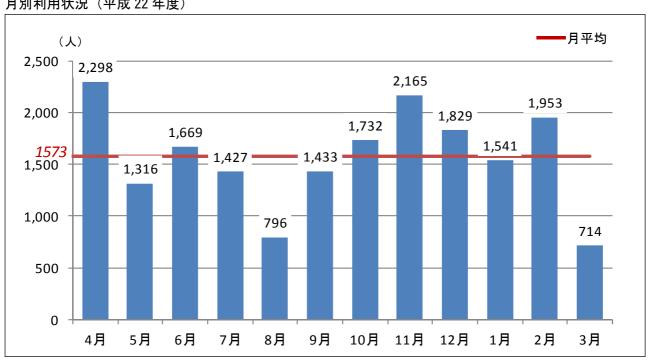
杉並木公園ギャラリーは、平成 18 年度の 17,744 人から平成 22 年度の 18,873 人まで、 ほぼ横ばいで推移しています。

また、平成22年度の月別利用者数では、714人~2,298人と月により差がみられます。ひ と月当たり平均では、1,573人となります。

#### 利用者数の推移

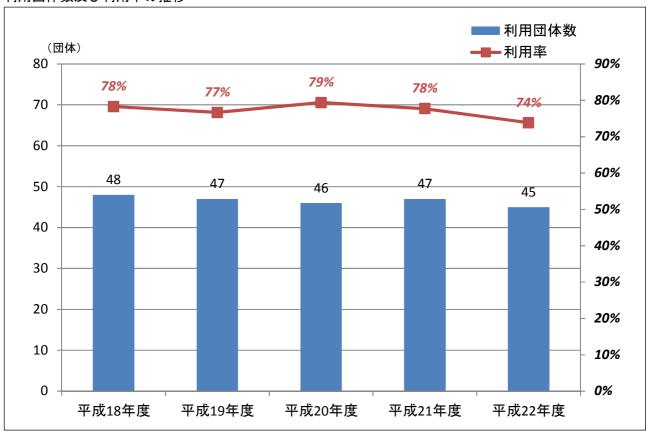


### 月別利用状況 (平成 22 年度)



また、利用団体数及び利用率をみると、利用団体数は、平成 18 年度の 48 団体から平成 22 年度の 45 団体、利用率は、平成 18 年度の約 78%から平成 22 年度の約 74%まで、ほぼ横ばいで推移しています。

## 利用団体数及び利用率の推移



(資料:平成22年度指定管理事業報告書)

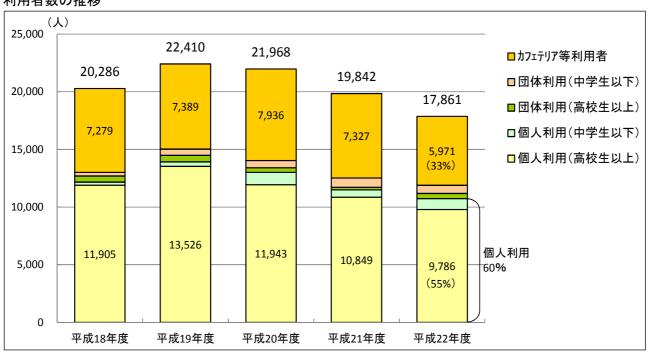
※利用率=利用日数/開館日数

### ■ 小杉放菴記念日光美術館

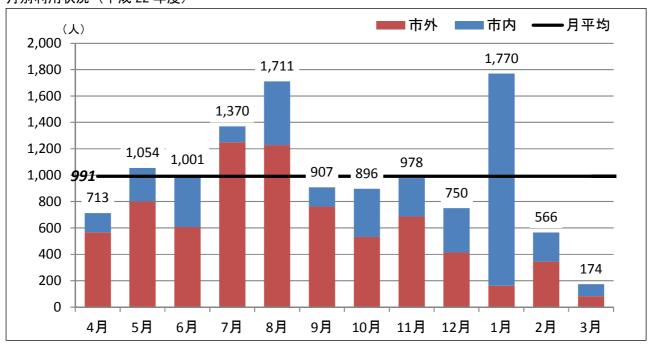
小杉放菴記念日光美術館は、平成 19 年度の 22,410 人から平成 22 年度の 17,861 人と、約 20%減少していることが分かります。また、平成 22 年度の利用者割合では、個人利用の割合が約 60%と過半を占めており、カフェテリア等の無料施設の利用者が約 33%、団体利用者は約 7%となっています。

また、平成22年度の月別利用者数では、566人~1,770人と月により差がみられます。年間を通して市外の利用者が、6割程度と多く、1月は毎年3ヶ日特別開館を実施しているため市内の利用が多くなっています。(3月は東日本大震災の影響で12日以降臨時休館)

#### 利用者数の推移



### 月別利用状況 (平成 22 年度)



(資料:平成22年度指定管理事業報告書)

## ⑤ 管理運営の状況

平成 22 年度の美術館等3施設の管理運営は、杉並木公園ギャラリーと小杉放菴記念日光美術館は指定管理者による管理運営を行っており、歴史民俗資料館は直営施設となっています。

施設別の運営人員は、杉並木公園ギャラリーは受付・貸出等管理業務に2人、小杉放菴記念日 光美術館は管理運営や事務・庶務、ショップ・カフェの運営補助等に学芸員も含めて12人、歴 史民俗資料館は施設の維持管理や収集・保存活動に一般職員が3人従事しています。

### 運営方式

名称	指定管理者	直営		
歴史民俗資料館	_	0		
杉並木公園ギャラリー	(財)日光市公共施設振興公社	_		
小杉放菴記念日光美術館	(財) 小杉放菴記念日光美術館	_		

### 運営人員(平成22年度)

				歴史民俗資料館	杉並木公園 ギャラリー	小杉放菴記念 日光美術館	(人)		
•施設維持管理		市	一般職員	3.0	ı	ı			
·主催事業の企i	画•開催	指定管理	一般職員	-	1.0	3.0			
・施設の利用に	関する受付・案内		管	管	一般職員(学芸員)	_	0.0	3.0	
			臨時職員	_	1.0	6.0			
			計	3.0	2.0	12.0			

### 運営体制 (平成 22 年度)

	9:00	18:00
歴史民俗資料館 運営体制 1日当たり 3人	一般職員 3人	
	10:00	18:00
杉並木公園ギャラリー 運営体制 1日当たり 2人	指定管理職員 2人	
	9:30	17:00
小杉放菴記念日光美術館 運営体制 1日当たり 12人	指定管理職員 12人	

## 3) コスト状況

## ① 施設別のトータルコスト

平成22年度の美術館等3施設の施設別トータルコストは、次のとおりです。

歴史民俗資料館の年間トータルコストは、4,322万円です。内訳は、施設にかかるコストが694万円(16%)、事業運営にかかるコストが3,052万円(71%)、減価償却相当額が576万円となっています。特に人件費が全体の57%を占めています。

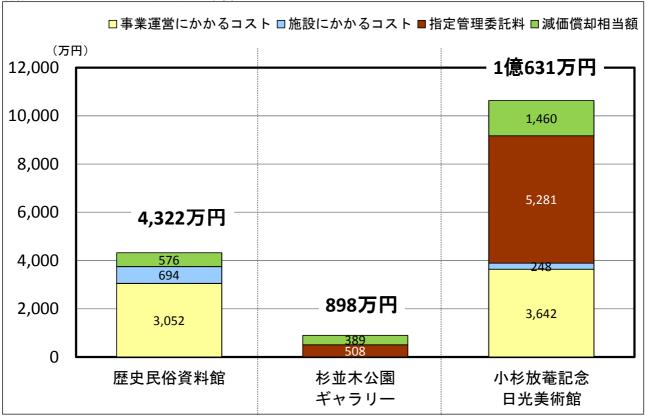
杉並木公園ギャラリーの年間トータルコストは、898万円です。内訳は、指定管理料が508万円(57%)、減価償却相当額が389万円となっています。

小杉放菴記念日光美術館の年間トータルコストは、1億631万円です。内訳は、指定管理料が5,281万円(50%)、施設にかかるコストが248万円(2%)、事業運営にかかるコストが3,642万円(34%)、減価償却相当額が1,460万円となっています。

## 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

		支を伴うもの D部】	歴史民俗資料館	杉並木公園ギャラリー	小杉放菴記念日 光美術館	(千円)
	施	修繕費	1,594	0	2,478	
l ⊐ _	設	改修費	446	0	0	
スる		委託費	4,900	0	0	
٢	か <u>か</u>	施設にかかるコスト	6,940	0	2,478	
	事	一般職員人件費	24,767	0	16,511	
	務	委託費	481	0	0	
事	120	使用料及び賃借料	842	0	0	
業	庶	備品購入費	129	0	0	
業運営	務	負担金補助及び交付金	37	0	9,366	
営		その他物件費	772	11	516	
1=		事務・庶務 小計	27,028	11	26,393	
か	保   存	委託費	875	0	460	
か	华.	使用料及び賃借料	32	0	0	
る		備品購入費	791	0	9,570	
	集	その他物件費	1,288	0	0	
ス	A.T.	保存・収集等 小計	2,986	0	10,030	
<b> </b>	企画	その他物件費	505	0	0	
		企画展示事業 小計	505	0	0	
		事業運営にかかるコスト	30,519	11	36,423	
		指定管理料	0	5,077	52,811	
現金	収支	を伴うコスト 計	37,459	5,088	91,712	
【収】	入の記	部】				
収.	7	使用料収入	0	286	0	
12.	<u> </u>	諸収入	111	0	0	
収入	の合	計	111	286	0	
Ⅱ.現	!金収	支を伴わないもの				
コフ	スト	減価償却相当額	5,764	3,890	14,600	
Ⅲ.総	括					
コス	トのi	部合計(トータルコスト)	43,223	8,978	106,312	
収支	差額	(ネットコスト)	43,112	8,692	106,312	



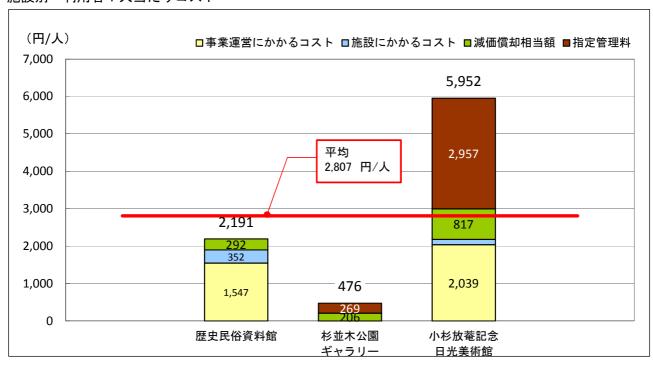


## ② 利用者当たりのコストと床面積当たりのコスト

## ■ 利用者1人当たりのコスト

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、歴史民俗資料館が2,191円/人、杉並木公園ギャラリーが476円/人、小杉放菴記念日光美術館が5,952円/人となっています。

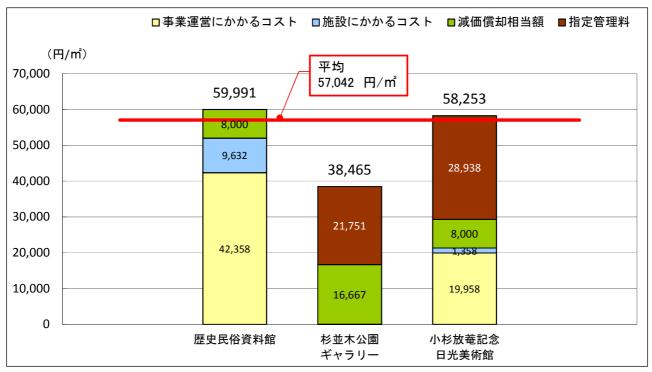
施設別 利用者1人当たりコスト



## ■ 床面積(1㎡)当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、歴史民俗資料館が59,991 円/㎡、杉並木公園ギャラリーが38,465 円/㎡、小杉放菴記念日光美術館が58,253 円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



#### 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、美術館等3施設のうち、歴史民俗資料館は新耐震基準の 建物ですが、築後30年近く経過しており、今後、大規模改修等を検討する必要がありま す。
- 歴史民俗資料館は、郷土の歴史、民俗等の資料を保護活用する施設として、直近5年間では特に個人の来館者が約2倍増加していますが、管理経費の6割近くを人件費が占めていることから、効果的な事業運営を進めていく必要があります。
- 杉並木公園ギャラリーの利用率は7割を超え、利用者数の推移は、ほぼ横ばいの状態です。 今後、入場者が利用しやすいよう、バリアフリー化などに特に力を入れる必要があります。
- 小杉放菴記念日光美術館は、個人利用が約60%、団体利用が約7%となっています。また、土曜日の来館者数が平日の約2.6 倍と多くなっていますが、日曜・祝日の来館者数は平日と同程度です。利用者1人当たりのコストも高くなっていることから、管理経費の削減に加え、企画展等の工夫等により日曜・祝日の来館者数と、秋以降の来館者数の増加に努めていく必要があります。

#### (4)産業系施設

#### 1) 施設概要

## ① 施設一覧

市では、農林業の振興や地域間の交流などを図るため、今市地域に農村環境改善センター、日 光地域に小来川林業研修センターとふれあいの郷小来川、栗山地域に日蔭農村広場・湯西川農村 広場・湯西川農産物処理加工実習施設・栗山林業振興会館と産業系施設を7施設保有しています。

なお、農村環境改善センターが、主に市内全域を対象とした広域利用を目的としているのに対し、その他の施設は、地域限定利用施設となっています。

また、小来川林業研修センターでは、施設の一部を用途変更し、たんぽぽ広場(子育て支援施設)としても利用しています。

#### (設置目的)

<農村環境改善センター>

設置目的:農業の振興、農村社会の活性化及び農村地域住民の健康増進と連帯感の醸成を 図る。

<小来川林業研修センター>

設置目的:木材の有効利用の試験研究と、地域住民の連帯意識の醸成を図る。

<日蔭・湯西川農村広場>

設置目的:地域住民と都市住民との交流を推進し、農業の普及振興と活力ある地域社会の 形成を図る。

<湯西川農産物処理加工実習施設>

設置目的:農村と都市住民の相互理解を深めるとともに、農業の重要性及び農村の役割を 学び都市と農村の交流の場を提供し、地域における農林業の振興と、地域の活 性化を図る。

<栗山林業振興会館>

設置目的: 林業経営の基盤及び技術の開発普及並びに所得の向上を図るため、森林の総合 的利用を推進し、地域林業の振興と農林家の定住促進を図る。

<ふれあいの郷小来川>

設置目的:農村と都市の交流を基に地域の活性化を推進することを図る。

(資料:日光市条例)

#### 施設一覧

名称	住所	延床面積 (m³)	建築年度 (年度)	併設施設	備考
1 農村環境改善センター	大室991番地	1, 357. 9	昭和55	<u> </u>	
2 小来川林業研修センター	中小来川2667番地1	274. 0	平成3		H23年度より一部、 たんぽぽ広場として利用。
3 日蔭農村広場	日蔭25番地1	132. 0	平成17		農産物生産施設 (ビニールハウス25棟)は除く
4 湯西川農村広場	湯西川1540番地	165. 0	平成20		農産物生産施設 (ビニールハウス25棟)は除く
5 湯西川農産物処理加工実習施設	湯西川1156番地	142. 0	昭和60		
6 栗山林業振興会館	日向1459番地	219. 0	平成7		
7 ふれあいの郷小来川	中小来川2735番地2	251. 1	平成16		
合計	-	2, 541. 0	ı	ı	-

# 産業系施設配置図

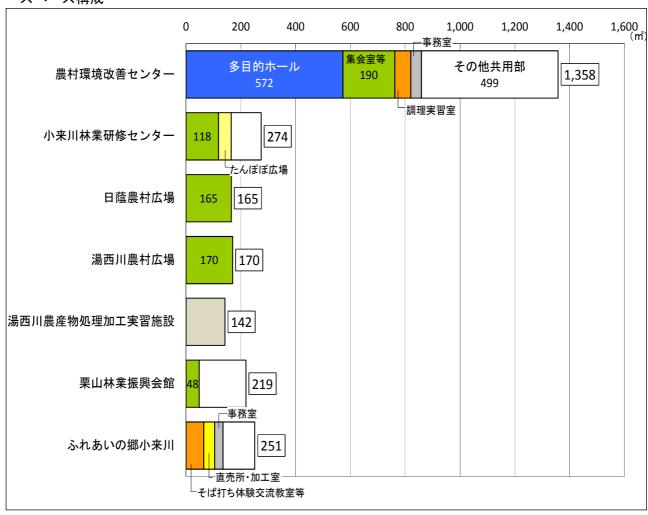


## ② スペース構成

産業系7施設の規模は、湯西川農産物処理加工実習施設の142㎡~農村環境改善センターの1,358㎡となっています。主な保有スペースは、会議・集会機能としての多目的ホール・集会室・会議室・和室、調理室等です。

また、農村環境改善センターは、572 ㎡の多目的ホールといったホール機能と多目的広場を保有しています。その他に、日蔭・湯西川農村広場には、農産物生産施設としてビニールハウス25棟(日蔭3,890 ㎡、湯西川3,490 ㎡)を保有しています。

スペース構成



## ③ 建物総合評価の結果

平成22年度における産業系7施設の建物総合評価を行いました。

	基本	/李·42	1	2		<b>②</b>	ベリアフ	7115	+ r>		<b>(A)</b> :	環境対	+12						
	至平	I FI FIX	耐震化	老朽化		3,	1.77.	, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	יטיו ני		<b></b>	绿况入	טייונ	維持管	<b>管理費(</b>	千円)	床面積	当たり(	円/㎡)
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	※1 車いす用エレベータ		車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	熱水	物管理委託	規模修繕	熱水	物管理委託	小規模修繕費
農村環境改善センター	昭和55	1, 358	未実施	31	×	0	0	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
小来川林業研修センター	平成3	274	-	20	×	×	0	×	×	×	×	×	×	-	200	185	-	730	675
日蔭農村広場	平成17	132	1	6	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
湯西川農村広場	平成20	165	-	3	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
湯西川農産物処理加工実習施設	昭和60	142	-	26	-	×	×	×	×	×	×	×	×	296	84	740	2,087	592	5,213
栗山林業振興会館	平成7	219	1	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
ふれあいの郷小来川	平成16	251	1	7	1	0	-	×	0	×	×	0	×	-	432	-	1	1,721	-
合計		2,541												296	716	925	-17	-	-

※1手すり・鏡・低い操作ボタン等

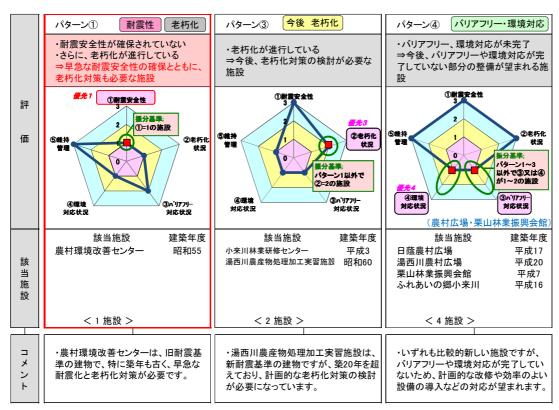
※2 節水型便器、高効率照明器具·LED照明、雨水·中水設備

<u>実施済み-〇</u> 記載例 <u>未実施 = ×</u> 不 要 ⇒— ※維持管理費は、市が直 接支出している費用

産業系7施設のうち、農村環境改善センターは、旧耐震基準の建物であり、耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

湯西川農産物処理加工実習施設及び小来川林業研修センターは、新耐震基準の建物ですが、築20年を超えていることから、今後、老朽化対策の検討が必要となっています。(パターン③)

日蔭農村広場をはじめ4施設は、新しい施設ですが、一部バリアフリー対応及び環境対応が完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



# 2) 施設状況

# ① 開館状況

産業系7施設は、それぞれ運営形態が異なり、運営時間や施設の使用料等は、次のとおりとなっています。

なお、栗山林業振興会館は、現在貸出は行っていません。

# 運営時間等

名 称	開館時間 施設名	休館日 料金
農村環境改善センター	午前 8 時 30 分~午後 9 時 30 分 (利用区分:日中・夜間)	月曜日(※) 年末年始(12月29日~1月3日)
辰刊環境以番センダー	多目的ホール、会議室、和室、調 理室、多目的広場	無料(市内の農業従事者及び農村地域 在住者)
小来川林業研修センター	午前9時~午後9時 (利用区分:午前・午後・夜間)	月曜日(※) 年末年始(12月29日~1月3日)
小木川柳末明թピング	会議・集会施設	無料
日蔭・湯西川農村広場	特に定めていない	特に定めていない
口陰・杨四川辰刊広场	農産物施設、集会施設(ふれあい館)	農産物施設 1日:2,000円、 ふれあい館 1日:500円
湯西川農産物処理加工実	午前9時~午後5時	特に定めていない
習施設	農産物処理加工実習	1人(1時間): 200円
栗山林業振興会館	午前9時~午後9時	土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12 月 29 日~1 月 3 日)
未山怀未派英云路	会議室、和室	会議室、和室:500円(12月1日から 翌年3月31日までは、600円)
ふれあいの郷小来川	午前 8 時 30 分~午後 5 時	特に定めていない
シャルの いり 海小木川	交流館(交流室・直売所)、市民 農園	交流館(交流室・直売所): 無料 市民農園:1区画(1年)10,000円

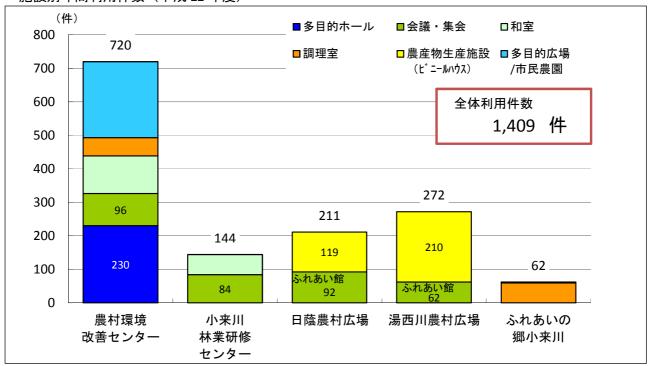
<sup>----</sup>※祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

#### ② 利用状況

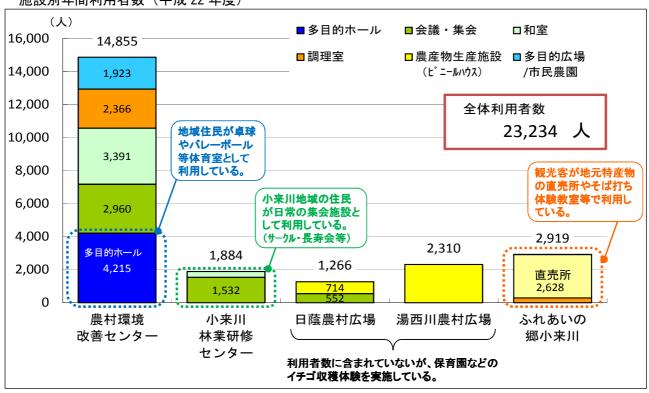
平成 22 年度の産業系 5 施設の全体利用件数は、1,409 件、利用者数は 23,234 人です。 施設別の利用件数は、ふれあいの郷小来川の 62 件から農村環境改善センターの 720 件となっています。また、施設別の利用者数は、日蔭農村広場の 1,266 人から農村環境改善センターの 14,855 人となっています。農村環境改善センターは、多目的ホールを体育室として卓球等で利用するなど、その他の諸室も含めて多くの地域住民に利用されています。

※湯西川農産物処理加工実習施設は、利用状況を把握していないため集計から除きます。 ※栗山林業振興会館については、現在貸出を行っていないため集計から除きます。

### 施設別年間利用件数 (平成 22 年度)



施設別年間利用者数 (平成 22 年度)



#### ③ 管理運営の状況

平成22年度の産業系7施設の管理運営は、農村環境改善センターが指定管理者による管理運営で、他の6施設は、市の直営施設ですが、施設の維持管理等を日光森林組合等に委託しています。

運営人員では、農村環境改善センターは、日光市土地改良区の職員4人(土曜日は1人)が常駐し、土地改良区の仕事のほか、施設の管理運営を行っています。小来川林業研修センターでは、施設に職員は在駐しておらず小来川支所職員が受付を行っています。日蔭・湯西川農村広場及び湯西川農産物処理加工実習施設は、施設を利用している人が組合を組織し、施設を管理しています。また、ふれあいの郷小来川は、日光森林組合が地域の事務所として利用し施設を管理していますが、運営は、地域住民で組織する、ふれあいの郷管理運営組合が行っています。

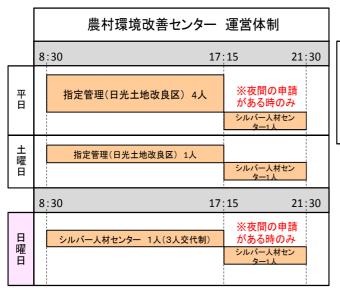
なお、現在貸し館業務を行っていない栗山林業振興会館は、日光森林組合が地域の事務所として利用しています。

#### 運営形態 (平成 22 年度)

	直営	指定管理者	委託(施設管理のみ)
農村環境改善センター		日光市土地改良区	
小来川林業研修センター	•		小来川林業振興会
日蔭農村広場農産物生産施設	•		生産組合
湯西川農村広場農産物生産施設	•		生産組合
湯西川農産物処理加工実習施設	•		生産組合
栗山林業振興会館	•		※日光森林組合
ふれあいの郷小来川	•		※日光森林組合 (運営はふれあいの郷管理運営組合)

※森林組合が事務所として利用

#### 運営体制 (平成 22 年度)





(千円)

## 3)コスト状況

## ① 施設別のトータルコスト

平成22年度の産業系7施設の施設別トータルコストは、湯西川農村広場の136万円から農 村環境改善センターの 2,041 万円となっています。

各施設のコスト構成をみると、農村環境改善センターは指定管理委託料が、ふれあいの郷小来 川は事業運営に関する委託費がかかっていますが、その他の 5 施設は施設にかかるコストのみと なっています。

※栗山林業振興会館については、施設にかかる費用すべてを日光森林組合で支出しています。

施設別行政コスト計算書(平成22年度)

									(     1)
I .現金収 【コスト	又支を伴うもの の部】	農村環境改善センター	小来川林業研修センター	日蔭農村広 場農産物生 産施設	湯西川農村 広場農産物 生産施設	湯西川農産 物処理加工 実習施設	栗山林業振興会館	ふれあいの 郷小来川	合計
.,	修繕費	0	185	0	0	0	0	0	185
施	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0
施設コー	委託費	0	200	0	0	0	0	432	632
んか	使用料及び賃借料	3,658	0	290	0	0	0	0	3,948
トか	その他物件費	20	14	36	36	0	0	18	123
る	施設にかかるコスト	3,678	399	326	36	0	0	450	4,889
運事	委託費	0	0	0	0	0	0	200	200
営業	事業運営にかかるコスト	0	0	0	0	0	0	200	200
	指定管理料	5,873	0	0	0	0	0	0	5,873
現金収支	を伴うコスト 計	9,551	399	326	36	0	0	650	10,962
【収入の	部】								
収入	使用料収入	82	0	284	0	0	0	377	743
12.77	諸収入	259	0	0	0	0	0	0	259
収入の合	計	341	0	284	0	0	0	377	1,002
Ⅱ.現金収	又支を伴わないもの								
コスト	減価償却相当額	10,863	4,567	1,056	1,320	2,367	3,650	4,184	28,007
Ⅲ.総括									

※農村環境改善センターの使用料収入とは自動販売機の設置料、諸収入は大室ダムパイプライン使用料です。

1,382

1,098

1,356

1,356

2,367

2,367

3,650

3.650

4,834

4,457

38,969

37,967

4,966

4,966

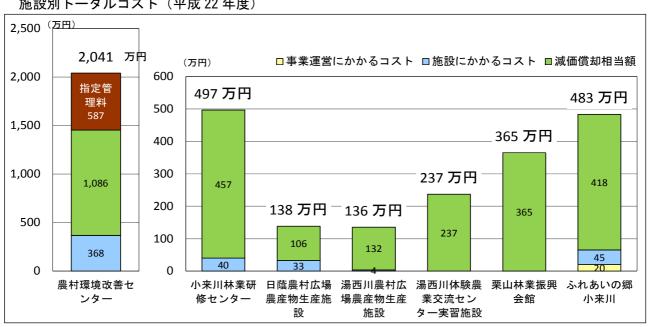
施設別トータルコスト (平成22年度)

20,414

20,073

コストの部合計(トータルコスト)

収支差額(ネットコスト)

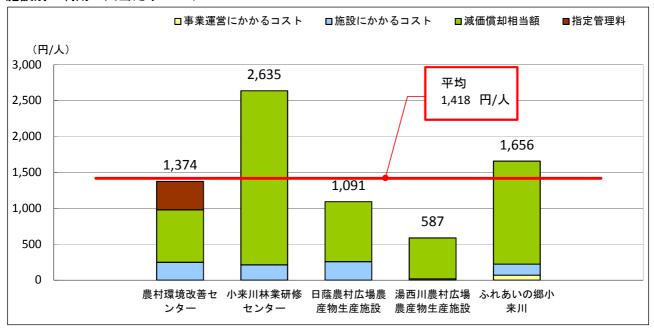


## ② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト

## ■ 利用者1人当たりのコスト

平成 22 年度の利用者数を把握している 5 施設について、施設別の年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、湯西川農村広場の 587 円/人から小来川林業研修センターの 2,635 円/人となっています。 5 施設の平均は 1,418 円/人となっています。

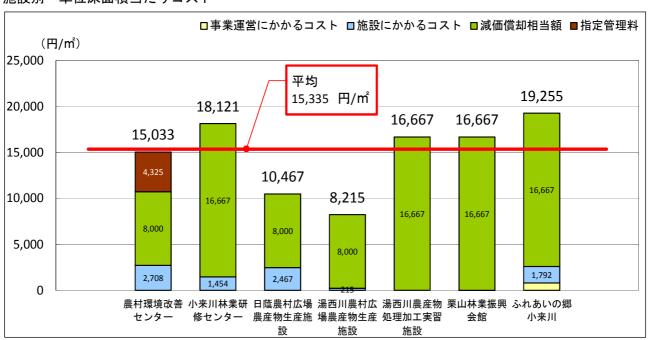
施設別 利用1人当たりコスト



### ■ 床面積(1m²)当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、湯西川農村広場の8,215円/㎡からふれあいの郷小来川の19,255円/㎡となっています。7施設の平均は、15,335円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



#### 4) 今後の検討の視点

- 耐震性、老朽化の面では、産業系7施設の建物のうち、農村環境改善センターは耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要な施設です。
- 小来川林業研修センターは、設置当初は木材の有効利用の試験研究等が目的となっていましたが、現在の利用は地域住民が日常の集会所として活用しています。農村広場2施設は、地域住民と都市住民との交流推進が設置目的となっていますが、現状は生産組合の利用が主となっています。湯西川農産物加工施設は、都市と農村の交流の場及び地域における農林業振興が設置目的ですが、実際は使用されていない状況です。このように、当初の設置目的とのかい離がみられる施設については、利用者と施設のあり方について協議しながら、施設の有効活用を図る必要があります。
- 7施設のうち農村環境改善センターを除く6施設は直営となっています。これらのほとんどは、施設管理を地元の組合等に委託しているため、今回、分析対象としなかった小さな直売所等も含め、抜本的な施設運営のあり方を検討する必要があります。
- 利用者 1 人当たりコスト、延床面積当たりコストをみても分かる通り、施設を維持管理し、 保有するだけでも毎年コストが発生しています。産業系施設について、今後の施設のあり 方について、早急に検討する必要があります。

# (5) 観光施設

# 1) 施設概要

# ① 施設一覧

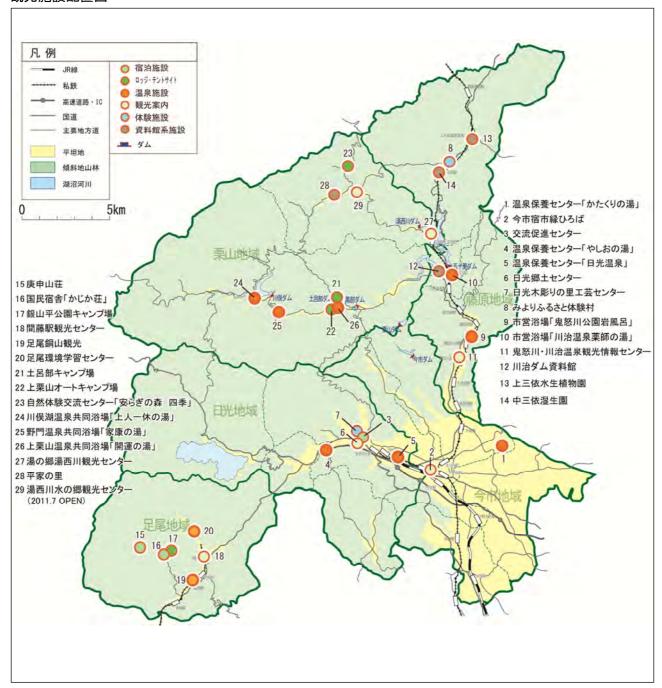
市には、豊かな自然や歴史を語る文化遺産・産業遺産、良質な温泉資源に恵まれており、多くの観光客が訪れています。これら資源を活かすため、数多くの観光関連施設を所有しています。 白書では、それら施設の中から、次の28施設・6機能について整理しました。

機能の分類: 観光案内施設(5施設)、宿泊(宿舎)施設(2施設)、宿泊(ロッジ等)施設(6施設)、温泉施設(10施設)、資料館等施設(6施設)、体験施設(2施設)

## 施設一覧

								機能			
地域	名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	観光	宿泊	施設	泪白	次业品	/ <del>+</del> E->	併設 機能
			(111)	(牛皮)	案内	宿泊	ロッジ	温泉	資料館	体験	放用的
今市	1 温泉保養センター「かたくりの湯」	町谷1866番地1	1,857.7	平成5				•			
今市	2 今市宿市縁ひろば	今市600番地1	370.6	平成7	•						
日光	3 交流促進センター	所野2854番地	1,205.0	平成11		•					
日光	4 温泉保養センター「やしおの湯」	清滝和の代町1726番地4	1,200.0	平成7				•			
日光	5 温泉保養センター「日光温泉」	七里680番地1	137.0	昭和63				•			
日光	6 日光郷土センター	御幸町591番地	992.0	昭和61	•						
日光	7 日光木彫りの里工芸センター	所野2848番地	996.5	昭和63						•	公園
藤原	8 みよりふるさと体験村	中三依407番地1	615.0	平成11			•			•	温泉
藤原	9 市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	藤原19番地	467.0	平成5				•			
藤原	10 市営浴場「川治温泉薬師の湯」	川治温泉川治278番地2	221.0	平成21				•			
藤原	11 鬼怒川・川治温泉観光情報センター	鬼怒川温泉大原1404番地1	175.0	平成17	•						
藤原	12 川治ダム資料館	川治温泉川治292番地3	467.0	昭和58					•		
藤原	13 上三依水生植物園	上三依682番地	249.9	昭和63					•		
藤原	14 中三依湿生園	中三依221番地	9.9	昭和62					•		
足尾	15 庚申山荘	足尾町木ノ面5494番地	222.0	昭和60			•				
足尾	16 国民宿舎「かじか荘」	足尾町銀山平5488番地	1,852.0	昭和42		•		•			
足尾	17 銀山平キャンプ場	足尾町丸石沢5488番の4	428.0	昭和55			•				公園
足尾	18 間藤駅観光センター	足尾町下間藤2番1号	351.7	平成6	•						集会所
足尾	19 足尾銅山観光	足尾町通洞9番地2	2,386.6	昭和54					•		公園
足尾	20 足尾環境学習センター	足尾町885番地2	496.9	平成8					•		公園
栗山	21 土呂部キャンプ場	土呂部97番地	605.0	平成4			•				
栗山	22 上栗山オートキャンプ場	上栗山561番地	230.0	平成12			•				
栗山	23 自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	湯西川1878番地3	645.0	平成20			•				
栗山	24 川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	川俣740番地	334.0	平成7				•			
栗山	25 野門温泉共同浴場「家康の湯」	野門186番地	177.0	平成7				•			
栗山	26 上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	上栗山179番地31	91.0	平成12				•			
栗山	27 湯の郷湯西川観光センター	西川478番地1	1,297.0	平成18	•			•			足湯
栗山	28 平家の里	湯西川1042番地	939.0	昭和58					•		
	合 計		18,876.4	_	5ヶ所	2ヶ所	6ヶ所	10ヶ所	6ヶ所	2ヶ所	_

#### 観光施設配置図

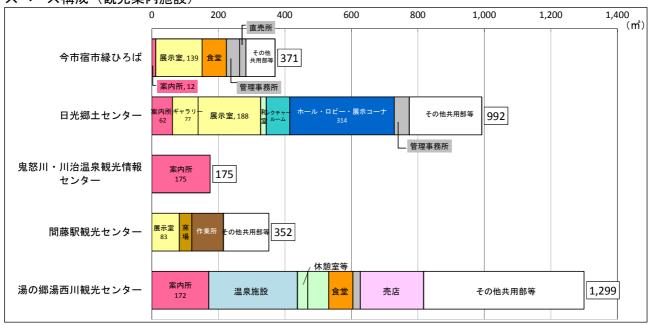


# ② スペース構成

### <観光案内施設>

観光案内施設は、各地域に1施設、計5施設あり、施設の規模は、鬼怒川・川治温泉観光情報センターの175㎡~日光郷土センターの992㎡となっています。いずれの施設も、案内所のほか展示室やギャラリーが主な構成で、ビデオやパネル展示、観光パンフレットの掲出等を行っています。

## スペース構成(観光案内施設)



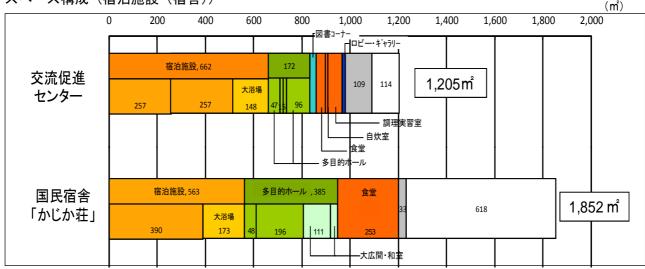
#### <宿泊施設(宿舎)>

宿泊(宿舎)2施設の規模は、交流促進センターの1,205 ㎡とかじか荘の1,852 ㎡となっています。スペース構成は、各施設とも客室関連の延床面積が半数を占めています。

交流促進センターは、和室5室、洋室7室の他に、研修室も備えており、旅行以外にも会社・ 団体等の研修にも利用できます。

国民宿舎「かじか荘」は、和室 20 室、団体は 100 人まで宿泊できます。客室の他に、大広間1、研修室1、大浴場(温泉施設): 男女各1 (露天風呂付)、低温サウナ、レストラン、売店があり、大浴場は日帰り入浴も可能となっています。

# スペース構成 (宿泊施設 (宿舎))



## <宿泊施設(ロッジ)>

宿泊(ロッジ)6施設の規模は、庚申山荘の222㎡~自然体験交流センター「安らぎの森 四季」の645㎡となっています。用途の性質上、いずれの施設においても、木造で軽易な建築物が多くなっています。

「みよりふるさと体験村」キャンプ場は、ケビン8棟(4人用:7棟、8人用:1棟)、テントサイト6区画と屋外調理施設があり、地元自治会が運営する日帰り温泉施設「男鹿の湯」に隣接しています。

庚申山荘は、管理人等はおらず、登山客の休憩所となっています。料金収受等の管理は、かじか荘で行っています。

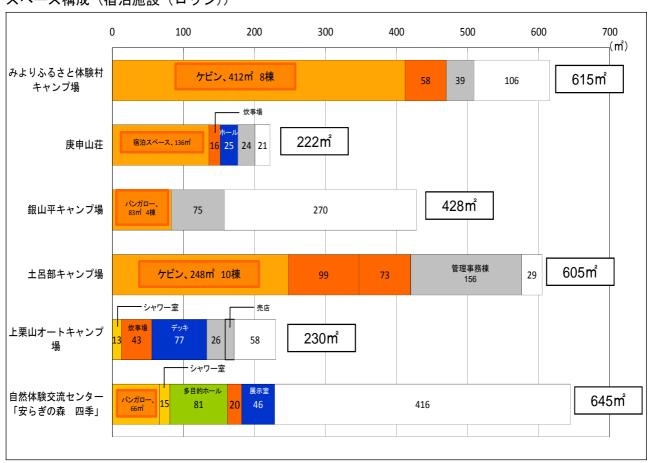
銀山平キャンプ場は、バンガローが 12 棟、管理棟、トイレがあります。国民宿舎「かじか荘」 で入浴が可能となっています。

土呂部キャンプ場は、ケビン 10 棟(4人用)、テントサイト 30 区画、炊事棟 2 棟、バーベキュー棟 1 棟、トイレ 1 棟、管理棟(シャワー、トイレ、休憩室など)があります。

上栗山オートキャンプ場はオートサイト、テントサイト、管理棟、トイレ、温水シャワー、売店、野外炉があります。

自然体験交流センター「安らぎの森 四季」は、湯西川財産区が所有する安ヶ森キャンプ場の管理棟を兼ねており、1 階には事務室・展示室・多目的ホール・食堂兼休憩室、2 階には宿泊室・ミーティングルームがあります。また、付属の体験施設として、囲炉裏焼き小屋、炭焼き窯もあり、周辺にはキャンプ場も備えています。

#### スペース構成(宿泊施設(ロッジ))



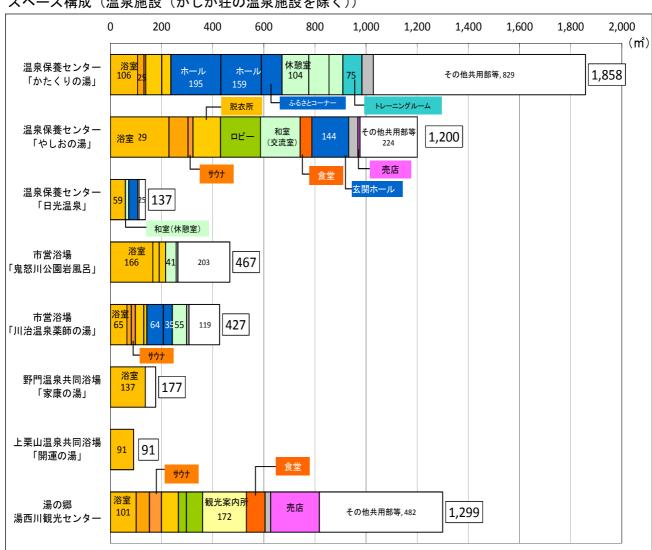
## <温泉施設(かじか荘の温泉施設を除く)>

温泉 9 施設の規模は、上栗山温泉共同浴場「開運の湯」の 91 ㎡~かたくりの湯の 1.858 ㎡ となっており、いずれの施設も、市民の保養と健康の増進と観光事業の振興を図ることを目的と しています。

保養センターとしては、今市地域にかたくりの湯、日光地域に日光温泉とやしおの湯の計3施 設あります。規模は、かたくりの湯が 1,858 m3、やしおの湯が 1,200 m3、日光温泉が 137 m3 となっており、浴室のほかにホールや休憩室、交流室等があります。

市営浴場及び共同浴場としては、開運の湯の 91 ㎡~鬼怒川公園岩風呂の 467 ㎡となってい ます。これらの施設は、浴室・脱衣室が延床面積の大部分を占めています。

湯の郷湯西川観光センターは、1,299 ㎡あり、温泉のほか観光案内所、売店・食堂等の機能を 保有しています。なお、湯の郷湯西川観光センターは、湯西川温泉駅に直結しています。



スペース構成 (温泉施設 (かじか荘の温泉施設を除く))

# く資料館等施設>

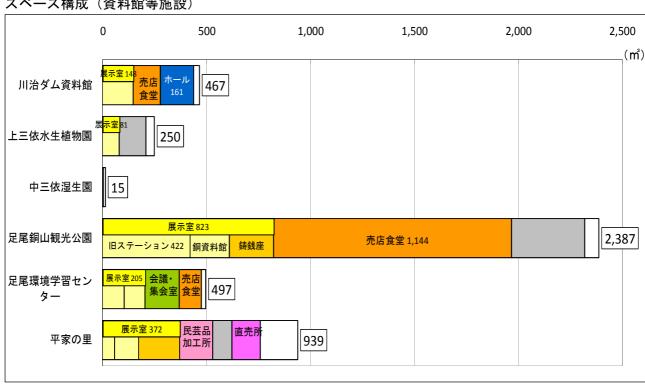
資料館等 6 施設の規模は、中三依湿生園(管理棟)15 ㎡~足尾銅山観光 2,387 ㎡となって おります。

上三依水生植物園・中三依湿生園は、池や庭園等がメインであり、建物としては事務室(管理 棟)になります。

川治ダム資料館は、1階が食堂、2階と3階が資料館として展示室やホールを保有しています。 足尾銅山観光では、通洞坑跡をトロッコに乗って坑内観光ができます。また、足尾で作られた 寛永通宝「足字銭」をつくる様子を再現しているほか、鋳銭座、鉱石・写真・資料等を展示して いる銅資料館があります。また、売店、食堂があり、その割合が大きくなっています。

足尾環境学習センターは、旧松木村の煙害などの歴史を振り返ることができる写真資料や足尾 の歴史と自然を紹介する展示室のほか、売店、食堂等を保有しています。

平家の里は、湯西川に残る平家落人伝説をもとに、茅葺き屋根の建物を配し、落人たちの山村 生活を再現した施設で、手作りの木杓子・木鉢の販売所があり、落人が食べた栃もちやキビもち を賞味できる直売所や民芸品加工所等があります。



スペース構成(資料館等施設)

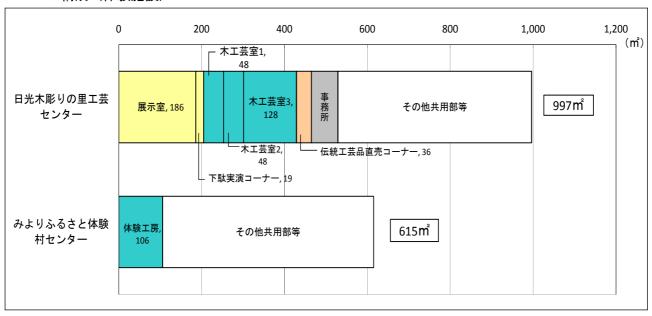
## <体験施設>

体験2施設の規模は、日光木彫りの里工芸センターが997 ㎡、みよりふるさと体験村センターが615 ㎡となっています。

日光木彫りの里工芸センターは、体験教室を開催する木工工芸室と展示室が主なスペースで、 その他、工芸品の直売コーナーや事務室があります。小・中学生の体験学習の場として活用され ています。

みよりふるさと体験村センターは、キャンプ場(ケビン)に隣接したそば打ち体験施設となっています。

## スペース構成(体験施設)



# ③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度の観光施設 28 施設の建物総合評価を行いました。

	其本	情報	1	2		(R)	バリア:	7リー*	讨応		<b>(A)</b> :	環境対	惊				持管理		
	- 本 4	・一月千以	耐震化	老朽化	*	(S)	177.	, ., <del>_</del> ,	יטוו ני		4):	·采·児 X	יטיינו	維持	管理費(	千円)	床面積	当たり(1	円/m <sup>*</sup> )
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	※1 車いす用エレベータ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※ 2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
温泉保養センター「かたくりの湯」	平成5	1, 858	-	18	0	0	0	0	0	×	×	×	×	-	84	2,037	-	45	1,097
今市宿市縁ひろば	平成7	371	-	16	_	×	0	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
交流促進センター	平成11	1,205	-	12	_	0	×	0	×	×	×	×	×	-	-	467	-	-	388
温泉保養センター「やしおの湯」	平成7	1,200	-	16	_	×	0	×	×	×	×	×	×	-	-	258	-	-	215
温泉保養センター「日光温泉」	昭和63	137	-	23	_	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
日光郷土センター	昭和61	992	-	25	×	0	0	0	×	×	×	×	×	-	-	151	-	-	152
日光木彫りの里工芸センター	昭和63	997	-	23	0	0	0	0	0	×	×	×	×	-	-	1,983	-	-	1,990
みよりふるさと体験村	平成11	615	-	12	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	_
市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	平成5	467	-	18	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
市営浴場「川治温泉薬師の湯」	平成21	221	-	2	-	0	0	×	×	×	×	×	×	-	-	-	ı	-	-
鬼怒川・川治温泉観光情報センター	平成17	175	-	6	-	×	×	0	×	×	×	×	×	-	-	ı	1	-	-
川冶ダム資料館	昭和58	467	-	28	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
上三依水生植物園	昭和63	250	-	23	-	0	0	×	×	×	×	×	×	-	-	-	1	-	-
中三依湿生園	昭和62	10	-	24	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	6	-	-	624	-
庚申山荘	昭和60	222	-	26	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1	-	ı	ı	-	-
国民宿舎「かじか荘」	昭和42	1,852	未実施	44	×	×	×	0	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
銀山平キャンプ場	昭和55	428	未実施	31	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1	-	ı	ı	-	-
間藤駅観光センター	平成6	352	-	17	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	629	-	1	1,789	-
足尾銅山観光	昭和54	2, 387	未実施	32	×	0	0	×	0	×	×	×	×	4,462	3,948	-	1,870	1,654	-
足尾環境学習センター	平成8	497	-	15	-	×	0	×	×	×	×	×	×	1	-	-	ı	-	-
土呂部キャンプ場	平成4	605	-	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	315	3,465	ı	521	5,727
上栗山オートキャンプ場	平成12	230	-	11	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	平成20	645	-	3	×	0	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	平成7	334	-	16	×	×	0	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
野門温泉共同浴場「家康の湯」	平成7	177	-	16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	1	-	-
上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	平成12	91	-	11	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
湯の郷湯西川観光センター	平成18	1,297	-	5	0	0	0	0	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
平家の里	昭和58	939	-	28	-	×	0	×	×	×	×	×	×	-	-	1,205	-	-	1,283
合計		19,019												4,462	4,982	9,565	-	-	-

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

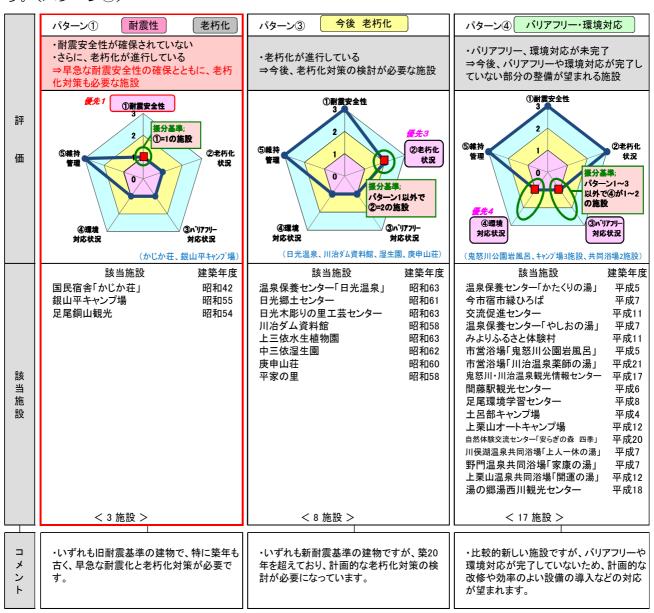
実施済み: ○ 未実施 = × 不 要 ⇒ — 記載例

※維持管理費は、市が直接 支出している費用

観光 28 施設のうち、国民宿舎「かじか荘」、銀山平キャンプ場及び足尾銅山観光公園の 3 施設は、旧耐震基準の建物であり、耐震安全性が確保されていないことから早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

また、温泉保養センター「日光温泉」をはじめ8施設は、いずれも新耐震基準の建物ですが、 築20年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

温泉保養センター「かたくりの湯」をはじめ 17 施設は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



# 2) 施設状況

# ① 開館時間·休館日

観光施設 28 施設の開館時間及び休館日は、次のとおりそれぞれ個別に設定しています。ただし、休館日については、観光客の利用を考慮し、無休の施設や平日休みとなっています。

地域	名称	開館時間	休館日	備考
今市	1 温泉保養センター「かたくりの湯」	午前10時~午後9時	月曜日(国民の祝日にあたる時はその翌日)・12月29日~1月3日	
今市	2 今市宿市縁ひろば	午前9時~午後5時	無休	
日光	3 交流促進センター	終日	無休	
日光	4 温泉保養センター「やしおの湯」	午前10時~午後9時	木曜日(国民の祝日にあたる時はその翌日)・12月30日~1月1日	
日光	5 温泉保養センター「日光温泉」	午前10時~午後9時	火曜日(国民の祝日にあたる時はその翌日)・12月30日~1月1日	
日光	6 日光郷土センター	午前9時~午後5時	無休	
日光	7 日光木彫りの里工芸センター	午前9時~午後5時	木曜日(11月~3月)・12月29日~31日	
藤原	8 みよりふるさと体験村	宿泊:午後2時~午前10時	無休	
藤原	9 市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	午前10時~午後9時	火曜日·年末年始	
藤原	10 市営浴場「川治温泉薬師の湯」	午前10時~午後9時	水曜日	
藤原	11 鬼怒川・川治温泉観光情報センター	午前8時半~午後6時	無休	
藤原	12 川治ダム資料館	午前9時~午後5時	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休館	
藤原	13 上三依水生植物園	午前9時~午後4時半	4月15日から8月31日無休 9月1日から11月30日毎週水曜日休園(祝日は開園) 12月1日から4月14日休園	
藤原	14 中三依湿生園	午前9時~午後4時半	4月15日から7月31日無休 8月1日から4月14日休園	
足尾	15 庚申山荘	終日	無休	
足尾	16 国民宿舎「かじか荘」	終日	無休	
足尾	17 銀山平キャンプ場	終日	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休場	
足尾	18 間藤駅観光センター	午前10時半~午後4時半	木曜日・12月29日~31日	
足尾	19 足尾銅山観光	午前9時~午後4時半	無休	
足尾	20 足尾環境学習センター	午前9時~午後4時半	12月1日~3月31日	
栗山	21 土呂部キャンプ場	終日	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休場	
栗山	22 上栗山オートキャンプ場	終日	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休場	
栗山	23 自然体験交流センター「安らぎの森 四季」	終日	4月1日から11月30日無休 12月1日から3月31日休場	
栗山	24 川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	午前9時~午後9時	水曜日(12月~3月)	
栗山	25 野門温泉共同浴場「家康の湯」	午前9時~午後9時	無休	
栗山	26 上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	午前9時~午後9時	無休	
栗山	27 湯の郷湯西川観光センター	午前9時~午後9時	無休	
栗山	28 平家の里	午前8時半~午後5時	無休	

### ② 利用状況

## <観光案内施設>

## ■ 推移(間藤駅観光センター・湯の郷湯西川観光センターを除く)

観光案内3施設の直近5年間の利用者数推移をみると、平成18年度252,525人から平成22年度280,709人と増傾向で推移しています。

施設別では、鬼怒川・川治温泉観光情報センターの利用者が最も多く、平成 22 年度では全体の約 48%を占めています。

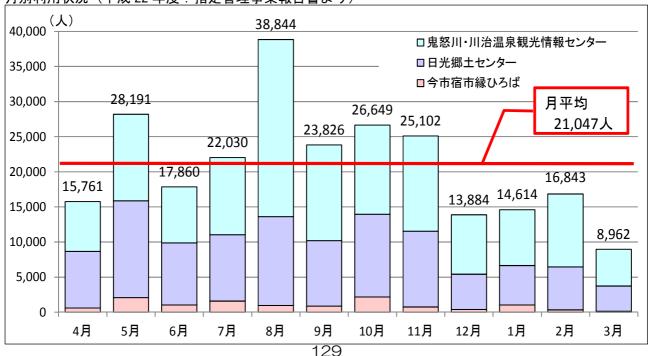
### 利用者数の推移



### ■ 月別利用状況(間藤駅観光センター・湯の郷湯西川観光センターを除く)

平成 22 年度の月別利用者数をみると、3 施設の月平均は、21,047 人の利用があります。特に、8 月の利用者数が最も多く、次に5・10・11 月に利用が集中しています。

#### 月別利用状況(平成22年度:指定管理事業報告書より)



## <宿泊施設(宿舎)>

### ■ 推移

宿泊(宿舎)2施設の直近5年間の利用者数推移をみると、平成18年度46,685人から平成22年度33,277人と約29%減少しています。

特に施設別では、国民宿舎「かじか荘」の利用者数が宿泊客・休憩客を合わせると全体の約89%を占めていますが、平成18年度41,357人から平成22年度が29,464人と約29%減少しています。

ただし、市全体の宿泊者数に対する2施設の利用者は、1%前後とほぼ横ばいになっています。

### 利用者数の推移

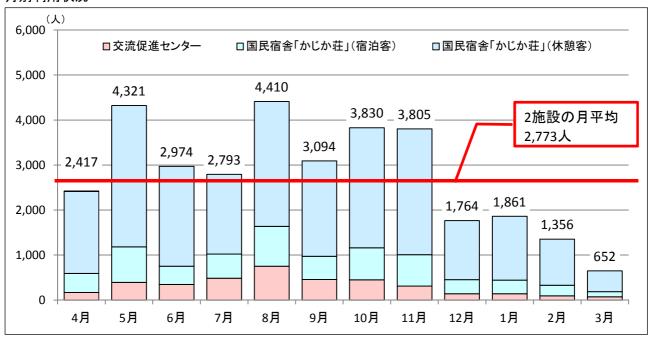


	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
交流促進センター	5,328	4,013	3,729	3,960	3,813
国民宿舎「かじか荘」	41,357	38,885	33,899	30,552	29,464
(うち宿泊者数)	(8,177)	(7,706)	(7,005)	(6,488)	(5,930)
合計	46,685	42,898	37,628	34,512	33,277
市全体の宿泊者に占める割合	1.2%	1.1%	1.0%	1.0%	0.9%

## ■ 月別利用状況

平成 22 年度の月別利用状況をみると、国民宿舎「かじか荘」及び交流促進センターは、5 月 ~11 月に利用が集中しています。

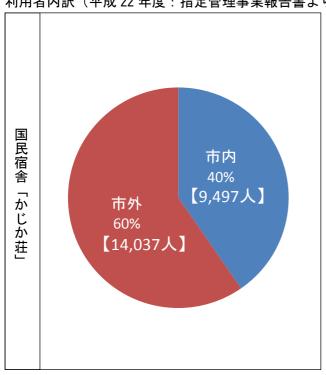
### 月別利用状況



### ■ 居住区別利用状況

国民宿舎「かじか荘」の居住区別利用状況をみると、市外の利用者が約60%と市内の利用者より多くなっていることが分かります。

利用者内訳(平成22年度:指定管理事業報告書より)



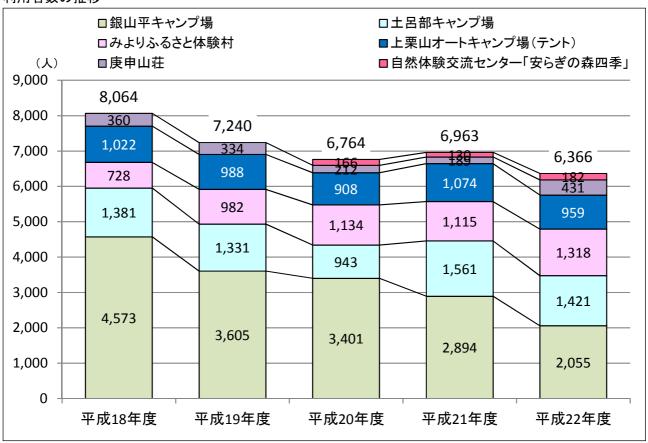
## <宿泊施設(ロッジ)>

### ■ 推移

宿泊(ロッジ)6施設の利用者数推移をみると、平成18年度の8,064人から平成22年度には6,366人と約21%減少しています。

施設別にみると、銀山平キャンプ場が平成 18 年度 4,573 人から平成 22 年度 2,055 人と約55%減少しています。しかし、みよりふるさと体験村キャンプ場では、平成 18 年度 728 人からら平成 22 年度 1,318 人と約 1.8 倍増加しています。

#### 利用者数の推移



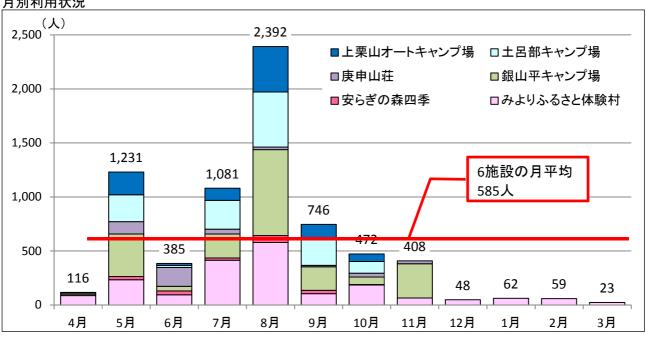
※自然体験交流センター「安らぎの森四季」は平成20年度からの推移となります。

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
自然体験交流センター「安らぎの森四季」			166	130	182
庚申山荘	360	334	212	189	431
銀山平キャンプ場	4,573	3,605	3,401	2,894	2,055
土呂部キャンプ場	1,381	1,331	943	1,561	1,421
(うちケビン利用)	(771)	(753)	(943)	(769)	(764)
みよりふるさと体験村	728	982	1,134	1,115	1,318
上栗山オートキャンプ場(テント)	1,022	988	908	1,074	959
合計	8,064	7,240	6,764	6,963	6,366
市全体の宿泊者に占める割合	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%

## ■ 月別利用状況

平成 22 年度の月別利用状況をみると、みよりふるさと体験村を除く 5 施設は、利用期間が 4 月~11月(庚申山荘は5月から、土呂部・上栗山は10月まで)と限定されています。庚申山 荘を除く5施設では、夏休み期間中である8月の利用者が最も多く、次に5・7月(銀山平キ ャンプ場では11月)に利用が集中しています。庚申山荘は5・6月に利用者が集中しています。

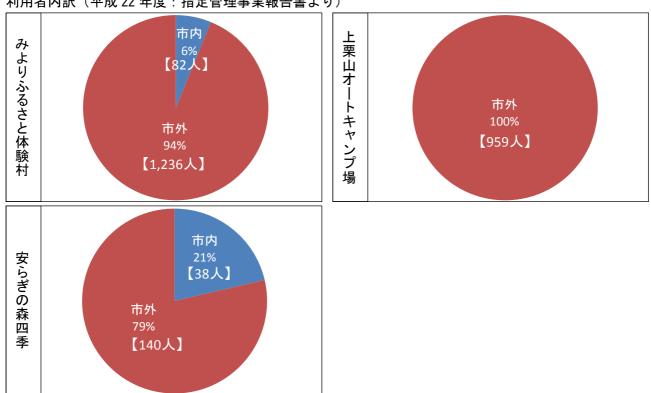
#### 月別利用状況



#### ■ 居住区別利用状況

居住区別利用状況を把握している3施設をみると、市外の利用者が大半を占めていることが分 かります。

利用者内訳(平成22年度:指定管理事業報告書より)



133

## <温泉施設>

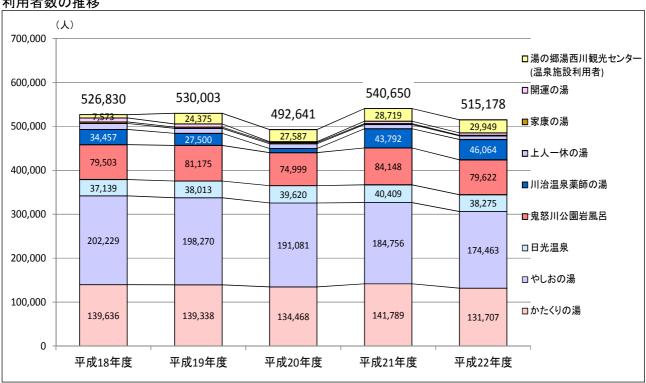
### ■ 推移

温泉9施設の直近5年間の利用者数推移をみると、平成18年度の526,830人から平成22 年度には515,178人とほぼ横ばいで推移しています。

施設別にみると、かたくりの湯、日光温泉、鬼怒川公園岩風呂は、直近5年間ほぼ横ばいで推 移していますが、やしおの湯では、平成18年に比べ、27,766人(約14%)減少しているこ とが分かります。また、上人一休の湯、家康の湯、開運の湯では、約40%~約65%と大幅に 減少しています。一方で、川治温泉薬師の湯、湯の郷湯西川観光センターは、増加傾向にあり、 施設によって利用者数の増減の傾向は様々となっています。

市全体の観光客入込数に対する温泉9施設の利用者は、毎年4.5%程度となっています。

## 利用者数の推移

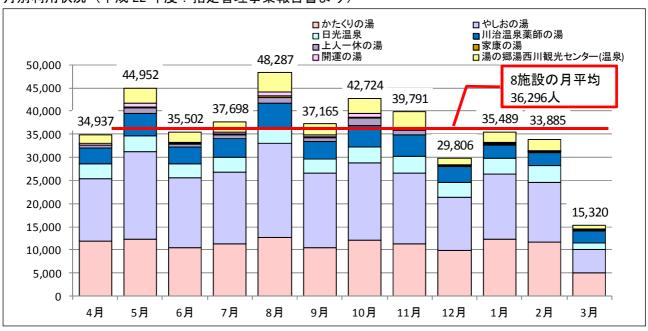


	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
かたくりの湯	139,636	139,338	134,468	141,789	131,707
やしおの湯	202,229	198,270	191,081	184,756	174,463
日光温泉	37,139	38,013	39,620	40,409	38,275
鬼怒川公園岩風呂	79,503	81,175	74,999	84,148	79,622
川治温泉薬師の湯	34,457	27,500	9,498	43,792	46,064
上人一休の湯	13,702	11,401	10,736	9,507	8,303
家康の湯	3,399	2,915	2,563	1,974	1,550
開運の湯	9,192	7,016	2,089	5,556	5,245
湯の郷湯西川観光センター (温泉施設利用者)	7,573	24,375	27,587	28,719	29,949
合計	526,830	530,003	492,641	540,650	515,178
日光市全体観光客入込数に占める割合	4.6%	4.6%	4.4%	4.8%	4.5%

## ■ 月別利用状況 (鬼怒川公園岩風呂を除く)

平成22年度の月別利用者をみると、月平均36,296人の利用がありますが、12月(年末)・3月(年度末)の利用者が他の月に比べ減少しています。なお、3月は、東日本大震災の影響により利用者が他の月に比べ50~60%まで減少しています。



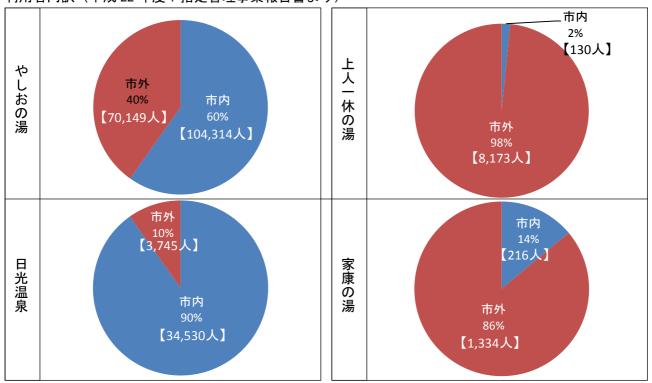


#### ■ 居住区別利用状況

居住区別利用状況を把握している4施設をみると、やしおの湯・日光温泉は、市外よりも市内の利用者が多く、市民が日常的に利用している様子がうかがえます。

一方、栗山地域の上人一休の湯や家康の湯は、市外利用者が大半を占めています。

利用者内訳(平成22年度:指定管理事業報告書より)



## く資料館等施設>

# ■ 推移 (川治ダム資料館・中三依湿生園を除く)

資料館等 4 施設の直近5年間の利用者数推移をみると、平成 18 年度の 326,751 人から平成 22 年度には 260,690 人と約20%減少しています。

施設別では、足尾銅山観光公園は直近5年間ほぼ横ばいで推移していますが、上三依水生植物園は5年間で約43%、平家の里は約36%減少というように施設によって傾向が異なっています。

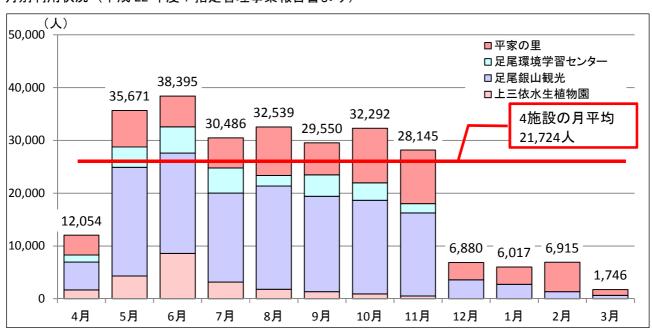
#### 利用者数の推移



### ■ 月別利用状況 (川治ダム資料館・中三依湿生園を除く)

平成 22 年度の月別利用者をみると、上三依水生植物園・足尾環境学習センターは 12 月~3 月まで閉園していますが、月別利用者をみると、上三依水生植物園は植生との関係で 6 月が最も多く、足尾銅山観光公園は 5~11 月に、平家の里は 8~11 月の利用が集中しています。

月別利用状況(平成22年度:指定管理事業報告書より)



## <体験施設>

### ■ 推移(みよりふるさと体験村を除く)

体験施設のうち日光木彫りの里工芸センターの直近5年間の利用者数推移をみると、平成 18年度から平成21年度までは、ほぼ横ばいで推移しておりましたが、平成22年度は33,132 人と微増傾向となっています。

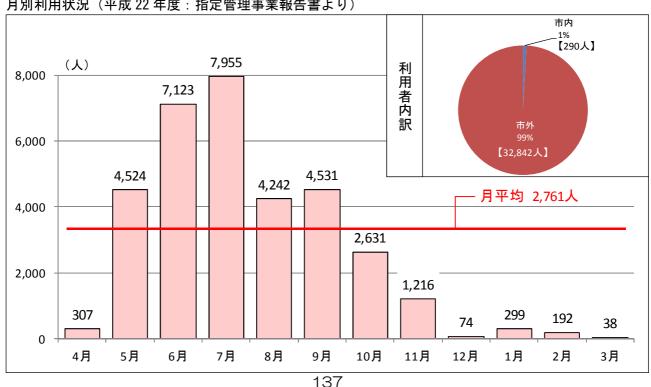
## 利用者数の推移



### ■ 月別利用状況(みよりふるさと体験村を除く)

平成 22 年度の月別利用者をみると、木彫りの里工芸センターは修学旅行生が多く訪れる5月 ~9月にかけて利用者が集中しています。また利用者の内訳では、市外の利用者が大半を占めて います。

### 月別利用状況(平成22年度:指定管理事業報告書より)



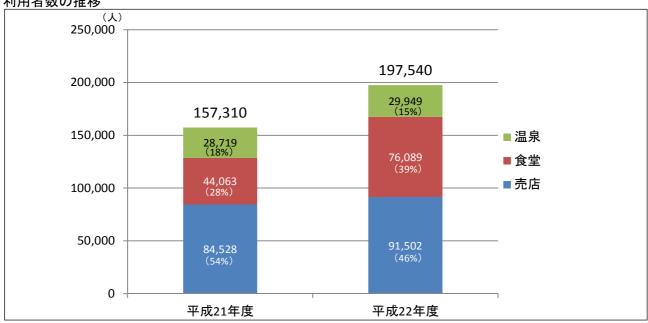
#### <湯の郷湯西川観光センター>

湯の郷湯西川観光センターは、湯西川温泉駅に直結した施設で、物産店や食堂のほかに、温泉 施設や足湯、岩盤浴も備えた施設となっています。

## ■ 推移

平成 21 年度と平成 22 年度の利用状況をみると、平成 21 年度は 157,310 人、平成 22 年度は 197,540 人と 40,230 人(約 1.3 倍) 増加しています。利用目的別では、特に食堂の 利用者が1年間で約1.7倍と他の施設に比べて増加しています。

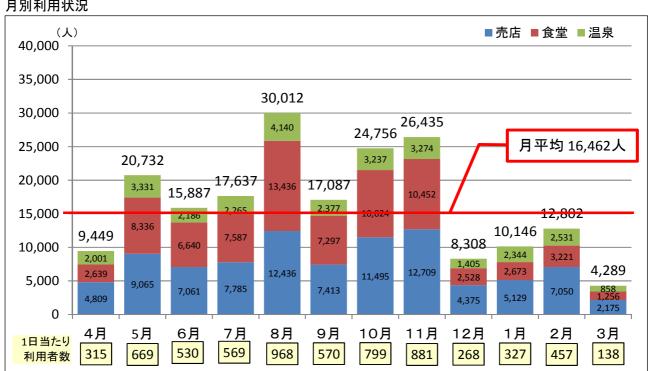




## ■ 月別利用状況

平成22年度の月別利用者をみると、8月を中心として5月~11月に利用者が集中していま す。1日当たり利用者数は、3月の138人~8月の968人となっています。

#### 月別利用状況



# ③ 管理運営の状況

観光 28 施設のうち 23 施設が指定管理者による管理運営を行っています。

地域等		施設名称	運営の状況	指定管理者	指定期間	利用料金制
今市	1	温泉保養センター「かたくりの湯」	北白年田	財団法人 日光市公共施設振興公社	18. 4. 1~23. 3. 31	0
	'		指定管理	<b>州西法人 日光市公共旭設振英公社</b>	23. 4. 1~28. 3. 31	0
地 域	2	今市宿市縁ひろば	指定管理	今市観光協会	18. 4. 1~21. 3. 31	0
以	2			7 印 既 儿 励 云	21. 4. 1~26. 3. 31	0
	3	交流促進センター	指定管理	  日光温泉旅館協同組合	21. 4. 1~24. 3. 31	0
					24. 4. 1~29. 3. 31	0
日光地		温泉保養センター「やしおの湯」温泉保養センター「日光温泉」	指定管理	  財団法人 日光市公共施設振興公社	18. 4. 1~23. 3. 31	×
				网络人名 自己的名人地政队共五日	23. 4. 1~28. 3. 31	0
				  財団法人 日光市公共施設振興公社	18. 4. 1~23. 3. 31	×
域					23. 4. 1~28. 3. 31	0
	6	日光郷土センター	指定管理	社団法人 日光観光協会	22. 4. 1~27. 3. 31	×
	7	日光木彫りの里工芸センター	指定管理	日光彫り体験教室運営協議会	21. 4. 1~24. 3. 31	×
					24. 4. 1~29. 3. 31	×
		みよりふるさと体験村	指定管理	中三依自治会	18. 4. 1~21. 3. 31	0
					21. 4. 1~26. 3. 31	0
	9	市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」	直営		21. 4. 1~24. 3. 31	
藤	10	市営浴場「川治温泉薬師の湯」	指定管理	一般社団法人 川治薬師の湯管理協 会	24. 4. 1~29. 3. 31	0
原		鬼怒川・川治温泉観光情報センター	指定管理	特定非営利活動法人 鬼怒川・川治 温泉観光協会	18. 4. 1~29. 3. 31	×
地域	11				21. 4. 1~26. 3. 31	×
130	12	川治ダム資料館	直営			_
	12	上三依水生植物園	指定管理	栃木県造園建設業協同組合	20. 4. 1~23. 3. 31	0
	13			有限会社 山加園	23. 4. 1~28. 3. 31	0
	14	  中三依湿生園	直営	_	_	_
		庚申山荘	指定管理	足尾観光協会	18. 4. 1~22. 3. 31	×
				有限会社 E&KS共和国	22. 4. 1~27. 3. 31	×
	16	国民宿舎「かじか荘」	指定管理	有限会社 E&KS共和国	18. 3. 1~22. 3. 31	0
足		国民相告「がしが狂」		有限会社 こるべる共和国	22. 4. 1~27. 3. 31	0
尾	17	銀山平公園キャンプ場	指定管理	足尾観光協会	18. 4. 1~22. 3. 31	0
地 域				有限会社 E&KS共和国	22. 4. 1~27. 3. 31	0
~~	18	間藤駅観光センター	直営	_		_
	19	足尾銅山観光	直営	_	_	_
	20	  足尾環境学習センター	指定管理	特定非営利活動法人 足尾に緑を育	18. 4. 1~22. 3. 31	0
				てる会	22. 4. 1~27. 3. 31	0
	21	自然体験交流センター 「安らぎの森 四季」	指定管理	安ケ森管理組合	20. 4. 1~23. 3. 31	0
					23. 4. 1~28. 3. 31	0
	22	土呂部キャンプ場	指定管理	土呂部キャンプ場管理組合	18. 4. 1~23. 3. 31	0
					23. 4. 1~28. 3. 31 18. 4. 1~23. 3. 31	0
	23	上栗山オートキャンプ場	指定管理	上栗山開運の里管理組合	23. 4. 1~28. 3. 31	0
栗					18. 4. 1~23. 3. 31	0
山	24	川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	指定管理	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合	23. 4. 1~28. 3. 31	0
地域	25	野門温泉共同浴場「家康の湯」	指定管理		18. 4. 1~23. 3. 31	0
				平家高原家康の里開発組合	23. 4. 1~28. 3. 31	0
	26	上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	指定管理	1 TT 1 BBNB - TT 45-TT 1- 1	18. 4. 1~23. 3. 31	0
				上栗山開運の里管理組合	23. 4. 1~28. 3. 31	0
	0.7	湯の郷湯西川観光センター	指定管理	ビジターセンター管理組合	19. 1. 1~22. 3. 31	0
	27			株式会社 湯の郷	22. 4. 1~27. 3. 31	0
	28	平家の里	指定管理	平家の里湯西川協同組合	18. 4. 1~28. 3. 31	0
		•			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

※利用料金制とは、施設の使用料について指定管理者の収入とすることができる制度です。そのため、施設の維持管理にかかる費用は、指定管理料と指定管理者が収受する利用料金で賄う場合と指定管理者が収受する利用料金のみで賄う場合があります。

## 3) コスト状況

## <観光案内施設>

# ① 施設別トータルコスト状況

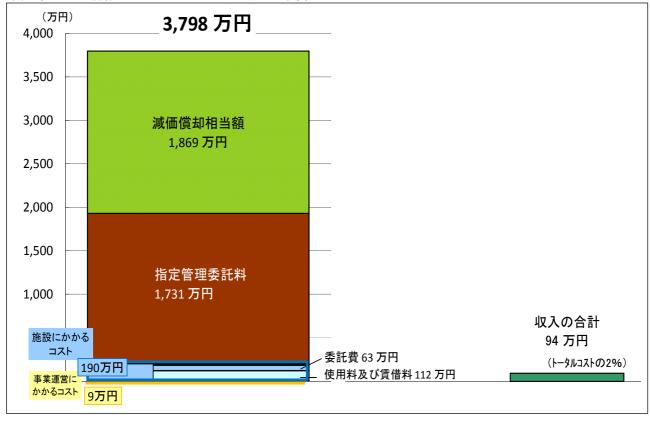
平成22年度の観光案内4施設の年間トータルコストは、3,798万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(建物管理委託費・使用料及び賃借料等)は190万円(約5%)、事業運営にかかるコスト(人件費・修繕費等)は9万円(約0.2%)、指定管理委託料は1,731万円(約46%)、減価償却相当額は1,869万円(49%)です。

※湯の郷湯西川観光センターについては、155ページに記載してあります。

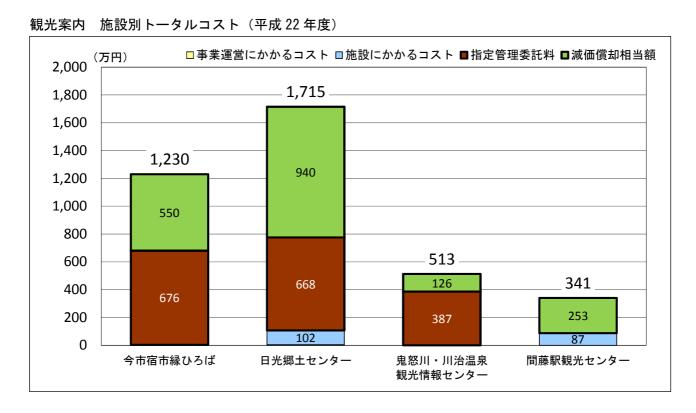
#### 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

I .現金収支を伴うもの 【コストの部】		今市宿市縁ひろば	日光郷土センター	鬼怒川・川治 温泉観光情 報センター	間藤駅観光センター	合計	(千円)	
	コか施 スか設 トるに	修繕費	0	151	0	0	151	
		委託費	0	0	0	629		
		使用料及び賃借料	0	870	0	245	1,115	
		施設にかかるコスト	0	1,021	0	874	1,895	
	運事 営業	その他物件費	39	51	0	0	90	
		事業運営にかかるコスト	39	51	0	0	90	
		指定管理委託料	6,762	6,678	3,866	0	17,306	
玗	金収支	を伴うコスト 計	6,801	7,750	3,866	874	19,291	
【収入の部】								
収入 使用料収入		0	192	3	745	940		
収入の合計			0	192	3	745	940	
Ⅱ.現金収支を伴わないもの								
コスト 減価償却相当額		5,501	9,398	1,260	2,532	18,691		
Ⅲ.総括								
コストの部合計(トータルコスト)			12,302	17,148	5,126	3,406	37,982	
収支差額(ネットコスト)			12,302	16,956	5,123	2,661	37,042	



観光案内 全施設トータルコスト (平成22年度)

施設別トータルコストでは、間藤駅観光センターの341万円~日光郷土センターの1,715万円となっています。間藤駅観光センターを除く3施設は、指定管理委託料が中心のコスト構成となっています。

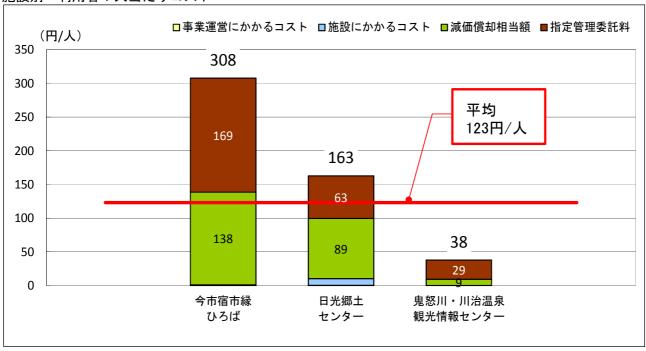


## ② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

## ■ 利用者1人当たりのコスト(間藤駅観光センター除く)

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、鬼怒川・川治温泉観光情報センターが38円/人から今市宿市縁ひろばが308円/人となっています。観光案内3施設の平均は123円/人です。

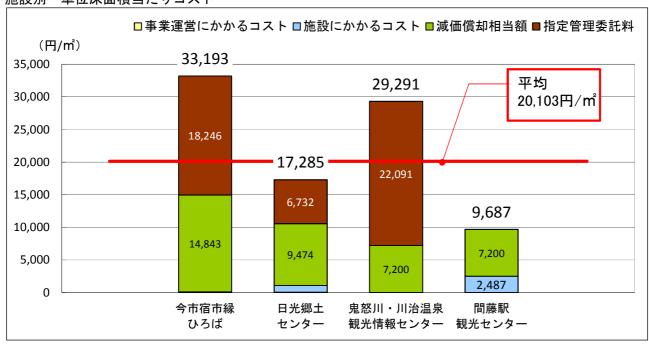
施設別 利用者1人当たりコスト



### ■ 床面積 (m) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、間藤駅観光センターの 9,687 円/㎡から今市宿市縁ひろばの 33,193 円/㎡となっています。観光案内 5 施設の平均は 20,103 円/㎡です。

施設別 単位床面積当たりコスト



## <宿泊施設(宿舎・ロッジ)>

## ① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の宿泊(宿舎・ロッジ)8施設の年間トータルコストは、6,903万円です。 年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(修繕費・使用料及び賃借料等)は1,138万円(約17%)、事業運営にかかるコスト(人件費・修繕費等)は135万円(約2%)、減価償却相当額は5,579万円(約81%)です。

## 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

14,158

45

17,812

9,670

9,225

13,527

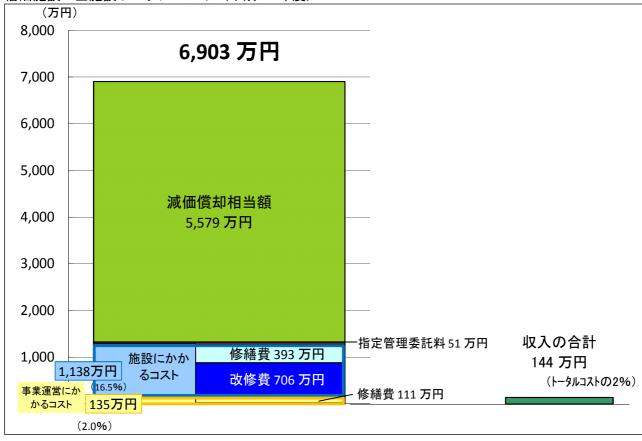
3,099

67,582

収支差額(ネットコスト)

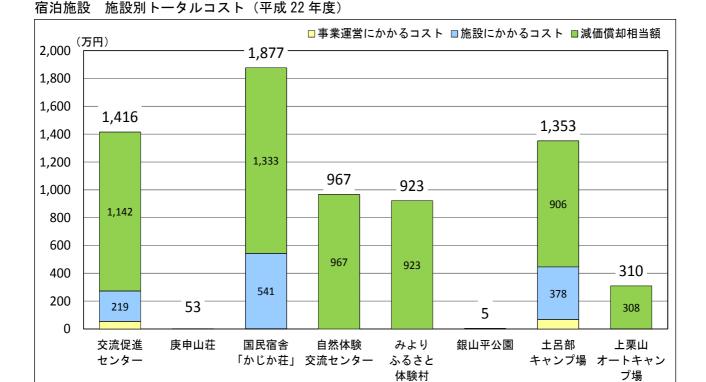
(千円)

I .現金収 【コスト	<b>又支を伴うもの</b> の部】	交流促進センター	庚申山荘	国民宿舎「かじか荘」	自然体験交流センター 「安らぎの森四季」	みよりふるさ と体験村 キャンプ場	銀山平公園	土呂部キャンプ場	上栗山オー トキャンプ場	合計
協	修繕費	467	0	0	0	0	0	3,465	0	3,932
施 コ 設	改修費	1,718	0	5,340	0	0	0	0	0	7,058
スるに	委託費	0	0	0	0	0	0	315	0	315
トか	使用料及び賃借料	0	0	73	0	0	0	0	0	73
か	施設にかかるコスト	2,185	0	5,413	0	0	0	3,780	0	11,378
コル事	修繕費	481	0	0	0	0	0	630	0	1,111
スか業	その他物件費	73	20	24	0	0	46	57	18	238
コストがかる	事業運営にかかるコスト	554	20	24	0	0	46	687	18	1,349
	指定管理委託料	0	510	0	0	0	0	0	0	510
現金収支	を伴うコスト 計	2,739	530	5,437	0	0	46	4,467	18	13,237
【収入の										
収入	使用料収入	0	485	959	0	0	0	0	0	1,443
収入の合	計	0	485	959	0	0	0	0	0	1,444
Ⅱ.現金収	又支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	11,419	0	13,334	9,670	9,225	0	9,060	3,081	55,789
Ⅲ.総括										
コストの	部合計(トータルコスト)	14,158	530	18,771	9,670	9,225	46	13,527	3,099	69,026



宿泊施設 全施設トータルコスト (平成22年度)

施設別トータルコストでは、銀山平公園の5万円~かじか荘の1,877万円となっています。 各施設とも減価償却相当額がトータルコストの大半を占めており、自然体験交流センター「安ら ぎの森 四季」とみよりふるさと体験村キャンプ場は、市の支出はありませんでした。



144

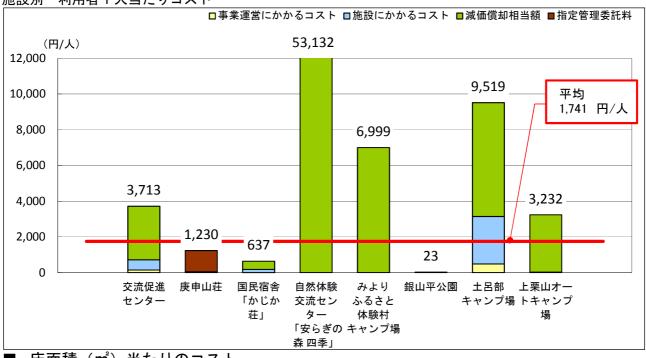
キャンプ場

## ② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

## ■ 利用者1人当たりのコスト

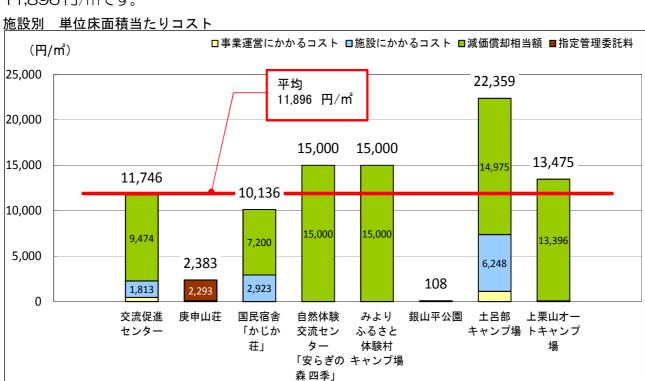
平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出す ると、銀山平公園の23円/人から自然体験交流センター「安らぎの森 四季」の53,132円/ 人となっています。宿泊8施設の平均は1,741円/人となっています。

## 施設別 利用者1人当たりコスト



# ■ 床面積 (m) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、銀山平公園の 108円/㎡から土呂部キャンプ場の22,359円/㎡となっています。宿泊8施設の平均は 11,896円/㎡です。



## <温泉施設>

収支差額(ネットコスト)

# ① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の温泉8施設の年間トータルコストは、2億7,925万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(修繕費・改修費等)は4,512万円(約16%)、 事業運営にかかるコスト(修繕費・委託費等)は3,851万円(約14%)、指定管理委託料は1億5,367万円(約55%)、減価償却相当額は4,195万円(15%)です。

施設別行政コスト計算書 (平成 22 年度) (千F													
I .現金収 【コスト(	双支を伴うもの の部】	かたくりの 湯	やしおの湯	日光温泉	鬼怒川公園 岩風呂	川治温泉薬 師の湯	上人一休の 湯	家康の湯	開運の湯	合計			
旃	修繕費	1,953	258	0	0	0	0	0	0	2,211			
加設	改修費	0	3,589	0	0	0	0	0	0	3,589			
スるに	委託費	84	0	0	0	0		0	0	84			
トか	使用料及び賃借料	0	9,450	1,421	28,048	314	0	0	0	39,233			
か	施設にかかるコスト	2,037	13,297	1,421	28,048	314	0	0	0	45,117			
」に事	修繕費	5,012	1,200	466	0	0	0	0	0	6,678			
コか業	委託費	0		0	31,553	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		0		31,553			
コストが運	その他物件費	36	103	0	0	88	9	32	13	281			
トる営	事業運営にかかるコスト	5,048	1,303	466	31,553	88	9	32	13	38,512			
	指定管理委託料	66,383	64,686	22,604	0	0	0	0	0	153,673			
現金収支	を伴うコスト 計	73,468	79,286	24,491	59,601	402	9	32	13	237,302			
【収入の	部】												
収入	使用料収入	0	53,085	5,272	0	0	0	0	0	58,357			
12.7	諸収入	0	2,466	139	0	0	0	0	0	2,605			
収入の合	·計	0	55,551	5,411	0	0	0	0	0	60,962			
Ⅱ.現金収	又支を伴わないもの												
コスト	減価償却相当額	13,375	11,368	1,298	7,005	1,591	3,291	2,655	1,365	41,948			
Ⅲ.総括													
コストの	部合計(トータルコスト)	86,843	90,654	25,789	66,606	1,993	3,300	2,687	1,378	279,250			

86,843

35,103

20,378

66,606

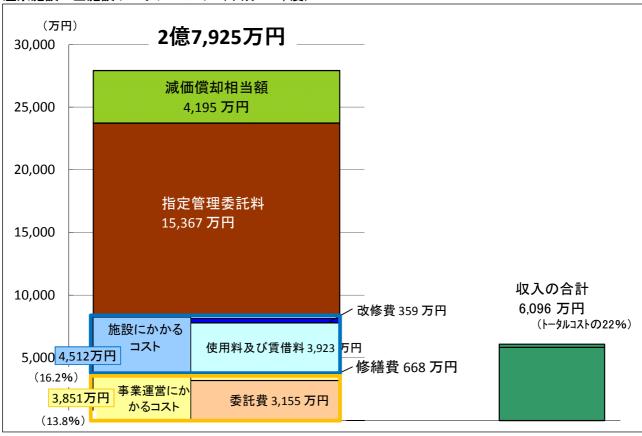
3,300

2,687

1,378

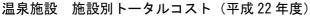
218,288

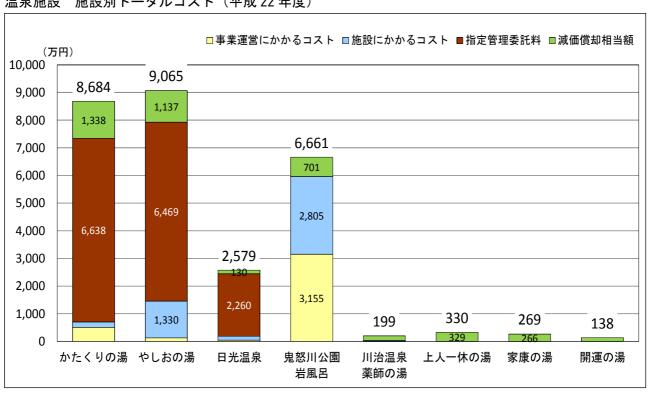
1,993



温泉施設 全施設トータルコスト (平成 22 年度)

施設別トータルコストでは、開運の湯の138万円~やしおの湯の9,065万円となっています。 かたくりの湯、日光温泉、やしおの湯は、指定管理料が、鬼怒川公園岩風呂は委託費が中心の コスト構成となっています。



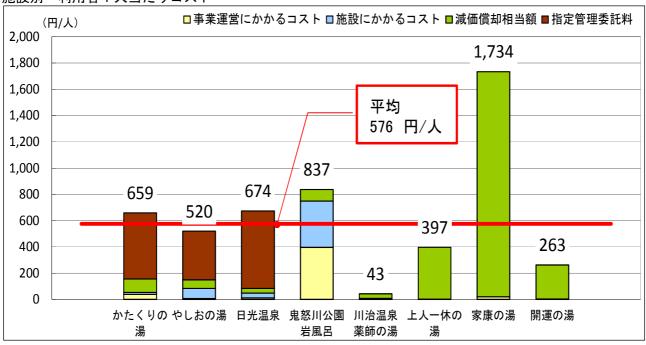


## ② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

#### ■ 利用者1人当たりのコスト

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、川治温泉薬師の湯の43円/人から家康の湯の1,734円/人となっています。温泉施設8施設の平均は576円/人となっています。

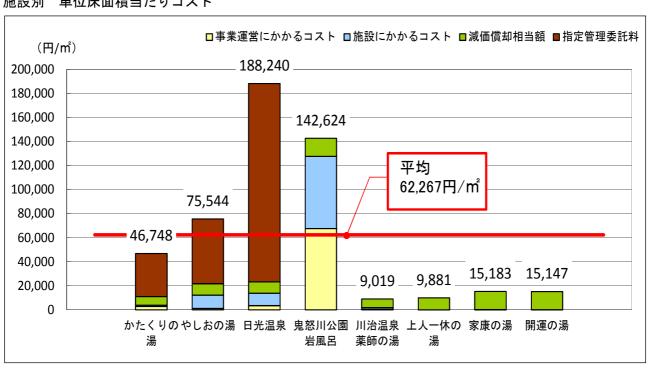
施設別 利用者1人当たりコスト



### ■ 床面積 (m) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、川治温泉薬師 の湯の 9,019 円/㎡から日光温泉の 188,240 円/㎡となっています。温泉 8 施設の平均は 62,267 円/㎡です。

施設別 単位床面積当たりコスト



## く資料館等施設>

## ① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の資料館等6施設の年間トータルコストは、1億2,757万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は4,080万円(約32%)、事業運営にかかるコスト(人件費・修繕費等)は4,365万円(約34%)、指定管理委託料は832万円(約7%)、減価償却相当額は3,481万円(27%)です。

### 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

(千円)

I.現金収 【コスト0		足尾銅山観 光	平家の里	川治ダム資 料館	上三依水生 植物園	中三依湿生 園	足尾環境学 習センター	合計
施	修繕費	0	1,205	0	0	. 0	0	1,205
一段	改修費	2,384	0	0	28,487	0	0	30,871
- ı-	光熱水費	4,462	0	0	0	6	0	4,468
ストル	委託費	3,948	0	0	0	0	0	3,948
トか	使用料及び賃借料	21	0	0	288	0	0	309
る	施設にかかるコスト	10,815	1,205	0	28,775	6	0	40,801
車	一般職員人件費	24,767	0	826	0	826	0	26,419
事業運営に	修繕費	5,264	. 0	0	0	0	0	5,264
る電	使用料及び賃借料	337	0	0	0	0	0	337
コーツ	備品購入費	383	0	0	0	0	0	383
スに	負担金補助及び交付金	130	0	0	0	0	0	130
「か	その他物件費	11,014	85	0	15	0	0	11,114
か	事業運営にかかるコスト	41,895	85	826	15	826	0	43,647
	指定管理料	0	0	0	6,000	0	2,320	8,320
現金収支	を伴うコスト 計	52,710	1,290	826	34,790	832	2,320	92,768
【収入の記	部】							
	分担金及び負担金(収入)	79,553	0	0	0	0	0	79,553
収入	使用料収入	761	0	432	0	0	0	1,193
	諸収入	2,235	0	0	0	0	0	2,235
収入の合	計	82,549	0	432	0	0	0	82,981
Ⅱ.現金収	支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	23,971	0	3,362	3,749	149	3,578	34,809

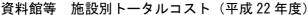
Ⅲ.総括

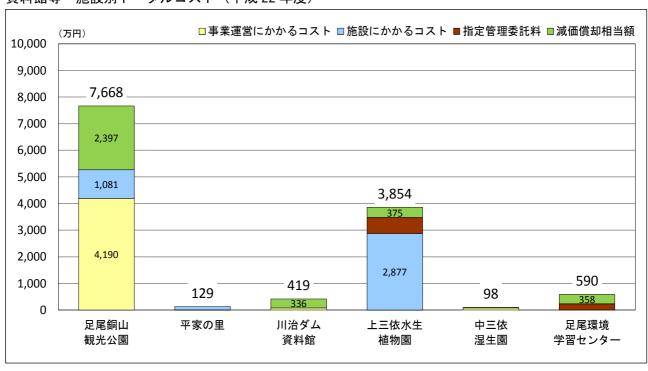
コストの部合計(トータルコスト)	76,681	1,290	4,188	38,539	981	5,898	127,577
収支差額(ネットコスト)	-5,868	1,290	3,756	38,539	981	5,898	44,596

(万円) 1億2,757万円 14,000 12,000 減価償却相当額 3,481 万円 10,000 収入の合計 8.298 万円 指定管理料832万円 (トータルコストの65%) 8,000 施設にかか 改修費 3,087 万円 るコスト 6,000 4,080万円 /光熱水費 447 万円 (32.0%) 委託費 395 万円 4,000 一般職員人件費 事業運営に 2,642 万円 かかるコスト 2,000 4,365万円 修繕費 526 万円 使用料及び賃借料 34 万円 (34.2%) その他物件費 1,111 万円 0

資料館等 全施設トータルコスト (平成22年度)

施設別トータルコストでは、中三依湿生園の 98 万円~足尾銅山観光公園の 7,668 万円となっています。



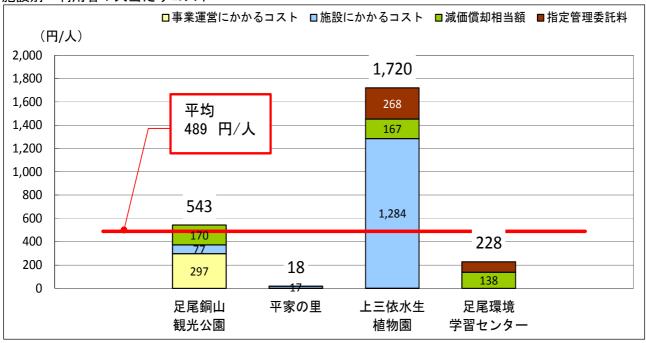


## ② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

## ■ 利用者 1 人当たりのコスト (川治ダム資料館、中三依湿生園を除く)

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、平家の里の 18 円/人から上三依水生植物園の 1,720 円/人となっています。資料館等 4 施設の平均は 489 円/人となっています。

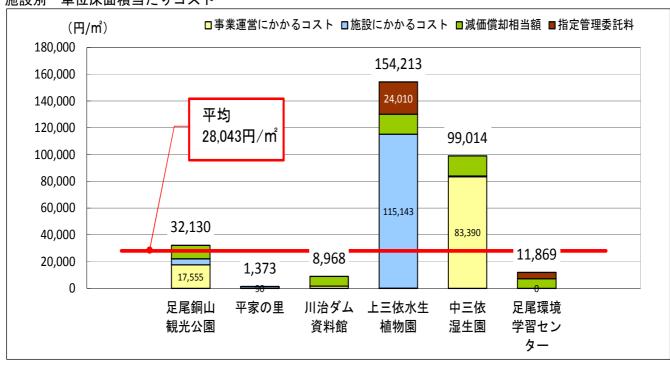
施設別 利用者1人当たりコスト



### ■ 床面積(m)当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、平家の里の 1,373円/㎡から上三依水生植物園の 154,213円/㎡となっています。資料館等 6 施設の平均は 28,043円/㎡です。

施設別 単位床面積当たりコスト



## <体験施設>

## ① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の体験2施設の年間トータルコストは、7,566万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(修繕費・改修費)は 1,023 万円(約 14%)、 事業運営にかかるコスト(その他物件費)は 2,551 万円(約 34%)、指定管理委託料は 2,000 万円(約 26%)、減価償却相当額は 1,993 万円(26%)です。

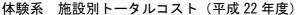
### 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

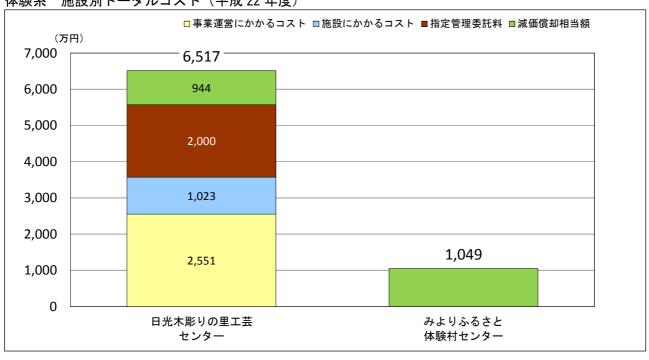
I .現金収 【コストの	【支を伴うもの D部】	日光木彫りの 里工芸セン ター	みよりふるさ と体験村セン ター	合計	(千円)
コか施	修繕費	1,983		1,983	
スか設 トるに	改修費 施設にかかるコスト	8,243 10,226	0	8,243 10,226	
運事	その他物件費	25,508	0	25,508	
営業	事業運営にかかるコスト	25,508	0	25,508	
	指定管理委託料	20,000	0	20,000	
現金収支	を伴うコスト 計	55,734	0	55,734	
【収入の部	部】				
	分担金及び負担金(収入)	36	0	36	
収入	使用料収入	46	0	46	
	諸収入	31,423	0	31,423	
収入の合	計	31,505	0	31,505	
Ⅱ.現金収	支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	9,440	10,485	19,925	
Ⅲ.総括					
コストの	部合計(トータルコスト)	65,174	10,485	75,659	
収支差額	(ネットコスト)	33,669	10,485	44,154	

(万円) 7,566 万円 8,000 7,000 減価償却相当額 1,993 万円 6,000 5,000 指定管理委託料 2,000 万円 収入の合計 4,000 3,150 万円 修繕費 198 万円 (トータルコストの42%) 施設にかかるコ 3,000 1,023万円 スト 改修費 824 万円 (13.5%) 2,000 事業運営にかか その他物件費 るコスト 1,000 2,551 万円 2,551万円 (33.7%)0

体験系 全施設トータルコスト (平成22年度)

施設別トータルコストでは、日光木彫りの里工芸センターが6,517万円で、指定管理料のはか、日光彫体験教材購入費が中心のコスト構成となっています。みよりふるさと体験村センターは、市の支出がありませんでした。



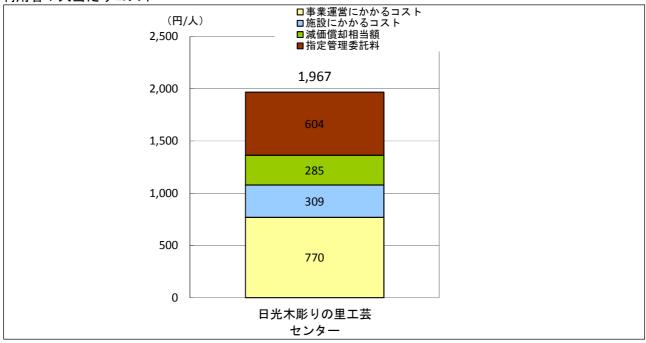


## ② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

## ■ 利用者1人当たりのコスト(みよりふるさと体験村センター除く)

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、日光木彫りの里工芸センターは 1,967 円/人となっています。

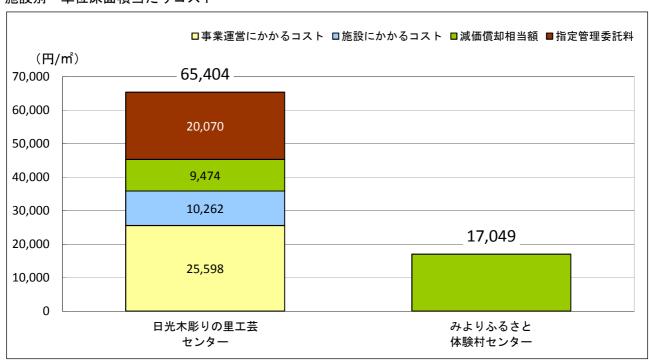
利用者 1 人当たりコスト



### ■ 床面積(㎡)当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、日光木彫りの 里工芸センターが 65,404 円/㎡、みよりふるさと体験村センターが 17,049 円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト

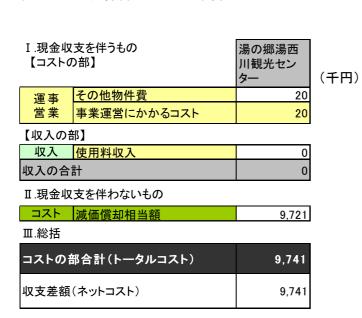


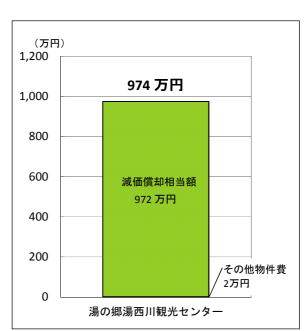
## <湯の郷湯西川観光センター>

## ① コスト状況

平成22年度の湯の郷湯西川観光センターの年間トータルコストは、974万円です。 年間トータルコストのうち、事業運営にかかるコスト(その他物件費)は2万円(約0.2%)、 減価償却相当額は972万円(99.8%)です。

#### 行政コスト計算書(平成22年度)

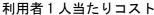




### ② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト状況

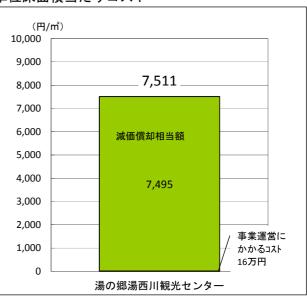
平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、19,483 円/人となっています。

また、延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、7,511 円/㎡となっています。





#### 単位床面積当たりコスト



155

#### 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、国民宿舎「かじか荘」、間藤駅観光センター及び足尾銅山 観光公園の3施設は、耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要です。
- 宿泊施設については、ロッジ・キャンプ場を含めて、直近利用者数は減少傾向にあり、また、市全体の観光客数に占める利用者も 1%前後と低い状況です。運営形態をみると、宿泊 8 施設全施設が指定管理者制度を導入しており、庚申山荘を除く7施設では利用料金制の指定管理者制度となっているため、独立採算で運営されています。今後も、施設の安定的な運営に向け、指定管理者と共同で利用者数増加に対する検討が必要です。
- 観光案内所の利用者数は増加傾向にありますが、資料館や体験施設等その他の観光施設の利用者数は減少傾向となっています。今後は、各地域を訪れた観光客をその他の地域への周遊へ結び付けるなど、観光施設の有機的な連携を図り効果的な運営を検討する必要があります。
- コスト面では、観光施設の多くが市からの現金支出がほとんどない、指定管理者が収受する利用料金のみで賄う利用料金制の指定管理施設になります。しかし、減価償却相当額のように保有しているだけでも費用はかかっており、今後ますます厳しくなる財政状況を考慮すると、観光施設の保有機能、提供サービス等を再整理し、施設の老朽化問題を含めて市全体で一体的に観光施設のあり方を検討する必要があります。

# (6)福祉施設

# 1)施設概要

# ① 施設一覧

市では、保健・福祉施設を6施設、医療施設を6施設、高齢者福祉施設を5施設、障がい者(児) 福祉施設を2施設保有しています。

# 施設一覧

区分	名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	併設施設
保健·福祉施設	1 今市保健福祉センター	平ケ崎109番地	2,098.5	昭和62	休日急患こども診療所(132.9㎡) つばさ園(277㎡)
	2 日光福祉保健センター	花石町1942番地2	1,509.8	平成2	
	3藤原保健センター	藤原19番地	636.0	昭和56	
	4 藤原福祉センター「ふじの郷」	鬼怒川温泉大原2番地6	1,423.0	平成12	
	足尾保健・高齢者生活福祉センター 5「銅やまなみ館」	足尾町赤沢3番23号	1,788.5	平成6	
	6 栗山保健センター	日蔭575番地	740.0	昭和58	栗山診療所(174㎡) 栗山デイサービスセンター(156㎡)
医療施設	1 休日急患こども診療所	平ケ崎109番地	2,098.5	昭和62	今市保健福祉センター(1,688.7㎡) つばさ園(277㎡)
	2 小来川診療所	中小来川2668番地2	128.3	平成5	
	3 奥日光診療所	中宮祠2478番地22	273.4	平成11	
	4 三依診療所	中三依321番地	229.0	平成18	
	5 栗山診療所	日蔭575番地	740.0	昭和58	栗山保健センター(410㎡) 栗山デイサービスセンター(156㎡)
	6 湯西川診療所	湯西川1168番地1	305.6	平成19	
高齢者福祉施設	1 生きがいセンター	今市1659番地10	512.2	平成7	
	2 小来川デイサービスセンター	小来川2668番地1	118.0	平成2	
	3 中宮祠介護サービスセンター	中宮祠2478番地31	169.0	平成22	
	4 栗山デイサービスセンター	日蔭575番地	740.0	昭和58	栗山保健センター(410㎡) 栗山診療所(174㎡)
	5 西川デイサービスセンター	西川206番地7	326.8	平成21	
障がい者(児)福祉施設	1 つばさ園	平ケ崎109番地	2,098.5	昭和62	今市保健福祉センター(1,688.7㎡) 休日急患こども診療所(132.9㎡)
	2 うぐいす園(休止)	鬼怒川温泉大原2番地24	60.9	平成15	

### 福祉施設配置図



# ② 建物総合評価の結果

平成 22 年度における 15 福祉施設の建物総合評価を行いました。

- ※ 今市福祉保健センターは、休日急患こども診療所及びつばさ園を併設している。
- ※ 栗山保健センターは、栗山デイサービスセンター及び栗山診療所を併設している。

	基本	<b>售</b> 据	1					<b>严倍</b> 次	t ict			⑤維:	持管理		⑤維持管理					
	坐平	IFI +IX	耐震化	老朽化		<b>3</b> ,	177.	, ,	יטיו ני		9.	<b>!</b> 來-5元 ^ !	J //C	維持的	管理費(	千円)	床面積	当たり()	円/ <b>㎡</b> )	
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	車いす用エレベータ※	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	
今市保健福祉センター	昭和62	2,099	_	24	0	0	0	0	0	0	×	×	×	4,018	5,588	889	1,915	2,663	424	
日光福祉保健センター	平成2	1,510	-	21	0	0	0	0	0	0	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
藤原保健センター	昭和56	636	-	30	×	0	0	0	0	×	×	×	×	863	97	50	1,357	153	79	
藤原福祉センター「ふじの郷」	平成12	1,423	-	11	-	0	0	0	0	0	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
足尾保健・高齢者生活福祉センター 「銅やまなみ館」	平成6	1,789	_	17	0	0	0	0	0	0	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
栗山保健センター	昭和58	740	_	28	×	0	0	0	0	×	×	×	×	1,106	1,154	2,109	1,494	1,560	2,850	
小来川診療所	平成5	128	=	18	×	×	0	0	0	×	×	×	×	263	109	54	2,053	850	417	
奥日光診療所	平成11	273	=	12	×	×	0	0	0	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
三依診療所	平成18	229	-	5	-	0	0	0	0	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
湯西川診療所	平成19	306	-	4	-	0	0	0	0	0	×	×	×	789	1,116	126	2,582	3,651	412	
生きがいセンター	平成7	512	-	16	-	0	0	0	0	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
小来川デイサービスセンター	平成2	118	-	21	-	0	0	×	0	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
中宮祠介護サービスセンター	平成22	169	-	1	-	0	0	0	0	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
西川デイサービスセンター	平成21	327	-	2	-	0	0	0	0	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
うぐいす園(休止)	平成15	61	=	8	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	
合計		10,319												-	-	-	- 17	-	-	
													10.7	幺任 七二:	<b>//</b> - τ□ :			i 古 坟		

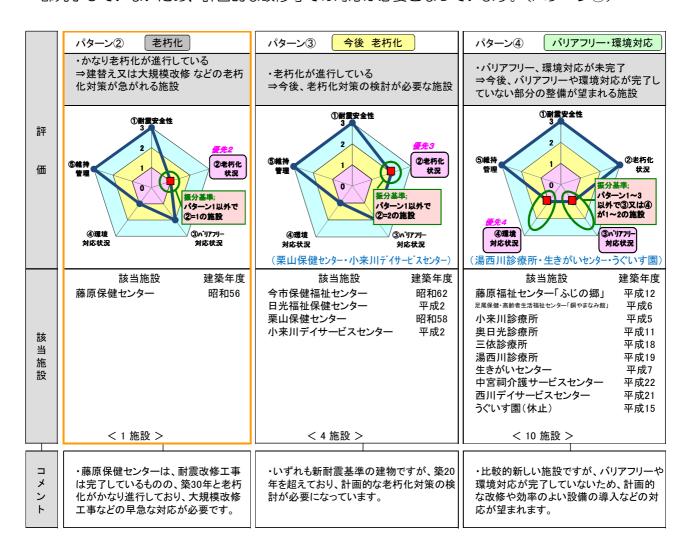
※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等

※2 節水型便器、高効率照明器具·LED照明、雨水·中水設備

実施済み÷○ 記載例 <u>未実施 = ×</u> 不 要 ⇒— ※維持管理費は、市が直接支出 している費用 15 福祉施設のうち、藤原保健センターは、耐震安全性は確保されているものの、老朽化が進行しており、建替え又は大規模改修等の老朽化対策が早急に必要な施設となっています。(パターン②)

今市保健福祉センター等4施設は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年以上が経過し、 今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

藤原福祉センター「ふじの郷」をはじめ 10 施設は、比較的新しい施設ですが、環境対応等が 一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



#### 2) 施設状況

### <保健施設>

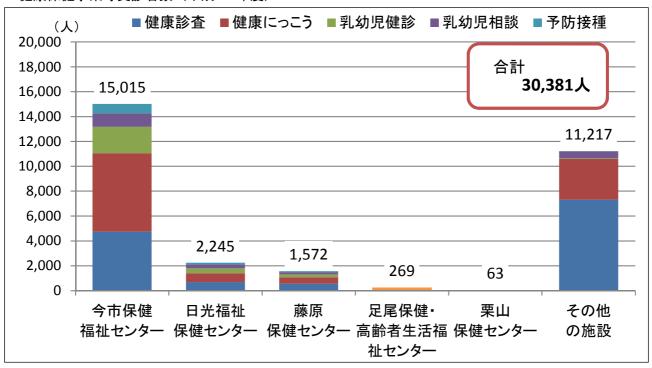
市では、健康診査や乳児検診等の各種保健事業を実施しています。

平成 22 年度の市全体の健康保健事業受診者は、30,381 人です。

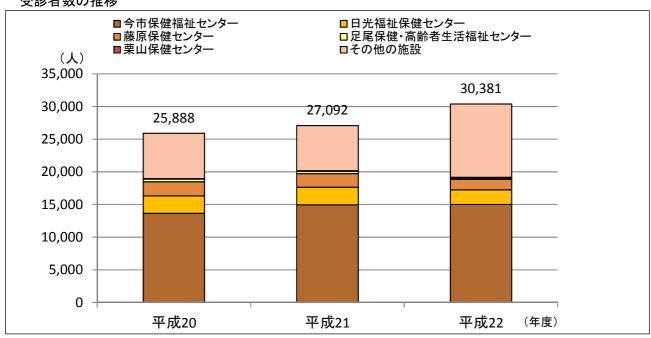
そのうち、施設別の受診者数は、栗山保健センターの63人~今市保健福祉センターの15,015人、その他の施設で11,217人となっています。今市保健福祉センターの受診者数が全体の約49%を占めています。

直近3年間の受診者数の推移は、平成20年度の25,888人から平成22年度の30,381人 と約1.2倍増加しています。

# 健康保健事業等受診者数 (平成 22 年度)



#### 受診者数の推移



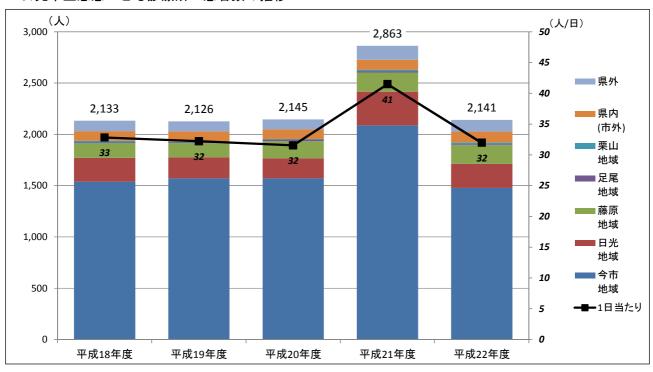
#### <医療施設>

## ■ 休日急患こども診療所

今市保健福祉センターで実施している休日急患こども診療所患者数の直近5年間の推移をみると、平成21年度は2,863人と例年に比べ患者数が約1.3~1.4倍増加しましたが、その他は2,100人前後で推移しており、平成22年度は2,141人となっています。

1日当たりの患者数は、平成16年度以降32人~41人となっています。

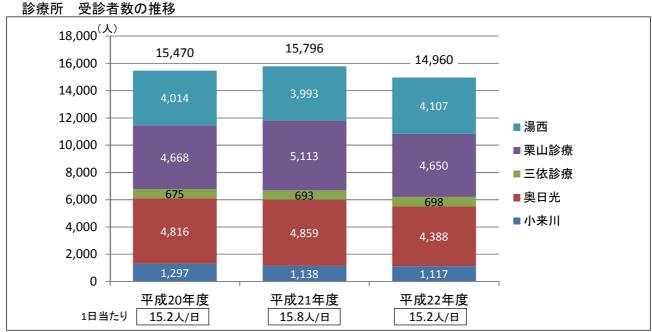
日光市立急患こども診療所 患者数の推移



#### ■ 診療所

診療所 5 施設の受診者数の直近 3 年間の推移をみると、平成 20 年度は 15,470 人から平成 22 年度は 14,960 人と約 1.5 万人前後で推移しています。

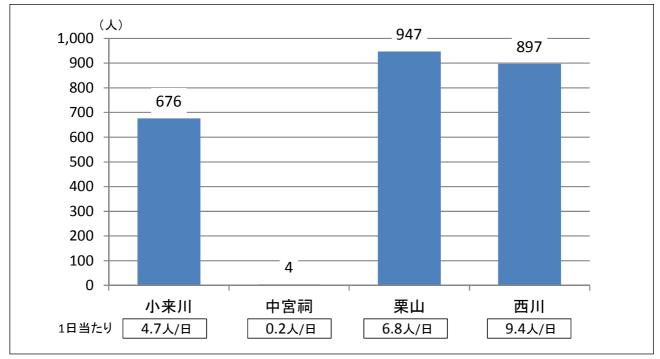
1日1施設当たりの受診者数は、15.2人~15.8人となっています。



# <高齢者福祉施設(デイサービス)>

平成23年3月に開館した中宮祠デイサービスセンターを除く3施設の平成22年度の利用状況は、小来川デイサービスセンターの676人から栗山デイサービスセンターの947人となっています。1日当たりの利用者数は、4.7人~9.4人です。

施設別 利用者数 (平成22年度)



※中宮祠デイサービスセンターは、平成23年3月開館

#### 3) コスト状況

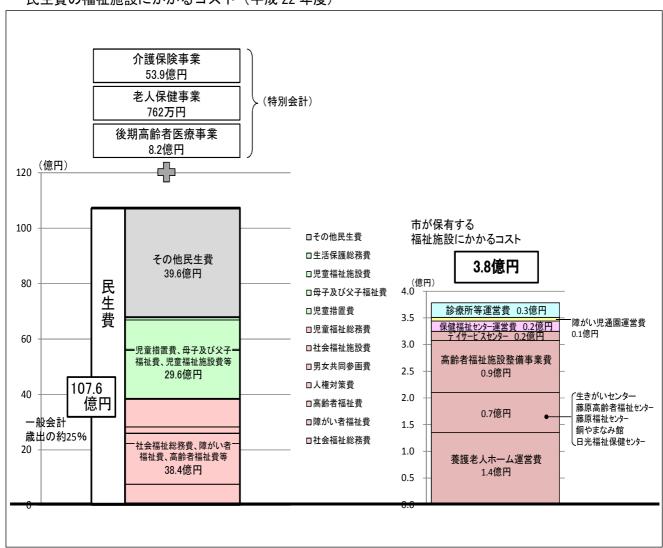
#### ① 民生費の状況(平成22年度)

平成 22 年度の決算による民生費は、107 億 5,543 万円(一般会計の約 25%)です。 内訳は、社会福祉総務費等 38.4 億円、児童福祉施設費等 29.6 億円、生活保護費等その他民 生費 39.7 億円となっています。

このうち、市が保有する福祉施設にかかるコストは、3億7,836万円です。主な内訳は、養護老人ホーム運営事業費が1億3,521万円、生きがいセンター等社会福祉施設運営事業費が7,485万円、高齢者福祉施設整備事業費9,739万円、デイサービスセンター等運営事業費が1,728万円となっています。

※養護老人ホームについては、平成23年度から民営化しています。

#### 民生費の福祉施設にかかるコスト (平成22年度)

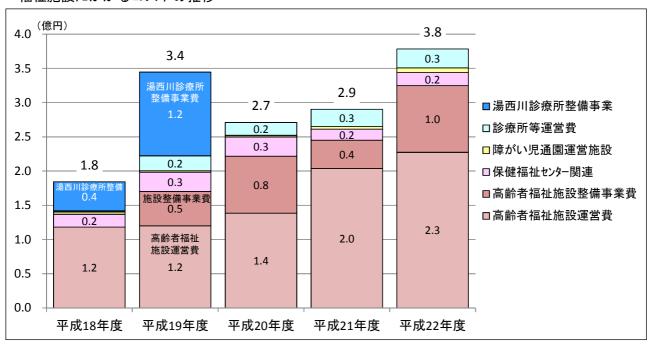


# ② コスト推移

## ■ 福祉施設にかかるコストの推移

直近5年間の福祉施設にかかるコストの推移では、平成18年度1.8億円から平成22年度3.8億円となっています。平成18・19年度は、湯西川診療所の整備事業が行われましたが、診療所整備事業費を除いた推移をみると、平成18年度1.4億円から平成22年度3.8億円と5年間で約2.7倍増加しています。

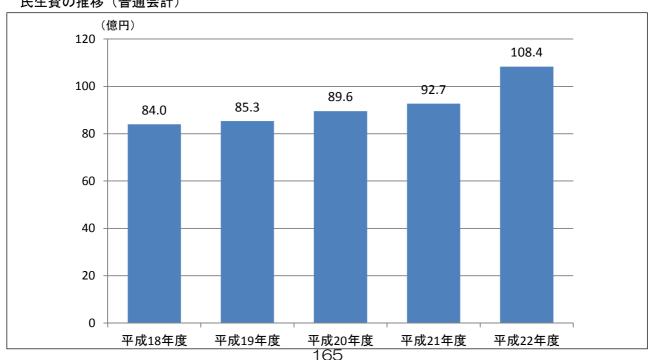
福祉施設にかかるコストの推移



#### ■ 民生費の推移

直近5年間の民生費の推移では、平成18年度84億円から平成22年度108.4億円と、24.4億円約1.3倍増加しており、民生費は年々増加傾向となっています。

#### 民生費の推移 (普通会計)



## 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、15 福祉施設のうち、藤原保健センターは、耐震安全性は確保されているものの老朽化が進んでいることから、今後、大規模改修等を検討する必要があります。
- 福祉施設は、高齢化の進行や健康に関する関心の高まり等により、今後、利用者が増加することが考えられます。そのため、需要に見合ったサービスの提供については、民間活力の積極的な導入を含めて検討する必要があります。また、新たに施設整備が必要な場合には、近隣の公共施設の空きスペースの活用や用途変更等、市の保有資産の有効活用を含めた検討が必要です。

## (7) スポーツ施設

## 1) 施設概要

## ① 施設一覧

市では、地域住民の健康保持及び増進並びにコミュニティレクリエーション広場として、また、スポーツの振興及び文化の向上を図る地域住民のふれあいの場として、運動公園等を含めスポーツ施設が27箇所あります。また、小中学校では、スポーツ活動を行う市民の団体等に、学校教育に支障にない範囲で校庭と体育館の貸し出しを行っています。

施設一覧

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

							屋内施設		屋内外					,			
	名称	住所	敷地 面積 (㎡)	延床 面積 (㎡)	開設 年度 (年度)	体育館 体育室	柔道場	ルーニン が室/ 会議 室・研 修室	スケート	プール	野球場	サ 場 カ I	運動広場	テニス場	ボール場	そ の 他	備考
	1 今市運動公園	今市1659番地	83,000.0	1,634.7	昭和53	•					•	•	•		•		野球場2施設
	2 丸山公園	瀬尾1640-22,23,23,25,28番5	106,612.0	354.7	昭和55					•	•	•	•	•		スケート ボード場	
今市	3 豊岡運動公園	大桑町136番地	31,100.0	624.8	昭和40	•					•			•	•		
地域	4 塩野室運動公園	小林字河原地内	49,705.5	0.0	平成9								•	•	•		
	5 落合運動公園	明神2440番地	28,372.0	668.0	昭和56	•					•			•	•		
	6 大沢体育館	大沢町809番地1	18,719.8	4,243.5	平成21	•		•									大沢支所大沢公民 館併設
	7 日光運動公園	所野2832番地2	103,370.0	381.3	平成5						•		•	•		ゴルフ場	
	8 清滝体育館	清滝桜ヶ丘町210番地7	1,220.0	1,008.0	昭和59	•											女性サポートセン ター併設
日光	9 日光体育館	相生町15番地	3,768.0	1,417.2	昭和54	•	•	•									
地域	10 小倉山テニスコート	所野2854番地	5,380.0	0.0	昭和59									•			日光木彫りの郷工 芸センター併設
	11 細尾ドームリンク	細尾町676番地12	21,323.0	2,931.7	平成7				● (屋内)							インライン ホッケー	
	12 霧降スケートセンター(屋外)	所野2854番地先	126,638.0	4,926.7	平成3				● (屋外)								県立アイスアリー ナ併設
	13 藤原運動公園	鬼怒川温泉大原485番地	32,000.0	150.8	昭和50								•	•			
	14 藤原プール	鬼怒川温泉大原785番地	1,374.0	0.0	昭和44					•							
藤	15 藤原運動場	藤原355番地1	12,217.0	21.5	平成3								•		•		
原	16 川治運動場	川治温泉川治245番地	18,420.0	0.0	昭和50								•	•			
地域	17 川治プール	川治温泉川治245番地	325.0	0.0	昭和51					•							
	18 鬼怒川レジャー公園	鬼怒川温泉大原35番地1	34,520.0	0.0	昭和59									•	•		
	19 下原運動場	鬼怒川温泉大原2番地	5,370.0	25.0	昭和45		•				•					弓道場	
	20 足尾原体育館	足尾町3376番地	3,043.0	429.6	昭和62	•											
足	21 足尾中央グラウンド	足尾町2805番地4	11,394.0	25.0	昭和54						•			•	•		
尾地	22 足尾向原テニスコート	足尾町向原2479番地1	1,480.0	0.0	平成5									•			
域	23 足尾市民センター	足尾町通洞9番地1	3,738.0	1,696.2	昭和52	•											足尾銅山観光併設
	24 足尾プール	足尾町赤沢6番地1	661.0	0.0	昭和45					•							
栗山	25 栗山運動場	日蔭570番地	7,450.0	119.0	昭和62		_						•				
地域	26 湯西川体験農業交流センター	湯西川1156番地	917.0	917.0	昭和52	•											
	合 計		712,117.3	21,574.7	_	9ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	4ヶ所	7ヶ所	2ヶ所	8ヶ所	11ヶ所	7ヶ所	_	

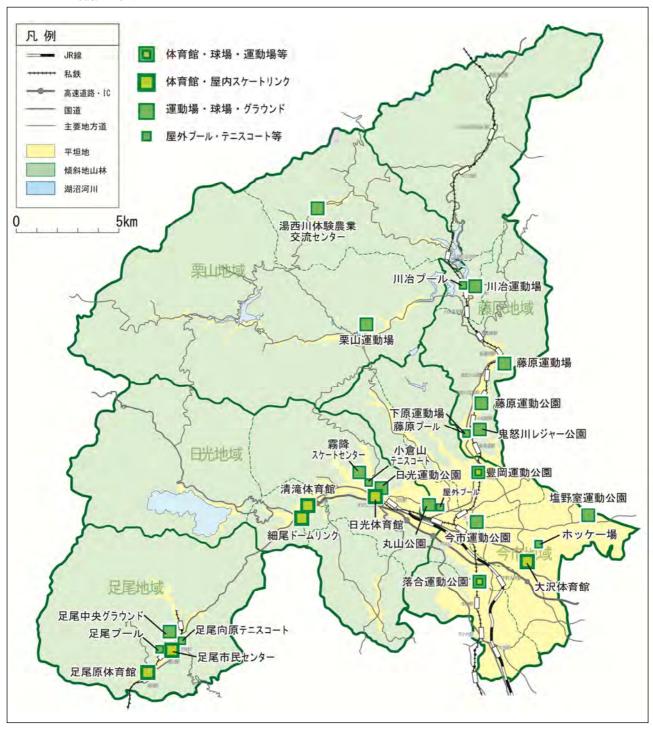
<sup>※</sup>平成23年度竣工のホッケー場は、平成23年度から使用しているため、今回の集計から除いています。

## 学校開放施設

体育館	市内全ての小学校及び三依中学校を除く全ての中学校 ※なお、(元) 川治小中学校及び(元) 川俣小中学校の体育館も開放しています。
校庭 (ナイター施設)	今市小学校・今市第二小学校・南原小学校・落合中学校・大沢中学校・小林中学校・ 日光小学校・小来川小中学校

<sup>※</sup>大沢体育館の延床面積には、支所・公民館の 1248.8 m<sup>3</sup>が含まれています。

### スポーツ施設配置図



# ② 建物総合評価の結果

平成 22 年度の建物総合評価については、体育館(9施設)及び屋内スケートリンク(1施設)の計10施設の屋内スポーツ施設を対象として行いました。

	₩₩	情報	1	2	③バリアフリー対応				環境対	ŀrţ			⑤維持	寺管理					
	<b>本</b> 华	1月 羊収	耐震化	老朽化		3/	177.	,x	11/1/		4)	<b>垛堤</b> 刈	ᆙ	維持管	維持管理費(千F		床面積	当たり(	円/㎡)
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	エレベータ※1車いす用	障がい者用トイレ	スロー プ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	壁面緑化等	環境対応設備※ 2	光熱水費	委託費 理	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
今市運動公園(体育センター)	昭和53	1,635	不要	33	×	0	0	×	×	×	×	×	×	-	-	431	-	-	263
豊岡運動公園(体育館)	昭和40	625	実施済み	46	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	903	-	-	1,445
落合運動公園 (体育館)	昭和56	668	未実施	30	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
大沢体育館	平成21	4,244	-	2	0	0	0	0	0	0	×	×	×	5,746	8,173	15	1,354	1,926	3
清滝体育館	昭和59	1,008	-	27	×	0	0	0	×	×	×	×	×	-	763	-	-	757	-
日光体育館	昭和54	1,417	未実施	32	×	0	0	0	×	×	×	×	×	1,898	4,369	359	1,339	3,083	253
細尾ドームリンク	昭和59	2,932	-	27	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10,491	1,388	757	3,578	473	258
足尾原体育館	昭和62	430	-	24	Í	×	×	×	×	×	×	×	×	60	256	-	139	596	-
足尾市民センター	昭和52	1,696	未実施	34	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,097	1,898	395	647	1,119	233
湯西川体験農業交流センター	昭和59	917	-	27	ı	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
合計		15,571												19,292	16,847	2,860	-	-	-

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等

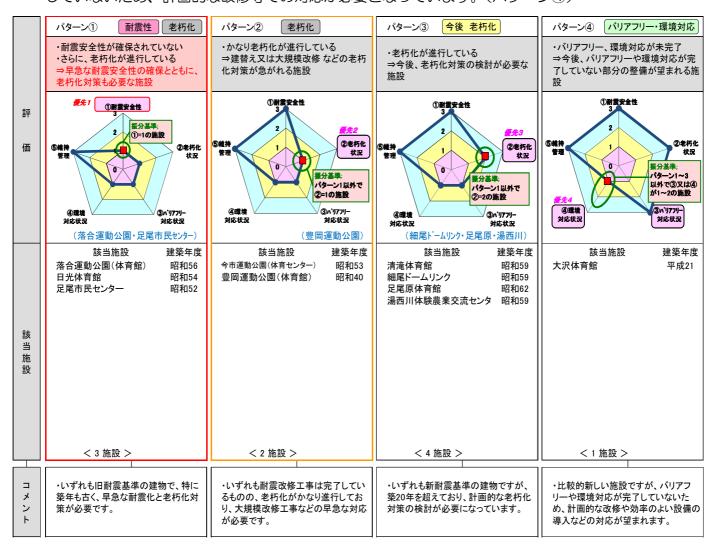
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

実施済み÷○ 記載例 <u>未実施 = ×</u> 不 要 ⇒— ※維持管理費は、市が直接 支出している費用 屋内スポーツ施設10施設のうち、落合運動公園(体育館)、日光体育館及び足尾市民センターは、旧耐震基準の建物であり、耐震安全性が確保されていないことから早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

今市運動公園(体育センター)及び豊岡運動公園(体育館)は、耐震安全性は確保されている ものの、老朽化がかなり進行し、建替え又は大規模改修等の検討が早急に必要な施設となってい ます。(パターン②)

清滝体育館をはじめ4施設は、新耐震規準の建物ですが、築20年を超えており、今後、老朽 化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

大沢体育館は、比較的新しい施設でバリアフリーには対応していますが、環境対応が一部完了 していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



## 2) 施設の状況

### ① 全体の利用状況

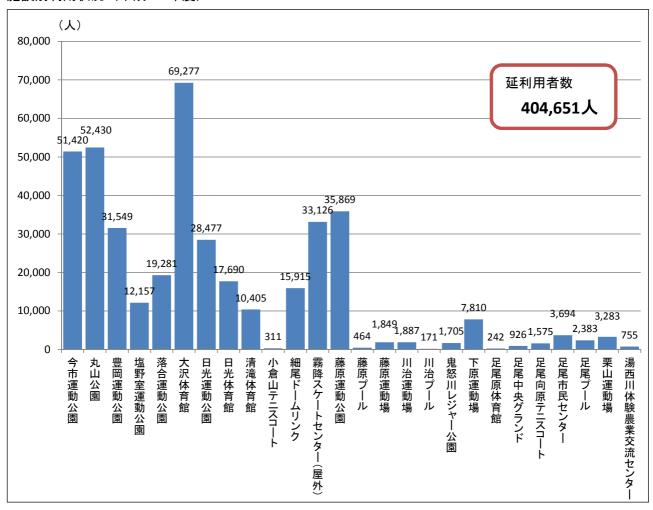
#### ■ 施設別利用状況

平成 22 年度のスポーツ施設 26 箇所(学校開放事業は除く。)の延利用者数は、404,651 人です。

施設別利用者数は、大沢体育館が最も多く 69,277 人(約 17%)です。次に、丸山公園が 52,430 人(約 13%)、今市運動公園が 51,420 人(約 13%)となっています。

また、市の特徴としてスケート施設である細尾ドームリンクが 15,915 人、霧降スケートリンクが 33,126 人となっています。スケート施設は、冬期 (霧降スケートセンター: 11 月~2 月、細尾ドーム: 10 月~3 月) のみの利用となっています。

### 施設別利用状況(平成22年度)

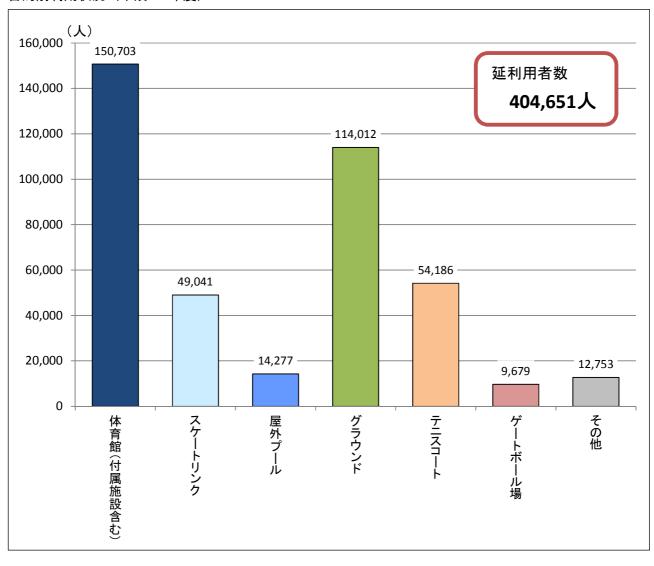


## ■ 目的別利用状況

目的別利用者数は、体育館・トレーニング室等の利用が最も多く 150,703 人(約37%)です。次に、野球場・運動場等のグラウンド利用が 114,012 人(約28%)、テニスコートが54,186人(約13%) となっています。

また、市の特徴としてスケート施設の利用が 49,041 人(約 12%) となっています。 その他、プールが 14,277 人(7月~8月のみ)、ゲートボールが 9,679 人となっています。 ※その他 12,753 人の内訳は、日光運動公園のゴルフ場利用 12,691 人と下原運動場の弓道場利用 62 人になります。

## 目的別利用状況(平成22年度)



#### ② 施設別目的別の利用状況

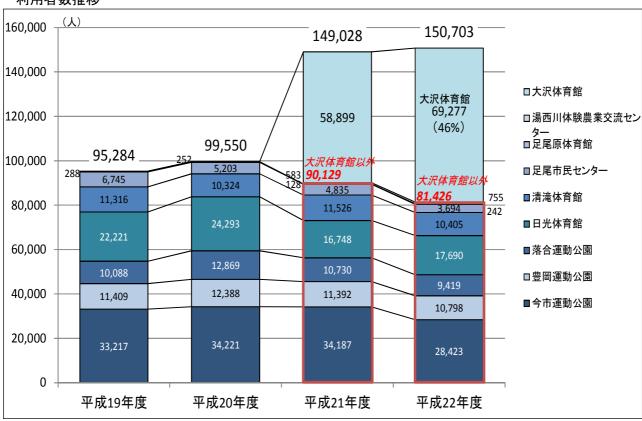
## ■ 体育館(付属施設含む)

平成 22 年度の体育館(トレーニング室等付属施設含む)8 施設の利用者数は、150,703 人です。施設別にみると、大沢体育館の利用が最も多く69,277 人(約 46%)となっており、最も利用が少ない施設は、足尾原体育館の242 人(約 0.2%)となっています。

また、平成 21 年度以降については、大沢体育館の竣工により、平成 20 年度に比で約 1.5 倍増加していますが、大沢体育館以外の7施設の推移は、平成 21 年度以降、減少傾向が続いています。

なお、大沢体育館では、会議室や研修室、さらに、トレーニング室を設置しており、利用者の 約半数が付属施設の利用であることがわかります。

### 利用者数推移



※湯西川体験農業交流センターの平成20年度以前については、データがないため除いてあります。

### 大沢体育館利用状況

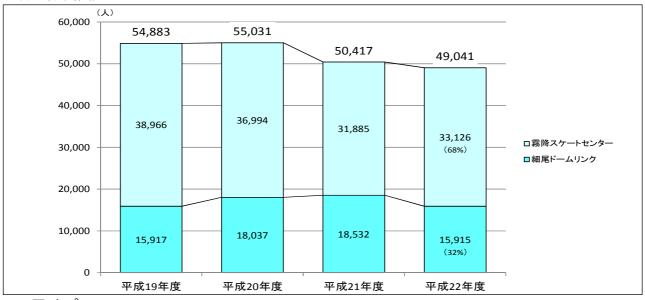
		平成2	1年度	平成22年度				
		件数	人数	件数	人数			
	アリーナ	765	30,090	933	34,574			
大沢	会議室	109	13,712	126	14,085			
大沢体育館	研修室	82	10,859	106	13,145			
育館	トレーニング室	1	4,238	1	7,473			
	小 計	956	58,899	1,165	69,277			

#### ■ スケートリンク

平成22年度のスケートリンク2施設の利用者数は、49,041人です。施設別では、霧降スケ ートセンターが33,126人、細尾ドームリンクが15,915人となっています。

また、施設別利用者数の推移では、霧降スケートセンターが平成 19 年度 38,966 人から平成 22 年度 33,126 人と約 15%減少し、細尾ドームリンクは、平成 21 年度まで微増傾向でした が平成 22 年度 15.915 人と前年度に比べ約 14%減少しています。

## 利用者数推移



### ■ 屋外プール

平成 22 年度の屋外プール 4 施設利用者数は、14,277 人です。施設別では、川治プールの 171人から丸山公園プールの11,259人となっています。

また、施設別利用者数の推移では、丸山公園プールの利用者が平成 19 年度から減少していま したが、平成 22 年度に 11,259 人と前年度に比べ約 1.6 倍増加しており、プール利用者全体 の利用者数が増加しています。

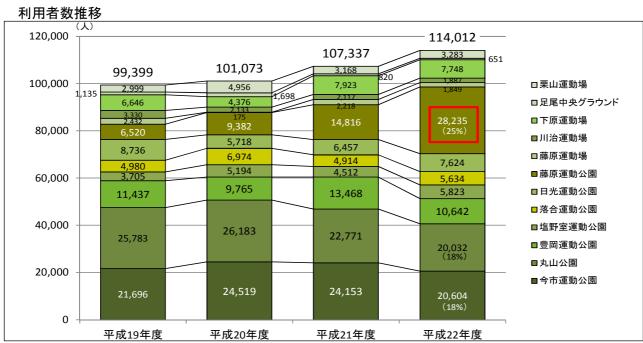
#### 利用者数推移



#### ■ グラウンド

平成 22 年度のグラウンド 12 施設の利用者数は、114,012 人で全体的に増加傾向にあります。施設別では、足尾中央グラウンドの651 人から藤原運動公園の28,235 人となっています。

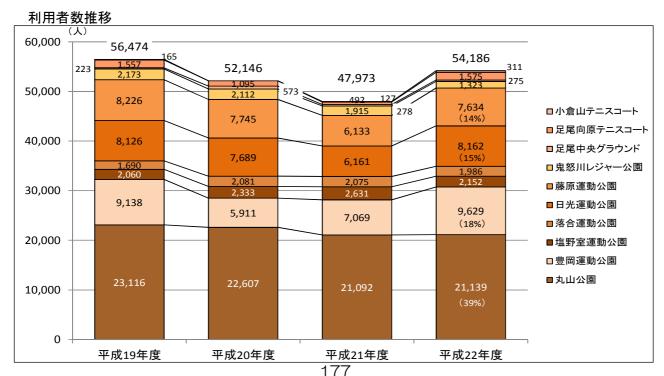
また、施設別の推移では、今市地域を中心に減少している施設が多い中、藤原運動公園は、藤原中学校の建て替え工事の影響もあり、平成19年度に比べ約4.3倍増加しているなど、施設によって利用状況が大きく異なっています。



#### ■ テニスコート

平成 22 年度のテニスコート 10 施設の利用者数は、54,186 人です。施設別では、足尾中央 グラウンドの 275 人から丸山公園の 21,139 人となっています。

また、利用者数の推移では、平成 19 年度の 56,474 人から平成 21 年度までは減少傾向となっていましたが、平成 22 年度は増加に転じています。

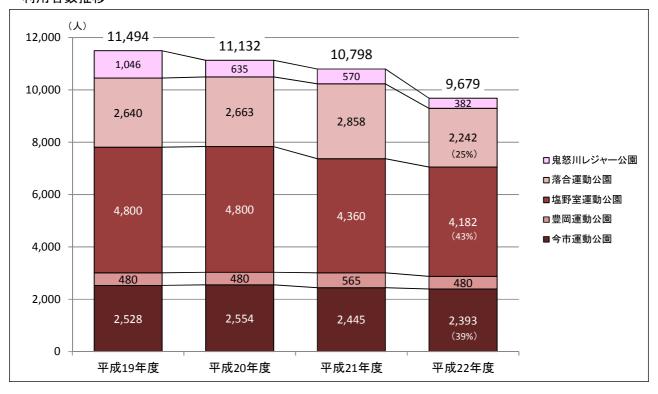


## ■ ゲートボール場

平成 22 年度のゲートボール 5 施設の利用者数は、9,679 人です。施設別では、鬼怒川レジャー公園の 382 人から塩野室動公園の 4,182 人となっています。

また、利用者数の推移では、全施設とも減少傾向にあり、平成 19 年度の 11,494 人から平成 22 年度は 9,679 人まで、約 16%減少しています。

#### 利用者数推移

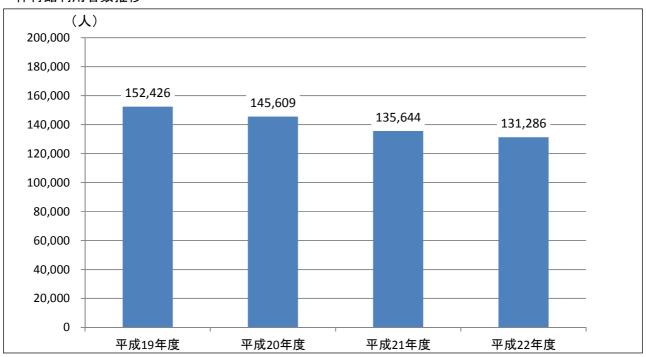


# ③ 学校開放施設の利用状況

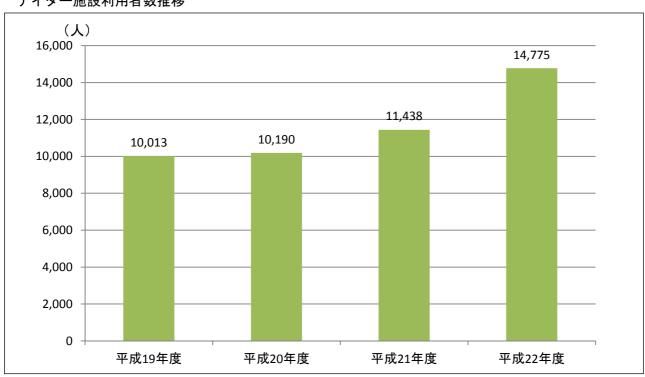
学校開放事業として実施している体育館及びナイター施設の利用者数の推移をみると、体育館利用者は、平成 19 年度 152,426 人から平成 22 年度 131,286 人と減少傾向にあります。

一方、ナイター利用者は、平成 19 年度 10,013 人から平成 22 年度 14,775 人と約 1.5 倍の増加となっています。

### 体育館利用者数推移



ナイター施設利用者数推移



# 学校別推移

体育館

地域	即步带环	19年度	<b>E</b> 利用	20年度	<b>E</b> 利用	21年度	利用	22年度利用		
地以	開放学校	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
	今市小学校	387	5, 941	344	5, 518	306	3, 986	217	3, 067	
	今市第二小学校	535	9, 337	581	9, 960	572	10, 477	519	10, 650	
	今市第三小学校	280	7, 545	461	11, 338	474	11, 957	422	11, 235	
	南原小学校	471	9, 794	486	9, 245	428	8, 238	396	7, 561	
	落合東小学校	371	7, 195	413	8, 237	367	6, 831	313	5, 768	
	落合西小学校	217	3, 153	227	2, 932	175	2, 071	151	2, 186	
	大桑小学校	158	1, 920	117	1, 588	151	2, 058	151	2, 597	
	轟小学校	224	3, 505	203	3, 305	219	3, 619	250	3, 397	
	小百小学校	101	1, 010	72	749	52	467	28	444	
今市地域	大沢小学校	317	6, 266	331	5, 428	323	5, 247	220	5, 026	
	大室小学校	277	6, 027	232	5, 004	172	4, 426	206	4, 790	
	猪倉小学校	190	3, 281	199	3, 149	164	2, 169	229	2, 595	
	小林小学校	94	2, 006	132	2, 526	129	2, 237	122	1, 853	
	今市中学校	606	8, 878	545	7, 940	453	7, 173	387	6, 025	
	東原中学校	638	14, 003	760	15, 259	775	17, 109	733	15, 279	
	落合中学校	377	5, 958	302	5, 190	305	4, 763	263	4, 201	
	豊岡中学校	413	6, 913	433	7, 341	468	8, 333	361	6, 436	
	大沢中学校	374	6, 883	384	5, 994	299	3, 855	271	3, 481	
	小林中学校	414	6, 770	465	7, 017	457	6, 387	371	5, 832	
	日光小学校	36	582	12	173	120	1, 931	205	3, 629	
	清滝小学校	36	447	118	1, 575	167	1, 826	94	1, 097	
	野口小学校	169	3, 194	145	2, 774	131	1, 062	93	1, 595	
	中宮祠小中学校	29	403	39	571	40	478	40	493	
日光地域	所野小学校	72	857	59	884	85	1, 030	5	54	
	小来川小中学校	64	581	58	427	32	243	58	473	
	安良沢小学校	62	917	63	743	53	787	73	943	
	日光中学校	0	0	0	0	0	0	0	(	
	東中学校	129	2, 054	27	639	26	432	18	319	
	三依小学校	104	1, 481	45	698	26	244	37	388	
	鬼怒川小学校	432	7, 282	373	4, 722	358	7, 562	348	7, 186	
藤原地域	下原小学校	485	6, 714	334	6, 401	149	2, 553	207	4, 778	
	(元)川治小中学校	7	350	4	360	7	338	10	364	
	藤原中学校	332	4, 853	181	2, 382	204	2, 489	245	2, 913	
足尾地域	足尾中学校	100	927	41	299	49	420	52	649	
,_,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	足尾小学校			132	991	51	430	57	1, 144	
	栗山小学校	93	3, 452	80	3, 154	41	1, 656	41	1, 816	
栗山地域	栗山中学校	32	260	34	363	23	208	7	54	
	湯西川中学校	68	835	34	408	49	516	43	470	
	(元) 川俣中学校	6	852	4	325	2	36	5	498	
	合計	8, 700	152, 426	8, 470	145, 609	7, 902	135, 644	7, 248	131, 286	

ナイター施設

地域	開放学校	19年月	度利用	20年月	<b></b>	21年月	<b></b>	22年度利用		
그만 사자			人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
	今市小学校	85	2, 087	89	1, 875	124	2, 642	49	1, 032	
	今市第二小学校	103	1, 843	87	2, 110	84	3, 139	164	4, 892	
今市地域	落合中学校	87	2, 555	97	3, 410	85	3, 244	105	4, 264	
フリ地域	大沢中学校	111	1, 452	103	1, 295	78	995	91	1, 387	
	南原小学校	69	1, 287	54	714	63	1, 052	69	1, 654	
	小林中学校	17	274	15	308	9	135	60	1, 243	
日光地域	日光小学校	25	515	20	478	17	180	13	235	
ᆸᄼᆙᅹᅝ	小来川小中学校	0	0	0	0	4	51	3	68	
	合計	497	10, 013	465	10, 190	464	11, 438	554	14, 775	

# ④ 管理運営の状況

平成 22 年度のスポーツ施設の管理運営は、26 箇所のうち 20 箇所が市直営施設となっています。また、今市運動公園・丸山公園・豊岡運動公園・落合運動公園・塩野室運動公園の 5 施設は、(財)日光市公共施設振興公社が一括して指定管理制度による管理運営を行っています。

運営状況(平成22年度)

	名 称	運営状況	備考
	1 今市運動公園		野球場2、サッカー場、ゲートボール場4、 運動広場、体育センター
	2 丸山公園		サッカー場、野球場、テニスコート8、運動 広場、屋外プール、スケートボード場
今市	3 豊岡運動公園	指定管理施設 (財) 日光市公共施設振興公社	野球場、テニスコート2、ゲートボール場 2、体育館
地 域	4 塩野室運動公園		野球場兼サッカー場、テニスコート 2 、ゲートボール場 2
	5 落合運動公園		野球場、テニスコート 2 、ゲートボール場 2 、体育館
	6 大沢体育館	直営	体育館、トレーニング室
	7 日光運動公園	直営※平成24年度より指定管理	スポーツ広場(トラック、サッカー野球)、 テニスコート10、野球場、ゴルフ場
	8 清滝体育館	直営	体育館
日光	9 日光体育館	直営※平成24年度より指定管理	体育館、柔道場
地 域	10 小倉山テニスコート	指定管理施設 日光彫り体験教室運営協議会	テニスコート6
	11 細尾ドームリンク	直営※平成24年度より指定管理	アイスホッケーリンク
	12 霧降スケートセンター(屋外)	直営	400m屋外リンク
	13 藤原運動公園	直営	多目的広場(野球、サッカー、その他)、テ ニスコート 4
	14 藤原プール	直営	屋外プール
藤	15 藤原運動場	直営	多目的広場(野球、サッカー)、ゲートボー ル場
原地	16 川治運動場	直営	運動場、テニスコート2
域	17 川治プール	直営	屋外プール
	18 鬼怒川レジャー公園	直営	テニスコート6、ゲートボール場8
	19 下原運動場	直営	野球場、弓道場(屋外)
	20 足尾原体育館	直営	体育館
足尾	21 足尾中央グラウンド	直営	野球場、テニスコート、ゲートボール場
地	22 足尾向原テニスコート	直営	テニスコート2
域	23 足尾市民センター	直営	体育室
	24 足尾プール	直営	屋外プール
栗山	25 栗山運動場	直営	多目的広場(陸上、サッカー)
地 域	26 湯西川体験農業交流センター	直営	体育館

## 3) コスト状況

# ① トータルコスト

# ■ 全体のトータルコスト

平成22年度のスポーツ施設26箇所の年間トータルコストは、5億3,419万円です。 その内訳は、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)が1億5,681万円(約29%)、 事業運営にかかるコスト(人件費・委託費等)が1億9,249万円(約36%)、指定管理料が 6,153万円(約12%)で、減価償却相当額が1億2,336万円(23%)となっています。

### 図表 施設別行政コスト計算書 (平成 22 年度)

(千円)

I .現金収 【コスト(	ス支を伴うもの の部】 -	今市運動公 園	丸山公園	豊岡運動公 園	塩野室運動 公園	落合運動公 園	大沢体育館	日光運動公園	清滝体育館	日光体育館
施	修繕費	431	0	903	0	0		708	0	359
= 100 = 10	改修費	899	0	0	0	0		0	0	573
設った		0	. 0	0		0		7,554	0	1,898
ストかか	委託費	0	0	0		0		9,369	763	4,369
「か	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
る	施設にかかるコスト	1,330	0	903	0	0	11,030	17,631	763	7,199
車	一般職員人件費	0	0	0	0	0	4,128	33,022	8,256	0
事業運営	嘱託職員人件費	0	0	0		. 0	238	2,378	0	0
軍	臨時職員人件費	0		0		0		0	0	0
営	修繕費	0				. 0		1,268	0	0
10	委託費	0	0	0		0		0	0	0
か	使用料及び賃借料	0	0	0		0		23	0	0
か	公有財産購入費	0	0	0		0		0	0	3,147
る	備品購入費	0				0		0	0	0
コス	<u>負担金補助及び交付金</u> その他物件費	92	93	61	0	28		2,975	0 124	0 228
^					U					
14	事業運営にかかるコスト	92	93	61	0	28	10,067	39,666	8,380	3,375
	指定管理料	12,028	12,028	12,028	12,028	12,028	0	0	0	0
現金収支	を伴うコスト 計	13,450	12,121	12,992	12,028	12,056	21,097	57,297	9,143	10,574
【収入の	部】									
収入	分担金及び負担金(収入)	0	0	0	0	0	182	0	0	0
収入	使用料収入	1,122	3,325	376	336	494	1,994	8,732	911	1,014
収入の合	計	1,122	3,325	376	336	494	2,176	8,732	911	1,014
Ⅱ.現金収	<b>マ支を伴わないもの</b>									
コスト	減価償却相当額	11,770	2,554	0	0	6,328	33,948	2,745	7,258	10,204
Ⅲ.総括										

皿.総括

コストの部合計(トータルコスト)	25,220	14,675	12,992	12,028	18,384	55,045	60,042	16,401	20,778
収支差額(ネットコスト)	24,098	11,350	12,616	11,692	17,890	52,869	51,310	15,490	19,764

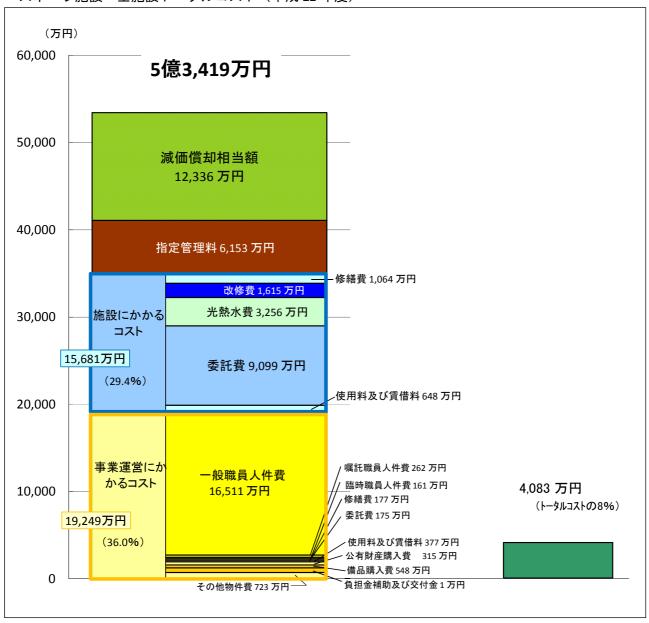
※今市運動公園・丸山公園・豊岡運動公園・塩野室運動公園・落合運動公園の 5 施設は一括指定管理であるため、指定管理委託料「60,140,000円」を等分して計上しています。

- ※大沢体育館の光熱水費は、併設している支所及び公民館の費用も含まれています。
- ※小倉山テニスコートは、指定管理費用の内訳からテニスコートにかかる費用を算出しています。

小月山ナーへコート	細尾ドームリ ンク	霧降スケート センター	藤原運動公 園	藤原プール	藤原運動場	川治運動場	川治プール	鬼怒川レ ジャー公園		
0	757 11,676	1,680 0		289 0		45 0				
0	10,491	0	2,449	352	132	130	200	0		
0	1,388	62,845 4,434	2,040	981 0	307 0	271 1,717	877			
0		68,959		_		2,163		_		
0	49,534	41,278	1,651	826	1,651	1,651	826	826		
0	0									
0	0					0				
0	0									
0	0		•						1	
0	0					0				
0	6 1,772	0 176		249		33	·			
0	51,312	46,659	1,809	1,075	1,676	1,684	1,043	2,439		
1,393	0	0	0	0	0	0	0	0		
1,393	75,624	115,618	8,165	2,697	2,241	3,847	2,253	5,369		
		I 0	1 0	I 0	1 0		1 0		1	
34	0 3,086	0 18,011	0 277	0 6		0 40				
34	3,086	18,011	277	6	44	40	6	700		
		1 .	I		1 455		1 -	1 .	1	
0	21,108	0	1,086	0	155	0	0	0	_	
1,393	96,732	115,618	9,251	2,697	2,396	3,847	2,253	5,369		
1,359	93,646	97,607	8,974	2,691	2,352	3,807	2,247	4,669		
下百溜動場	足尾原体育	足尾中央グラ	足尾向原テニ	足尾市民セ	兄屋プール.		場西川体験	소計		
<b>下</b> 原連勤場	館	ウンド	スコート	ンター		栗山運動場 :	農業交流センター	合計	から本連	
下原運動場 179 0					足尾プール 0 0	栗山運動場	農業交流セ	10,636	修繕費改修費	施
179 0 81	館 0 0 60	ウンド 0 0 1,860	スコート 0 0 31	ンター 395 0 1,097	0 0 330	栗山運動場 58 0 63	農業交流セ ンター 740 0 84	10,636 16,148 32,558	改修費 光熱水費	施設に
179	館 0 0	ウンド 0 0	スコート 0 0	ンター 395 0	0	栗山運動場 58 0	農業交流セ シター 740 0	10,636 16,148 32,558 90,992	改修費	コスト
179 0 81 184	館 0 0 60 256	ウンド 0 0 1,860 1,070	スコート 0 0 31 63	ンター 395 0 1,097 1,898	0 0 330 929	要山運動場 58 0 63 134	農業交流セ ンター 740 0 84 0	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477	改修費 <u>光熱水費</u> 委託費	施設にかかる
179 0 81 184 0 444	館 0 0 60 256 30 346	ウンド 0 0 1,860 1,070 0 2,930 0	ス⊐ート 0 0 31 63 0 94 826	ンター 395 0 1,097 1,898 0 3,390 0	0 0 330 929 0 1,259	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511	農業交流セ フター 740 0 84 0 296 1,120 1,651	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費	設にかかる事
179 0 81 184 0	館 0 0 60 256 30 346	ウンド 0 0 1,860 1,070 0 2,930	スコート 0 0 31 63 0 94	ンター 395 0 1,097 1,898 0 3,390	0 0 330 929 0	栗山運動場 58 0 63 134 0 255	農業交流セ - 740 0 84 0 296 1,120	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト	コスト 事業
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0	スコート 0 0 31 63 0 94 826 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0	0 0 330 929 0 1,259 826 0 0	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0	農業交流セ 	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613	<ul><li>改修費</li><li>光熟水費</li><li>委託費</li><li>使用料及び賃借料</li><li>施設にかかるコスト</li><li>一般職員人件費</li><li>臨時職員人件費</li><li>修繕費</li><li>修繕費</li></ul>	コスト事業運
179 0 81 184 0 444 1,651 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0	スコート 0 0 0 31 63 0 0 94 826 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0	0 0 330 929 0 1,259 826 0	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0	農業交流セ - 740 - 0 - 84 - 0 - 296 - 1,120 - 1,651 - 0 - 0	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 臨時職員人件費	コスト事業運営に
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	スコート  0 0 31 63 0 94 826 0 0 0 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0	0 0 3330 929 0 1,259 826 0 0 499 0	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0	農業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 臨時職員人件費 を委託費 を委託費 使用料及び賃借料 公有財産購入費	コスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0	スコート  0 0 31 63 0 94 826 0 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0	0 0 330 929 0 1,259 826 0 0 499 0	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0	農業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 臨時職員人件費 修養託費 修委託費及び賃借料 公有財産購入費 車両・備品購入費	コスト 事業運営にかかる
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0	館 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	スコート  0 0 31 63 94 826 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 0 273 0	0 0 3330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15 0 0	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 0	農業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485 6	改修費 光熟水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 臨時護費 人件費 修繕費 委託費 使用料及び賃借料 公車両・備購入人費 負担金補助及び交付金 その他物件費	コスト事業運営にかかるコス
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0	館 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	スコート  0 0 31 63 94 826 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 273 0 175 448	0 0 330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 16,576	農業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485 6	改修費 光熟水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 臨時養養託費 使用料及び賃借料 を経費 委託費 使用料及び賃借料 公有財産品購入費 負担金補助及び交付金	コスト事業運営にかかるコ
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0	館 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	スコート  0 0 31 63 94 826 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 0 273 0	0 0 3330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15 0 0	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 0	農業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485 6 7,228	改修費 光熟水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 臨時護費 人件費 修繕費 委託費 使用料及び賃借料 公車両・備購入人費 負担金補助及び交付金 その他物件費	コスト事業運営にかかるコス
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0 26 1,677	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5 7	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	スコート  0 0 31 63 0 94 826 0 0 0 0 0 0 0 826	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 273 0 175 448	0 0 3330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15 0 0	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 16,576	世来交流センター 740 0 84 0 296 1,120 1,651 0 0 0 0 0 0 1,120 1,651 1,954	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485 6 7,228 192,491	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 を表託費 使用料及び賃借料 を委託費 使用料及び賃借料 公有財産購入費 車両・備品購入費 負担金補助及び交付金 その他物件費 事業運営にかかるコスト	コスト事業運営にかかるコス
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0 26 1,677	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	スコート  0 0 31 63 0 94 826 0 0 0 0 0 0 0 826 0 920	395 0 1,097 1,898 0 0 3,390 0 0 0 0 0 0 0 273 0 175 448 0 3,838	0 0 330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 0 15 0 0 0 449 0 0 2,693	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 65 16,576 0 16,831	農業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485 6 7,228 192,491 61,533	改修費 光熟水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 「機能費員人件費 「機能費」を終語費 を託費 使用料及び賃借料 な有財産購入及び賃借料 な有財産購入費 負担金補助及び交付金 その他物件費 事業運営にかかるコスト 指定管理料 現金収支を伴うコスト 計	コスト 事業運営にかかるコスト
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0 26 1,677 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 403	ウンド	スコート  0 0 311 63 0 94 826 0 0 0 0 0 0 827 0 920	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 0 0 273 0 175 448 0 3,838	0 0 330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15 0 0 0 4,444 0 2,693	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 16,576 0 16,831	世業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485 6 7,228 192,491 61,533 410,835	<ul> <li>改修費</li> <li>光熱水費</li> <li>委託費</li> <li>使用料及び賃借料</li> <li>施設にかかるコスト</li> <li>一般職員人件費</li> <li>嘱託職員人件費</li> <li>鑑修繕費</li> <li>委託費</li> <li>使用料及び賃借料</li> <li>公有財産購入及費</li> <li>車負担金物件費</li> <li>事業運営にかかるコスト</li> <li>指定管理料</li> <li>現金収支を伴うコスト 計</li> <li>分担金及び負担金(収入)</li> <li>使用料収入</li> </ul>	コスト事業運営にかかるコス
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0 26 1,677 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 403	ウンド	スコート  0 0 311 63 0 94 826 0 0 0 0 0 0 827 0 920	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 0 0 273 0 175 448 0 3,838	0 0 330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15 0 0 0 4,444 0 2,693	要山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 0 16,576 0 16,831	世業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485 6 7,228 192,491 61,533 410,835	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 「会託費」 「使用料及び賃借料 を委託費 使用料及び賃借料 公有財産購入及び賃借料 公有財産購入及費 事集運営にかかるコスト 指定管理料 現金収支を伴うコスト 計	コスト 事業運営にかかるコスト
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0 26 1,677 0 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 403	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 74 74	スコート  0 0 31 63 94 826 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 0 273 0 175 448 0 3,838	0 0 3330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15 5 0 0 0 449 2,693	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 16,576 0 16,831	世来交流センター 740 0 84 0 296 1,120 1,651 0 0 0 0 0 0 303 1,954 0 3,074	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 6 7,228 192,491 61,533 410,835	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 の機能 人件費 の表話費 使用料及び賃借料 公有財産購入費 申両・備品購入費 負担の物件費 事業運営にかかるコスト 指定管理料 現金収支を伴うコスト 計 分担金及び負担金(収入) 使用料収入 収入の合計	コスト 事業運営にかかるコスト 人
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0 26 1,677 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 403	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 74 74	スコート  0 0 31 63 94 826 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 0 0 273 0 175 448 0 3,838	0 0 330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15 0 0 0 4,444 0 2,693	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 16,576 0 16,831	世業交流センター	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 6 7,228 192,491 61,533 410,835	<ul> <li>改修費</li> <li>光熱水費</li> <li>委託費</li> <li>使用料及び賃借料</li> <li>施設にかかるコスト</li> <li>一般職員人件費</li> <li>嘱託職員人件費</li> <li>鑑修繕費</li> <li>委託費</li> <li>使用料及び賃借料</li> <li>公有財産購入及費</li> <li>車負担金物件費</li> <li>事業運営にかかるコスト</li> <li>指定管理料</li> <li>現金収支を伴うコスト 計</li> <li>分担金及び負担金(収入)</li> <li>使用料収入</li> </ul>	コスト 事業運営にかかるコスト
179 0 81 184 0 444 1,651 0 0 0 0 0 0 0 26 1,677 0 0	館 0 0 60 256 30 346 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 403	ウンド 0 1,860 1,070 0 2,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 74 74	スコート  0 0 31 63 94 826 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	395 0 1,097 1,898 0 3,390 0 0 0 0 0 0 0 273 0 175 448 0 3,838	0 0 3330 929 0 1,259 826 0 0 499 0 15 5 0 0 0 449 2,693	栗山運動場 58 0 63 134 0 255 16,511 0 0 0 0 0 0 16,576 0 16,831	世来交流センター 740 0 84 0 296 1,120 1,651 0 0 0 0 0 0 303 1,954 0 3,074	10,636 16,148 32,558 90,992 6,477 156,811 165,114 2,616 1,613 1,767 1,745 3,770 3,147 5,485 6 7,228 192,491 61,533 410,835	改修費 光熱水費 委託費 使用料及び賃借料 施設にかかるコスト 一般職員人件費 嘱託職員人件費 の機能 人件費 の表話費 使用料及び賃借料 公有財産購入費 申両・備品購入費 負担の物件費 事業運営にかかるコスト 指定管理料 現金収支を伴うコスト 計 分担金及び負担金(収入) 使用料収入 収入の合計	コスト 事業運営にかかるコスト 収 スト

また、スポーツ施設にかかる年間トータルコストの中で、一般職員・嘱託職員・臨時職員人件 費の合計が、1億6,934万円でトータルコストの約32%を占めています。なお、スポーツ施設 26箇所の収入は、4,083万円であり、トータルコストの約8%となっています。

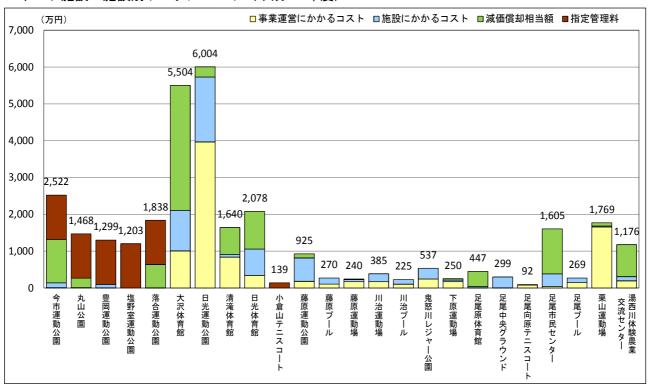
スポーツ施設 全施設トータルコスト (平成 22 年度)



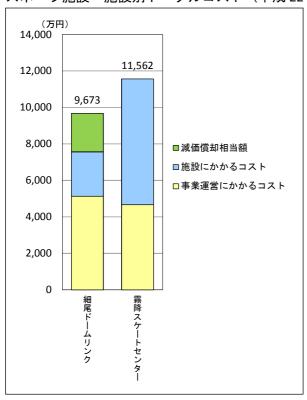
# ■施設別のトータルコスト

スポーツ施設の 26 箇所別のトータルコストは、足尾向原テニスコートの 92 万円から霧降スケートセンターの 1 億 1,562 万円となっています。

スポーツ施設 施設別トータルコスト (平成 22 年度)



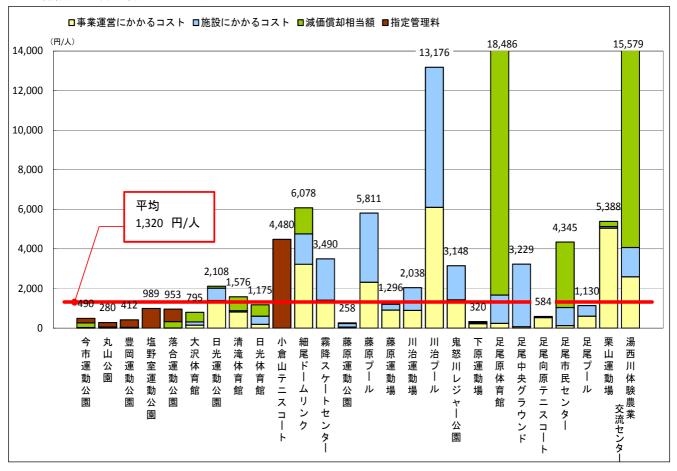
スポーツ施設 施設別トータルコスト (平成 22 年度)



# ② 利用1人当たりのコスト

平成22年度の年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、スポーツ施設全体では1,320円/人となり、施設別にみると、藤原運動公園の258円/人から足尾原体育館の18,486円/人となっています。

施設別 利用者1人当たりコスト



## 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、建物総合評価を実施したスポーツ施設10施設のうち、 落合運動公園(体育館)、日光体育館及び足尾市民センターは耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要です。また、今市運動公園(体育センター)及び豊岡運動公園(体育館)は、耐震安全性は確保されているものの、築30年以上経過しているため 老朽化が進行しており、今後、建替え・改修等の早急な検討が必要となっています。
- 利用料金等の収入をみると、年間 4,083 万円でトータルコストの約 8%となっています。 スポーツ施設全般について、利用料金の見直しを含め、施設全般的なあり方を検討する必要があります。
- 体育館では、平成 21 年度に開館した大沢体育館が平成 22 年度利用者の約 46%を占め、 増加していますが、他の体育館は、減少傾向にある他、学校開放施設の体育館利用も減少 しています。そのため、保有機能の見直しや多面的利用など、効率的な施設あり方や運営 方法を検討する必要があります。

## (8) 図書館

### 1) 施設概要

# ① 施設一覧

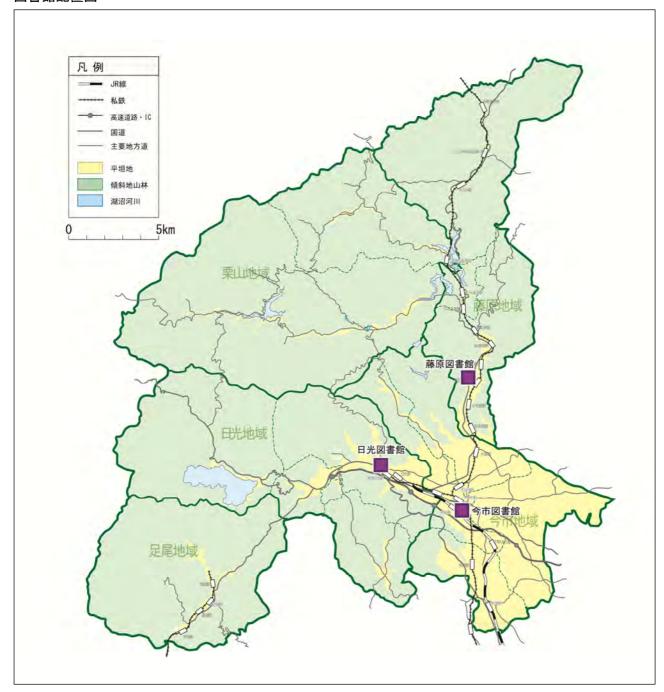
市では、今市図書館、日光図書館、藤原図書館の計3つの図書館施設を保有しています。 図書館は、地域における情報・文化の拠点として資料を収集し、市民や郷土史研究者等に提供 しているほか、読書推進活動を図るため、ボランティア団体の育成や支援なども行っています。 また、図書館では、開館中に利用できない方や遠隔地の方に図書館を活用していただけるよう、 インターネットによる蔵書検索や図書の予約、さらに、移動図書館(一部を除く市内24小学校 を巡回訪問)、宅配貸出サービス(宅配費用は利用者負担)なども実施しています。

設置目的:図書、記録その他の必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、 調査研究、レクリエーション等に資するとともに、郷土文化の発展に寄与する。

### 施設一覧

種別	名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度(年度)	併設施設 公民館	備考
本館	1 今市図書館	中央町29番地1	2,351.7	昭和56	単独施設	移動図書館
分館	2 日光図書館	御幸町4番地1	837.8	昭和51	•	図書宅配サービス
万	3 藤原図書館	鬼怒川温泉大原1404番地1	1,120.0	昭和58	単独施設	
		合 計	4,309.5	_	-	_

# 図書館配置図

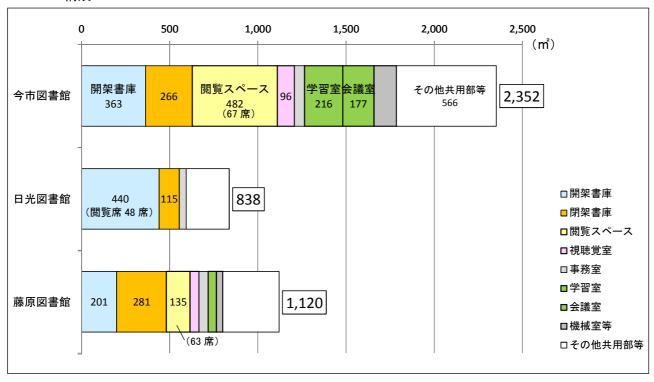


# ② スペース構成

図書館3館の規模は、今市図書館が2,352 ㎡、日光図書館が838 ㎡、藤原図書館が1,120 ㎡となっています。

また、保有する主な機能は、閲覧スペース(開架書庫(一般・児童)新聞・雑誌・資料閲覧室等)とその他諸室(学習室、会議室、視聴覚室等)、事務室、機械室等を保有しており、開架書庫と閲覧スペースの割合は今市図書館が36%、日光図書館が53%、藤原図書館が30%となっています。

### スペース構成



### ③ 蔵書数

図書館の総蔵書数(3館合計)は、382,687件です。内訳は、図書資料(一般書・外国語図書・点字図書・児童書)が362,750件(95%)、視聴覚資料が18,590件(4.5%)、その他資料が1,762件(0.5%)となっており、大半が図書資料であることが分かります。また、図書資料のうち、一般書が228,716件(63%)と全体の過半数を占め、児童書が133,619件(37%)、外国語図書・点字図書が415件(0.1%)となっています。

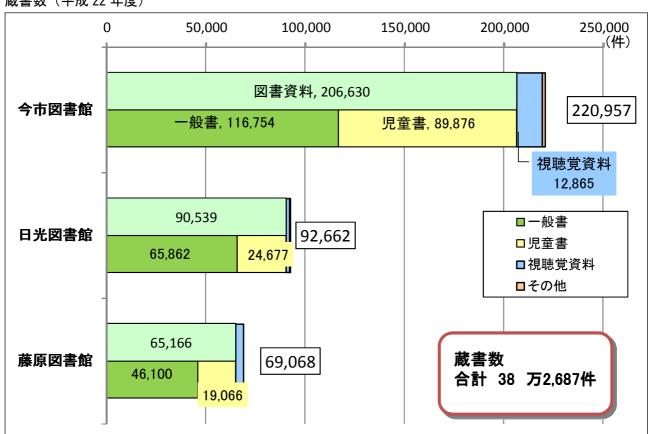
図書館別内訳は、今市図書館が220,957件、日光図書館が92,662件、藤原図書館が69,068件となっています。また、各図書館では、郷土資料を所蔵しており、今市図書館では日光杉並木街道や二宮尊徳、日光図書館では二社一寺・足尾銅山等、藤原図書館では藤原地域関連の資料をそれぞれ所蔵しています。

# 施設別蔵書数 (平成22年度)

(件)

	一般書	外国語図 書	点字図書	児童書	視聴覚資料	その他	合 計
今市図書館	116,754	3	0	89,876	12,865	1,462	220,957
日光図書館	65,862	320	92	24,677	1,823	300	92,662
藤原図書館	46,100	0	0	19,066	3,902	0	69,068
合計	228,716	323	92	133,619	18,590	1,762	382,687

### 蔵書数 (平成22年度)



### ④ 建物総合評価の結果

平成 22 年度における図書館の建物総合評価を行いました。

なお、今市図書館の光熱水費には、歴史民俗資料館の費用も含まれています。

	其太	情報		2		(3)	バリア	フリー対	小広		<b>(4</b> )	環境対	広			⑤維技	寺管理		
	4	MI 111	耐震化	老朽化		@*************************************			@##:307:170		維持管理費(千円)		床面積当たり(円/㎡)						
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築 年 数	1 車いす用エレベータ※	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※ 2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
今市図書館	昭和56	2,352	不要	30	0	0	0	0	0	0	×	×	×	7,212	6,971	1,418	3,067	2,964	603
日光図書館	昭和51	838	未実施	35	×	0	0	0	0	×	×	×	×	1,296	175	48	1,547	209	58
藤原図書室	昭和58	1,120	-	28	×	0	0	0	0	0	×	×	×	2,050	1,362	0	1,831	1,216	0
合計		4,310												10,558	8,507	1,466	-	-	_

※1手すり・鏡・低い操作ボタン等

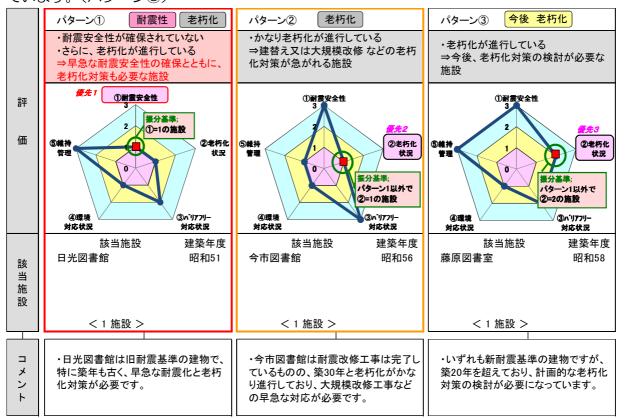
※2 節水型便器、高効率照明器具·LED照明、雨水·中水設備

実施済み÷ ○ 記載例 <u>未実施 = ×</u> 不 要 ⇒ —

図書館3館のうち、日光図書館は、旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

今市図書館は、耐震安全性は確保されていますが、築 30 年を超え老朽化がかなり進行しており、大規模改修等の老朽化対策が早急に必要な施設となっています。(パターン②)

また、藤原図書館は、新耐震基準の建物ですが、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)



# 2) 施設状況

# ① 開館状況

平成 22 年度の図書館の開館日数及び開館時間は、次のとおりです。

# 開館時間・休館日

名称	開館時間	開館 日数	休館日					
今市図書館	午前9時~午後7時(4月~9月) 午前9時~午後6時(10月~3月)	303 日	月曜日		<b>                                       </b>			
日光図書館	午前9時30分~午後6時	302 日	(※)	年末年始 (3館共通)	特別整理期間年1回10日以内			
藤原図書館	午前9時30分~午後6時	305 日	火曜日 (※)		(3館個別設定)			

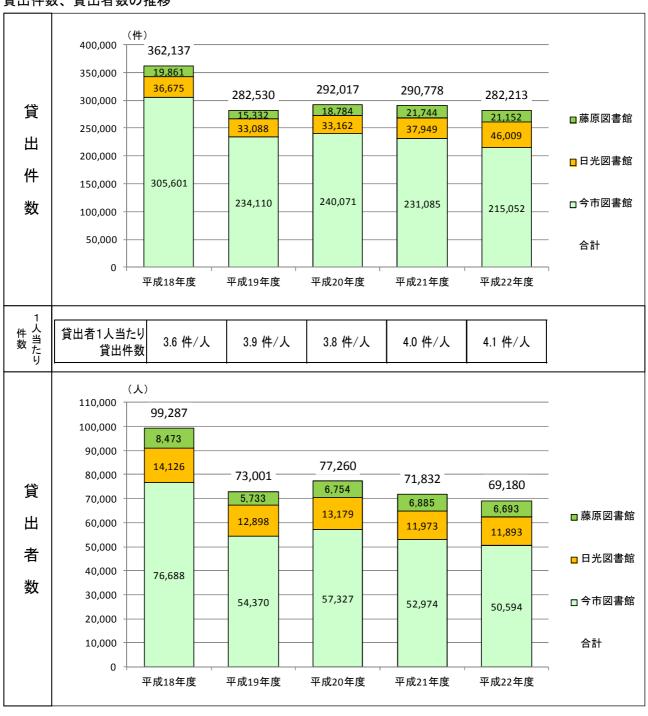
<sup>※</sup>祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

### ② 全体の利用状況

図書館3館の総貸出件数は、平成18年度の362,137件から平成22年度の282,213件と約22%減少していることが分かります。また、貸出者数でも、平成18年度の99,287人から平成22年度の69,180人と約30%減少しており、特に今市図書館では、貸出件数・貸出者数ともに平成18年度から平成19年度にかけて大幅に減少しています。

貸出者 1 人当たりの貸出件数は、平成 18 年度から平成 22 年度のまで、平均 4 件程度となっています。

貸出件数、貸出者数の推移



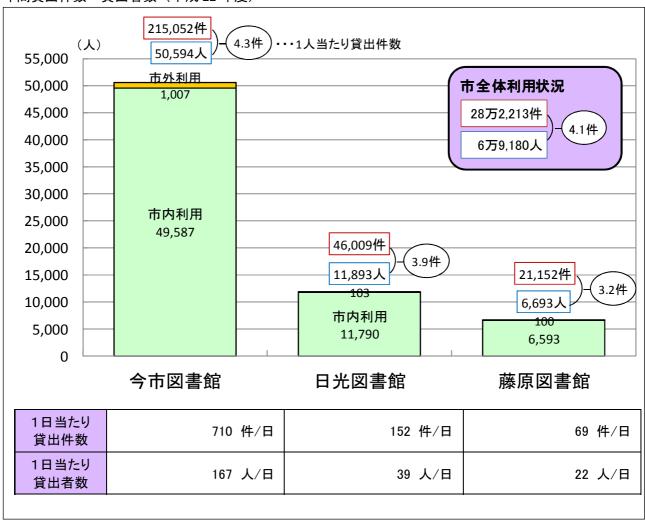
### ③ 図書館別の利用状況

### ■ 貸出件数と貸出者数

平成22年度の図書館の総貸出件数282,213件の内訳は、今市図書館の貸出件数が215,052件(76%)、日光図書館が46,009件(16%)、藤原図書館が21,152件(8%)となっています。1日当りの貸出件数は、今市図書館が710件/日、日光図書館が152件/日、藤原図書館が69件/日となっています。

また、図書館の総貸出者数 69,180 人での内訳は、今市図書館が 50,594 人 (73%)、日光 図書館が 11,893 人 (17%)、藤原図書館が 6,593 人 (10%) となっています。 1日当りの 貸出者数は、今市図書館が 167 人/日、日光図書館が 39 人/日、藤原図書館が 22 人/日となっています。

年間貸出件数・貸出者数(平成22年度)

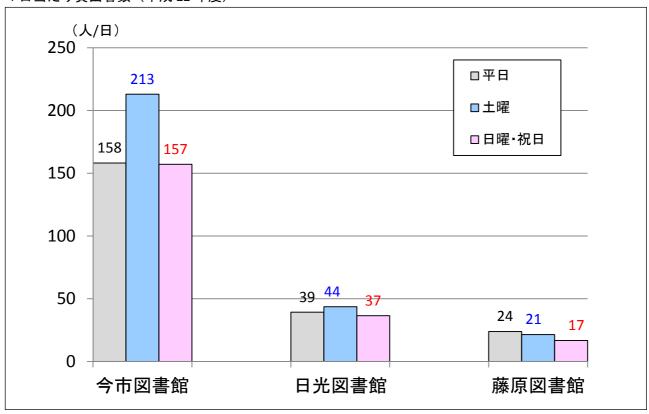


# ■ 施設別曜日別の利用状況

図書館3館の施設別曜日別(平日/土/日祝日)の1日当たりの貸出者数は、今市図書館と日光 図書館の土曜日の貸出者数が多く、次いで平日、日祝日となっていますが、藤原図書館では、平 日の貸出者数が多くなっています。

特に、今市図書館の土曜日の貸出者数が、他の曜日に比べ約1.3倍と多くなっています。

# 1日当たり貸出者数(平成22年度)

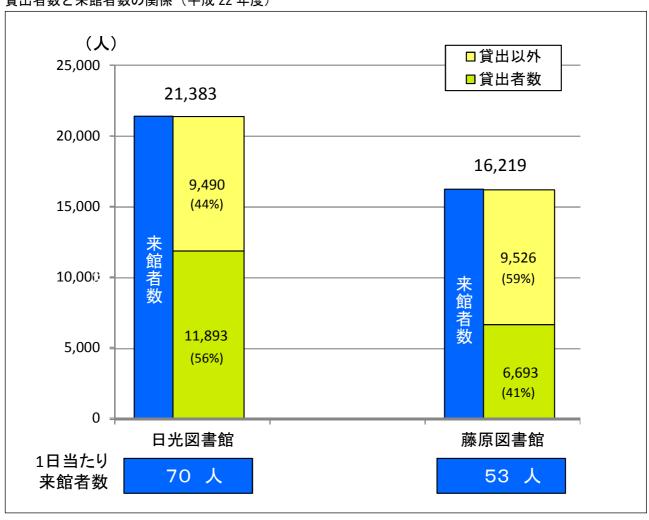


# ■ 来館者数と貸出者数の状況

日光図書館と藤原図書館では、貸出者数のほかに、来館者数を把握しています。日光図書館は、 来館者数 21,383 人のうち、貸出者数が 11,893 人(56%)、貸出以外の利用者が 9,490 人 となっています。藤原図書館は、来館者数 16,219 人のうち、貸出者数が 6,693 人(41%)、 貸出以外の利用者が 9,526 人(59%) となっています。

日光図書館では、新聞・雑誌等の閲覧や学生の試験勉強、個人学習等で来館している利用者の 方が多く、藤原図書館では、鬼怒川温泉駅から徒歩 1 分のところに立地しているため、地域住民 以外にも観光客の利用が多いのも特徴となっています。

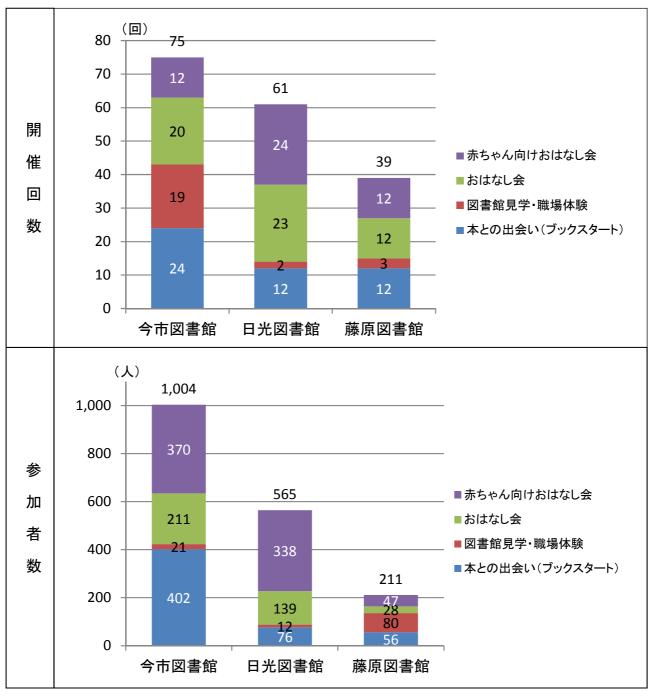
貸出者数と来館者数の関係(平成22年度)



## ■ 主催事業の状況

図書館では、主催事業として、おはなし会や図書館見学・職場体験、ブックスタート等を行っています。平成22年度の3館別の年間実施回数及び参加者数は、今市図書館が75回・1,004人、日光図書館が61回・565人、藤原図書館が39回・211人となっています。

開催回数と参加者数(平成22年度)



### ④ 管理運営の状況

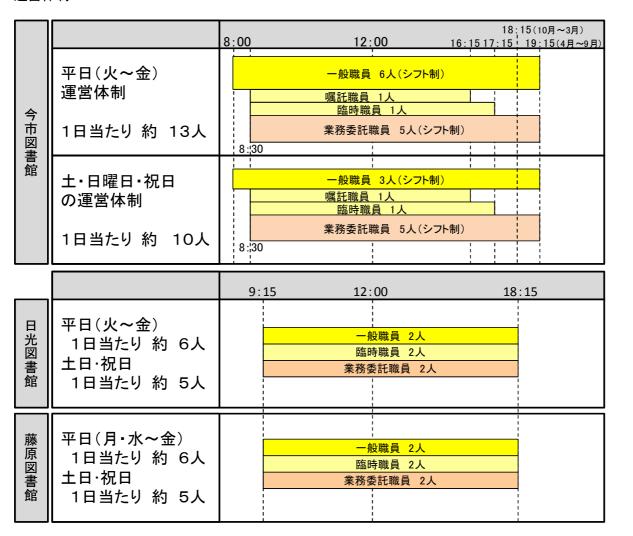
平成 22 年度の図書館の運営人員は、25 人です。内訳は、一般職員が 10 人、嘱託職員が 1人、臨時職員が 5 人、その他職員として一部窓口業務及び移動図書館業務委託従事者が 9 人となっています。

また、図書館3館は、平成24年度から指定管理者による管理・運営を行います。

#### 運営人員(平成22年度)

		今市図書館	日光図書館	藤原図書館	合計	(人)
・事務・庶務	一般職員	6.0	2.0	2.0	10.0	]
・館内サービス	嘱託職員	1.0	0.0	0.0	1.0	
•窓口業務	臨時職員	1.0	2.0	2.0	5.0	
	その他職員(業務委託)	5.0	2.0	2.0	9.0	
	計	13.0	6.0	6.0	25.0	

#### 運営体制



# 3) コスト状況

# ① トータルコスト

# ■ 全体のトータルコスト

平成22年度の図書館の年間トータルコストは、2億1,719万円です。

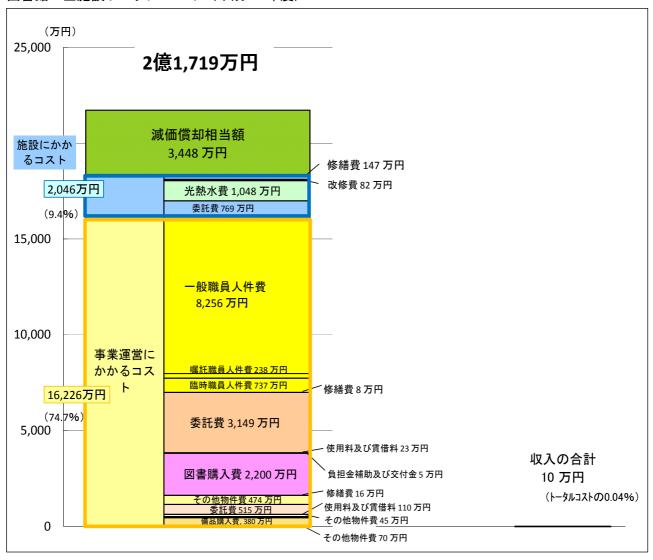
その内訳は、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)が2,046万円(9%)、事業運営にかかるコスト(人件費・その他物件費等)が1億6,226万円(75%)、減価償却相当額が3,448万円(16%)となっています。

### 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

I .瑪		支を伴うもの   支を伴うもの   D部】	今市図書館	日光図書館	藤原図書館	合計	(千円)
	施	修繕費	1,418	48	0	1,466	
	設	改修費	819	0	0	819	
ース	に	光熱水費	7,138		2,050	10,484	
<b> </b>	か	委託費	6,152	175	1,362	7,689	
	かる	施設にかかるコスト	15,527	1,519	3,412	20,458	
		一般職員人件費	49,534	16,511	16,511	82,556	
		嘱託職員人件費	2,378	0	0	2,378	
	事	臨時職員人件費	1,474	2,948	2,948	7,370	
	務	修繕費	46	0	30	76	
事		委託費	31,493	0	0	31,493	
学	庶	使用料及び賃借料	104	10	116	230	
業運	務	図書購入費	12,000	5,000	5,000	22,000	
営		負担金補助及び交付金	35	9	9	53	
i:		その他物件費	3,162	882	692	4,736	
か		事務・庶務 小計	100,226	25,360	25,306	150,892	
か	シ	委託費	5,150	0	0	5,150	
る	ムス	使用料及び賃借料	1,096	0	0	1,096	
⊐	テ	その他物件費	453	0	0	453	
ス		システム管理費等 小計	6,699	0	0	6,699	
-	館	修繕費	160	0	0	160	
	動外	備品購入費	3,805	0	0	3,805	
	活	その他物件費	700	0	0	700	
		館外活動費等 小計	4,665	0	0	4,665	
		事業運営にかかるコスト	111,590	25,360	25,306	162,256	
現金	収支	を伴うコスト 計	127,117	26,879	28,718	182,714	
【収.	入の部		T	T	,	,	
収	入	手数料収入	40		9	88	
		使用料収入	9	0	0	9	
収入	の合	計	49	39	9	97	
Ⅱ.瑪	金収	支を伴わないもの					
コス	スト	減価償却相当額	18,813	6,702	8,960	34,475	
Ⅲ.総	括						
コス	トのも	部合計(トータルコスト)	145,930	33,581	37,678	217,189	
収支	差額	(ネットコスト)	145,881	33,542	37,669	217,092	

また、図書館にかかる年間トータルコストの中で、一般職員・嘱託・臨時職員人件及び事務庶務の業務委託費の合計が、1億2,380万円でトータルコストの約57%を占めています。

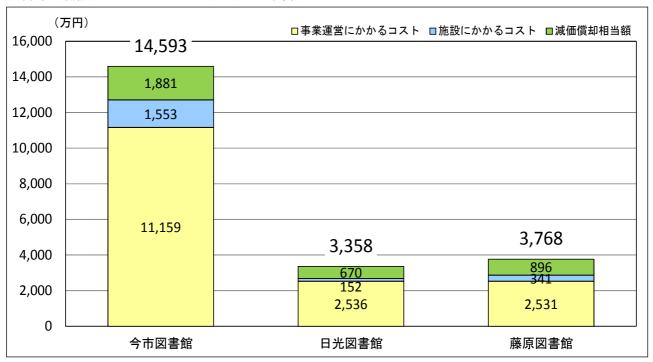
図書館 全施設トータルコスト (平成22年度)



## ■ 施設別のトータルコスト

図書館の3館別トータルコストでは、今市図書館が1億4,593万円、日光図書館が3,358万円、藤原図書館が3,768万円となっています。ただし、今市図書館は、中央図書館として、図書管理システム事業費等の費用を負担や他の図書館に比べて2.5~3倍の蔵書を管理しているため、コストが大きくなっています。また、図書購入費は、今市図書館が1,200万円、日光図書館及び藤原図書館がそれぞれ500万円となっています。

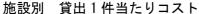
図書館 施設別トータルコスト (平成22年度)

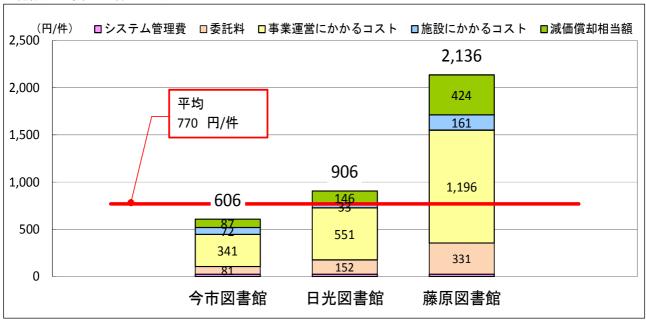


### ② 利用当たりのコストと床面積あたりのコスト

## ■ 貸出1件当たりのコスト

平成22年度の年間貸出件数とトータルコストから貸出1件当たりにかかるコストを算出する と、図書館全体では、770円/件となり、3館別にみると、今市図書館が606円/件、日光図書 館が906円/件、藤原図書館が2,136円/件となっています。



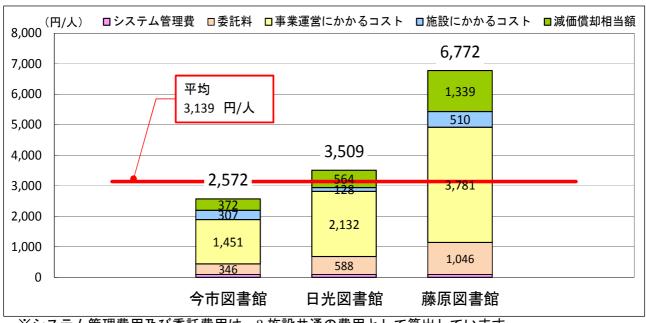


※システム管理費用及び委託費用は、3施設共通の費用として算出しています。

### ■ 貸出者1人当たりのコスト

年間貸出者数とトータルコストから貸出者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、図書館全 体では3,139円/人となり、3館別にみると、今市図書館が2,572円/人、日光図書館が3,509 円/人、藤原図書館が6,772円/人となっています。

施設別 貸出者1人当たりコスト



※システム管理費用及び委託費用は、3施設共通の費用として算出しています。

# ■ 床面積(1㎡)当たりのコスト

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、図書館全体では 45,672 円/㎡となり、3館別にみると、今市図書館が 53,253 円/㎡、日光図書館が 48,435 円/㎡、藤原図書館が 48,821 円/㎡となっています。

□委託料 □事業運営にかかるコスト □施設にかかるコスト □減価償却相当額 (円/m<sup>2</sup>) 60,000 平均 53,253 48,821 円/㎡ 48,435 50,000 39,889 8.000 6,602 40,000 1.813 8.000 30,000 3,046 30,269 31,211 20,000 22,595 10,000 8,353 7,440 6,248 0 今市図書館 日光図書館 藤原図書館

施設別 単位床面積当たりコスト

※今市図書館で一括して支払っているシステム管理費用は、除いていますが、委託費用は、3 施設共通の費用として算出しています。

# 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、図書館3館のうち、日光図書館は耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要です。また、日光図書館は、日光公民館と複合施設となっていることから、施設の建替え・改修等を行う際には、現在の機能や役割を維持するとともに、日光総合支所との複合化も視野に入れ検討する必要があります。
- 図書館は、単に本の貸し借りの利用だけでなく、郷土史研究者も含めた調査相談、新聞・ 雑誌等の閲覧や学生の試験勉強の場となっています。また、図書館3館は最寄り駅からも 徒歩5~15分と近いため、観光客の利用も多くなっています。そのため、今後は、本の 貸出等だけでなく、地域の情報拠点となるよう新たな機能導入や閲覧スペースの充実等を 検討する必要があります。
- コスト構成をみると、トータルコストの約43%は、人件費が占めています。図書館行政 を持続可能なものとするため、平成24年度から指定管理者による運営・管理を行います が、今後も、継続的に図書館のあり方を検討する必要があります。

## (9)公民館

### 1) 施設概要

# ① 施設一覧

市には、実際の生活に役立つ教育・学術・文化に関する活動を行う社会教育施設として、17 の公民館を設置しています。このうち、中央公民館内にある今市公民館と栗山総合支所内にある 栗山公民館は、執務室のみの公民館となっています。そこで白書では、今市公民館と栗山公民館 を除く 15 施設について、整理しました。(ただし、今市公民館の事業については、中央公民館 に含めました。)

設置目的:市民の皆さんの教養の向上・健康の増進・豊かな心の醸成・生活文化の振興・社会福祉の 増進を図るため、社会教育法に基づく公民館を設置する。

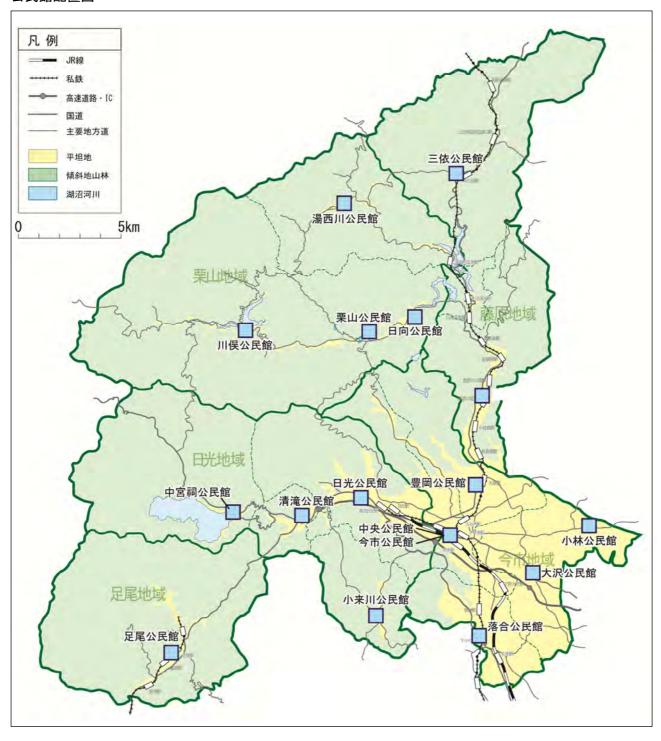
### 施設一覧

名称	住所	延床面積	建築年度		併設施設	備考	
<b>石</b> 柳	コエアバ	(m²)	(年度)	支所	出張所	その他	1佣 石
1・2 中央公民館今市公民館	平ヶ崎160番地	2,805.6	昭和51			● (勤労青少年 ホーム)	勤労青少年ホーム 676.4㎡
3 落合公民館	小代440番地1	750.1	昭和57	•			支所16.5㎡
4 豊岡公民館	大桑町130番地3	826.6	昭和50	•			支所112.0㎡
5 大沢公民館	大沢町809番地1	4,243.5	平成21	•		(体育館)	体育館2,994.7㎡
6 小林公民館	沓掛260番地	650.6	昭和47	•			支所149.0㎡
7 日光公民館	御幸町4番地1	2,454.1	昭和51			(図書館)	図書館837.8㎡
8 清滝公民館	清滝2丁目5番22号	452.4	昭和49				出張所228.4㎡
9 小来川公民館	中小来川2667番地1	514.3	昭和43	•			支所90.9㎡
10 中宮祠公民館	中宮祠2478番地4	778.6	昭和56			● (コミセン) (消防分署)	出張所42.0㎡ 消防分署250.0㎡
11 藤原公民館	鬼怒川温泉大原1404番地1	694.9	昭和48			● (文化会館)	
12 三依公民館	中三依319番地	432.7	昭和47	•			
13 足尾公民館	足尾町赤沢6番地1	445.1	昭和44		単独施設		
14 湯西川公民館	湯西川709番地	1,184.0	平成21	•			
15 川俣公民館	川俣805番地	612.0	昭和51		単独施設		
16 日向公民館	日向457番地	233.0	昭和52		単独施設		
17 栗山公民館	日蔭575番地	2,084.0	昭和46	•			
合	<u></u> 計	19,161.5	_				

<sup>※</sup>中央公民館内にある今市公民館と栗山総合支所内にある栗山公民館は、執務室のみの公民館である ため以降の項目では分析対象外とします。

<sup>※</sup>延床面積には、建物が一体となっている併設施設の面積が含まれています。(備考欄に併設施設の面積を記載)

# 公民館配置図

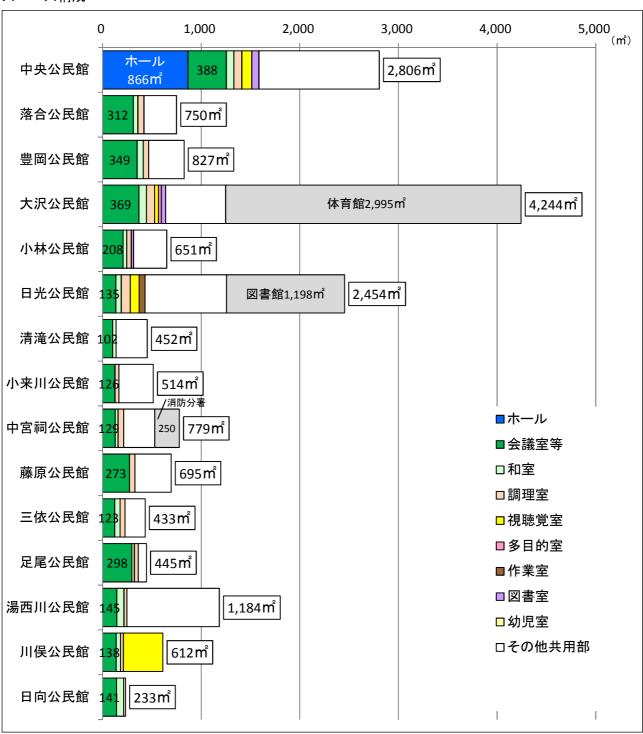


## ② スペース構成

公民館の主な保有スペースは、集会施設としての会議室、実習を目的とした施設としての和室、 調理室、視聴覚室、図書室等となっています。

このうち中央公民館には、102 ㎡の小ホール、280 ㎡の中ホール、約 250 ㎡の展示ホール といった多人数を収容できるホール機能を保有しています。

#### スペース構成



# ③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度における公民館 15 施設の建物総合評価を行いました。

	<b>並</b> 未	情報	1	2	③バリアフリー対応 ④環境対応			⑤維持管理											
	- 4	· I FI FIX	耐震化	老朽化		<u></u>	177.	/	יטיו ני		サ.垛.况.刈.心		維持管理費(千円)			床面積当たり(円/㎡)			
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	車いす用エレベータ※1	障がい者用トイレ	車いす用スロー プ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※ 2	光熱 水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
中央公民館	昭和51	2,806	実施済み	35	×	0	×	0	0	×	×	×	×	-	2,648	545	-	944	194
落合公民館	昭和57	750	-	29	×	×	0	×	×	×	×	×	×	448	1,537	240	597	2,050	320
豊岡公民館	昭和50	827	未実施	36	×	×	0	×	×	×	×	×	×	1,549	1,330	1,013	1,873	1,609	1,225
大沢公民館	平成21	4,244	ı	2	ı	0	0	0	0	0	×	×	×	5,746	8,173	15	1,354	1,926	3
小林公民館	昭和47	651	未実施	39	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,196	1,045	203	1,839	1,606	313
日光公民館	昭和51	2,454	未実施	35	×	0	0	0	0	×	×	×	×	2,618	2,498	591	1,067	1,018	241
清滝公民館	昭和49	452	未実施	37	×	×	×	×	×	×	×	×	×	344	428	137	760	946	302
小来川公民館	昭和43	514	未実施	43	1	×	×	×	×	×	×	×	×	610	879	314	1,186	1,708	610
中宮祠公民館	昭和56	779	-	30	×	0	0	×	0	×	×	×	×	2,540	591	450	3,263	759	578
藤原公民館	昭和48	695	未実施	38	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	250	26	-	360	38
三依公民館	昭和47	433	未実施	39	×	0	0	0	×	×	×	×	×	446	374	2,035	1,031	865	4,704
足尾公民館	昭和44	445	未実施	42	ı	×	0	0	×	×	×	×	×	901	143	389	2,025	321	873
湯西川公民館	平成21	1,184	-	2	1	0	0	×	0	0	×	×	×	1,492	1,119	-	1,260	945	-
川俣公民館	昭和51	612	未実施	35	×	×	×	×	×	×	×	×	×	280	196	8	458	321	14
日向公民館	昭和52	233	未実施	34	×	×	×	×	×	×	×	×	×	417	328	3	1,789	1,407	14
合計		17,078												18,587	21,539	5,970	1-00	-	-

<sup>※1</sup> 手すり・鏡・低い操作ボタン等

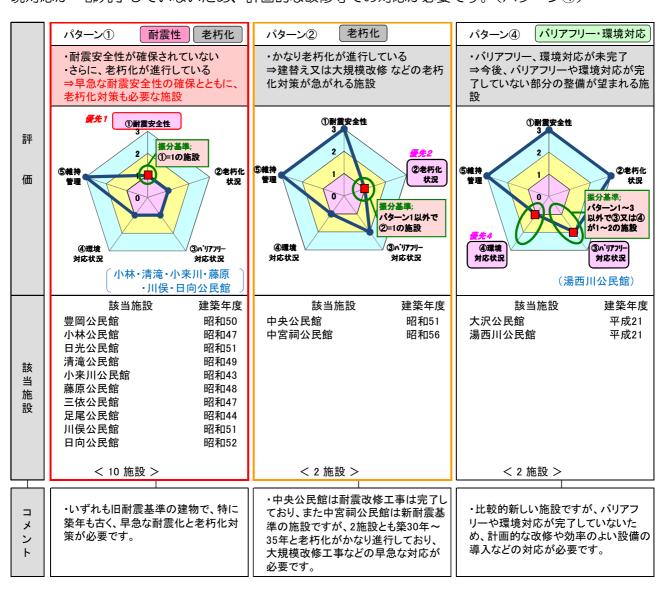
実施済み÷○ 記載例 <u>未実施 = ×</u> 不 要 ⇒—

※中央公民館の光熱水費は、今市文化会館(指定管理)と一体となっていることから、按分できない。 ※落合公民館は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い施設の損傷が激しく今 後の利用が困難な施設であるが、参考として評価しました。

<sup>※2</sup> 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

公民館14施設(震災で被災した落合公民館を除く。)のうち、耐震安全性が確保されていない施設は10施設あります。いずれも旧耐震基準の建物であり、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

中央公民館・中宮祠公民館は、耐震安全性は確保されているものの、老朽化がかなり進行しており、建替え又は大規模改修等の老朽化対策が早急に必要な施設となっています。(パターン②) 大沢公民館・湯西川公民館の2施設は、建設年度が新しい施設ですが、バリアフリー対応や環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要です。(パターン④)



## 2) 施設状況

### ① 開館状況

公民館の運営時間は、午前8時30分~午後10時までです。基本的な利用区分としては、午前・午後・夜間の3区分設定されています。

休館日は、中央公民館は毎週月曜日と年末年始、地区公民館・分館は祝日と年末年始となっています。川俣公民館と日向公民館は、主催講座等の利用がある場合に開館します。

平成 22 年度の開館日数は、中央公民館は 308 日、地区公民館・分館は 345 日(臨時休館を除く)でした。

## ② 利用方法

各施設ともあらかじめ使用許可申請手続きが必要です。使用しようとする日の3ケ月前に当たる月の初日から5日前まで受け付けます。利用申込みの受付時間は、休館日を除く、午前8時30分から午後5時15分までです。なお、各施設とも、原則として有料です。

#### (例) 中央公民館を使用する場合の使用料

	区分/時間	午前	午後	夜間
		(午前8時30分か	(午後1時から午	(午後6時から午
		ら正 午 まで)	後 5 時まで)	後 10 時まで)
中央公民館	中ホール	3,600	3,600	3,600
		(5,400)	(5,400)	(5,400)
	小ホール	900	900	900
		(1,400)	(1,400)	(1,400)
	視聴覚室	900	900	900
		(1,400)	(1,400)	(1,400)
	会議室(1・2)	600	600	600
		(900)	(900)	(900)
	和室(1・2)	400	400	400
		(600)	(600)	(600)
	幼児室	400	400	400
		(600)	(600)	(600)
	展示ホール(A·B)	1,500	1,500	1,500
		(2,300)	(2,300)	(2,300)

※備考 ()は、市外居住者が使用する場合の使用料とする。

### ③ 公民館事業

各公民館では、いろいろな教室や講座、学級を実施しています。

- ・公民館教室(スポーツ:ヨガ・フィットネス等、趣味・教養:パソコン・編み物・料理等)
- ・杉並木大学校(高齢者に2年間の学びの機会を提供)
- ・地域づくり市民講座(地域の様々な課題へ関心を持ち、地域課題に取り組む)
- ・ひかりの郷にっこう出前講座(市役所や関係機関の職員が出向いて講座を開催)

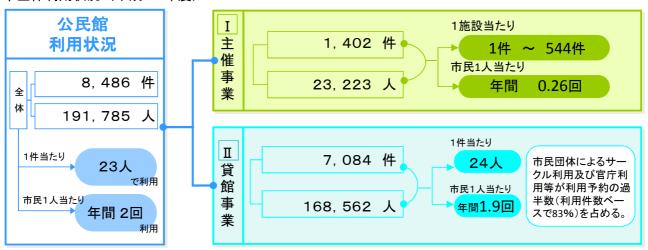
など

## 4 利用状況

### ■ 全体の利用状況

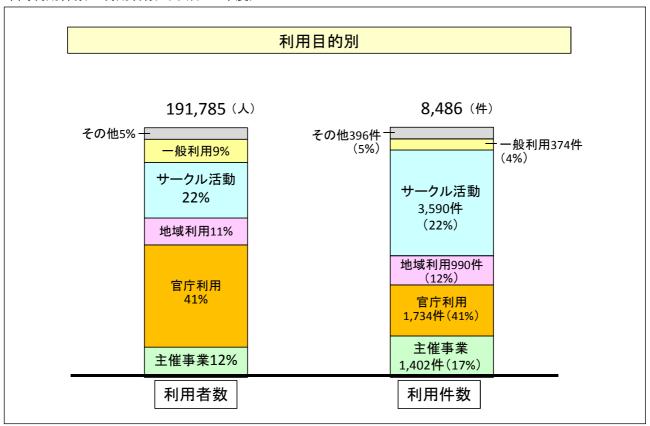
平成 22 年度の公民館の全体利用件数は 8,486 件、利用者数は 191,785 人です。事業別の内訳をみると、主催事業が 1,402 件・23,223 人、貸館事業が 7,084 件、168,562 人となっています。

### 市全体利用状況(平成22年度)



※人口 90,066 人 (H22.10.1 時点)、開館日数 345 日にて算出 (中央公民館分も便宜上同一尺度としています)

年間利用件数・利用者数(平成22年度)



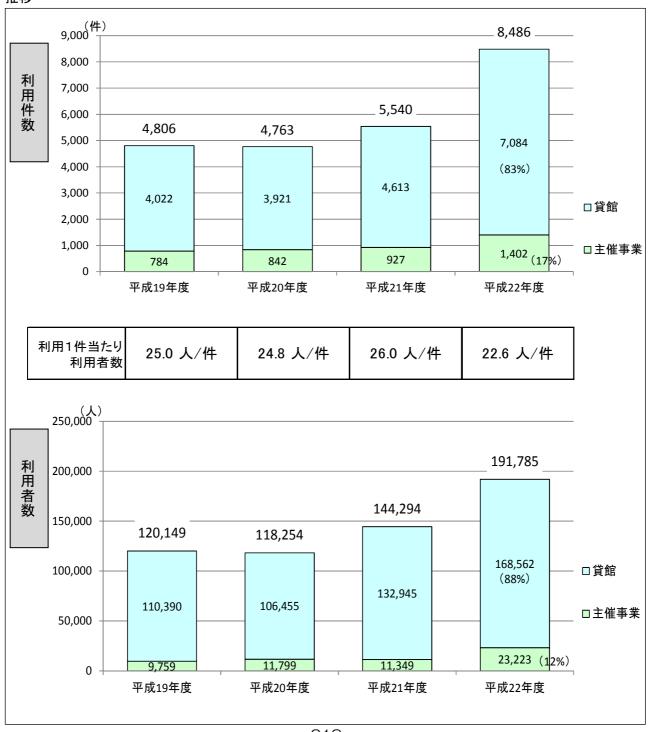
## ■ 利用状況の推移

年度別の利用状況をみると、平成 19 年度の 4,806 件から平成 22 年度の 8,486 件となっています。また利用者数は、平成 19 年度の 120,149 人から平成 22 年度の 191,785 人となっています。

平成 22 年度のデータにつきましては、「午前・午後・夜間」の時間帯を各コマごとに件数・利用者数を集計したため、同一利用団体が連続した使用をしても、複数カウントをしています。 したがってそれ以前の年度のデータより数が多くなっています。

また、大沢公民館のデータは平成 21 年 5 月の開所以降のデータであり、それ以前のデータはカウントしておりません。

#### 推移

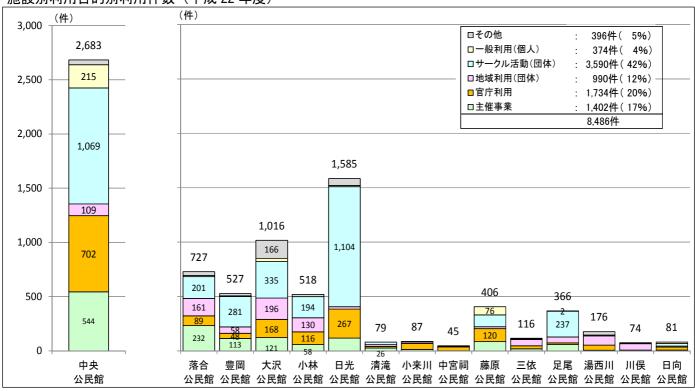


### ■ 施設別の利用状況

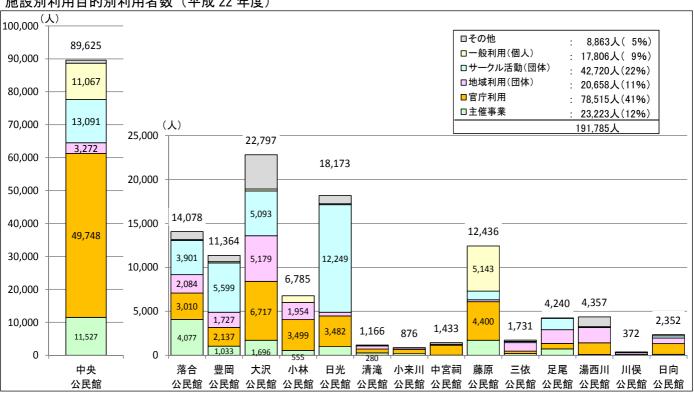
平成22年度の施設別利用件数をみると、中央公民館の利用が2.683件と最も多く、次いで 日光公民館、大沢公民館、落合公民館となっています。

また、施設別利用人数をみると、中央公民館が89,625人と最も多く、次いで大沢公民館、日 光公民館、落合公民館となっています。

### 施設別利用目的別利用件数 (平成 22 年度)

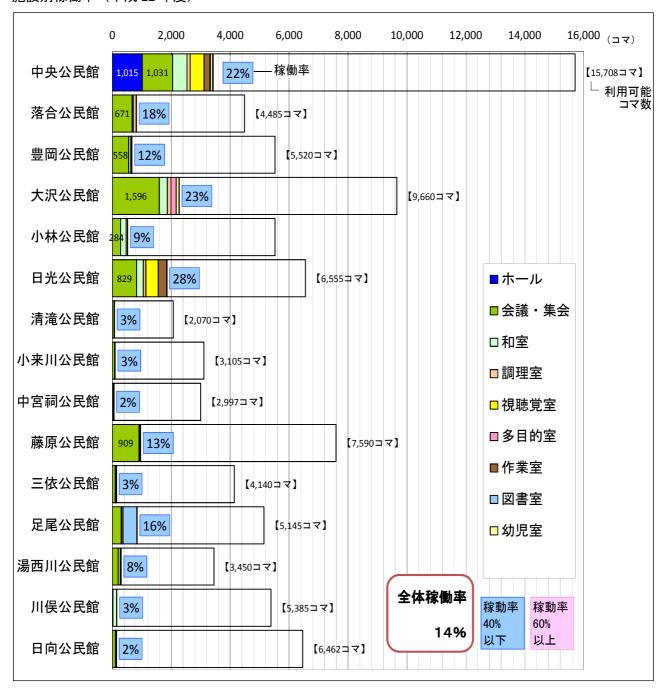


### 施設別利用目的別利用者数 (平成 22 年度)



施設別の稼働率は、中宮祠、日向公民館の約2%~日光公民館の約28%となっています。15施設中8施設で、稼働率が10%以下と非常に低くなっています。

#### 施設別稼働率 (平成 22 年度)



#### ■ 施設別曜日別の利用状況

平成22年度の施設別の平日1日当たりの利用者数は、中央公民館が平均309人(約10件)、 その他の地区公民館では、川俣公民館の平均1人(約0.2件)~大沢公民館の平均72人(約4件)となっています。

土曜日 1 日当たりの利用者数は、中央公民館が平均 346 人(約 10 件)、その他の地区公民館では、小来川公民館の平均 0.4 人(約 0.01 件)~大沢公民館の平均 51 人(約 3 件)となっています。

日曜(祝日)1日当たりの利用者数は、中央公民館が平均188人(約4件)、その他の地区公民館では、川俣公民館の平均0.5人(約0.1件)~大沢公民館の平均55人(約3件)となっています。

中央公民館は、土曜日の利用が最も多くなっていますが、その他の地区公民館 14 施設は、平日の利用が多くなっています。

なお、1日1件利用されていない施設もあります。

施設別平日/土/日曜祝日別利用者数 (平成 22 年度) 平日 1日当たり 土曜日 1日当たり 日曜(祝日) 1日当たり 100 0 200 300 400 0 50 100 150 200 250 300 350 400 0 50 100 150 200 250 300 350 400 中央公民館 129.4 56.3 309.2 144.3 88.0 345.8 75.8 31.0 188.3 112.9 (10.0件 (195日/51日/62日) (9.7件) (4.2件) 年往 **夜間** 午後 午後 夜間 80(人) 80(人) 80(人) 0 20 40 60 0 20 40 60 0 20 40 60 落合公民館 12.7 11.0 22.0 45.8 (2.4件) 9.7 15.2 13.8 38.6 (2.0件) 8.3 11.0 19.3 (1.0件) (243日/51日/51日 豊岡公民館 16.2 8.7 14.2 39.1 (1.7件) .25.8 14.5 24.5 (15件) 12 2 (0.5件) (243 H /51 H /51 H 大沢公民館 30.3 23.3 17.9 71.6 14.2 12.1 24.7 51.0 21.6 13.2 20.3 55.1 (243日/51日/51日) (3.4件) 小林公民館 10.0 24.8 (1.7件) 7.8 (0.5件) 6.9 (001件) (243日/51日/51日) 日光公民館 21.3 25.3 20.0 66.7 9.7 11.5 9.1 30.3 8.2 (243日/51日/51日) 清滝公民館 (243日/51日/51日) 3.3 (0.2件) 0.6 (0.1件) 1.2 (0.1件) 小来川公民館 3.3 (0.3件) 0.4 (0.01件) 1.1 (0.1件) (243日/51日/51日) 中宮祠公民館 (241日/46日/46日) 4.6 (0.1件) 4.3(0.1件) 2.7 (0.1件) 藤原公民館 **8.5 9.6 4.8 22.9** 30.6 16.8 27.3 5.9 50.9 21.5 68.9 17.7 (243日/51日/51日) 三依公民館 (243日/51日/51日) 4.9 (0.4件) 7.2 (0.3件) 3.2 (0.1件) 足尾公民館 (241日/51日/51日) 11.4 (0.01件) 13.6 (1.2件) 75 (0.8件) 湯西川公民館 (243日/51日/51日) 14.9 (0.6件) 8.2 (0.2件) 6.1 (0.2件) 全施設合計 全施設合計 全施設合計 平日1日当たり 土曜日1日当たり 日(祝日)1日当たり 川俣公民館 13(02件 0.5(0.1件) 0.5 (0.1件) 679人/30件 554人/23件 372人/10件 (242日/51日/71日) (22人/件) (25人/件) (36人/件) 日向公民館 7.4 (0.3件) 4.4 (0.1件) 4.9 (0.1件) (242日/51日/71日) ※( )内日数・・・(平日/土/日祝日)

※祝日は、中央公民館のみ開館しています。

# ⑤ 管理運営の状況

公民館の管理運営は、15施設とも市直営の施設となっています。

15 施設の運営人員は、延べ38人です。内訳は、一般職員が22人、嘱託職員が9人、臨時職員が1人、夜間等施設管理委託としてシルバー人材センターから6人となっています。

運営体制では、川俣、日向公民館2施設は、貸館時に栗山公民館から職員が出向き開館します。 また、清滝、藤原公民館では、土日及び夜間の貸館予約がある場合のみシルバー人材センターに 鍵の開閉を委託し、中宮祠公民館は、土日及び夜間で貸館予約がある場合は、使用責任者に事前に合鍵を貸与して運営しています。

運営人員 (平成 22 年度)

		直営		委託			
	一般職員	嘱託職員	臨時職員	シルバー 人材センター	計	備考	人
中央公民館今市公民館	6	2	0	2	10		
落合公民館	2	1	0	0	3		
豊岡公民館	2	1	0	0	3		
大沢公民館	2	1	0	1	4		
小林公民館	2	1	0	0	3		
日光公民館	1	0.5	0	1	2.5		
清滝公民館	0.1	0	0	0	0.1		
小来川公民館	0.1	0	0	0	0.1		
中宮祠公民館	0.1	0	0	0	0.1		
藤原公民館	2	2	0	1	5		
三依公民館	0.8	0	0	0	0.8		
足尾公民館	2	0	1	1	4		
湯西川公民館	1.9	0	0	0	1.9		
川俣公民館	0	0	0	0	0		
日向公民館	0	0	0	0	0		
合計	22	8.5	1	6	37.5		

※川俣公民館及び日向公民館は、栗山総合支所内にある栗山公民館で執務行っているため、「O」となっています。

# 3) コスト状況

# ① トータルコスト

# ■ 全体のトータルコスト

平成22年度の公民館の15施設の年間トータルコストは、4億1,856万円です。 年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は5,584万円(13%)、事業運営にかかるコスト(人件費・委託費等)は2億2,610万円(54%)、減

価償却相当額は1億3,662万円(33%)です。

# 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

(千円)

I.現金収 【コストの	又支を伴うもの 部】	中央公民館 今市公民館	落合公民館	豊岡公民館	大沢公民館	小林公民館	日光公民館	清滝公民館	小来川公民 館
	修繕費	545	240	1,013	15	203	591	137	314
施	改修費	1,124	1,325	0	0	0	0	0	0
一設	光熱水費	0	448	1,549	5,746	1,196	2,618	344	610
<del> </del>	委託費	2,648	1,537	1,330	8,173	1,045	2,498	428	879
トか	負担金補助及び交付金	0	0		0	0	3	0	0
「かって	その他物件費	2,643	295	459	533	469	504	340	34
る	施設にかかるコスト	6,960	3,845	4,351	14,467	2,913	6,214	1,249	1,837
	一般職員人件費	49,534	16,511	16,511	16,511	16,511	8,256	826	826
重	嘱託職員人件費	4,756	2,378	2,378	2,378	2,378	1,189	0	0
業	臨時職員人件費	0	0	0	0	0	. 0	0	0
事業運営に	報酬費	1,080	28	0	54	20	1,800	0	0
コ営	報償費	1,331	734	516	816	392	456	128	104
スに	委託費	56	51	26	170	22	0	0	0
トか	車両·備品購入費	422	114	87	53	145	282	0	0
か	負担金補助及び交付金	88	0	0	0	0	0	0	0
る	その他物件費	2,585	327	310	270	122	58	0	0
	事業運営にかかるコスト	59,852	20,143	19,828	20,252	19,590	12,041	954	930
現金収支	を伴うコスト 計	66,812	23,988	24,179	34,719	22,503	18,255	2,203	2,767
【収入の部	部】	•							
	分担金及び負担金(収入)	0	0	0	0	0	0	0	0
収入	使用料収入	616	43	140	543	10	420	12	0
	諸収入	1,022	0	0	3	1	1	0	0
収入の合	計	1,638	43	140	546	11	421	12	0
Ⅱ.現金収	<b>又支を伴わないもの</b>								
コスト	減価償却相当額	22,447	6,001	6,613	33,948	5,205	19,633	3,619	4,114
Ⅲ.総括									
コストの部	部合計(トータルコスト)	89,259	29,989	30,792	68,667	27,708	37,888	5,822	6,881
収支差額	i(ネットコスト)	87,621	29,946	30,652	68,121	27,697	37,467	5,810	6,881

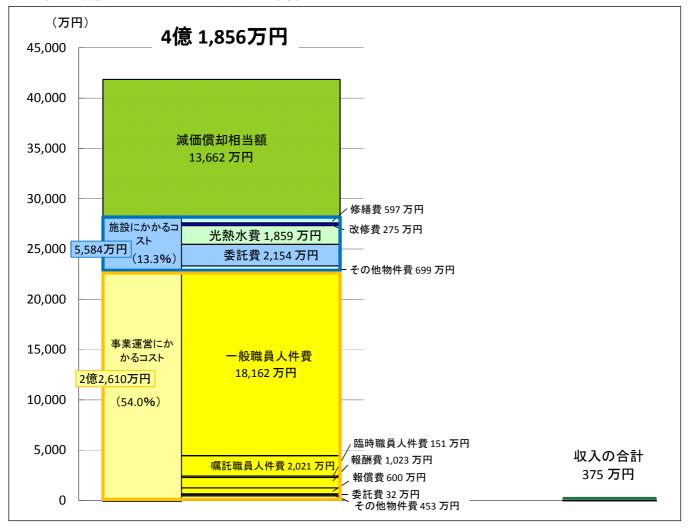
(千円)

中宮祠公民館	藤原公民館	三依公民館	足尾公民館	湯西川公民 館	川俣公民館	日向公民館	合計		
450	26	2,035	389	0	8	3	5,969	修繕費	
0	300	0	0	0	0	0		改修費	施
2,540	0	446	901	1,492	280	417	18,587	光熱水費	設った
591	250	374	143	1,119	196	328	21,539	委託費	コにん
0	0	0	0	4	4	0	11	負担金補助及び交付金	Γ /J,
43	142	182	784	142	170	245	6,985	その他物件費	ית
3,624	718	3,037	2,217	2,757	658	993	55,840	施設にかかるコスト	る
826	16,511	6,604	16,511	15,686	0	0	181,624	一般職員人件費	
0	4,756	0	0	0	0	0	20,213	<u>嘱託職員人件費</u>	重
0	0	0	1,511	0	0	0	1,511	臨時職員人件費	業
0	5,426	0	18	0	1,800	0	10,226	報酬費	運
0	384	196	826	24	63	29		報償費	事業運営にか
0	0	0	0	0	0	0	325	委託費	ストム
0	69	181	227	0	0	0	1,580	車両·備品購入費	トか
0	0	4	0	0	0	0	92	負担金補助及び交付金	かる
0	0	56	360	207	15	217	4,527	その他物件費	る
826	27,146	7,041	19,453	15,917	1,878	246	226,097	事業運営にかかるコスト	
4,450	27,864	10,078	21,670	18,674	2,536	1,239	281,937	現金収支を伴うコスト 計	
			1						
0		0			0	0		分担金及び負担金(収入)	
4	258	2		17	0	0		使用料収入	収入
0	0	0	1	0	0	0		諸収入	
4	907	2	11	17	0	0	3,752	収入の合計	
6,229	5,559	3,462	3,561	9,472	4,896	1,864	136,623	減価償却相当額	コスト
10,679	33,423	13,540	25,231	28,146	7,432	3,103	418,560	コストの部合計(トータルコスト)	
10,675	32,516	13,538	25,220	28,129	7,432	3,103	414,808	収支差額(ネットコスト)	
									<del></del>

- ※ 次の公民館の施設にかかるコストについては、併設施設分も含まれています。
  - 落合公民館(落合支所)、豊岡公民館(豊岡支所)、大沢公民館(大沢支所及び大沢体育館)、 小林公民館(塩野室支所)、清滝公民館(清滝出張所)、小来川公民館(小来川支所)、中宮 祠公民館(中宮祠出張所及び中宮祠分署)、三依公民館(三依支所)、湯西川公民館(湯西 川支所)

職員人件費(報酬費・報償費を含む)は合計 2億1,957万円で、トータルコストの約53%を占めています。

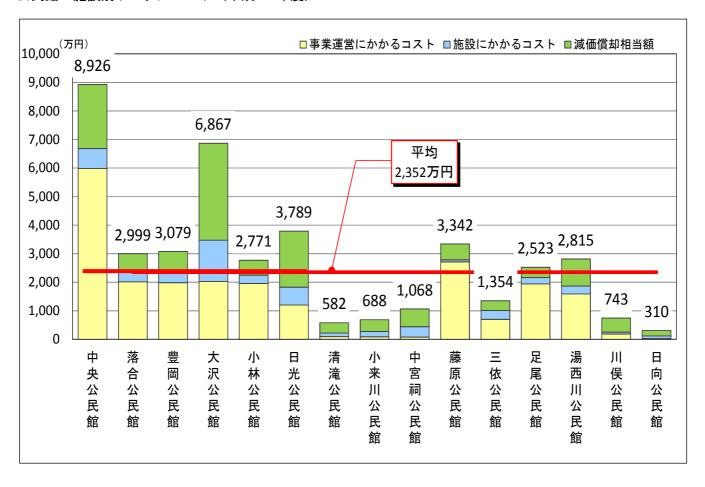
公民館 全施設トータルコスト (平成22年度)



# ■ 施設別のトータルコスト

施設別トータルコストでは、中央公民館は8,926万円、その他地区公民館は日向公民館の310万円~大沢公民館の6,867万円となっています。地区公民館の平均は、1施設当たり2,352万円となっています。

公民館 施設別トータルコスト (平成22年度)

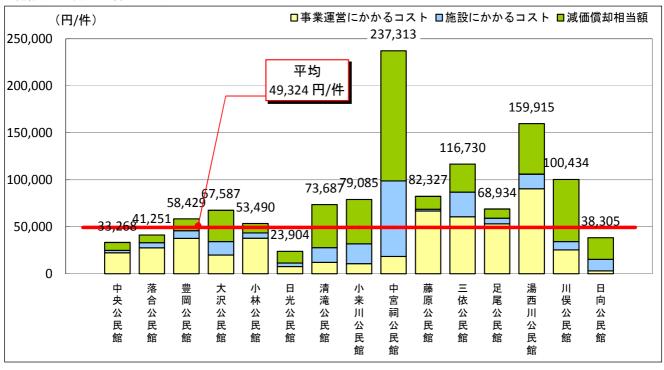


## ② 利用者当たりのコストと床面積当たりのコスト

## ■ 利用1件当たりのコスト

平成22年度の年間利用件数とトータルコストより利用1件当たりにかかるコストを算出すると、日光公民館の23,904円/件~中宮祠公民館の237,313円/件となっています。なお、公民館の平均は49,324円/件となっています。

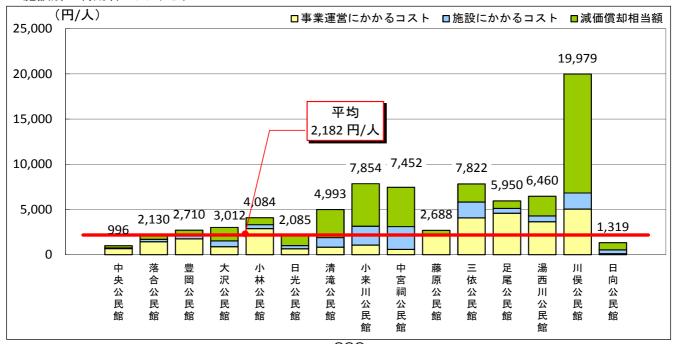
施設別 利用1件当たりコスト



# ■ 利用者1人当たりのコスト

また、年間利用者数とトータルコストより利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、中央公民館の 996 円/人~川俣公民館の 19,979 円/人となっています。なお、公民館の平均は 2,182 円/人となっています。

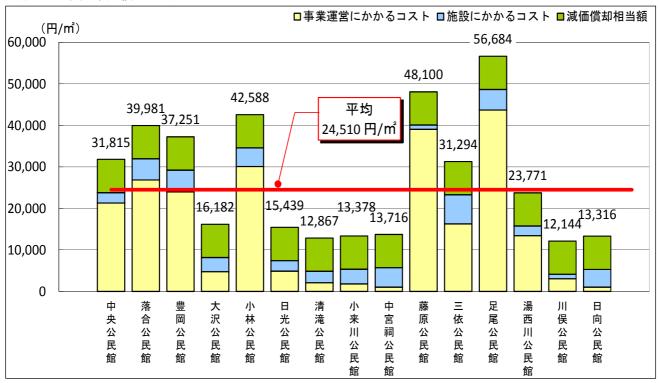
施設別 利用者1人当たりコスト



# ■ 床面積 (m) 当たりのコスト

さらに、延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、川俣公民館の 12,144 円/㎡~足尾公民館の 56,684 円/㎡となっています。なお、公民館の平均は 24,510 円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



#### 4) 今後の検討の視点

- 建物総合評価を実施した14施設のうち、建物の耐震性、老朽化の面では、豊岡公民館・ 小林公民館等10施設の耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要な施 設です。また、中央公民館も耐震安全性確保は完了しているものの、築後35年が経過し ており老朽化が進行しているため、建替え・大規模改修を検討する必要があります。
- 利用状況をみると、中央公民館は、土曜日の利用が最も多くなっていますが、その他の地区公民館14施設は、平日の利用が多くなっています。なお、1日1件利用されていない施設もみられるため、利用の少ない施設は、他の施設への機能移管・統合等を含めて、他の用途へ活用について検討が必要となっています。また、利用1件当たりのコストに開きがあるため、費用対効果を検証し、最適な費用での運営方法の見直しを行う必要があります。
- トータルコストの約54%が事業運営にかかるコストであるにも関わらず、目的別の利用 状況では主催事業による利用が全体の約17%となっています。公民館の機能を見直すこ とにより、利用者ニーズに適合した主催事業の開催や、施設の利用向上を図る必要があり ます。

## (10) コミュニティセンター等施設

## 1) 施設概要

# ① 施設一覧

市では、地域住民活動の基本であるコミュニティ活動を推進するための支援及び活動拠点となる施設として、コミュニティセンター7施設のほか、女性サポートセンター、銅ふれあい館等9施設を保有しています。ただし、コミュニティセンター7施設のうち、所野・鬼怒川・川治コミュニティセンターの3施設は、施設の管理及び主な利用者が自治会のため、次の集会等施設で整理します。

所野・鬼怒川・川治コミュニティセンター除く6施設のうち、南原地区コミュニティセンターは南原出張所と、奥日光コミュニティセンターは中宮祠出張所・中宮祠公民館及び日光消防署中宮祠分署と、女性サポートセンターは清滝体育館と併設施設となっています

## <コミュニティセンター>

設置目的:市民の福祉の増進と文化の向上及び対話の場として設置。

<女性サポートセンター>

設置目的:女性労働者の福祉の増進と地位の向上を図るために設置。

<銅ふれあい館>

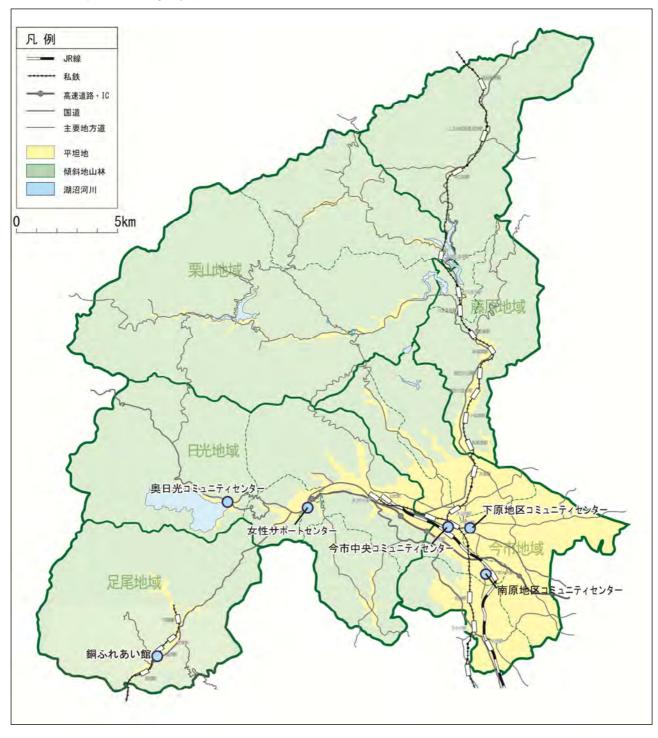
|設置目的:観光の発展及び産業の振興と文化の向上並びに地域住民の連帯意識の醸成を

図るために設置。

#### 施設一覧

名称	住所	延床面積	建築年度		併設施設	į.	備考
<b>石</b> 柳	生的	( m²)	(年度)	出張所	公民館	体育館	1佣 右
1 今市中央コミュニティセンター	今市375番地	830.5	昭和59		単独施設		
2 下原地区コミュニティセンター	今市1206番地	250.0	昭和56		単独施設		
3 南原地区コミュニティセンター	土沢2086番地	265.0	昭和58	•			南原出張所併設
4 奥日光コミュニティセンター	中宮祠2478番地4	778.6	昭和56	•	•		中宮祠出張所、中宮祠 公民館、消防分署併設
5 女性サポートセンター	清滝桜ヶ丘210番地7	762.1	昭和58			•	
6 銅ふれあい館	足尾町通洞9番2号	504.0	平成4		単独施設		
合 計		3,390.3	_				

# コミュニティセンター等配置図

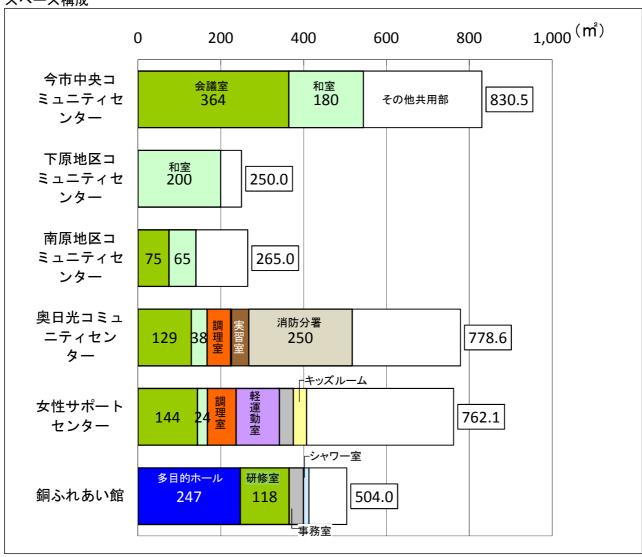


# ② スペース構成

コミュニティセンター等6施設の規模は、下原地区コミュニティセンターの 250 ㎡~今市中央コミュニティセンターの 831 ㎡となっています。

保有スペースは、会議・集会機能としての会議室・研修室・和室が中心ですが、奥日光コミュニティセンターは調理室、女性サポートセンターは、調理室、ダンス等ができる軽運動室やキッズルーム、銅ふれあい館は、247 ㎡の多目的ホールとシャワー室を保有しています。

スペース構成



## ③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度におけるコミュニティセンター等 6 施設の建物総合評価を行いました。

	#+	· 本主口	1	2		2	バリア	711 A	44			環境対	+r <del></del>			⑤維:	持管理		
	奉平	情報	耐震化	老朽化		(S)	· \// .	,	·] //Ľ›		4):	<b>保児</b> 外	) <i>I</i> /L's	維持管	き理費(·	千円)	床面積	当たり(	円/ <b>㎡</b> )
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築 年 数	※1 車いす用エレベータ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
今市中央コミュニティセンター	昭和59	831	1	27	0	0	0	0	0	×	×	×	×	1,171	176	1	1,410	212	-
下原地区コミュニティセンター	昭和56	250	未実施	30	×	×	0	×	×	×	×	×	×	313	95	_	1,250	380	-
南原地区コミュニティセンター	昭和58	265	ı	28	×	×	0	×	×	×	×	×	×	337	106	_	1,271	399	-
奥日光コミュニティセンター	昭和56	779	ı	30	×	0	0	×	0	×	×	×	×	2,540	591	450	3,263	759	578
女性サポートセンター	昭和58	762	1	28	×	0	0	0	×	×	×	×	×	1,271	3,781	41	1,668	4,961	54
銅ふれあい館	平成4	504	-	19		0	0	×	×	×	×	×	×	211	12	9	418	23	17
合計		3,390												5,843	4,761	500	_	_	-

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等

※2 節水型便器、高効率照明器具·LED照明、雨水·中水設備

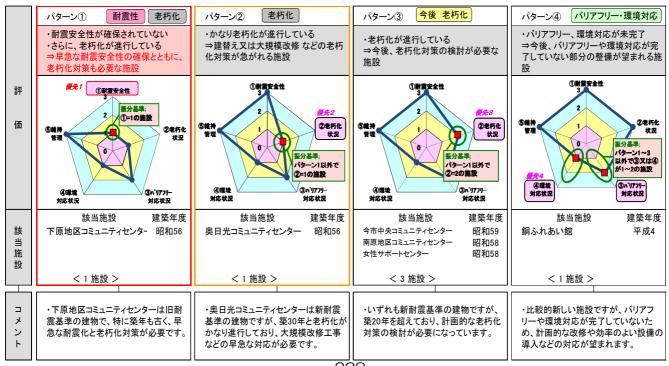
実施済み÷○ 記載例 <u>未実施 = ×</u> 不 要 ⇒ —

コミュニティセンター等6施設のうち、下原地区コミュニティセンターは、旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

奥日光コミュニティセンターは、新耐震基準の建物ですが、老朽化が進行しており、今後、建 替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

今市中央コミュニティセンター含む3施設は、いずれも新耐震基準の建物ですが、今後、老朽 化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

銅ふれあい館は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部終了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



# 2) 施設状況

# ① 開館状況

平成22年度のコミュニティセンター等6施設の開館状況は、次の表のとおりです。 なお、使用料については、コミュニティセンター4施設は無料、女性サポートセンターは、女性の方の利用は無料(一般は有料)、銅ふれあい館は、有料の施設になります。

# 開館時間・休館日

名称	開館時間	開館 日数	休館日
今市中央コミュニティセンター	午前 8 時 30 分~午後 10 時 (利用区分:午前·午後·夜間)	339 日	月曜日
下原地区コミュニティセンター	午前 8 時 30 分~午後 10 時 (利用区分:午前·午後·夜間)	365 日	特に定めていない
南原地区コミュニティセンター	午前 8 時 30 分~午後 10 時 (利用区分:午前·午後·夜間)	365 日	特に定めていない
奥日光コミュニティセンター	午前 8 時 30 分~午後 10 時 (利用区分:午前·午後·夜間)	365 日	特に定めていない
女性サポートセンター	午前9時~午後9時 (利用区分:午前·午後·夜間)	294 日	月曜日·祝日(※) 年末年始(12月29日~1月3日
銅ふれあい館	午前 8 時 30 分~午後 10 時 (利用区分:午前·午後·夜間)	365 日	特に定めていない

<sup>※</sup> 休館日が祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

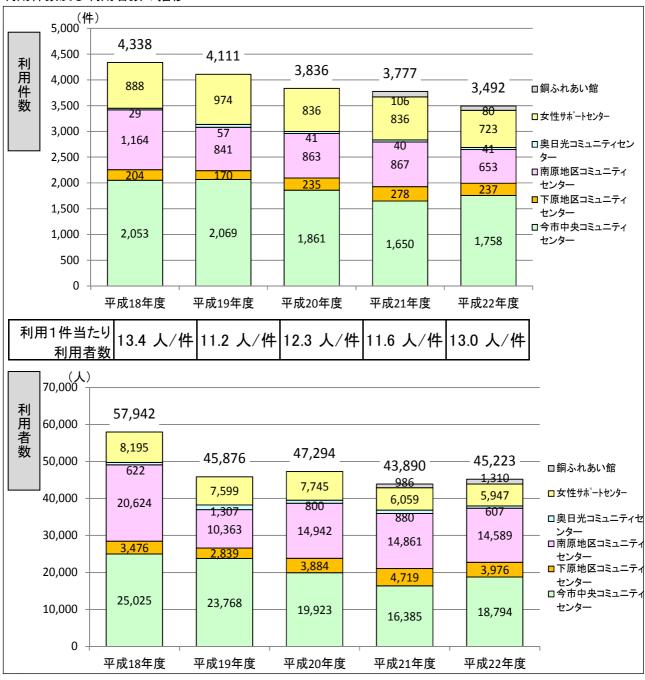
#### ② 利用状況

平成 22 年度のコミュニティセンター等の全体利用件数は 3,492 件、利用者数は 45,223 人です。1 施設 1 日当たりでは、利用件数は平均 2 件、利用者数は平均 2 1 人となっています。

施設別では、今市中央コミュニティセンター・下原地区コミュニティセンター・奥日光コミュニティセンター・女性サポートセンターはほぼ横ばいで推移していますが、南原地区コミュニティセンターは利用件数ベースで平成 18 年度の約 44%減少しています。

また、利用 1 件当たりの利用者数の推移は、平成 18 年度から平成 22 年度まで、1 件当たり 11 人~13 人とほぼ同程度となっています。

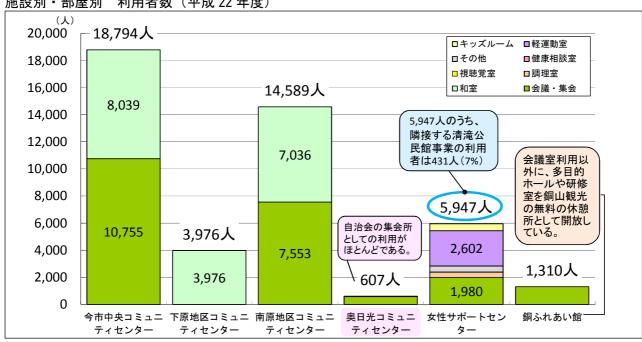
#### 利用件数及び利用者数の推移



※銅ふれあい館については、21・22年度のみの集計となっています。

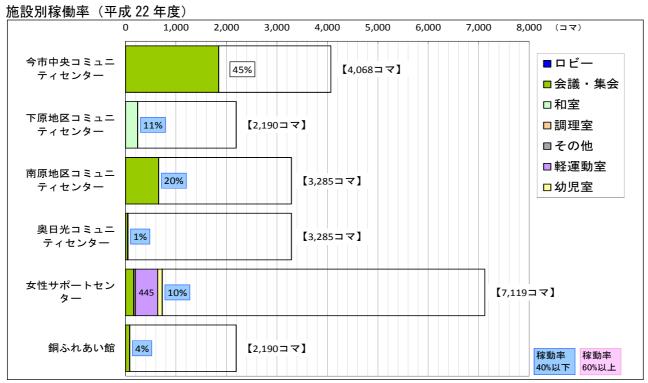
#### ■ 施設別部屋別の利用状況

平成 22 年度の施設別部屋別の利用者数は、奥日光コミュニティセンターの 607 人~今市中 央コミュニティセンターの 1 万 8.794 人となっています。 奥日光コミュニティセンターは、 自 治会の集会所として利用者が限定されているため、他の施設より利用が少なくなっています。女 性サポートセンターでは、近隣の清滝公民館の事業での利用が約7%あります。銅ふれあい館は、 利用者数を把握している会議室よりも、多目的ホールや研修室の休憩所利用が多い状況にありま す。



施設別·部屋別 利用者数 (平成 22 年度)

施設別の稼働率は、奥日光コミュニティセンターの約1%~今市中央コミュニティセンターの 約 45%となっています。6 施設の平均で、稼働率が約 16%と非常に低い状態です。

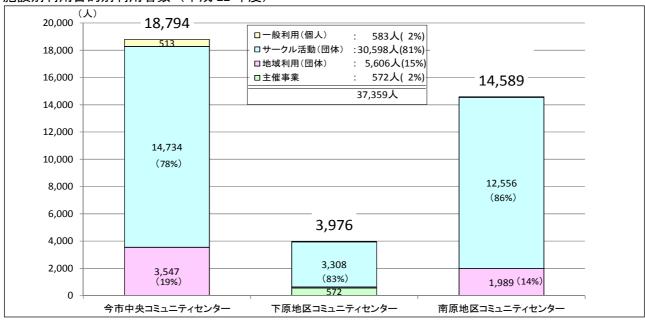


231

■ 施設別目的別の利用状況 (奥日光コミュニティセンター・女性サポートセンター・銅ふれあい館除く) 平成22年度の今市中央・下原地区・南原地区コミュニティセンター3 施設の目的別利用状況 では、主催事業が572人(約2%)、地域利用が5,606人(約15%)、サークル活動が3万598人(約81%)、一般利用(個人)が583人(約2%)となっています。

3 施設とも太極拳や手芸等のサークル活動の利用が過半を占めており、下原地区・南原地区コミュニティセンターでは80%以上がサークル活動となっています。今市中央コミュニティセンターでは、敬老会や総会等の地域利用が約19%となっています。

## 施設別利用目的別利用者数 (平成 22 年度)



## ■ 施設別曜日別の利用状況

平日 1 日当たりの利用者数は、奥日光コミュニティセンターの 2 人(O.2 件) ~今市中央コミュニティセンターの 51 人(4 件)となっています。

土曜日 1 日当たりの利用者数は、奥日光コミュニティセンターの〇人(〇件)~今市中央コミュニティセンターの77 人(8件)となっています。

日曜・祝日 1 日当たりの利用者数は、奥日光コミュニティセンターの平均 0.5 人(約 0.04 件) ~今市中央コミュニティセンターの平均 54 人(約 8 件)となっています。

今市中央コミュニティセンターと南原地区コミュニティセンターでは、土曜日の利用が最も多くなっていますが、女性サポートセンターは、平日の利用が最も多く、下原地区コミュニティセンターは、曜日を問わず、ほぼ同じ利用件数となっております。また、奥日光コミュニティセンターは5日に1件、下原地区コミュニティセンターは2~3日に1件程度の利用となっています。

#### 土曜日 1日当たり 日曜・祝日 1日当たり 平日 1日当たり 0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 午前 午後 夜間 午前 午後 夜間 午前 午後 夜間 今市中央コミュニティ 16 29 51.3 25 15 76.5 17 34 53.8 36 ヤンター (3.8件) (8.3件) (8.4件) 下原地区コミュニティ 11.2 (0.7件) 13.5 (0.6件) 7.8 3 4 5 (0.5件) センター 南原地区コミュニティ |41.0|(1.6件) |54.0|<sub>(2.7件)</sub> |25.7|<sub>(1.7件)</sub> 12 23 19 13 36 センター 奥日光コミュニティセ 0.0 (0.0件) 0.5 (0.04件) 2.3 (0.2件) ンター 全施設合計 全施設合計 全施設合計 平日1日当たり 土曜日1日当たり 日・祝日1日当たり 129人/9件 161人/13件 103人/12件 女性サポートセンター 12.6 14.7 19.2 13 19 15 (14人/件) (12人/件) (9人/件) (2.6件) (1.1件) (0.9件) ■午前 ■午前 ■午前 4.2 (0.3件) 0.8 (0.02件) 銅ふれあい館 4.6 ■午後 ■午後 ■午後 (0.1件)

施設別平日/土/日曜祝日別利用者数 (平成 22 年度)

※ 女性サポートセンターは時間帯別が不明のため、1日当たりの合計値となっています。

■夜間

※ 銅ふれあい館は、多目的ホールや研修室を銅山観光の休憩所としての利用しているため、会議室 のみの利用人数及び利用件数となっています。

■夜間

■夜間

#### ③ 管理運営の状況

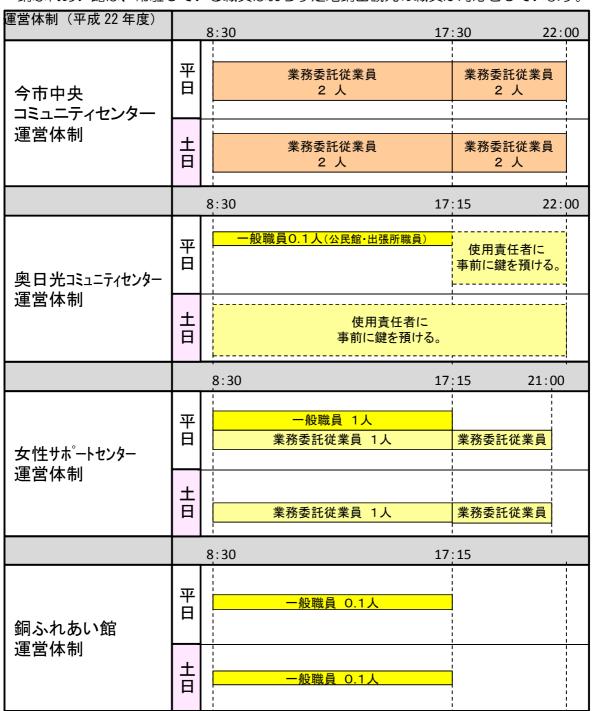
平成22年度のコミュニティセンター等6施設の管理運営は、6施設とも市直営の施設となっています。

今市中央、下原地区及び南原地区コミュニティセンターは、シルバー人材センターや自治会に 施設の管理業務委託をしています。

奥日光コミュニティセンターは、8時30分~17時15分までは出張所(公民館)の職員が対応しており、夜間と土日祝日は使用責任者に事前に鍵を預けて利用しています。

女性サポートセンターは、平日は、一般職員と業務委託従業員が 1 名ずつで施設の管理及び運営をしていますが、平日の夜間と土日は、業務委託従業員が 1 名で施設の管理をしています。

銅ふれあい館は、常駐している職員はおらず足尾銅山観光の職員が対応をしています。



## 3) コスト状況

# ① トータルコスト

# ■ 全体のトータルコスト

平成22年度のコミュニティセンターの6施設の年間トータルコストは、6,218万円です。 年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は1,462万円(24%)、事業運営にかかるコスト(人件費・委託費等)は1,473万円(24%)、減価償却相当額は3,283万円(53%)です。

施設別行政コスト計算書(平成22年度)

(千円)

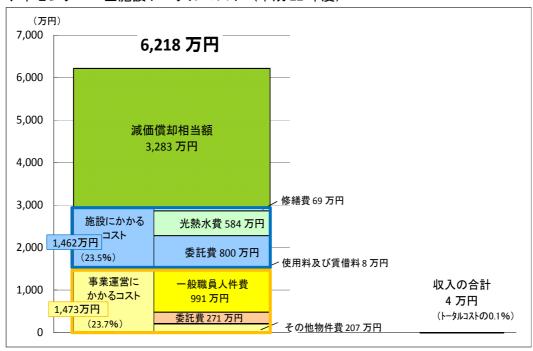
I.現金収 【コストの	R支を伴うもの か部】	今市中央コ ミュニティセン ター		南原地区コ ミュニティセン ター	奥日光コミュ ニティセン ター	女性サポート センター	銅ふれあい 館	合計
施	修繕費	93	25	67	450	41	9	685
コ設	光熱水費	1,171	313	337	2,540	1,271	211	5,843
っに	委託費	3,155	190	177	591	3,781	112	8,006
してか	使用料及び賃借料	0	0	0	0	84	0	84
ー か る	施設にかかるコスト	4,419	528	581	3,581	5,177	332	14,618
事	一般職員人件費	0	0	0	826	8,256	826	9,908
コか業	委託費	0	0	0	0	2,709	0	2,709
スか運	使用料及び賃借料	0	0	0	0	45	0	45
トる営	その他物件費	229	19	159	0	1,666	0	2,073
ī	事業運営にかかるコスト	229	19	159	826	12,678	826	14,737
現金収支	を伴うコスト 計	4,648	547	740	4,407	17,855	1,158	29,355
【収入の記	部】							
収入	使用料収入	0	0	0	0	23	17	40
12.7	諸収入	0	0	0	0	0	0	0
収入の合	計	0	0	0	0	23	17	40
Ⅱ.現金収	え支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	6,644	2,000	2,120	6,229	7,435	8,400	32,828

\_\_\_\_ Ⅲ.総括

コストの部合計(トータルコスト)	11,292	2,547	2,860	10,636	25,290	9,558	62,183
収支差額(ネットコスト)	11,292	2,547	2,860	10,636	25,267	9,541	62,143

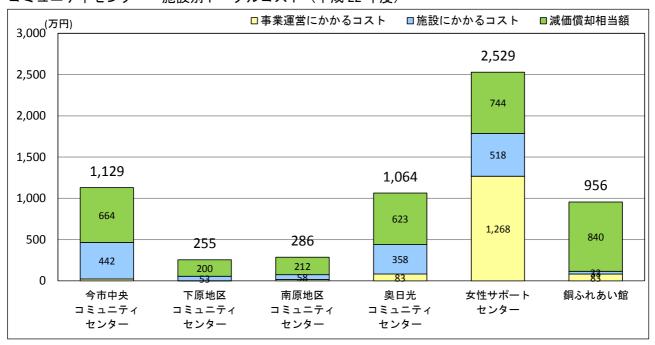
※奥日光コミュニティセンターの施設にかかるコストについては、併設施設分も含まれています。

コミュニティセンター 全施設トータルコスト (平成22年度)



## ■ 施設別のトータルコスト

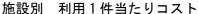
平成22年度の施設別トータルコストでは、下原地区コミュニティセンターの255万円~女 性サポートセンターの 2.529 万円となっています。各施設のコスト構成は、コミュニティセン ターは建物管理委託費等の施設にかかるコストと減価償却相当額で主に構成されており、女性サ ポートセンター・銅ふれあい館は人件費を中心とした事業運営にかかるコストがかかっています。 コミュニティセンター 施設別トータルコスト (平成 22 年度)

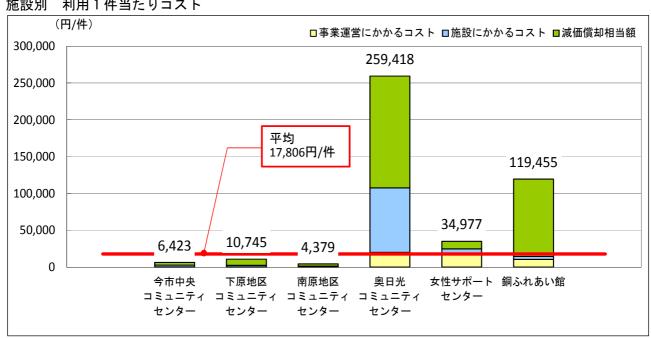


## ② 利用者当たりのコストと床面積当たりのコスト

## ■ 利用1件当たりのコスト

平成22年度の年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出す ると、南原地区コミュニティセンターの4,379円/件~奥日光コミュニティセンターの 259,418円/件となっています。なお、コミュニティセンター等6施設の平均は17,806円/ 件となっています。

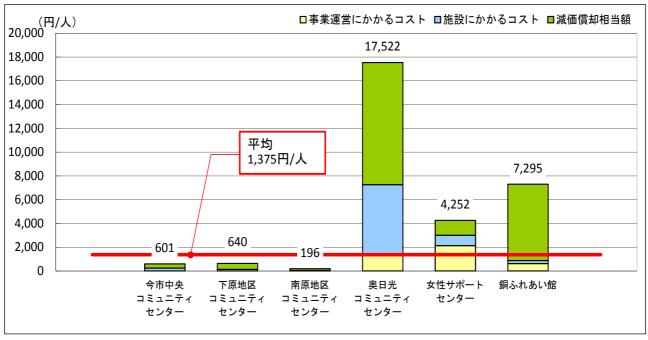




#### ■ 利用者1人当たりのコスト

また、年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、南原地区コミュニティセンターの 196 円/人〜奥日光コミュニティセンターの 17,522 円/人となっています。なお、コミュニティセンター等6施設の平均は 1,375 円/人となっています。

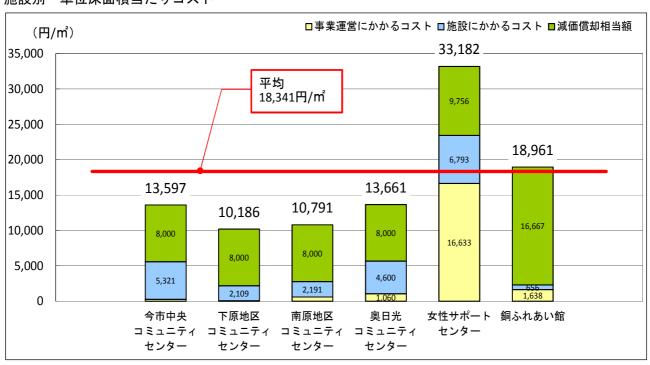
施設別 利用者1人当たりコスト



#### ■ 床面積(m)当たりのコスト

さらに、延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、下原地区コミュニティセンターの 10,186 円/㎡~女性サポートセンターの 33,182 円/㎡となっています。なお、コミュニティセンター等6施設の平均は 18,341 円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



# 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、コミュニティセンター等6施設のうち、下原地区コミュニティセンターは、旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。
- 施設別の稼働状況をみると、6 施設の平均で稼働率 16%と非常に低くなっています。また、今市中央・下原地区・南原地区コミュニティセンター3 施設の利用者は、サークル活動での利用が 78%~86%を占め、奥日光コミュニティセンターも自治会の集会所として利用されているなど、利用者が限定的となっていることが分かります。また、奥日光コミュニティセンターや下原地区コミュニティセンターの利用が極端に少なく、奥日光コミュニティセンターは 5 日に 1 件、下原地区コミュニティセンターは 2~3 日に 1 件程度の利用となっています。今後は、近隣の類似施設との機能再編や他の公共施設への機能移管等、他の用途を含めた施設の有効活用を図る必要があります。

# (11)集会等施設

# 1) 施設概要

# ① 施設一覧

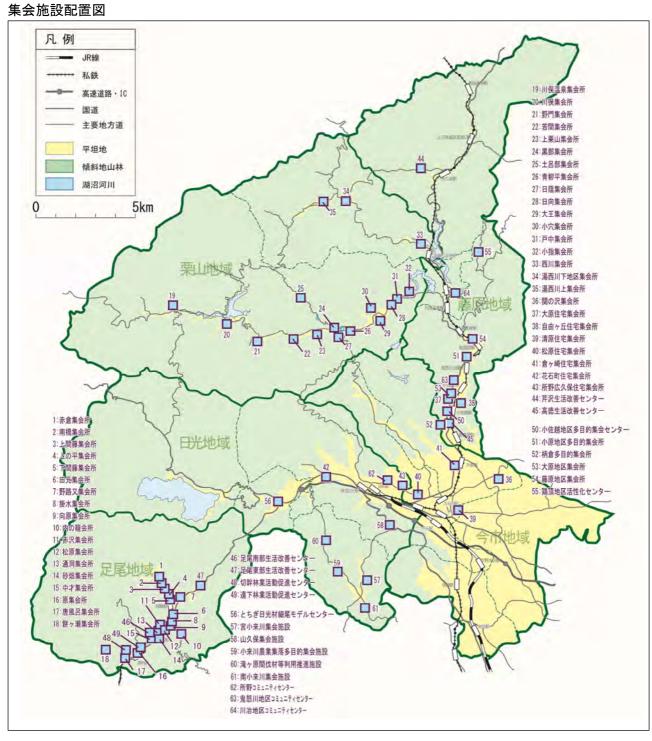
市では、集会施設として、自治会集会所(36施設)、市営住宅集会所(7施設)、生活改善センター(4施設)、林業活動促進センター(2施設)、多目的集会施設(6施設)、その他集会施設(6施設)の計61施設と主な利用が地元の自治会の集会施設となっているコミュニティセンター(3施設)の合計64施設、10,397㎡を保有しています。

これら64施設の管理については、自治会や市営住宅入居者等により行われています。

# 施設一覧

地域	名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度(年度)	管理運営	併設施設	備考
今	1 清原住宅集会所	今市1659番地130	80.0	昭和45	直営(管理:住宅入居者)		市営住宅
市	2 松原住宅集会所	瀬尾616番地1	177.2	平成6	直営(管理:住宅入居者)		市営住宅
地	3 倉ケ崎住宅集会所	倉ケ崎669番地1	82.7	平成22	直営(管理:住宅入居者)		市営住宅
域	4 関の沢集会所	町谷1382番地	235.0	昭和56	管理委託(地元自治会)		自治会
	5 花石町住宅集会所	花石町1931番地	69.0	昭和51	直営(管理:地元自治会)		市営住宅
	6 所野広久保住宅集会所	所野2835番地4	99.0	平成5	直営(管理:住宅入居者)		市営住宅
	7 とちぎ日光材細尾モデルセンター	細尾町428番地1	197. 0	平成3	直営(管理:地元自治会)		その他
日	8 宮小来川集会施設	宮小来川2735番地2	209.0	平成5	直営(管理:地元自治会)		その他
光地	9 山久保集会施設	山久保192番地1	144. 0	平成8	直営(管理:地元自治会)		その他
域	10 小来川農業集落多目的集会施設	西小来川3403番地1	60.0	昭和61	直営(管理:地元自治会)		その他
~~	11 滝ヶ原間伐材等利用推進施設	滝ヶ原3822番地	116.0	平成13	直営(管理:地元自治会)		その他
	12 南小来川集会施設	南小来川282番地1	140.0	平成9	直営(管理:地元自治会)		その他
	13 所野コミュニティセンター	所野2832番地2	517.3	昭和60	管理委託(地元自治会)	憩の家	コミセン
	14 大原住宅集会所	鬼怒川温泉大原1286番地	97.2	昭和51	直営(管理:住宅入居者)		市営住宅
	15 自由ヶ丘住宅集会所	鬼怒川温泉大原170番地2	53.5	昭和56	直営(管理:住宅入居者)		市営住宅
	16 芹沢生活改善センター	芹沢124番地	126. 4	昭和55	直営(管理:地元自治会)		生活改善
	17 高徳生活改善センター	高徳770番地	267. 0	昭和58	直営(管理:地元自治会)		生活改善
藤	18 小佐越地区多目的集会センター	小佐越395番地	119. 2	平成1	直営(管理:地元自治会)		多目的
原	19 小原地区多目的集会所	藤原128番地	191. 7	平成7	直営(管理:地元自治会)		多目的
地	20 柄倉多目的集会所	柄倉261番地	219. 7	平成5	直営(管理:地元自治会)		多目的
域	21 大原地区集会所	鬼怒川温泉大原479番地1	192. 9	平成9	直営(管理:地元自治会)		多目的
	22 藤原地区集会所	藤原419番地	217. 8	平成10	直営(管理:地元自治会)		多目的
	23 鶏頂地区活性化センター	高原216番地	143. 3	平成12	直営(管理:地元自治会)		多目的
	24 鬼怒川地区コミュニティセンター	鬼怒川温泉滝536番地	180.0	昭和52	管理委託(地元自治会)		コミセン
	25 川治地区コミュニティセンター	藤原1234番地	770.0	昭和54	管理委託(地元自治会)		コミセン
	26 赤倉集会所	足尾町赤倉8番8号	89.4	平成17	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	27 南橋集会所	足尾町南橋2番6号	66.2	平成元	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	28 上間藤集会所	足尾町上間藤7番2号	183.0	平成4	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	29 上の平集会所	足尾町上の平1番2号	99.9	平成元	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	30 下間藤集会所	足尾町下間藤2番5号	110.1	平成6	指定管理施設(地元自治会)	観光センター	自治会
	31 田元集会所	足尾町1541番地2	66.2	昭和60	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	32 野路又集会所	足尾町4436番地1	119.5	平成3	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	33 掛水集会所	足尾町掛水4番18号	97.7	昭和63	指定管理施設(地元自治会)	消防団詰所	自治会
	34 向原集会所	足尾町向原5番12号	119.5	平成3	指定管理施設(地元自治会)		自治会
足	35 内の籠集会所	足尾町4245番地5	33.1	昭和62	指定管理施設(地元自治会)		自治会
尾	36 赤沢集会所	足尾町赤沢6番4号	142.4	平成18	指定管理施設(地元自治会)		自治会
地	37 松原集会所	足尾町松原4番16号	166.5	昭和43	指定管理施設(地元自治会)		自治会
域	38 通洞集会所	足尾町通洞3番1号	119.5	平成12	指定管理施設(地元自治会)		自治会
[	39 砂畑集会所	足尾町砂畑1番9号	123.8	昭和29	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	40 中才集会所	足尾町中才4番11号	110.5	平成17	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	41 原集会所	足尾町3066番地1	119.5	平成9	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	42 唐風呂集会所	足尾町3435番地1	53.0	平成元	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	43 餅ヶ瀬集会所	足尾町3792番地2	90.2	昭和62	指定管理施設(地元自治会)		自治会
[	44 足尾南部生活改善センター	足尾町中才4番6号	126. 3	昭和50	指定管理施設(地元自治会)		生活改善
	45 足尾東部生活改善センター	足尾町1727番地	121. 7	昭和56	指定管理施設(地元自治会)		生活改善
	46 切幹林業活動促進センター	足尾町3125番地	64. 6	平成13	指定管理施設(地元自治会)		林業活動
	47 遠下林業活動促進センター	足尾町遠下5番12号	92. 7	平成14	指定管理施設(地元自治会)		林業活動

	48 川俣温泉集会所	川俣881番地4	249.7	平成10	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	49 川俣集会所	川俣953番地	273.2	昭和61	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	50 野門集会所	野門191番地1	266.7	平成3	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	51 若間集会所	若間835番地	144.5	昭和54	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	52 上栗山集会所	上栗山179番地31	200.6	昭和58	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	53 黒部集会所	黒部208番地	240.3	平成元	指定管理施設(地元自治会)		自治会
-	54 土呂部集会所	土呂部93番地	197.9	昭和62	指定管理施設(地元自治会)		自治会
栗山	55 青柳平集会所	日蔭577番地	286.7	平成8	指定管理施設(地元自治会)		自治会
地	56 日蔭集会所	日蔭221番地	246.0	昭和57	指定管理施設(地元自治会)		自治会
域	57 日向集会所	日向579番地	282.0	昭和58	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	58 大王集会所	日向1477番地	56.0	昭和52	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	59 小穴集会所	日向409番地1	69.6	昭和54	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	60 戸中集会所	日向694番地	73.7	昭和51	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	61 小指集会所	日向1113番地1	45.0	昭和52	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	62 西川集会所	西川115番地13	273.3	平成17	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	63 湯西川上集会所	湯西川1431番地	132.0	昭和59	指定管理施設(地元自治会)	·	自治会
	64 湯西川下地区集会所	湯西川168番地7	339.5	平成19	指定管理施設(地元自治会)		自治会
	合計		10,396.8				

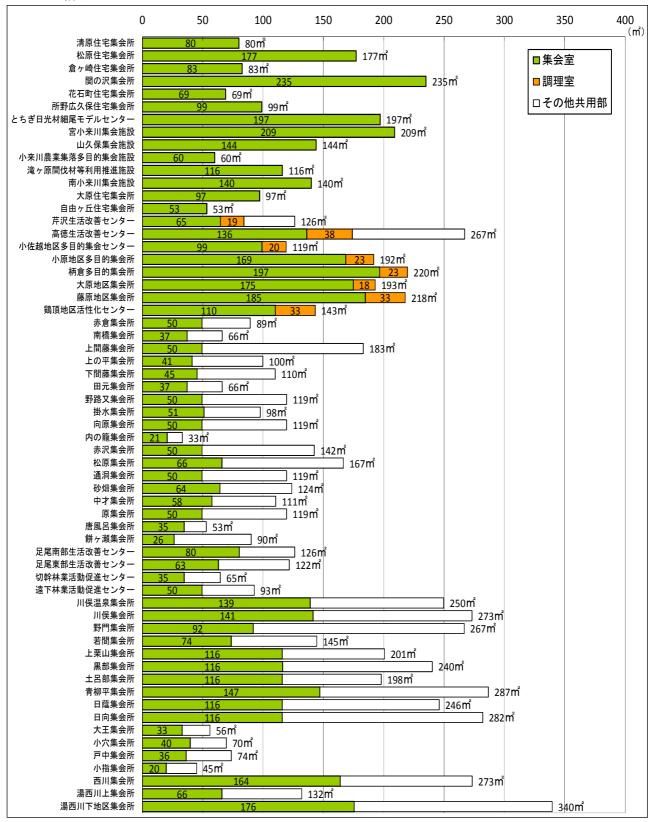


## ② スペース構成

# <集会施設(コミュニティセンター除く)>

集会所の規模は、内の籠集会所の33 ㎡~湯西川下地区集会所の340 ㎡となっています。保有スペースは、会議・集会機能としての集会室を保有しています。芹沢生活改善センター及び高徳生活改善センターは集会室の他に調理室を保有しています。

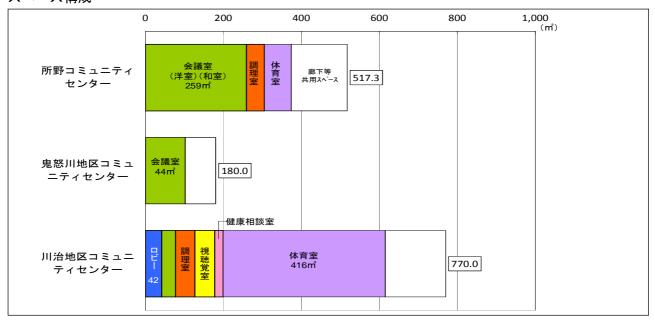
#### スペース構成



# <コミュニティセンター>

コミュニティセンターの規模は、鬼怒川地区コミュニティセンターの 180 ㎡~川治地区コミュニティセンターの 770 ㎡となっています。保有スペースは、会議・集会機能としての会議室 や体育室、調理室等を保有しています。なお、一番規模の小さい鬼怒川地区コミュニティセンターは、会議室・和室のみのスペース構成となっています。

## スペース構成



## ③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度における集会 64 施設の建物総合評価を行いました。

	基本	<b>桂</b> 起	1	2		(3)	ベリアフ	711 <u>—</u> 3	# IDS		<b>(1)</b>	環境対	+ rick				寺管理		
	- 本本	T月干以	耐震化	老朽化		<u> </u>	1.77	,,,_x	יטיו ני	1	4	ス・児グ	טיונ	維持領	<b>管理費(</b>	千円)	床面積	当たり()	円/㎡)
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	エレベータ※1車いす用	トイレ降がい者用	スロープ用	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	壁面緑化等	設備※2	光熱水費	委	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
清原住宅集会所	昭和45	80	未実施	41	_	×	×	×	0	×	×	×	×	-		_			-
松原住宅集会所	平成6	177	-	17	_	×	×	×	0	×	×	×	×	-		_			-
倉ケ崎住宅集会所	平成22	83	-	1	_	0	0	×	0	×	×	×	×	-	_	-	-	-	-
関の沢集会所	昭和56	235	未実施	30	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	360	100	-	1,532	426
花石町住宅集会所	昭和51	69	未実施	35	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	-	_	_	-	-
所野広久保住宅集会所	平成5	99	-	18	_	×	0	×	0	×	×	×	×	-	_	1	-	-	-
とちぎ日光材細尾モデルセンター	平成3	197	_	20	×	×	0	×	×	×	×	×	×	_	20	530	_	102	2,690
宮小来川集会施設	平成5	209	-	18	×	0	0	×	0	×	×	0	×	_	_	_	_	_	_
山久保集会施設	平成8	144	-	15	×	×	×	×	×	×	×	×	×	35	_	_	243	_	_
小来川農業集落多目的集会施	昭和61	60	-	25	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	_	_	-	-	_
滝ヶ原間伐材等利用推進施設	平成13	116	-	10	×	×	0	×	0	×	×	×	×	_	139	23	-	1,198	198
南小来川集会施設	平成9	140	-	14	×	×	×	×	×	×	×	×	×	_	-	_	_	_	_
所野コミュニティセンター	昭和60	517	_	26	×	0	0	0	0	×	×	×	×	375	959	_	725	1,854	_
大原住宅集会所	昭和51	97	未実施	35	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	-	_	-	_
自由ヶ丘住宅集会所	昭和56	53	未実施	30	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	-	_	-	_
芹沢生活改善センター	昭和55	126	未実施	31	_	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	_	-
高徳生活改善センター	昭和58	267	1	28	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	-	_	_	_	-
小佐越地区多目的集会センター	平成1	119	-	22	_	×	×	×	×	×	×	×	×	-	_	_	_	_	_
小原地区多目的集会所	平成7	192	1	16	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	_	-	_	_
柄倉多目的集会所	平成5	220	-	18	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	_	_

	#+	· k= +12	1	2						理技士	+14	⑤維持管理							
	基本	情報	耐震化	老朽化		(3)/	ハリアン	/')—x	可心		(4)	環境対	小心	維持的	管理費(	千円)	床面積	当たり(	円/㎡)
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築 年 数	エレベータ※1	トイレ	スロー プ用	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	壁面緑化等	設備※2	光熱水費	委託費 理	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
大原地区集会所	平成9	193		14	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	=	=	=	=	=
藤原地区集会所	平成10	218	_	13	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
鶏頂地区活性化センター	平成12	143	_	11	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
鬼怒川地区コミュニティセンター	昭和52	180	未実施	34	×	×	×	×	×	×	×	×	×	53	37	786	294	206	4,367
川治地区コミュニティセンター	昭和54	770	未実施	32	×	×	×	×	×	×	×	×	×	170	76	1,909	221	99	2,479
赤倉集会所	平成17	89	-	6	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
南橋集会所	平成1	66	_	22	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
上間藤集会所	平成4	183	_	19	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
上の平集会所	平成1	100	-	22	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
下間藤集会所	平成6	110	_	17	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	-	_
田元集会所	昭和60	66	_	26	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
野路又集会所	平成3	119	_	20	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
掛水集会所	昭和63	98	_	23	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
向原集会所	平成3	119	-	20	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	-	_
内の籠集会所	昭和62	33	-	24	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	-	_
赤沢集会所	平成18	142	-	5	_	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	_	-	-	_
松原集会所	昭和43	167	未実施	43	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	-	_
通洞集会所	平成12	119	-	11	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	-	_
砂畑集会所	昭和29	124	未実施	57	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	-	_
中才集会所	平成17	111	_	6	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
原集会所	平成9	119	_	14	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	-	_
唐風呂集会所	平成1	53	_	22	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	-	_
餅ヶ瀬集会所	昭和62	90	_	24	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	-	_
足尾南部生活改善センター	昭和50	126	未実施	36	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
足尾東部生活改善センター	昭和56	122	_	30	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	-	_
切幹林業活動促進センター	平成13	65	_	10	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	-	_
遠下林業活動促進センター	平成14	93		9	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	_	-
川俣温泉集会所	平成10	250		13	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	_	-	-	_
川俣集会所	昭和61	273		25	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	_	_	-	-	_
野門集会所	平成3	267	-	20	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
若間集会所	昭和54	145	未実施	32	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	_	_	-	_	_
上栗山集会所	昭和58	201	ı	28	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	_	_
黒部集会所	平成1	240	ı	22	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
土呂部集会所	昭和62	198	-	24	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
青柳平集会所	平成8	287		15	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
日蔭集会所	昭和57	246	-	29	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
日向集会所	昭和58	282	-	28	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	_	_	_	_	_
大王集会所	昭和52	45	未実施	34	_	×	×	×	×	×	×	×	×	-	_	_	_	_	_
小穴集会所	昭和54	70	未実施	32	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	-	_	_
戸中集会所	昭和51	74	未実施	35	-	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
小指集会所	昭和52	56	未実施	34	_	×	×	×	×	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
西川集会所	平成17	273	ı	6	_	0	0	×	0	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
湯西川上集会所	昭和59	132	ı	27	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	_	_	_	_	_
湯西川下地区集会所	平成19	340	ı	4	-	0	0	×	0	×	×	×	×	_	_	_	_	_	_
合計		10,397							500000000					- 11	_		- 0	- 市がī	_

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

実施済み=〇 未実施 = × 不 要 ⇒ — 記載例

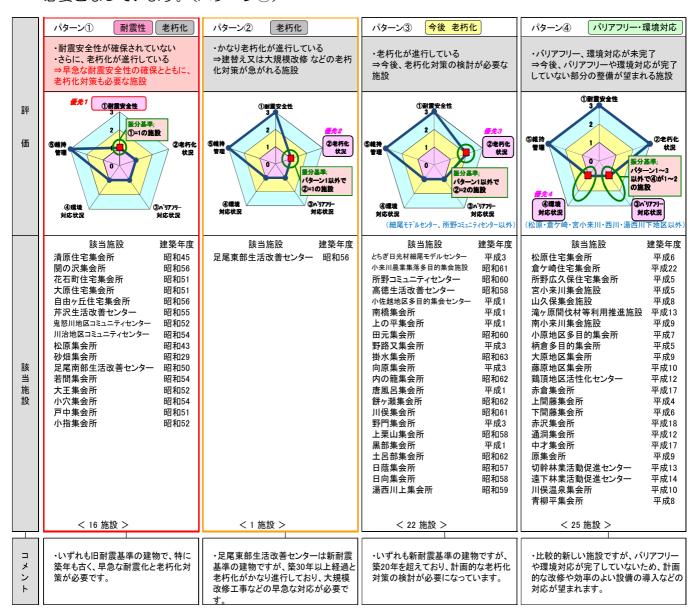
※維持管理費は、市が直接 支出している費用

集会所 61 施設、コミュニティセンター3 施設のうち、清原住宅集会所をはじめ 16 施設は、すべて旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

足尾東部生活改善センターは、新耐震基準の建物であり耐震安全性は確保されているものの、 老朽化が進行しており、今後、建替え又は大規模改修等の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

松原住宅集会所をはじめとして 22 施設は、いずれも新耐震基準の建物ですが、今後、老朽化 対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

また、平成4年以降に建てられた上間藤集会所をはじめとする25施設は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応や環境対応の一部が対応していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



#### 2) 施設状況

## ① 開館状況

# ■ 開館日数

集会施設 61 施設の運営時間及び運営日数は、特に定めていません。基本的に利用者から使用の申請があればその都度対応する形をとっています。また基本的に利用区分は設けず、年間を通して利用することが可能です。

また、コミュニティセンター3 施設の運営時間は、所野コミュニティセンターは午前9時~午後9時、鬼怒川・川治地区コミュニティセンターは午前8時半~午後10時まで運営しています。基本的な利用区分としては、所野コミュニティセンターのみ午前・午後・夜間の3区分設定されていますが、鬼怒川・川治地区コミュニティセンターは特に区分はありません。休館日は、所野コミュニティセンターは毎週月曜日、鬼怒川・川治地区コミュニティセンターは無休となっています。平成22年度の運営日数は、所野コミュニティセンターは305日、鬼怒川・川治地区コミュニティセンターは365日でした。

## ■ 予約方法・使用料金等

集会施設を利用する場合はあらかじめ自治会や市営住宅管理人の許可を受ける必要があります。また各施設とも、無料で利用できます。

所野コミュニティセンターは、直接窓口に申請、鬼怒川・川治地区コミュニティセンターは施 錠管理を委託している自治会の担当者へ電話により申し込むようになっています。各施設とも、 無料で利用できます。

#### ■ 事業内容

集会施設では、主な開催事業として自治会総会などを行っています。

コミュニティセンターでは、次のような地域コミュニティ事業を行っています。

- 各種集会・会議・講習会
- ・調理教室・実習
- ・体操・ダンス・太極拳

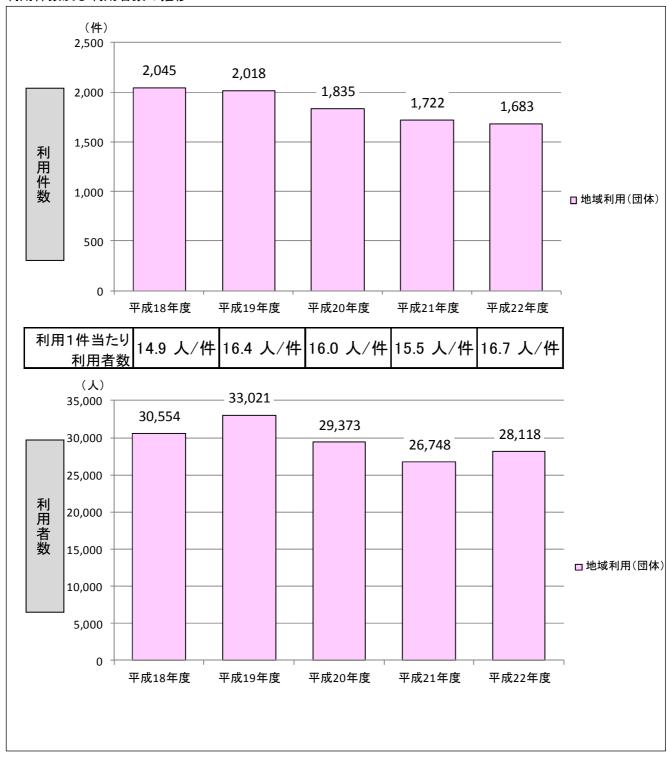
など

# ② 利用状況

# ■ 全体の利用状況(市営住宅集会所、その他集会施設、コミュニティセンター除く)

平成 22 年度の集会所 47 施設の全体利用件数は 1,683 件、利用者数は 28,118 人です。利用 1 件当たりの利用者数は、平成 18 年度から平成 22 年度まで、1 件当たり 15 人~17 人程度とほぼ同程度となっています。

#### 利用件数及び利用者数の推移

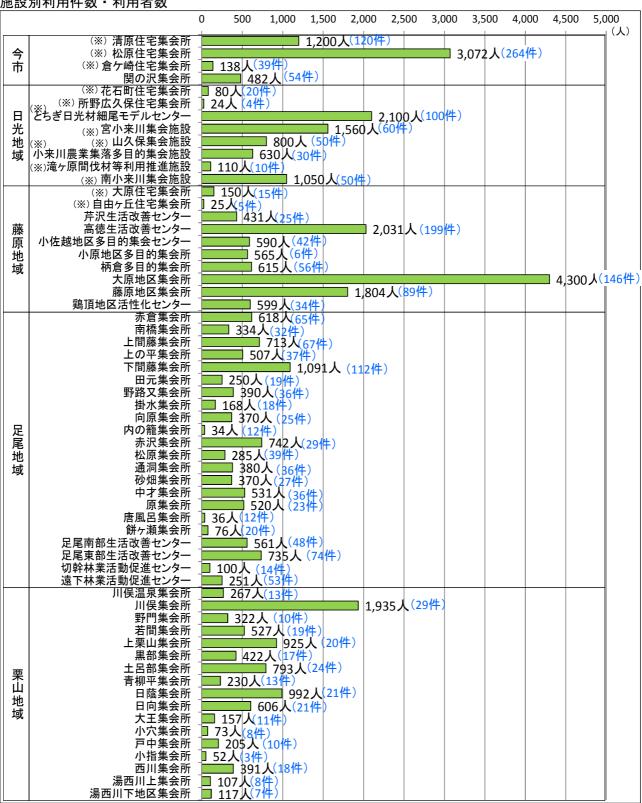


#### 施設別利用状況(コミュニティセンター除く)

平成22年度の施設別利用状況をみると、小指集会所3件~松原住宅集会所264件となって います。また、年間利用者数は、内の籠集会所 34 人~大原地区集会所 4,300 人となっていま す。

利用件数の最大と最小の差の開きは、利用件数で約88倍、利用者数で約126倍とそれぞれ 大きな差があります。

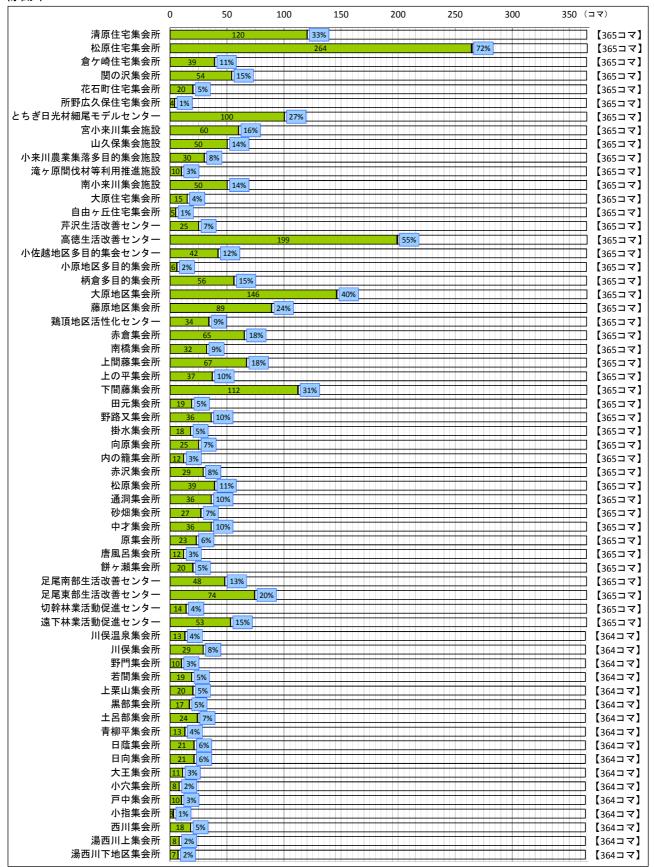
施設別利用件数・利用者数



#### ■ 施設別利用稼働率(コミュニティセンター除く)

施設別の稼働率は、小指集会所の約 1%~松原住宅集会所の約 72%となっています。61 施設中 38 施設で、稼働率が 10%以下と非常に低くなっています。

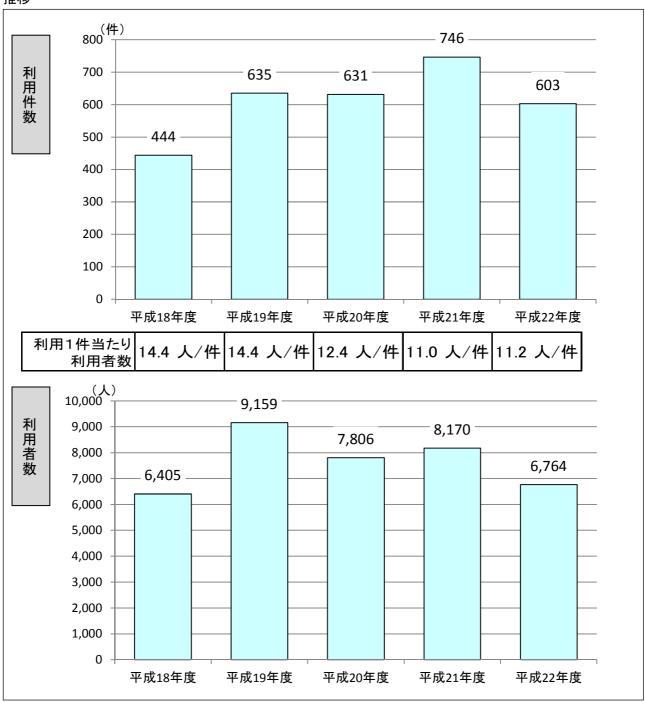
#### 稼働率



# ■ コミュニティセンターの利用状況(全体利用状況)

平成 22 年度のコミュニティセンターの全体利用件数は 603 件、利用者数は 6,764 人です。 利用 1 件当たりの利用者数は、平成 18 年度から平成 22 年度まで、1 件当たり 11 人~14 人ですが、減少傾向にあります。

推移



# ■ コミュニティセンターの利用状況 (施設別利用状況)

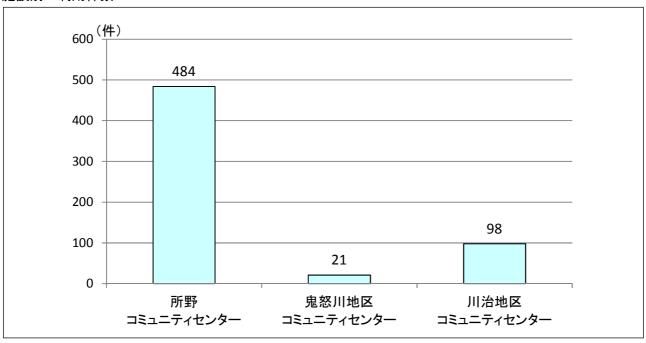
平成 22 年度のコミュニティセンターの全体利用件数は、603 件です。

施設別では、所野コミュニティセンターが 484 件、鬼怒川地区コミュニティセンターが 21 件、川治地区コミュニティセンターが 98 件で、所野コミュニティセンターの利用が全体の約 80%を占めています。

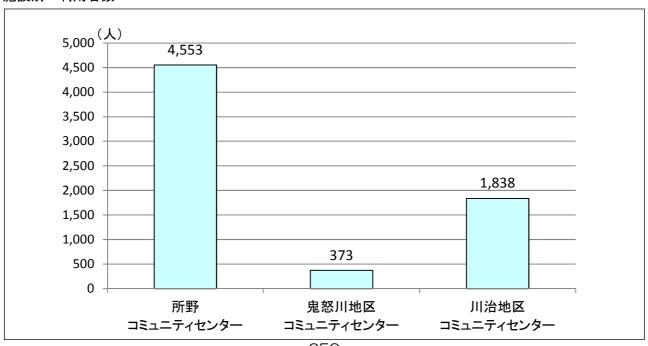
平成 22 年度のコミュニティセンターの全体利用者数は、6,764 人です。

施設別では、所野コミュニティセンターが 4,553 人(約67%)、鬼怒川地区コミュニティセンターが 373 人(約6%)、川治地区コミュニティセンターが 1,838 人(約27%) となっています。

施設別 利用件数



施設別 利用者数

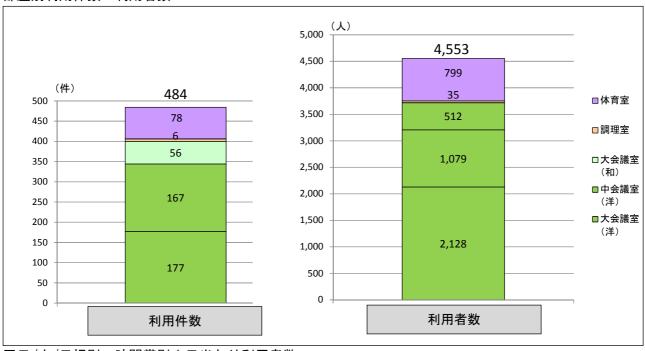


# ■ 所野コミュニティセンターの利用状況

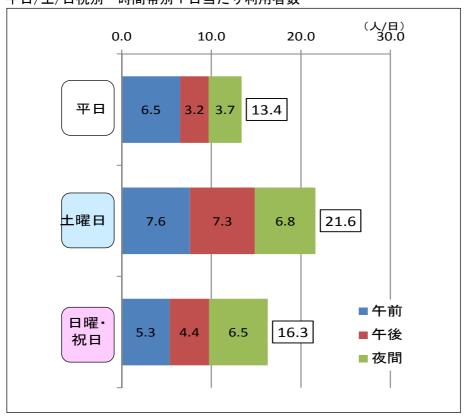
所野コミュニティセンターでは、部屋別曜日別の利用件数及び利用者数を把握しています。

平成 22 年度の年間利用件数は 484 件、利用者数は 4,553 人となっています。平日/土/日祝 別の 1 日当たり利用者数は、平日が平均 13 人、土曜日が平均 22 人、日曜・祝日が平均 16 人となっています。時間帯別では、平日は午前の利用が午後・夜間に比べ多いですが、その他の曜日は 1 日通してほぼ同程度の利用です。

※鬼怒川・川治地区コミュニティセンターは、部屋別等の利用状況を把握していません。 部屋別利用件数・利用者数



平日/土/日祝別・時間帯別1日当たり利用者数



# 3) コスト状況

# <集会施設(コミュニティセンター除く)>

# ① 施設別トータルコスト状況

平成22年度の集会施設61施設の年間トータルコストは、9,918万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(使用料及び賃借料)は 188 万円(1.9%)、 事業運営にかかるコスト(委託費・その他物件費)は 38 万円(0.4%)、減価償却相当額は 9,693 万円(98%)です。トータルコストの大半を減価償却相当額が占めています。

#### 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

(=	L	ш
ι –	Г	п

I.現金収 【コスト	ヌ支を伴うもの の部】	清原市営 住宅集会 所	松原市営住宅集会所	倉ケ崎市 営住宅集 会所	関の沢集会所	花石町住 宅集会所	所野広久 保住宅集 会所	とちぎ日 光材細尾 モデルセ ンター	宮小来川集会施設	山久保集 会施設	目的集会	伐材等利	南小来川集会施設	生 全 正	自由ヶ丘 住宅集会 所	芹沢生活 改善セン ター
か	修繕費	0	0	0	100	0	0	530	0	0	0	23	0	0	0	0
<i>t</i> )	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0
かるコ	委託費	0	0	0	360	0	0	20	0	0	0	139	0	0	0	0
り設	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
しるに	その他物件費	0	0	0	0	0	0	16	15	12	4	15	9	0	0	0
٢	施設にかかるコスト	0	0	0	460	0	0	566	15	47	4	177	9	0	0	0
コか…車	委託費 その他物件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スかに業	その他物件費	0	0	0	17	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トる。運	事業運営にかかるコスト	0	0	0	17	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支	を伴うコスト 計	0	0	0	477	1	3	566	15	47	4	177	9	0	0	0

#### Ⅱ.現金収支を伴わないもの

コスト	減価償却相当額	0	1,056	493	0	0	590	3,283	3,483	2,400	0	1,933	2,333	0	0	0

Ⅲ.総括

コストの部合計(トータルコスト)	0	1,056	493	477	1	593	3,849	3,498	2,447	4	2,110	2,342	0	0	0	
収支差額(ネットコスト)	0	1,056	493	477	1	593	3,849	3,498	2,447	4	2,110	2,342	0	0	0	

高徳生活改善センター	小佐越地 区多目的 集会セン ター	小原地区 多目的集 会所	柄倉多目 的集会所	大原地区 集会所	藤原地区集会所	鶏頂地区活性化センター	赤倉集会所	南橋集会所	上間藤集会所	上の平集 会所	下間藤集会所	田元集会所	野路又集会所	掛水集会所	向原集会 所	内の籠集 会所	赤沢集会所
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	19	122	0	0	245	0	0	0	0	6	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	19	122	0	0	245	0	0	0	0	6	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	6	5	13	7	8	5	9	7	9	2	8
0	0	0	0	0	0	0	6	5	13	7	23	5	9	7	9	2	8
0	0	0	0	0	0	0	25	127	13	7	268	5	9	7	9	8	8

		0	1.987	3.194	3.661	3.216	3.630	2.388	1.491	1.104	3.050	1.665	1.835	0	1.991	1.628	1.991	552	2.374
--	--	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	-------	-------	-------	-----	-------

0	1,987	3,194	3,661	3,216	3,630	2,388	1,516	1,231	3,063	1,672	2,103	5	2,000	1,635	2,000	560	2,382
0	1,987	3,194	3,661	3,216	3,630	2,388	1,516	1,231	3,063	1,672	2,103	5	2,000	1,635	2,000	560	2,382

(千円)

松原集会所	通洞集会所	砂畑集会所	中才集会所	原集会所	唐風呂集会所	餅ヶ瀬集 会所	足尾南部 生活改善 センター	足尾東部 生活改善 センター	切幹林業活動促進センター	遠下林業活動促進 センター	川俣温泉集会所	川俣集会所	野門集会所	若間集会所	上栗山集会所	黒部集会所	土呂部集会所
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	60	42	30	0	. 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	60	42	30	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	9	5	6	8	4	6	0	0	0	0	40	20	19	8	14	8	14
6	9	5	6	8	4	6	0	0	0	0	40	20	19	8	14	8	14
6	9	5	6	68	46	36	38	38	0	0	40	20	19	8	14	8	14
0	1,991	0	1,842	1,991	883	1,504	0	0	1,077	1,546	4,161	2,876	4,444	0	0	2,529	3,299

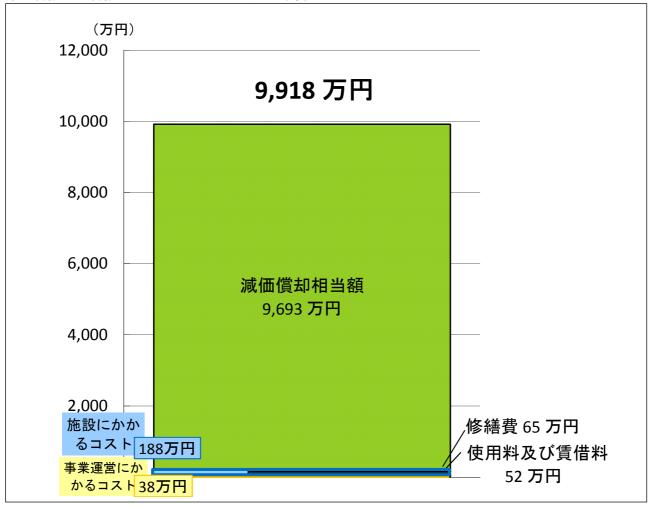
6	2,000	5	1,848	2,059	929	1,540	38	38	1,077	1,546	4,201	2,896	4,463	8	14	2,537	3,313
6	2,000	5	1,848	2,059	929	1,540	38	38	1,077	1,546	4,201	2,896	4,463	8	14	2,537	3,313

	日蔭集会所						西川集会所	湯西川上 集会所	湯西川下 地区集会 所	合計		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	653	修繕費	か
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	光熱水費	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		委託費	かん設に
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	524	使用料及び賃借料	コ設
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147	その他物件費	スに
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,878	施設にかかるコスト	٢
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	委託費	コか…事
9	8	3	5	5	5	3	24	9	23	361	その他物件費	スかに業
9	8	3	5	5	5	3	24	9	23	376	事業運営にかかるコスト	コか 営事 スかに トる 運
9	8	3	5	5	5	3	24	9	23	2,254	現金収支を伴うコスト 計	
3,018	1,968	2,256	0	0	0	0	4,555	0	5,659	96,927	減価償却相当額	コスト

3,018	1,968	2,256	0	0	0	0	4,555	0	5,659	96,927	減価償却相当額	コスト
·			·		·		·	·		·		

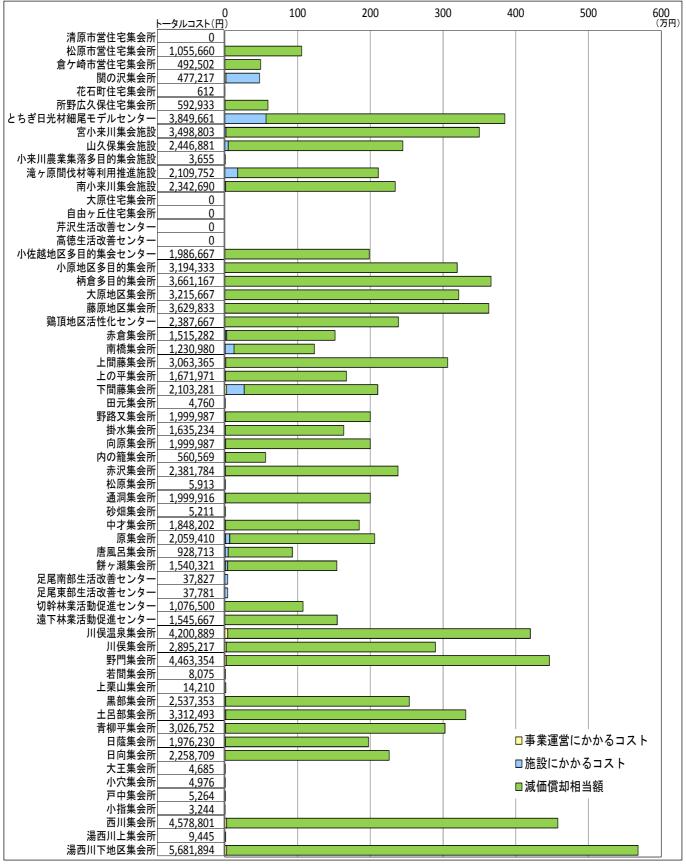
3,027	1,976	2,259	5	5	5	3	4,579	9	5,682	99,181	コストの部合計(トータルコスト)	
3,027	1,976	2,259	5	5	5	3	4,579	9	5,682	16,870	収支差額(ネットコスト)	

集会施設 全施設トータルコスト (平成 22 年度)



施設別トータルコストでは、花石町住宅集会所の612円~湯西川下地区集会所の568万円となっています。各施設ともほとんどコストをかけておらず、大半を減価償却相当額が占めています。

集会施設 施設別トータルコスト (平成22年度)

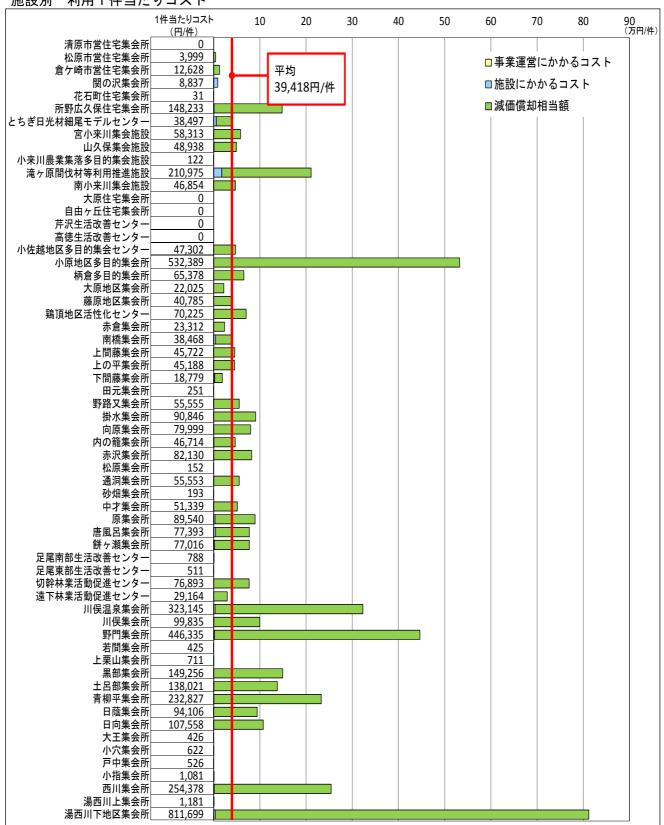


## ② 利用1件当たりのコストと床面積当たりのコスト

# ■利用1件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから利用 1 件当たりにかかるコストを算出すると、花石町住宅集会施設の 31 円/件~湯西川下地区集会所の 811,699 円/件となっています。なお、集会所の平均は 39.418 円/件となっています。

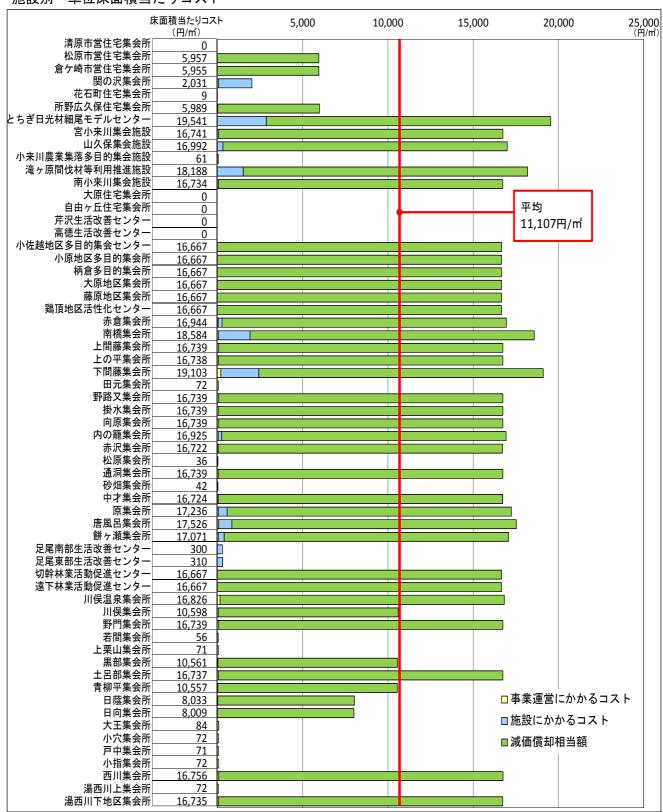
施設別 利用1件当たりコスト



#### ■ 床面積(m³)当たりのコスト

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、トータルコストのほとんどが減価償却相当額であるため、減価償却相当額のある施設と無い施設とで二分しています。集会所の平均は、11,107円/㎡です。

施設別 単位床面積当たりコスト



(千円)

# <コミュニティセンタ**ー**>

#### ① 施設別トータルコスト状況

平成22年度のコミュニティセンターの3施設の年間トータルコストは、1,990万円です。 年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は535万円(27%)、事業運営にかかるコスト(人件費・委託費等)は99万円(5%)、減価償却相当額は1,355万円(68%)です。

施設別行政コスト計算書(平成22年度)

I .現金収 【コスト0	支を伴うもの D部】	所野コミュニ ティセンター	鬼怒川地区 コミュニティセ ンター	川治地区コ ミュニティセン ター	合計
施	修繕費	0	786	1,909	2,695
一設	光熱水費	375	53	170	598
コに	委託費	959	37	76	1,072
רע ז	使用料及び賃借料	0	202	785	987
ト か る	施設にかかるコスト	1,334	1,078	2,940	5,352
事	一般職員人件費	0	413	413	826
コか業	委託費	0	60	60	120
スか運	その他物件費	18	16	11	45
トる営に	事業運営にかかるコスト	18	489	484	991
現金収支	を伴うコスト 計	1,352	1,567	3,424	6,343

#### Ⅱ.現金収支を伴わないもの

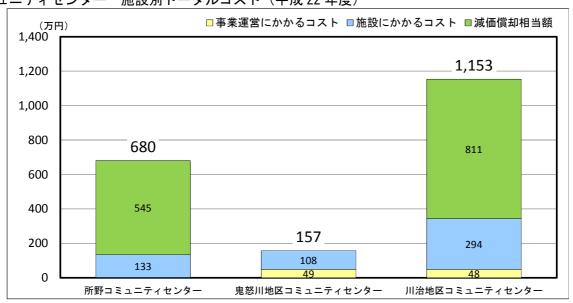
コスト	減価償却相当額	5,445	0	8,109	13,554

Ⅲ.総括

コストの部合計(トータルコスト)	6,797	1,567	11,533	19,897
収支差額(ネットコスト)	6,797	1,567	11,533	19,897

施設別トータルコストでは、所野コミュニティセンターが680万円、鬼怒川地区コミュニティセンターが157万円、川治地区コミュニティセンターが1,153万円となっています。川治地区コミュニティセンターは平成22年度に屋根の塗装工事等を行ったため、その分、他の2施設より高くなっていますが、それを除くと、減価償却相当額以外のコストは3施設ともほぼ同程度となっています。

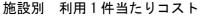
コミュニティセンター 施設別トータルコスト (平成22年度)

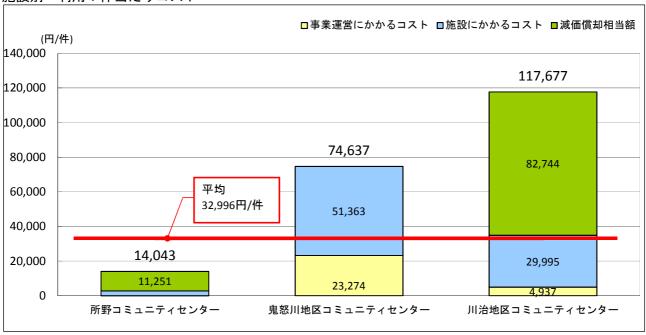


## ② 利用者当たりのコストと床面積当たりのコスト

# ■利用1件当たりのコスト

平成22年度の年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、所野コミュニティセンター14,043円/件、鬼怒川地区コミュニティセンター74,637円/件、川治地区コミュニティセンター117,677円/件となっています。なお、コミュニティセンターの平均は32,996円/件となっています。

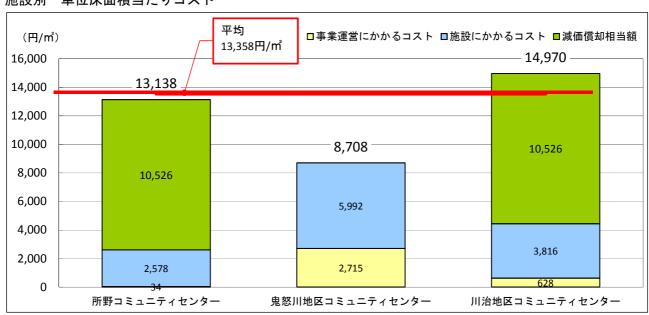




#### ■床面積(m) 当たりのコスト

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、所野コミュニティセンター13,318円/㎡、鬼怒川地区コミュニティセンター8,708円/㎡、川治地区コミュニティセンター14,970円/㎡となっています。なお、コミュニティセンターの平均は、13,358円/㎡となっています。

施設別 単位床面積当たりコスト



# 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、集会等施設 64 施設のうち、16 施設の耐震安全性が確保されていないことから、早急な対応が必要な施設です。
- 利用状況をみると、いずれの施設も自治会の集会や役員会だけではなく、老人会や子ども会等の各部会、地域の趣味団体の教室等で利用されています。しかし、稼働率でみると10%未満の施設も多くなっています。コスト面では、地元自治会に管理運営を委託しているため、ほとんどかかっていない施設が大半を占めていますが、減価償却相当額の面から考えると、施設を保有しているだけでもコストは発生しており、今後は、地元自治会への譲渡や他の公共施設等への機能移管を含めて保有形態等の見直しを検討する必要があります。

# (12) 小学校・中学校

# 1) 施設概要

# ① 施設一覧

市には、小学校 26 校、中学校 15 校の合計 41 校、延床面積は 174,895 ㎡の小・中学校があります。施設規模をみると、小学校の延床面積は中宮祠小学校の 1,316 ㎡~今市小学校の7,887 ㎡、中学校の延床面積は三依中学校の 1,678 ㎡~今市中学校の 10,264 ㎡となっています。また、小学校 3 校・中学校 3 校は、それぞれ併設校となっており、同一建物を使用しています。

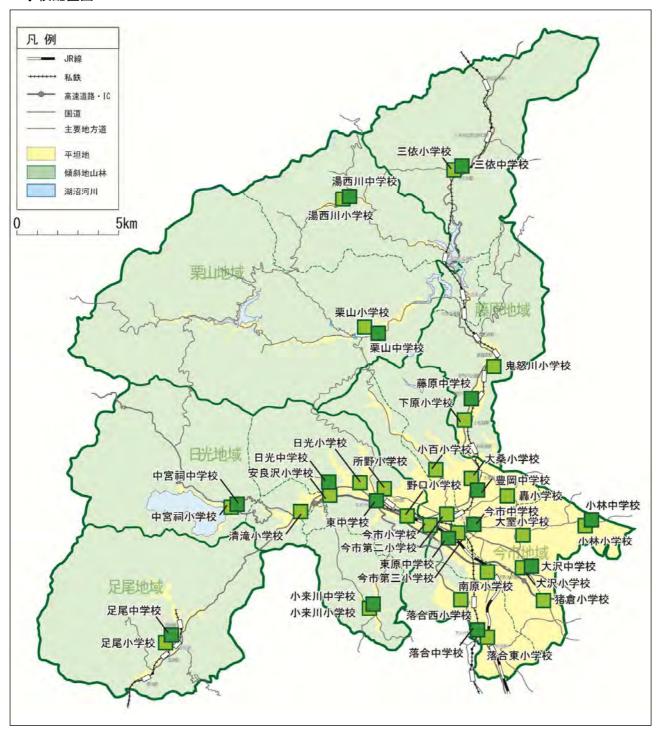
施設一覧

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

			敷地面積	延床面積	建築年度	児童生徒数	数(人)	学級数	(学級)
	名称 ————————————————————————————————————	住所	敖地面積 (m <sup>1</sup> )	(㎡)	(年度)	通常学級 在籍者数	特別 支援	通常学級	特別 支援
	1 今市小学校	今市531番地	28,255	7,887	昭和49	240	18	10	4
	2 今市第二小学校	瀬川227番地	19,486	5,186	平成3	320	13	11	3
	3 今市第三小学校	今市本町18番地1	23,035	6,891	昭和46	585	14	18	3
	4 南原小学校	土沢460番地	22,556	5,876	昭和61	409	17	12	3
	5 落合東小学校	文挟町106番地	18,636	4,594	昭和61	220	8	7	2
	6 落合西小学校	長畑522番地2	15,442	4,059	昭和59	106	3	6	1
	7 大桑小学校	大桑町179番地	15,903	3,648	昭和53	174	10	7	2
	8 轟小学校	轟53番地	16,396	2,943	昭和63	67		5	
	9 小百小学校	小百531番地	12,061	2,790	昭和62	22		3	
	10 大沢小学校	大沢町97番地	19,043	4,061	昭和57	279	11	11	3
	11 大室小学校	大室356番地	24,595	4,671	昭和53	394	7	12	2
١. ا	12 猪倉小学校	猪倉3314番地	19,177	3,989	平成1	144	14	6	3
小学	13 小林小学校	小林2708番地	14,410	3,849	昭和56	123	3	6	1
校	14 日光小学校	萩垣面2390番地2	35,022	6,657	昭和56	265	10	11	2
12	15 清滝小学校	清滝2丁目10番1号	17,716	4,654	昭和34	70	4	5	1
	16 野口小学校	野口900番地	10,549	2,120	昭和38	60		5	
	17 中宮祠小学校 ■	中宮祠2478番地	20,549	1,316	昭和42	19		3	
	18 所野小学校	所野820番地	8,926	3,386	昭和41	81		6	
	19 小来川小学校 ●	中小来川2817番地	中学校と共用	1,374	昭和49	31		4	
	20 安良沢小学校	久次良町1777番地	19,217	4,555	昭和59	61	2	6	1
	21 鬼怒川小学校	藤原19番地	20,374	4,581	昭和38	146	9	6	2
	22 下原小学校	鬼怒川温泉大原2番地	23,047	3,241	昭和46	207	6	7	2
	23 三依小学校	芹沢20番地	11,928	1,652	昭和33	9		3	
	24 栗山小学校	日蔭570番地	7,950	3,361	平成16	19		3	
	25 湯西川小学校 ▲	湯西川643番地	1,350	1,970	平成18	22	1	3	1
	26 足尾小学校	足尾町赤沢6番2号	10,282	4,332	平成19	66	3	6	1
	小学校 計		435,905	103,643		4,139	153	182	37
	1 今市中学校	今市1659番地	62,902	10,264	昭和60	711	26	22	5
	2 東原中学校	平ケ崎755番地1	28,100	4,630	昭和58	174	8	6	2
	3 落合中学校	小代310番地	49,276	6,746	平成3	197	7	7	2
	4 豊岡中学校	芹沼1958番地	37,219	6,422	平成1	186		7	
	5 大沢中学校	大沢町97番地	26,821	6,186	昭和62	390	26	13	5
	6 小林中学校	小林2384番地	24,046	5,117	平成3	63		3	
中	7 日光中学校	久次良町2096番地1	38,219	5,071	昭和44	99	4	4	1
学		中宮祠2478番地	小学校と共用	1,692	昭和42	11		3	
校	9 東中学校	七里1020番地	17,695	7,266	昭和61	232	2	9	1
		中小来川2817番地	19,013	2,015	昭和49	28	_	3	
	11 藤原中学校	鬼怒川温泉大原790番地	17,267	4,972	平成22	187	5	7	2
	12 三依中学校	中三依835番地1	15,648	1,678	昭和50	13		3	
	13 栗山中学校	日向1465番地	19,577	2,625	昭和51	19		3	
		湯西川643番地	22,516	2,865 3.703	平成18	12 24	1	3	1
	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	足尾町向原7番1号	18,423	,	平成3		70	_	10
	中学校計		396,722	71,252		2,346	79	96	19
\ <u>''</u>	小・中学校 合計	· ᅔᅩᇦᄽᆖᇝᅶᅟᄼᄝᅟᅓ	832,627	174,895		6,485	232	278	56

<sup>※「■」「●」「▲」</sup>はそれぞれ併設校(同一建物)となっています。 しています。 しています。また、特別支援の児童生徒数及び学級数は外数です。 ※建築年は、教室棟・特別教室棟で最も古い建物の建築年を採用

#### 学校配置図



#### ② 施設の整備状況及び耐震状況

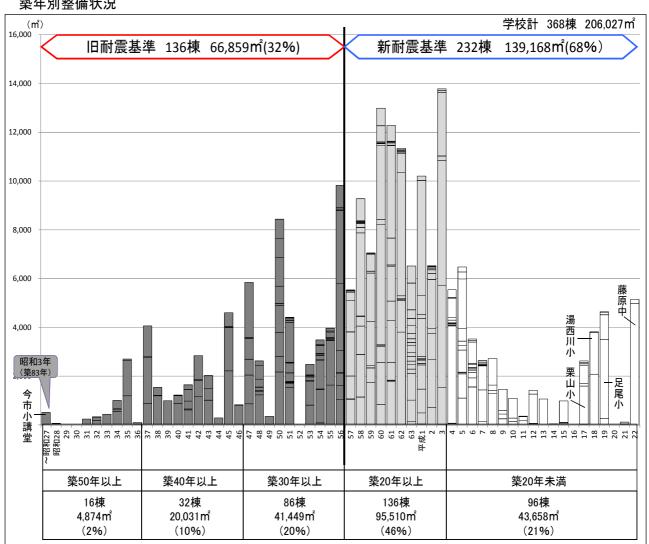
小中学校には、校舎や体育館以外にも、運動部の部室や屋外トイレなど、様々な施設がありま す。それら施設を含めると、合計 368 棟 206,027 ㎡の施設が小中学校にあることになります。

施設の整備状況は、昭和56年から平成3年の約10年間に、全体の約51%の施設が建設さ れており、直近では、平成 17~19 年度にかけて、栗山小・湯西川小中・足尾小、平成 22 年度 に藤原中の建替えを実施しました。

また、施設の耐震状況では、昭和56年以前に建設された旧耐震基準の建物が136棟66,859 m<sup>2</sup> (約32%)、新耐震基準の建物が232棟139,168 m<sup>2</sup> (約68%) となっています。そのた め、市では、旧耐震基準の建物(校舎や体育館)の耐震二次診断を実施し、その結果に基づき耐 震補強工事を計画的に進めています。平成23年3月31日時点での耐震化率は、89.1%で、 平成27年までに耐震化が完了する予定です。

さらに、市では、建物の性能面や環境対応として、平成27年度までに暖房器具を集中ボイラ 一方式から個別管理方式への改修や、直近で建替えた学校の外部開口部にペアガラスを導入する など、環境負荷低減だけでなく教育環境の向上への取組みも始めています。

#### 築年別整備状況



# ③ スペース構成

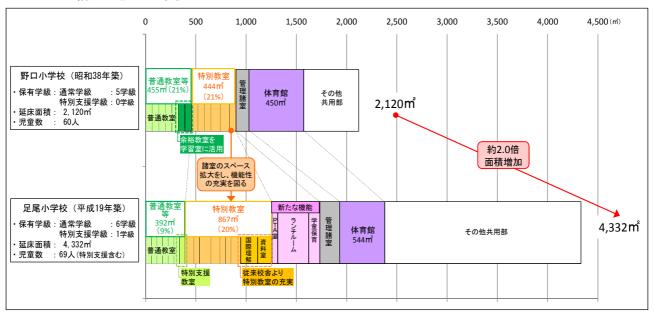
#### ■ スペース構成の比較

学校施設のスペース構成について、近年建設した学校は、総合的な学習形態に対応するため、 昭和 40 年代から 50 年代に整備された学校施設と比べると大きく変化しています。

例えば、昭和38年建築の野口小学校とほぼ同じ普通学級数を保有し、平成19年に建替えた 足尾小学校を比較してみると、足尾小学校では、特別教室や体育館スペースを広くしているほか、 これまでにはなかった国際理解の教室やランチルーム、さらに、学童保育を併設するなど、機能 の充実を図っていることが分かります。

一方、野口小学校では、余裕教室を学習室として少人数学習等に活用するなど、校舎の有効活用を図っていることが分かります。

#### スペース構成比較(小学校)



(資料:学校施設台帳)

#### ■ スペースの有効活用

市では、学校施設のスペース有効活用として、今市小学校など 11 校で、学校の教室の一部を 放課後児童クラブとして活用しています。なお、学校施設の用途を変更し活用している施設は、 今市小学校、今市第三小学校、小林小学校及び日光小学校となっています。

学校施設以外への活用状況

- 1/////	以外/1 ***//11/11//////////////////////////		
	学校名	教室数	活用状況
1	今市小学校	2	用途変更
2	今市第三小学校	3	用途変更
3	南原小学校	1	一時的余裕教室
4	落合東小学校	1	一時的余裕教室
5	大桑小学校	1	一時的余裕教室
6	轟小学校	1	一時的余裕教室
7	小百小学校	1	一時的余裕教室
8	大沢小学校	1	一時的余裕教室
9	小林小学校	1	用途変更
10	日光小学校	2	一時的余裕教室、用途変更
11	清滝小学校	1	一時的余裕教室

# ④ 学校開放等の状況

市では、学校開放事業として、小中学校の校庭と体育館を学校教育に支障のない範囲で、スポ ーツ活動を行う市民の団体等に開放しています。

# 学校開放施設一覧

(資料:スポーツ振興課)

	•						(貝科:スパーク振興味)								
			/ <del>+</del> =	<b>车</b> 会分			開加		资	屋外夜間照明施設					
			1本1	育館 	ı	<b></b>	屋外1 日	運動場 	l			可照明施設 時	t 		
地域	開放学校	開放日	平日	時 日祭日及 び学校休 業日	使用料金	開放日	平日	時 日祭日及 び学校休 業日	使用料金	開放日	平日	時 日祭日及 び学校休 業日	使用料金		
今市	今市小学校										【小学校】	【小学校】	1h 500円		
	今市第二小学校											4~10月	1h 500円		
	今市第三小学校										4~10月 午後	午後			
	南原小学校										6時30分	6時30分	1h 1,000円		
	落合東小学校										~ 午後9時	~ 午後9時			
	落合西小学校										, ,,,,,,	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	大桑小学校		午後												
	轟小学校			午前	午前、午後、夜間		午後	午前		1月4日~ 12月28日	11~3月	11~3月			
	小百小学校	1月4日~	6時30分	8時		1月4日~	6時30分	6時30分	400.363		午後	午後			
	大沢小学校	12月28日	~ 午後	~ 午後	俊、俊间   各500円	12月28日	~ 午後	~ 午後	無料		5時 ~	5時 ~			
	大室小学校		9時30分	9時30分			9時30分	9時30分			午後	午後			
	猪倉小学校 小林小学校			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							9時*	9時			
	<u>小林小子校</u> 今市中学校														
	東原中学校										【中学校】	【中学校】	ì		
	落合中学校										午後	午後	1h 1,000円		
	豊岡中学校										6時30分	6時30分	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	大沢中学校										~ 午後9時	~ 午後9時	1h 1,000円		
	小林中学校												1h 1,000円		
日光	日光小学校			午前9時~午後4時(開放日	午前、午後、夜間各500円								1h 2,500円		
	清滝小学校														
	野口小学校		午後6時					4~10月 午前9時							
	中宮祠小学校							~							
	所野小学校	48 08						午後5時	Arr Med	40 400	Æ 44 on+	Æ 44 10 E			
	22/(1)/2	4月~3月	~ 午後9時	は、日曜		4月~3月		11~3月	無料	4月~10月	午後6時~	十伐10時			
	小来川小学校			日と祝				午前9時					1h 500円		
	<u>小来川中学校</u> 日光中学校			日)				~ 午後4時							
	中宮祠中学校							1 12 14.3							
	日光東中学校														
藤原	鬼怒川小学校														
	下原小学校														
	(元)川治小学校	学校教育 に支障の	午前	∬9時 ~	午前、午 後、夜間	学校教育	午前	<b></b> 19時							
	三依小学校	ない日	午後9	時30分	各500円	に支障の	Æ 3% O	~ □±20/\	無料						
	藤原中学校					ない日	十俊9	時30分							
	(元)川治中学校														
足尾	三依中学校					ļ			ļ ,						
<b>た</b> 尾	足尾小学校	学校教育		<b></b>	午前、午 後、夜間 各500円										
	足尾中学校	に支障の ない日		~ 後9時	年間 使用券* 1人 2,400円										
栗山	栗山小学校														
	湯西川小学校	学长参支	<i>F</i> - →	from±	<b>左</b>	学长参支	<i>F</i> ÷	fort							
		学校教育 に支障の	十月	前9時 ~	十削、午  後、夜間	学校教育 に支障の	午	前9時 ~	無料						
	栗山中学校	ない日	~	後9時	各500円	ない日	午後	後9時							
	湯西川中学校		ない日												
	(元)川俣中学校														

<sup>\*</sup>足尾中学校の年間使用券で足尾市民センター、原体育館が使用できる。 \*【今市地域 屋外夜間照明施設】平日の午後6時30分までは、放課後利用時間帯であるため一般の利用は不可

# ⑤ 総合評価の結果

# ■小学校の建物総合評価

平成 22 年度における小学校 26 校の建物総合評価を行いました。

	其力	<b>大情報</b>	1		②老朽化			(3)	バリアフ	711—÷	क्षक		<b>(A)</b>	環境対	tick			⑤維扌	寺管理		
	至4	N I I I I I	耐震化	,	∠/25171L	規		3/	197.	,,_, 	יטיו ניי		4	块·纪 <i>外</i>	טייו	維持的	維持管理費(千円)			当たり(	円/㎡)
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	<sup>焼</sup> 模改修後経過年数 築年数または直近の大	エレベータ※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※ 2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託费	小規模修繕費
今市小学校	昭和49	7,887	実施済み	37		37	×	×	×	×	×	×	×	×	×	5,396	970	392	684	123	50
今市第二小学校	平成3	5,186	-	20		20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	7,361	957	436	1,419	185	84
今市第三小学校	昭和46	6,891	不要	40	平成4	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	9,591	932	516	1,392	135	75
南原小学校	昭和61	5,876	_	25		25	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8,998	883	526	1,531	150	90
落合東小学校	昭和61	4,594	_	25		25	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3,738	1,064	1,031	814	232	224
落合西小学校	昭和59	4,059	_	27		27	×	×	×	×	×	×	×	0	×	3,308	1,162	194	815	286	48
大桑小学校	昭和53	3,648	実施済み	33		33	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3,979	920	699	1,091	252	192
轟小学校	昭和63	2,943	_	23		23	×	×	×	×	×	×	×	0	×	1,883	997	601	640	339	204
小百小学校	昭和62	2,790	-	24		24	×	×	×	×	×	×	×	0	×	1,893	958	69	678	343	25
大沢小学校	昭和57	4,061	-	29		29	×	×	×	×	×	×	×	0	×	5,356	1,080	511	1,319	266	126
大室小学校	昭和53	4,671	実施済み	33		33	×	×	×	×	×	×	×	×	×	5,344	1,078	1,324	1,144	231	283
猪倉小学校	平成1	3,989	-	22		22	×	×	0	×	×	×	×	×	×	3,415	1,016	261	856	255	66
小林小学校	昭和56	3,849	不要	30		30	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,501	1,065	261	650	277	68
日光小学校	昭和56	6,657	実施済み	30		30	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6,879	1,415	1,095	1,033	213	164
清滝小学校	昭和34	4,654	実施済み	52	平成22	1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,236	1,158	450	480	249	97
野口小学校	昭和38	2,120	実施済み	48		48	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,475	798	390	1,167	377	184
中宮祠小学校	昭和42	1,316	未実施	44		44	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	532	566	0	405	430
所野小学校	昭和41	3,386	未実施	45		45	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,874	678	351	553	200	104
小来川小学校	昭和49	1,374	実施済み	37		37	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	596	165	0	434	120
安良沢小学校	昭和59	4,555	-	27		27	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3,086	942	250	677	207	55
鬼怒川小学校	昭和38	4,581	実施済み	48	平成 17	6	×	0	0	×	×	×	×	×	×	4,764	757	363	1,040	165	79
下原小学校	昭和46	3,241	実施済み	40		40	×	×	0	×	×	×	×	×	×	3,557	1,335	1,064	1,097	412	328
三依小学校	昭和33	1,652	未実施	53		53	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,302	187	180	788	113	109
栗山小学校	平成16	3,361	-	7		7	×	×	0	×	×	×	×	×	0	3,092	976	121	920	290	36
湯西川小学校	平成18	1,970	-	5		5	×	0	0	×	×	×	×	×	0	0	963	17	0	489	9
足尾小学校	平成19	4,332	-	4		4	×	0	0	×	×	×	×	×	×	2,388	889	37	551	205	8
合計		103,643														94,413	24,308	11,867	911	235	114

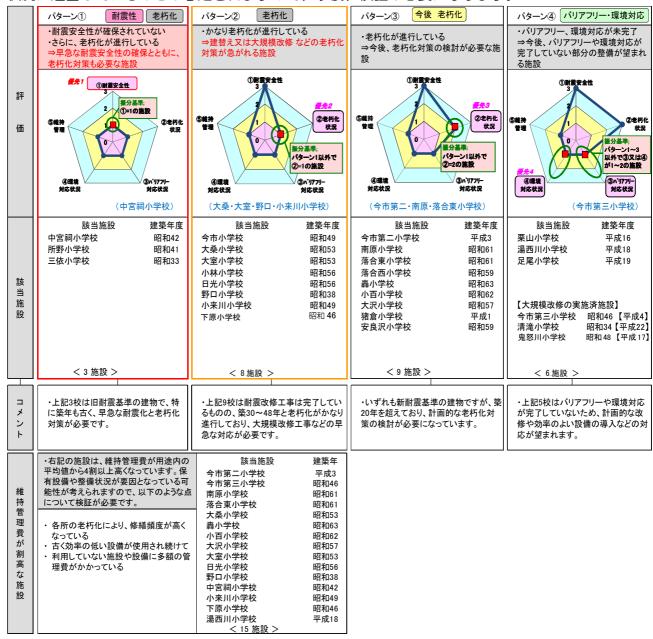
 小学校 26 校のうち、中宮祠小学校・所野小学校及び三依小学校は、旧耐震基準の建物であり 耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

今市小学校など8校は、耐震安全性は確保されていますが、老朽化がかなり進行しており、建替え又は大規模改修等の老朽化対策が早急に必要な施設となっています。(パターン②)

南原小学校・落合東小学校などの9校は、いずれも新耐震基準の建物ですが、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

栗山小学校など3校と、大規模改修を実施した今市第三小学校など3校は、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)

また、床面積(1㎡)当たりの維持管理費について、小学校26校の平均値から4割以上高くなっている施設が、15校あります。これらの施設については、保有設備の老朽化や施設の整備状況に起因していることが想定されますので、今後、検証が必要になります。



# ■中学校の建物総合評価

平成 22 年度における中学校 15 校の建物総合評価を行いました。

	其才	情報	1	(	②老朽化 ③バリアフリー対応 ④環境対応						⑤維持										
	42.4	^ I	耐震化	,	E/251711			<b>3</b> ′	197.		·) //L>		9	<b>・ネ・</b> なへ	יטיוני	維持管	<b>管理費(</b> ・	千円)	床面積	当たり()	円/m <sup>*</sup> )
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後経過年数築年数または直近の大	エレベー タ※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
今市中学校	昭和60	10,264	_	26		26	×	×	0	×	×	×	×	×	×	10,540	1,304	1,927	1,027	127	188
東原中学校	昭和58	4,630	-	28		28	×	×	×	×	×	×	×	×	×	4,292	1,139	757	927	246	164
落合中学校	平成3	6,746	-	20		20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	5,660	1,130	757	839	168	112
豊岡中学校	平成1	6,422	-	22		22	×	×	×	×	×	×	×	×	×	4,653	839	991	725	131	154
大沢中学校	昭和62	6,186	-	24		24	×	×	0	×	×	×	×	×	×	6,476	883	745	1,047	143	120
小林中学校	平成3	5,117	_	20		20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3,518	1,110	167	688	217	33
日光中学校	昭和44	5,071	実施済み	42		42	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1,570	1,243	639	310	245	126
中宮祠中学校	昭和42	1,692	未実施	44		44	×	×	×	×	×	×	×	×	×	5,441	113	632	3,216	67	374
東中学校	昭和61	7,266	-	25		25	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3,854	1,261	555	530	174	76
小来川中学校	昭和49	2,015	実施済み	37		37	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3,281	395	68	1,628	196	34
藤原中学校	平成22	4,972	-	1		1	0	0	0	×	×	×	×	×	×	3,042	783	460	612	158	93
三依中学校	昭和50	1,678	未実施	36		36	×	×	×	×	×	×	×	×	×	982	329	203	585	196	121
栗山中学校	昭和51	2,625	実施済み	35		35	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,447	519	228	932	198	87
湯西川中学校	平成18	2,865	_	5		5	0	0	0	×	×	×	×	×	×	401	0	125	140	0	44
足尾中学校	平成3	3,703	_	20		20	0	×	×	×	×	×	×	×	×	1,179	1,092	149	318	295	40
合計		71,252													000000000000000000000000000000000000000	57,336	12,140	8,406	805	170	118

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備	実施済み: ○ 記載例
:床面積当たり(円/㎡)の平均値 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

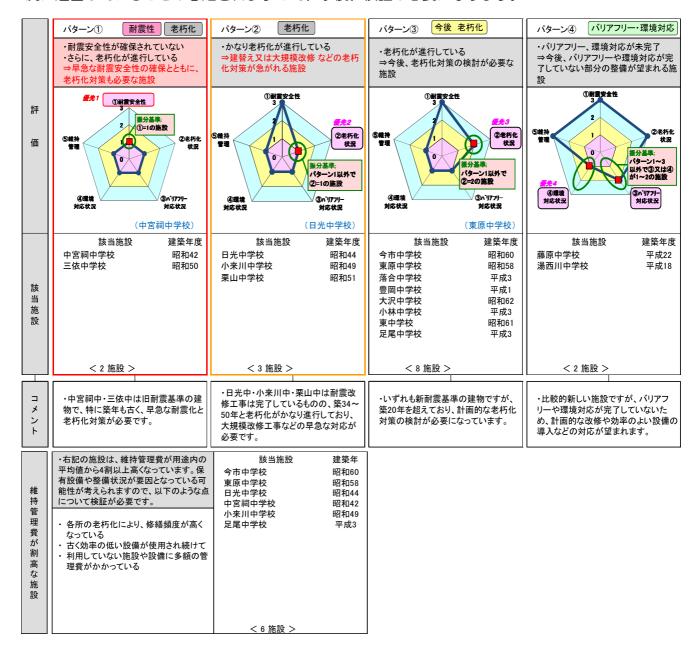
中学校 15 校のうち、中宮祠中学校及び三依中学校は、旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

日光中学校・小来川中学校及び栗山中学校は、耐震安全性は確保されていますが、老朽化がかなり進行しており、建替え又は大規模改修等の老朽化対策が早急に必要な施設となっています。 (パターン②)

今市中学校など8校は、新耐震基準の建物ですが、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

藤原中学校・湯西川中学校は、新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了 していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)

また、床面積(1㎡)当たりの維持管理費について、中学校15校の平均値から4割以上高くなっている施設が、6校あります。これらの施設については、保有設備の老朽化や施設の整備状況に起因していることが想定されますので、今後、検証が必要になります。



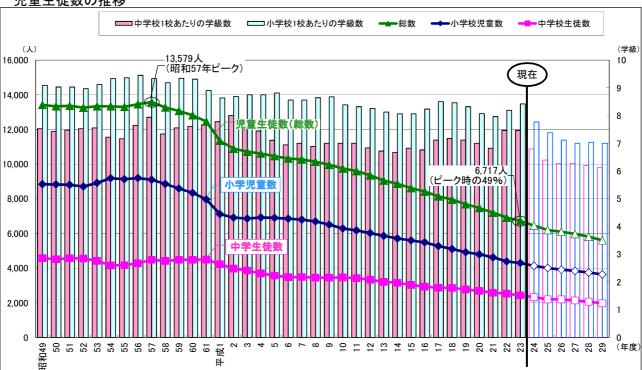
(資料:教育委員会)

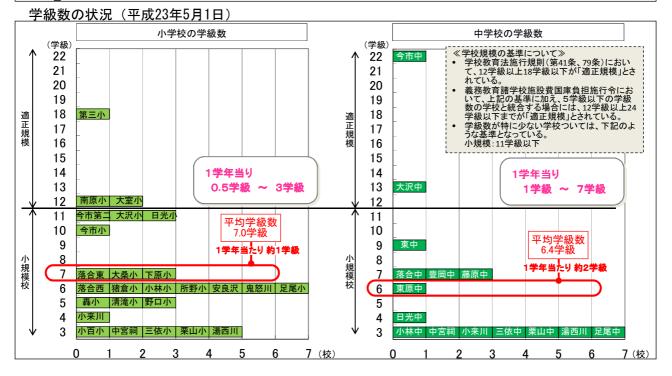
# 2) 児童生徒数及び学級数の状況

児童生徒数及び学級数の状況をみると、小中学校の児童生徒数は、昭和 57 年度の 1 万 3,579 人をピークに減少傾向となっており、平成 23 年 5 月 1 日時点では、6,717 人とピーク時の約 49%となっています。小学校は、昭和 54 年度の 9,188 人をピークに平成 23 年度には、4,292 人(ピーク時の約 47%)に、中学校は、昭和 49 年度の 4,577 人をピークに平成 23 年度には、2,425 人(ピーク時の約 53%)になっています。

1 校当たりの学級数をみると、近年の少人数学習等多様な学習形態であることから、昭和 57 年度で小学校 9 学級、中学校 8 学級であったのに対し、平成 23 年度では小学校 7 学級、中学校 6 学級と、児童生徒数の減少の割に比べ、大きな変化はあまりありません。ただし、平成 23 年度学校別学級数では、小規模校に該当する 11 学級以下の学校が、小学校で 23 校、中学校で 13 校となっています。

児童生徒数の推移



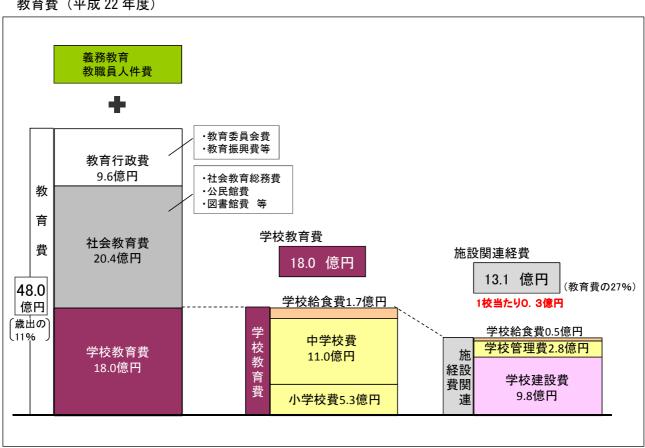


# 3) コスト状況

#### ① 教育費の状況

平成 22 年度の決算による教育費は、約 48 億円(一般会計歳出の約 11%)です。内訳は、 教育行政費 9 億6千万円、社会教育費 20 億4千万円、学校教育費 18 億円となっています。学 校教育費のうち、光熱水費・保守点検費・建設整備費等の施設に関する「施設関連経費」は約 13億1千万円(教育費の約27%)となっています。1校当たりでは3千万円となります。

施設関連経費としては、学校建設費が9億8千万円、学校管理費が2億8千万円、給食室修 繕費等の学校給食費が5千万円となっています。



教育費 (平成22年度)

(資料:平成22年度一般会計決算書)

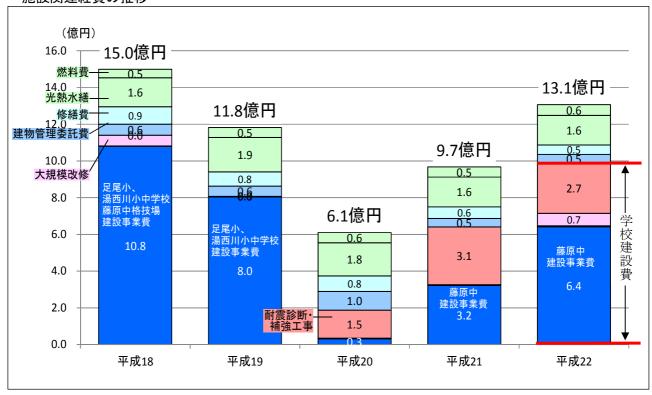
#### ② 施設関連経費の状況

さらに、施設関連経費約 13 億 1 千万円のうち学校建設費 9 億8千万円の内訳は、建設事業費が6億4千万円(約49%)、大規模改修費が約7千万円(約5%)、耐震診断及び補強工事費が2億7千万円(約21%)となっています。

推移をみると、平成 18・19 年度は、足尾小、湯西川小中学校の建設事業費が中心の構成となっていましたが、平成 20 年度以降耐震診断及び耐震補強工事を中心の予算に切り替え、優先的に行っていることが分かります。

なお、経常的経費(燃料費・光熱水費・修繕料・建物管理委託料)は、毎年3億2千万円~4億2千万円とほぼ同程度の状況となっています。

#### 施設関連経費の推移



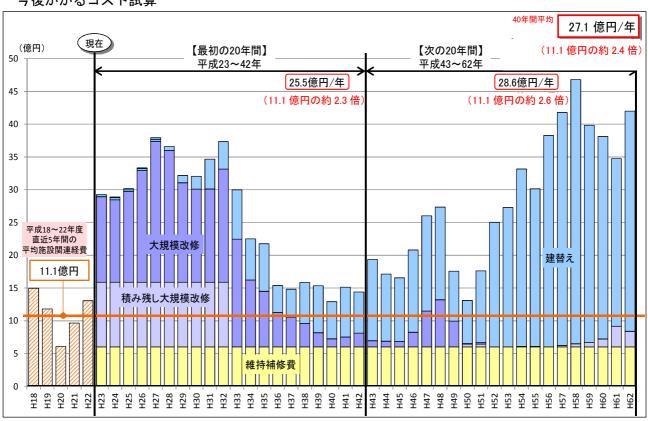
(千円)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
経常的経費	燃料費	45,988	54,139	55,330	54,951	59,004
	光熱水費	157,761	186,920	180,592	161,774	161,416
	修繕料	94,670	78,013	84,276	63,845	50,542
	建物管理委託料	59,747	55,688	102,202	45,827	50,683
	小計	358,166	374,760	422,399	326,397	321,645
安全対策費	耐震補強事業	0	0	152,744	314,505	269,908
大規模改修		58,379	0	0	0	68,882
老朽箇所修繕費		0	0	0	1,553	2,148
土地借上料		3,449	3,539	3,187	3,237	2,958
整備費		1,078,632	803,667	31,920	321,543	641,423
合	計	1,498,626	1,181,965	610,249	967,236	1,306,964

## ③ 今後40年間にかかるコスト試算(シミュレーション)

今後 40 年間にかかるコストを試算すると、年平均 27 億 1 千万円の費用が必要になります。これは、直近5年間の施設関連経費の平均額約 11 億 1 千万円の約 2.4 倍となることが見込まれます。特に、学校施設は、昭和 56 年から平成 3 年に建設が集中しているため、平成 52 (2040)年以降の建替えのピークを視野に入れる必要があります。

#### 今後かかるコスト試算



#### ≪試算条件≫

#### a)前提

- 現状の施設規模・施設内容を維持することを前提としてコスト試算を行う。
- 施設の統廃合による施設数の増減、および増減築による建物面積の増減については考慮していない。

#### b) 条件

- 建築物の耐用年数は 60 年と仮定する。大規模改修は、建設後 30 年で行い、その後 30 年で建替える と仮定する。
- 建替え及び大規模改修予算は、年度ごとのばらつきを軽減させるために、 建替え : 3 年間

大規模改修 : 2年間 に振り分けて、予算計上する。

• 平成22年度(2010年度)以前に大規模改修の時期を迎えている施設のうち、築31年以上50年経過した施設については、最初の10年間(平成23年度(2011年度)~平成32年度(2020年度)で均等に大規模改修を実施する。

#### c) 単価

	建替え	大規模改修
学校教育系、子育て支援施設等	33 万円/㎡	17 万円/㎡

#### 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性として旧耐震基準の建物(校舎や体育館)は、耐震二次診断を実施し、その 結果に基づき耐震補強工事を計画的に進めており、平成27年度までに耐震化を完了する 予定です。また、施設の老朽化に対応するため、計画的に施設の屋根及び外壁の防水工事 を実施しているところです。学校施設については、築30年未満の施設が全体の約68% と比較的新しい施設が多い状況です。ただし、今後20年間では、大規模改修や施設の建 替えが始まること、さらに、その次の20年間では、建替えがピークを向かえることから、 全体計画の策定とそれに基づき計画的に推進する必要があります。
- 学校施設は、市の保有する公共施設の約 40%と最も大きな割合を占めています。そのため、学校施設での環境負荷低減への取組みは、校舎等のランニングコストの圧縮を図る上でも効果的な対策と考えられます。そこで、建替えをした学校の一部で行っている屋上・外壁の断熱化やペアガラスの導入、さらに、現在取り組んでいる暖房設備の個別管理方式への切り替え等を推進し、教育環境の向上と環境負荷低減へ取組む必要があります
- 学校施設の統合検討対象である 1 校当たり 50 人以下の学校は、現状で小学校 6 校、中学校 6 校あります。また、一部の学校では、学校の教室を放課後児童クラブとして活用していますが、全学校の児童生徒数の将来推計を勘案しながら、地域に身近な施設である学校施設の有効活用を検討していく必要があります。さらに、学校の統廃合は、人数だけでなく、通学距離や通学するための移動手段など、検討する必要があります。また、地域の人口構成の変化や人口動態等の状況をふまえ、学校の統廃合等の検討だけでなく、教育環境・生活環境の向上に対する学校施設のあり方を検討する必要があります。

# (13) 保育園

#### 1) 施設概要

市には、市立保育園 19 園(うち、認定こども園 1 園、保育型児童館 3 館)、私立保育園 6 園があります。

市立保育園全体の認可定員は980人で、平成23年4月時点の入園児数は650人、入園率は約66%となっています。一方、私立保育園は定員685人に対して、入園児数が764人、入園率は約112%となっています。これは、定員の弾力運用(※)を行っていることによります。なお、児童館の園児数は、82人となっています。

- (※)定員の弾力運用とは、保育室の面積や保育士の配置などの最低基準を遵守することにより、 定員を上回る受入れを認める制度です。
  - ※待機児童が発生していないという状況を把握することを目的に、参考資料として私立保育園の状況も記載してあります。

施設一覧(市立保育園:19園)

(平成 23 年 4 月現在)

	也改一見(川立休月風:13風)								( 1 /X	20 + 7	月現112		
名称	住所	構造		建築年度			_	児数				認可定員	備考
<b>417</b>	(上77)		(m²)	(年度)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	(人)	ני מון
1 並木保育園	瀬川1316番地1	コンクリート ブロック造	550.7	昭和50	1	8	14	15	11	17	66	90	
2 せせらぎ保育園	瀬尾81番地2	木造	365.7	昭和46	-	9	9	18	15	15	66	70	
3 原町みどり保育園	平ヶ崎132番地2	木造	413.2	昭和48	-	4	12	8	10	7	41	45	
4 しばやま保育園	荊沢540番地3	木造	510.1	昭和49	2	10	16	24	18	18	88	80	
5 日光保育園	御幸町6番地1	鉄骨造	655.0	昭和61	2	8	15	14	18	23	80	90	
6 清滝保育園	清滝2丁目9番37号	木造	321.0	昭和44	-	5	3	8	3	5	24	45	
7 所野保育園	所野689番地8	鉄骨造	676.0	平成11	0	9	15	21	17	20	82	80	
8 小来川保育園	中小来川2612番地2	木造	199.0	昭和62	-	1	2	2	1	0	6	30	
9 藤原保育園	藤原419番地	木造	257.3	昭和35	-	2	2	6	5	3	18	45	
10 鬼怒川保育園	鬼怒川温泉大原988番地2	木造	338.0	昭和41	1	4	8	4	7	4	28	60	
11 下原保育園	鬼怒川温泉大原2番	鉄骨造	549.1	昭和55	6	10	9	16	19	17	77	90	
12 高徳保育園	高徳569番地	木造	355.1	昭和50	-	0	5	7	1	0	13	60	
13 三依保育園	中三依321番地	木造	256.0	昭和42	-	-	0	0	2	0	2	45	
14 足尾認定こども園	足尾町赤沢6番5	木造	971.8	平成7	ı	-	-	1	1	2	4	10	
(園児数•定員⇒上段:短	期利用、下段:長期利用)				1	5	9	6	3	10	34	60	
15 栗山中央保育園	日蔭557番	木造	292.0	昭和48	-	0	1	2	2	4	9	40	
16 湯西川保育園	湯西川597番3	木造	360.0	平成元	-	0	3	1	4	4	12	40	
小	計	_	7,070.0	_	13	75	123	153	137	149	650	980	
17 落合児童館	文挾町38番地	木造	633.8	平成10	-	-	-	6	4	10	20		
18 豊岡児童館	小林2453番地2	木造	411.4	平成4	-	-	-	14	6	20	40		
19 塩野室児童館	大桑町120番地1	木造	439.7	平成5	-	-	-	3	6	13	22		
合	計	_	8,555.0	_	13	75	123	176	153	192	732	980	

<参考>施設一覧(私立保育園:6園)

(平成 23 年 4 月現在)

名称	住所	延床面積			遠	児数(	定員	備考				
4 柳	生別	(m³)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	(人)	<del>ک</del> <del>س</del> ر	
1 大沢保育園	大沢町62番地1	1,360.1	7	23	22	33	34	42	161	150		
2 芹沼保育園	芹沼892番地	951.3	4	21	26	37	45	45	178	160		
3 さかえ保育園	木和田島1373番地72	724.4	4	13	28	26	37	27	135	120		
4 明神保育園	明神274番地1	695.0	3	10	15	25	19	24	96	85		
5 宝珠保育園	土沢1216番地	635.3	5	13	15	14	28	29	104	90		
6 杉の子保育園	今市72番地1	612.8	4	11	20	14	21	20	90	80		
合	計	4,978.9	27	91	126	149	184	187	764	685	入園率112%	



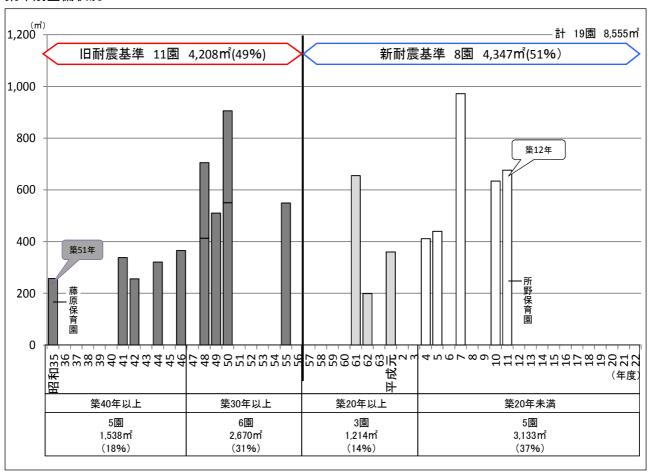
#### ② 施設の整備状況及び耐震状況

本市には、市立保育園 19 園 (認定こども園 1 園、保育型児童館 3 館含む。)、合計 8,555 ㎡ の施設があります。

施設の整備状況は、昭和 41 年から平成 50 年の約 10 年間に建設が集中しており全体の約 40%が建設されており、直近では、平成 10 年度に落合児童館、平成 11 年度に所野保育園を建設しています。

また、施設の耐震状況では、昭和 56 年以前に建設された旧耐震基準の建物が 11 園 4,208 ㎡ (約 49%)、新耐震基準の建物が8園 4,347 ㎡ (約 51%)となっています。そのため、市では、旧耐震基準の建物の簡易耐震診断を平成 23 年度実施し、その結果を平成 24 年度以降に策定を予定している計画に反映していくことになっています。

#### 築年別整備状況



# ③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度における保育園 19 園の建物総合評価を行いました。

	其士	:情報	2	~ 1 (3)八日・アフロー・まは、						④環境対応			⑤維持管理						
	- 本本	·1FFX	耐震化	老朽化		رن ا	1.77.	)·)—,	N) //L>		4)	绿况入	יטייו	維持管理費(千円)			床面積	当たり(	円/㎡)
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	築年数	車いす用エレベータ※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費	光熱 水費	建物管理委託費	小規模修繕費
並木保育園	昭和50	551	未実施	36							×	×	×	1,816	39	83	7,096	152	323
せせらぎ保育園	昭和46	366	未実施	40						×	×	×	684	19	208	1,870	52	569	
原町みどり保育園	昭和48	413	未実施	38							×	×	×	1,140	25	670	2,758	61	1,621
しばやま保育園	昭和49	510	未実施	37						×	×	×	1,627	21	404	3,190	41	793	
日光保育園	昭和61	655	ı	25						×	×	×	1,577	39	581	2,407	60	886	
清滝保育園	昭和44	321	未実施	42							×	×	×	794	509	4,916	2,473	1,585	15,316
所野保育園	平成11	676	ı	12							×	×	×	1,702	41	275	2,517	61	407
小来川保育園	昭和62	199	ı	24							×	×	×	480	79	0	2,414	398	0
藤原保育園	昭和35	257	未実施	51	特定	の利用	老 ( 副 ・	نا 18	その保証	# <del>2</del> \	×	×	×	522	86	666	2,030	336	2,590
鬼怒川保育園	昭和41	338	未実施	45	が利	用する		ため、	バリアン		×	×	×	821	451	4,494	2,428	1,335	13,296
下原保育園	昭和55	549	未実施	31	п іш	O) /\] 5/\	.دن.				×	×	×	1,047	61	289	1,907	111	526
高徳保育園	昭和50	355	未実施	36							×	×	×	552	105	224	1,556	294	630
三依保育園	昭和42	256	未実施	44							×	×	×	384	1	7	1,500	5	27
足尾認定こども園	平成7	972	ı	16							×	×	×	1,775	302	500	1,827	310	514
栗山中央保育園	昭和48	292	未実施	38							×	×	×	851	87	50	2,914	298	170
湯西川保育園	平成1	360	-	22							×	×	×	914	62	43	2,538	172	120
落合児童館	平成10	634	-	13							×	×	×	1,238	248	0	1,953	391	0
豊岡児童館	平成4	411	-	19							×	×	×	975	269	6	2,370	653	15
塩野室児童館	平成5	439.7	_	18								×	×	522	253	0	1,188	575	0
合計		8,555												19,421	2,696	13,416	2,270	315	1,568

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

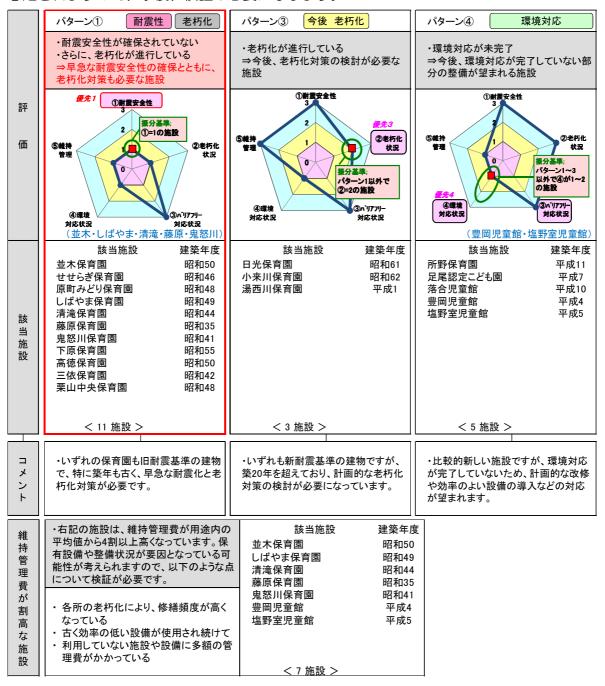
:床面積当たり(円/㎡)の平均値
(床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計):平均値の1.4倍

保育園 19 園のうち、並木保育園をはじめ 11 園は、旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。(パターン①)

日光保育園、小来川保育園及び湯西川保育園は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築 20 年以上が経過し、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

所野保育園をはじめ5園は、新しい施設ですが、環境対応が一部完了していないため、計画的 な改修等での対応が必要となっています(パターン④)

なお、19 園のうち、床面積当たりの維持管理費が平均値に比べ4割以上高くなっている施設が7施設あります。その要因として、保有設備の老朽化や施設の整備状況に起因していることが想定されますので、今後、検証が必要になります。



#### 2) 施設の状況

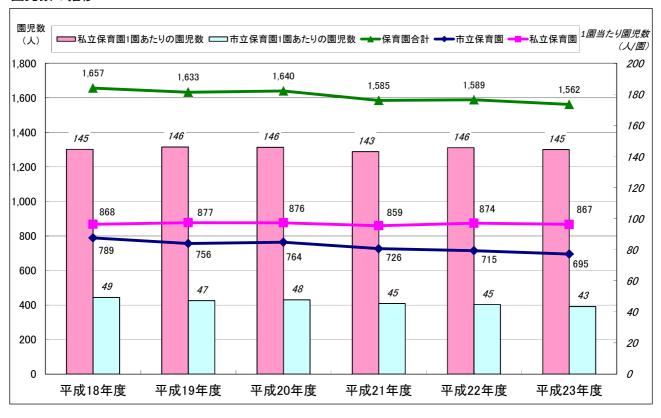
# ① 園児数の推移

市立・私立保育園合わせた園児数は、平成 18 年度 1,657 人で、その後も微減傾向が続いており、平成 23 年度は 1,562 人で、平成 18 年度と比較して、約 6%減少しています。

このうち、市立保育園の園児数は、平成 18 年度の 789 人から微減傾向が続き、平成 23 年度は 695 人と約 12%減少しています。1 園当たりの園児数は、平成 18 年度の 49 人から平成 22 年度 43 人とほぼ横ばいで推移しています。

私立保育園の園児数は、平成 18 年度の 868 人から平成 23 年度は 867 人と直近 6 年間で ほぼ横ばいで推移しています。1 園当たりの園児数は、平成 18 年度から平成 22 年度まで 145 人前後で推移しており、市立保育園の園児数の約 3.4 倍となっています。

#### 園児数の推移



## ② 運営時間

保育園の対象者は、〇歳児から就学前までの子どもです。

市立保育園の保育時間は、午前8時30分から午後5時までで、延長保育は園ごとに実施しています。

私立保育園の保育時間は、午前7時15分から午後7時15分までが1園、午前7時30分から午後7時までが4園、午前7時30分から午後7時30分までが1園で、延長保育は園ごとに実施しています。なお、一時保育や病後児保育を実施している保育園は、次のとおりです。

#### 〇 一時保育実施保育園

(市立) 並木保育園、清滝保育園、所野保育園、下原保育園

(私立) 大沢保育園

#### 〇 病後児保育実施保育園

(市立) 所野保育園

(私立) 明神保育園



## ③ スペース構成と運営人員

市立保育園の1施設当たりの平均規模は433 m、1施設当たりのスペース構成は幼児室、保育室・遊戯室、調理室、事務・職員室です。

市立保育園の 1 施設当たりの運営人員は、保育士が 2 人~18 人、調理員が 0 人~3 人、用務員が 0~1 人で、1 施設当たり 3 人~21 人が従事しています。市立保育園全体の運営人員は 194人、そのうち保育士(正規)が 81 人、臨時保育士が 76 人、調理員・用務員(正規・臨時)が 36 人のほか、所野保育園では、病後児保育に対応するため、看護師を 1 人配置しています。

#### スペース構成及び運営人員



※所野保育園は、このほかに病後児保育に対応するため、看護師(臨時職員)が1人配置されています。

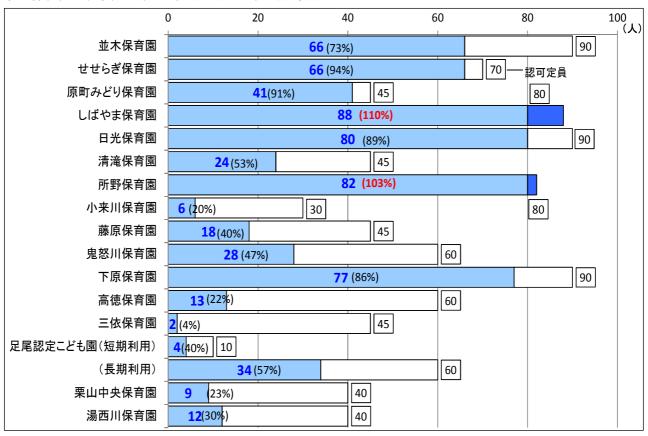
# ④ 施設別の入園状況 (保育型児童館3園を除く)

施設別の定員数と園児数の状況では、市立保育園は16園中2園で認可定員を超えています。

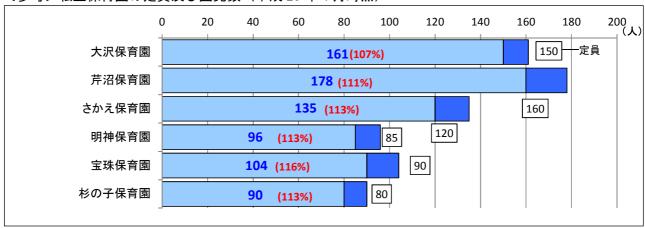
一方で、入園率が50%未満の保育園が8園あります。

私立保育園は全施設で定員を越えていますが、定員の弾力的運用により運営を行っています。

#### 市立保育園の定員及び園児数 (平成23年4月時点)



#### <参考>私立保育園の定員及び園児数(平成23年4月時点)



#### ⑤ 待機児童数

本市では待機児童は、発生していません。

# 3) コスト状況

# ① トータルコスト

# ■ 全体のトータルコスト

平成22年度の保育園(認定こども園1園、保育型児童館3館含む。)の年間トータルコストは、16億556万円です。

その内訳は、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)が3,834万円(2%)、事業運営にかかるコスト(人件費・その他物件費等)が15億942万円(94%)、減価償却相当額が5,779万円(4%)となっています。

# 施設別行政コスト計算書(平成22年度)

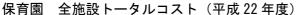
(千円)

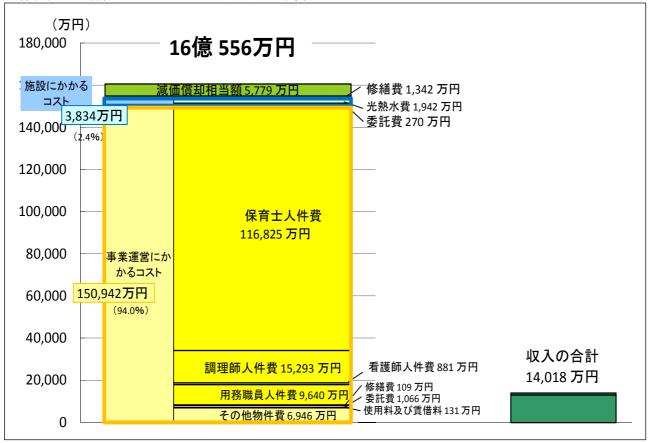
										•	
I.現金収支を伴うもの 【コストの部】		並木保育園		原町みどり 保育園	しばやま保 育園	日光保育園	清滝保育園	所野保育園	小来川保育 園	藤原保育園	鬼怒川保育 園
z 施	修繕費	83	208	670	404	581	4,916	275	0	666	4,494
るコスト	光熱水費	1,816	684	1,140	1,627	1,577	794	1,702	480	522	821
	委託費	39	19	25	21	39	509	41	79	86	451
	使用料及び賃借料	0	1,646	0	361	0	0	0	196	0	108
	施設にかかるコスト	1,938	2,557	1,835	2,413	2,197	6,219	2,018	755	1,274	5,874
	保育士人件費	111,616	89,293	66,970	133,940	104,175	44,647	119,057	22,323	37,205	66,970
	調理師人件費	13,298	13,298	6,649	13,298	13,298	6,649	19,947	. 0	6,649	6,649
	看護師人件費	0	0	0	0	0	0	8,813	0	0	0
か事	用務職員人件費	7,415	7,415	7,415	7,415	7,415			0	7,415	7,415
か業	修繕費	95	42	50	10	79	200	42	22	16	238
る運	委託費	691	854	776	878	794	898	827	496	322	490
かかるコスト事業運営に	使用料及び賃借料	84	79	84	84	80	80	80	80	88	88
2 c	車両·備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	26	10	20
Γ .	負担金補助及び交付金	25	25	15	54	31	8	33	0	28	13
	その他物件費	6,702	5,670	4,099	7,974	6,582	3,152	7,262	696	2,131	3,700
	事業運営にかかるコスト	139,926	116,676	86,058	163,653	132,454	63,049	163,476	23,643	53,864	85,583
現金収支	を伴うコスト 計	141,864	119,233	87,893	166,066	134,651	69,268	165,494	24,398	55,138	91,457
【収入の部										1	
収入	分担金及び負担金(収入)	13,920	13,797	5,416	17,559	14,988	4,629	14,427	1,089		5,817
PA7 1	諸収入	889	786	615	1,077	884	357	1,051	0	363	523
収入の合	計	14,809	14,583	6,031	18,636	15,872	4,986	15,478	1,089	3,146	6,340
Ⅱ.現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	0	0	0	0	5,688	0	5,871	2,736	0	0
Ⅲ.総括											
コストの剖	『合計(トータルコスト)	141,864	119,233	87,893	166,066	140,339	69,268	171,365	27,134	55,138	91,457
収支差額	(ネットコスト)	127,055	104,650	81,862	147,430	124,467	64,282	155,887	26,045	51,992	85,117

(千円)

下原保育園	高徳保育園	三依保育園	足尾認定こども園	栗山中央保 育園	湯西川保育 園	落合児童館	豊岡児童館	塩野室児童 館	合計		
289	224	7	500	50	43	0	6	0	13,416	修繕費	セ症
1,047	552	384	1,775	851	914	1,238	975	522	19,421	光熱水費	る設に
61	105	1	302	87	62	248	269	253	2,697	委託費	ᄀᄄ
0	500	0	0	0	0	0	0	0	2,811	使用料及び賃借料	_ ^ か
1,397	1,381	392	2,577	988	1,019	1,486	1,250	775	38,345	施設にかかるコスト	トか
104,175	37,205	14,882	66,970	29,764	29,764	29,764	29,764	29,764	1,168,248	保育士人件費	
13,298	6,649	6,649	13,298	6,649	6,649	0	0	0	152,927	調理師人件費	
0	0	0	0	0	0	0	0	0		看護師人件費	
7,415	7,415			7,415	0	7,415				用務職員人件費	か事
19						16				修繕費	か業
495				362	362	***************************************				委託費	る運
88	88	88	102	10						使用料及び賃借料	かかるコスト事業運営に
0				10						車両·備品購入費	, ^ic
26		54				0	·			負担金補助及び交付金	. '
6,729	2,340	737	3,851	1,826	1,607	1,162	2,210	1,032	69,462	その他物件費	
132,245	54,230	22,815	84,861	46,146	38,461	38,716	32,371	31,189	1,509,416	事業運営にかかるコスト	
133,642	55,611	23,207	87,438	47,134	39,480	40,202	33,621	31,964	1,547,761	現金収支を伴うコスト 計	
	1		1	1	1	1	1			T.,	1
11,391	2,331	168						***	131,139	分担金及び負担金(収入)	収入
755	384	152	616	243	250	21	43	30	9,039	諸収入	
12,146	2,715	320	7,782	3,327	2,404	2,399	4,741	3,374	140,178	収入の合計	
4,769	0	0	13,362	0	4,950	8,715	5,657	6,046	57,794	減価償却相当額	コスト
138,411	55,611	23,207	100,800	47,134	44,430	48,917	39,278	38,010	1,605,555	コストの部合計(トータルコスト)	
126,265	52,896	22,887	93,018	43,807	42,026	46,518	34,537	34,636	1,465,377	収支差額(ネットコスト)	

保育園にかかる年間トータルコストの中で、保育士や調理師等の人件費の合計が、約 14 億 2,639 万円でトータルコストの約 89%を占めています。

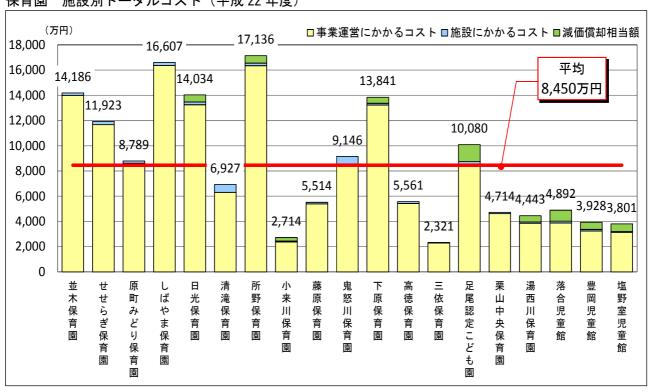




#### ■ 保育園別のトータルコスト

保育園の 19 園別トータルコストでは、三依保育園の 2,321 万円~所野保育園の 1 億 7,136 万円となっています。 1 園当たりの平均は、8,450 万円です。

保育園 施設別トータルコスト (平成22年度)

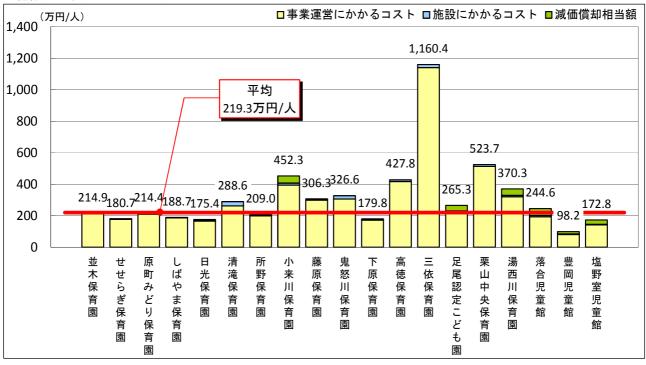


## ② 利用当たりのコストと床面積当たりのコスト

# ■ 園児1人当たりのコスト

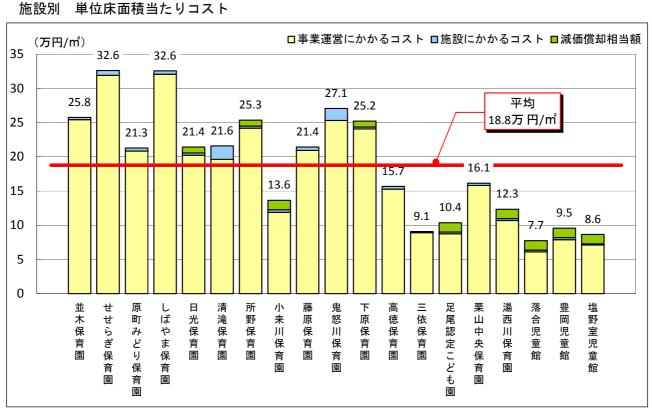
園児1人当たりにかかるコストを算出すると、保育園全体では、219.3万円/人となり、19 園別にみると、豊岡児童館の98.2万円/人~三依保育園の1,160.4万円/人となっています。

施設別 園児1人当たりコスト



## ■ 床面積(1 m²) 当たりのコスト

さらに、延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、保育 園全体では 18.8 万円/㎡となり、19 園別にみると、落合児童館の 7.7 万円/㎡~せせらぎ・し ばやま保育園の32.6万円/㎡となっています。



## 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、並木保育園をはじめ 11 園は、旧耐震基準の建物となっています。また、11 園については、築 30 年以上経過していることから、今後、年少人口の減少を踏まえ、老朽化対策の検討が必要となっています。そのため、今後の整備計画については、平成 24・25 年度で統廃合等も含めた建替え・改修等の検討を行い、平成26 年度以降、実行していく予定となっています。
- 現在は、待機児童は発生していませんが、今後もニーズの変化に柔軟に対応できるよう地域の実情にあった特別保育を実施するとともに、民間活力の積極的な活用を図る必要があります。

## (14) 放課後児童クラブ

## 1) 施設概要

## ① 施設一覧

保護者が仕事などにより放課後や夏休み期間中などに、家庭での児童の育成が困難な場合に、保護者の代わりに児童に育成を行う施設として、放課後児童クラブ(児童館・たんぽぽ広場含む。)を市内に46施設保有しています。46施設中23施設が単独機能のものでその他の23施設は小学校敷地内、児童館、公民館、産業系施設、幼稚園の中に併設された施設となっております。※鬼怒川児童館及び下原児童館、各たんぽぽ広場は名称が異なりますが、類似した事業を行っています。

施設一覧

	住所	利用面積		理想定員		併設施設	利用対象小学校名	実施場所
			(年度)	(人)	(人)	学校		今市小学校(用途変更)
1 さくら児童クラブ第1	今市531番地	•	平成6	38			今市小学校	
2 さくら児童クラブ第2	今市531番地		平成18	77 37	40	学校	今市小学校	今市小学校(用途変更) 専用施設
3 だいや児童クラブ第1	瀬尾69番地7	62.1					今市第二小学校	
4 だいや児童クラブ第2	瀬尾47番地25		平成17	50			今市第二小学校	賃貸
5 だいや児童クラブ第3	瀬尾69番地6		平成20	27	20		今市第二小学校	賃貸
6 なかよし児童クラブ第1 7 なかよし児童クラブ第2	今市本町18番地1		平成8	38		学校	今市第三小学校	今市第三小学校(用途変更)
	今市本町18番地1		平成19	38		学校	今市第三小学校	今市第三小学校(用途変更)
8 なかよし児童クラブ第3	今市本町18番地1		平成22	38		学校学校	今市第三小学校	今市第三小学校(用途変更)
9 なかよし児童クラブ第4	今市本町18番地1		平成22	38			今市第三小学校	今市第三小学校(一時的余裕教室)
10 今三あおぞら児童クラブ	今市本町8番地16	,	平成22	64		幼稚園	今市第三小学校	民間
11 わんぱくクラブ	今市本町19番地1		平成18	58	31		今市第三小学校	賃貸
12 みなみはら児童クラブ第1	土沢460番地		平成8	32	58		南原小学校	専用施設1F
13 みなみはら児童クラブ第2	土沢460番地	•	平成17	37	35	W.1.t.	南原小学校	専用施設2F
14 みなみはら児童クラブ第3	土沢460番地		平成22	106		学校	南原小学校	南原小学校(一時的余裕教室)
15 むんつけら児童クラブ	木和田島1373番地405		平成21	19	10		南原小学校	賃貸
16 みょうじん保育園児童クラブ	明神274番地1	25.4	平成22	15	10	保育園	南原小・落東小	民間
17 おちあい児童クラブ第1	文挟町38番地	139.05	平成10	84	55	児童館	落合東小学校	落児童館
18 おちあい児童クラブ第2	文挟町106番地	91	平成18	55	49	学校	落合東小学校	落合東小学校(一時的余裕教室)
19 にこにこ児童クラブ	長畑3084番地	72.09	平成12	43	20	幼稚園	落合西小学校	民間
20 とよおか児童クラブ第1	大桑町120番地1	40.57	平成9	24	16	児童館	大桑小学校	豊岡児童館
21 とよおか児童クラブ第2	大桑町179番地	64	平成18	38	38	学校	大桑小学校	大桑小学校(一時的余裕教室)
22 轟児童クラブ	轟53番地	82.8	平成17	50	31	学校	轟小学校	轟小学校(一時的余裕教室)
23 小百児童クラブ	小百531番地	46.64	平成16	28	15	学校	小百小学校	小百小学校(一時的余裕教室)
24 おおさわ児童クラブ第1	大沢町117番地	57.96	平成12	35	66		大沢小学校	専用施設
25 おおさわ児童クラブ第2	大沢町107番地	66	平成17	40	71		大沢小学校	賃貸
26 おおさわ児童クラブ第3	大沢町97番地	128	平成20	77	38	学校	大沢小学校	大沢小学校(一時的余裕教室)
27 みどりっ子児童クラブ第1	大室356番地9	89.43	平成10	54	26		大室小学校	専用施設
28 みどりっ子児童クラブ第2	大室356番地9	79.49	平成19	48	43		大室小学校	専用施設
29 みどりっ子児童クラブ第3	大室356番地	112	平成22	67	72	学校	大室小学校	大室小学校(一時的余裕教室)
30 第2みどりっこ児童クラブ-1	大室356番地9	77.01	平成20	46	39		大室小学校	専用施設
31 第2みどりっこ児童クラブ-2	大室356番地9	77.43	平成20	46	42		大室小学校	専用施設
32 いのくら児童クラブ第1	猪倉3331番地1	74.52	平成12	45	70		猪倉小学校	専用施設
33 いのくら児童クラブ第2	猪倉3331番地1	72.83	平成23	44			猪倉小学校	専用施設
34 こばやし児童クラブ	小林2708番地	128.22	平成13	77	45	学校	小林小学校	小林小学校(用途変更)
35 ひまわり第1クラブ	萩垣面2390番地2	82.35	平成10	49	44	学校	日光小学校	日光小学校(用途変更)
36 ひまわり第2クラブ	萩垣面2390番地2	82.35	平成22	49	46	学校	日光小学校	日光小学校(一時的余裕教室)
37 バンビクラブ清滝	清滝2丁目10番1号	114.75	平成19	69	29	学校	清滝小学校	清滝小学校(一時的余裕教室)
38 野口っ子クラブ	野口915番地1	69.56	平成19	42	20		野口小学校	専用施設
39 スマイルクラブ	所野830番地	52.16	平成14	31	28		所野小学校	専用施設
40 バンビクラブ安良沢	清滝安良沢町1728番地1	39.57	平成10	23	16	幼稚園	安良沢小学校	民間
41 足尾小ゼブラクラブ	足尾町赤坂6番地2	72.2	平成4	43	22	公民館	足尾小学校	足尾公民館
42 鬼怒川児童館	藤原19番地	207	昭和43	_	_			鬼怒川児童館
43 下原児童館	鬼怒川温泉大原2番地24		平成5	_	_			下原児童館
44 川治たんぽぽ広場	藤原1228番地		平成17	_	_			専用施設
45 小来川たんぽぽ広場	中小来川2667番地1		平成23			産業系施設		小来川林業研修センター(用途変更)
46 栗山たんぽぽ広場	黒部267番地		平成23					専用施設
	ママロのと は、い	「なっ生・		000				

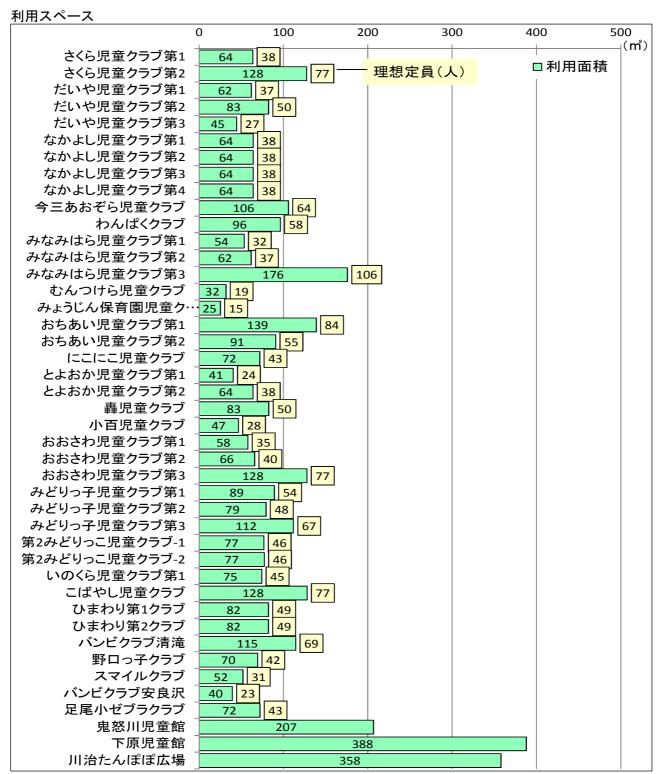
#### 放課後児童クラブ配置図



#### ② スペース構成

放課後児童クラブの施設は、『放課後児童クラブ運営の手引き』(栃木県 H18.3 発行)に「児童が、休息・遊び・学習ができるスペースとして1人当たり1.65㎡以上の広さを確保することが望ましい」とされています。そのため、各施設では、利用面積によって理想定員が設定されています。

理想定員 = 施設面積 ÷1.65㎡(子ども一人に最低必要とされるスペースで畳1畳分)



※鬼怒川、下原児童館及び川治たんぽぽ広場は、理想定員の設定をしていません。

# ③ 建物総合評価の結果

平成 22 年度において市が保有する放課後児童クラブ 33 施設の建物総合評価を行いました。

十级 乙乙 千及に	おいて市が保有する放課後児童クラブ3						/ J				物総合評価を行いました。 ⑤維持管理								
	基本	情報	耐震化			3,	バリアフ	フリーネ	讨応		4	環境対	応	維持管理費(千円) 床面積当たり			当たり(	円/㎡)	
施設名	建築年度	延床面積(㎡)	耐震改修	<b>築</b> 年 数	車いす用エレベータ※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※ 2	光熱水費	建物管理委託费	小規模修繕費	光熱水費	建物管理委託費	小規模修繕費
さくら児童クラブ第1	昭和49	64	実施済み	37	ľ						×	×	×	-	232	-	-	3,634	-
さくら児童クラブ第2	昭和49	128	実施済み	37							×	×	×	-	-	-	1	-	-
だいや児童クラブ第1	平成11	62	-	12							×	×	×	191	269	-	3,076	4,332	-
なかよし児童クラブ第1	昭和48	64	実施済み	38							×	×	×	-	232	-	ı	3,606	_
なかよし児童クラブ第2	昭和48	64	実施済み	38							×	×	×	-	-	-	-	-	-
なかよし児童クラブ第3	昭和48	64	実施済み	38							×	×	×	-	-	-	-	-	-
なかよし児童クラブ第4	昭和48	64	実施済み	38							×	×	×	-	-	-	-	-	-
みなみはら児童クラブ第1	平成11	54	-	12							×	×	×	-	303	-	ı	5,664	-
みなみはら児童クラブ第2	平成11	62	-	12							×	×	×	-	-	-	-	-	-
みなみはら児童クラブ第3	昭和61	176	-	25							×	×	×	-	-	-	-	-	-
おちあい児童クラブ第2	平成10	91	-	13							×	×	×	-	-	-	-	-	-
とよおか児童クラブ第1	平成3	41	-	20							×	×	×	-	-	-	-	-	-
とよおか児童クラブ第2	昭和53	64	実施済み	33							×	×	×	-	-	756	-	-	11,813
轟児童クラブ	昭和63	83	-	23							×	×	×	-	-	-	-	-	-
小百児童クラブ	昭和62	47	-	24							×	×	×	-	-	-	-	-	-
おおさわ児童クラブ第1	平成11	58	-	111							×	×	×	184	235	-	3,175	4,055	
おおさわ児童クラブ第3	昭和57	128	-	29				用する 対象と			×	×	×	-	-	-	-	-	-
みどりっ子児童クラブ第1	平成15	89	-	8							×	×	×	534	327	-	5,971	3,656	-
みどりっ子児童クラブ第2	平成15	79	-	8							×	×	×	-	-	-	-	-	-
みどりっ子児童クラブ第3	昭和53	112	実施済み	33							×	×	×	-	-	-	-	-	-
第2みどりっこ児童クラブ-1	平成20	77	-	3							×	×	×	308	326	-	3,999	4,233	-
第2みどりっこ児童クラブ-2	平成20	77	-	3							×	×	×	-	-	-	-	-	-
いのくら児童クラブ第1	平成12	75	-	11							×	×	×	374	270	-	5,019	3,623	
こぱやし児童クラブ	昭和56	128	実施済み	30							×	×	×	-	232	-	-	1,809	-
ひまわり第1クラブ	昭和56	82	実施済み	30							×	×	×	-	-	-	-	-	-
ひまわり第2クラブ	昭和56	82	実施済み	30							×	×	×	-	-	-	-	-	-
バンビクラブ清滝	昭和35	115	実施済み	51							×	×	×	-	-	-	-	-	-
野口っ子クラブ	平成18	70	-	5							×	×	×	90	294	-	1,294	4,227	-
スマイルクラブ	平成14	52	-	9							×	×	×	82	266	-	1,572	5,100	-
足尾小ゼブラクラブ	昭和44	72	未実施	42							×	×	×	10	-	-	139	-	-
鬼怒川児童館	昭和43	207	未実施	43							×	×	×	337	1	84	1,628	5	406
下原児童館	平成5	388	-	18							×	×	×	385	26	124	992	67	320
川治たんぽぽ広場	平成1	358	-	22							×	×	×	345	50	78	964	140	218
合計		3,378												2,840	3,063	1,042	-	- 11	-

※民間施設・賃貸施設については、評価の対象から除外します。

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等

※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

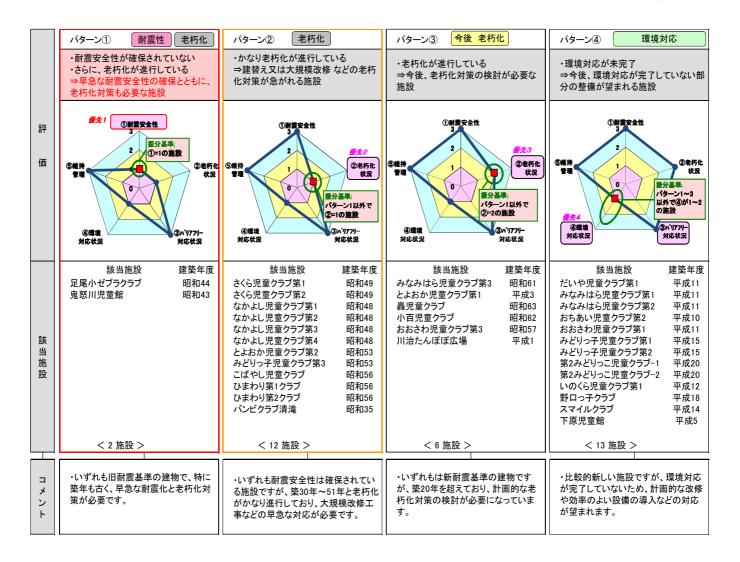
実施済み-○ 記載例 <u>未実施 = ×</u> 不 要 ⇒—

※維持管理費は、市が直接 支出している費用 放課後児童クラブ 33 施設のうち、足尾小ゼブラクラブ・鬼怒川児童館の 2 施設は、旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。 (パターン①)

さくら児童クラブ第 1 をはじめ 12 施設は、耐震改修工事は完了しているものの、老朽化が進行し、今後建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

また、みなみはら児童クラブ第3など6施設は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を越えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

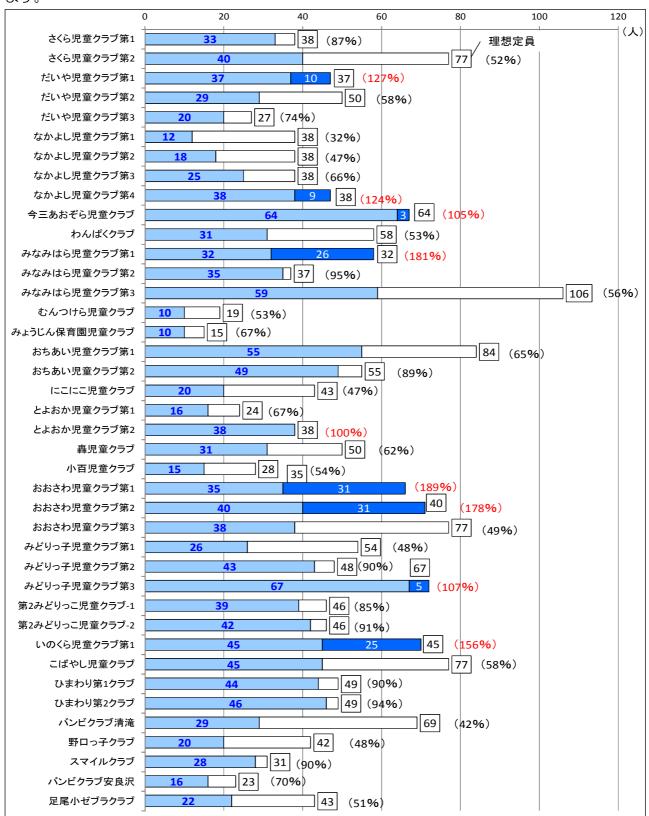
だいや児童クラブ第 1 をはじめ 13 施設は、新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が必要となっています。(パターン④)



#### 2) 利用状況

#### ① 施設利用率

平成 22 年度の放課後児童クラブの利用者数は、理想定員 1,875 人に対して 1,482 人の児童が利用登録をしています。施設全体の年間の利用登録率は、約79%となっていますが、9 施設については、利用登録率が100%以上となっており、定員の弾力化等の対策をとる必要があります。

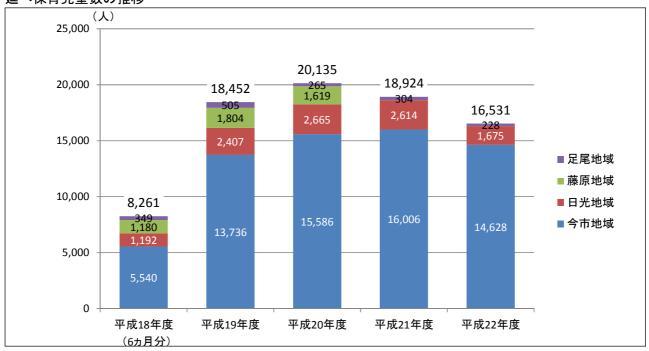


## ② 保育児童数の推移

放課後児童クラブの延べ利用児童数をみると、平成 19 年度の 18,452 人から平成 20 年度は 20,135 人と増加しましたが、その後減少に転じ、平成 22 年度は 16,531 人となっています。

地域別では今市地域は、平成 21 年度まで増加傾向にありましたが、平成 22 年度は前年度比で約 9%減少しています。日光地域は、平成 20 年度以降減少傾向となっており、平成 22 年度は前年度比で約 36%減少しています。

## 延べ保育児童数の推移



# ③ 運営状況

放課後児童クラブ及び鬼怒・下原川児童館は、運営を委託しており、学童保育指導員として 1 施設当たり 2人~8 が従事しています。

ただし、たんぽぽ広場は、市直営の施設となっています。

	<b>-</b>			T	16.00
	名称	利用対象小学校名	実施場所	委託先 	指導員
1	さくら児童クラブ第1	今市小学校	今市小学校(用途変更)	シルバー人材センター	6
2	さくら児童クラブ第2	今市小学校	今市小学校(用途変更)	シルバー人材センター	4
3	だいや児童クラブ第1	今市第二小学校	専用施設	シルバー人材センター	4
4	だいや児童クラブ第2	今市第二小学校	賃貸	シルバー人材センター	4
5	だいや児童クラブ第3	今市第二小学校	賃貸	シルバー人材センター	4
6	なかよし児童クラブ第1	今市第三小学校	今市第三小学校(用途変更)	シルバー人材センター	3
7	なかよし児童クラブ第2	今市第三小学校	今市第三小学校(用途変更)	シルバー人材センター	2
8	なかよし児童クラブ第3	今市第三小学校	今市第三小学校(用途変更)	シルバー人材センター	2
9	なかよし児童クラブ第4	今市第三小学校	今市第三小学校(一時的余裕教室)	シルバー人材センター	2
10	今三あおぞら児童クラブ	今市第三小学校	民間	今市中央幼稚園	5
11	わんぱくクラブ	今市第三小学校	賃貸	社会福祉協議会	5
12	みなみはら児童クラブ第1	南原小学校	専用施設1F	シルバー人材センター	5
13	みなみはら児童クラブ第2	南原小学校	専用施設2F	シルバー人材センター	3
14	みなみはら児童クラブ第3	南原小学校	南原小学校(一時的余裕教室)	シルバー人材センター	4
15	むんつけら児童クラブ	南原小学校	賃貸	社会福祉法人禎祥会	4
16	みょうじん保育園児童クラブ	南原小・落東小	民間	明神保育園	2
17	おちあい児童クラブ第1	落合東小学校	落児童館	シルバー人材センター	6
18	おちあい児童クラブ第2	落合東小学校	落合東小学校(一時的余裕教室)	シルバー人材センター	4
19	にこにこ児童クラブ	落合西小学校	民間	長畑幼稚園	2
20	とよおか児童クラブ第1	大桑小学校	豊児童館	シルバー人材センター	4
21	とよおか児童クラブ第2	大桑小学校	大桑小学校(一時的余裕教室)	シルバー人材センター	4
_		轟小学校	轟小学校(一時的余裕教室)	特定非営利活動法人毎日クリスマス	4
23	小百児童クラブ	小百小学校	小百小学校(一時的余裕教室)	特定非営利活動法人毎日クリスマス	3
_	おおさわ児童クラブ第1	大沢小学校	専用施設	シルバー人材センター	8
_	おおさわ児童クラブ第2	大沢小学校	賃貸	シルバー人材センター	5
-	おおさわ児童クラブ第3	大沢小学校	大沢小学校(一時的余裕教室)	シルバー人材センター	4
27	みどりっ子児童クラブ第1	大室小学校	専用施設	シルバー人材センター	3
_	みどりっ子児童クラブ第2	大室小学校	専用施設	シルバー人材センター	3
29	みどりっ子児童クラブ第3	大室小学校	大室小学校(一時的余裕教室)	シルバー人材センター	4
<b>—</b>	第二みどりっ子児童クラブ1	大室小学校	専用施設	シルバー人材センター	4
_	第二みどりっ子児童クラブ2	大室小学校	専用施設	シルバー人材センター	4
_	いのくら児童クラブ	猪倉小学校	専用施設	特定非営利活動法人和音	8
_	いのくら第2児童クラブ	猪倉小学校	専用施設	特定非営利活動法人和音	_
	こばやし児童クラブ	小林小学校	小林小学校(用途変更)	シルバー人材センター	6
-	ひまわり児童クラブ第1	日光小学校	日光小学校(用途変更)	清滝幼稚園	6
	ひまわり児童クラブ第2	日光小学校	日光小学校(一時的余裕教室)	清滝幼稚園	5
	バンビクラブ清滝	清滝小学校	清滝小学校(一時的余裕教室)	清滝幼稚園	3
_	野口っ子クラブ	野口小学校	専用施設	清滝幼稚園	3
-	スマイルクラブ	所野小学校	専用施設	清滝幼稚園	4
	バンビクラブ安良沢	安良沢小学校	民間	清滝幼稚園	3
_	足尾小ゼブラクラブ	足尾小学校	足尾公民館	シルバー人材センター	5
_	鬼怒川児童館	<b>たたい・デ</b> 収	鬼怒川児童館	鬼怒川幼稚園	10
_	下原児童館		下原児童館	鬼怒川幼稚園	12
	川治たんぽぽ広場		専用施設	直営(臨時職員4)	12
	小来川たんぽぽ広場		小来川林業研修センター(用途変更)	平成23年度から	4
	デールにんぽぽ広場 乗山たんぽぽ広場		専用施設	平成23年度から	
40	木田にかはは仏場		70000000000000000000000000000000000000	一十八人の十段かり	

は、23年度から運用。

## ④ 運営時間等

開館時間:【学校のある日】 午後0:30~午後6:00

【土曜日・学校休業日】 午前8:00~午後6:00

休館日:日曜日、年末年始、祝日

対象学年:市内居住の小学生で、次のいずれにも該当する者

1. 保護者等の就業、疾病等の理由により下校後等に適切な保護又は指導を受けら

れない小学生

2. 心身に著しい障がいを有しない小学生

※入会できる児童クラブは、児童が在籍する小学校により決定しています。

## 3) コスト状況

## ① トータルコスト

## ■ 全体のトータルコスト

平成22年度の放課後児童クラブの年間トータルコストは、2億1,821万円です。

その内訳は、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)が1,301万円(6%)、事業運営にかかるコスト(人件費・委託費・その他物件費等)が1億6,638万円(76%)、減価償却相当額が3,883万円(18%)となっています。

											<u> TD/</u>
I.現金4 【コスト	双支を伴うもの の部】 _	さくら児童 クラブ第1		だいや児童 クラブ第1		だいや児童 クラブ第3	なかよし児 童クラブ第1	なかよし児 童クラブ第2	なかよし児 童クラブ第3	なかよし児 童クラブ第4	わんぱく クラブ
旃	修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 7 K	光熱水費	0	0	191	85	63	0	0	0	0	0
スか	委託費	232	0	269	1	0	232	0	0	0	0
トか	使用料及び賃借料	0	0	0	780	540	0	0	0	0	0
3	施設にかかるコスト	232	0	460	866	603	232	0	0	0	0
	臨時職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	修繕費	93	47	0	41	0	39	49	0	0	45
」に事	委託費	5,342	2,146	4,496	2,224	2,586	3,914	1,838	1,555	1,476	8,036
コか業	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コスか業	備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	161
トる営	負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	3,162	0	8	5	3	0	0	0	0	180
	事業運営にかかるコスト	8,597	2,193	4,504	2,270	2,589	3,953	1,887	1,555	1,476	8,422
現金収支	を伴うコスト 計	8,829	2,193	4,964	3,136	3,192	4,185	1,887	1,555	1,476	8,422

コストの部合計(トータルコスト)

	 	and the second s	 
コスト 減価償却相当額	1,169		

Ⅲ.総括

	(1. )//-	<b>^</b> 1°7	0,029	2,190	0,133	3,130	3,192	7,103	1,007	1,555	1,470	0,422
収支差額(ネット	コスト)		8,829	2,193	6,133	3,136	3,192	4,185	1,887	1,555	1,476	8,422
	今三あおぞ ら児童クラ ブ	児童クラブ	みなみはら 児童クラブ 第2	旧帝カラブ	むんつけら 児童クラブ		おちあい児 童クラブ第1		児童クラブ	児童クラブ	とよおか 児童クラブ 第2	轟児童クラ ブ
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	756	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	246		0	0	0	0	0	0	0	0	. 0	0
	0	303	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2,280	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2,526	303	0	0	0	0	0	0	0	0	756	0
[	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	236	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105
	4,279	3,425	1,316	5,342	3,706	3,368	3,914	2,592	3,391	3,506	2,372	3,177
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	29	0	0	0	160	0	0	0	159	0	0	17
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4,545	3,438	1,316	5,342	3,866	3,368	3,914	2,592	3,550	3,506	2,372	3,299
	7 071	3 741	1 316	5 342	3 866	3 368	3 914	2 5 9 2	3 550	3 506	3 128	3 200

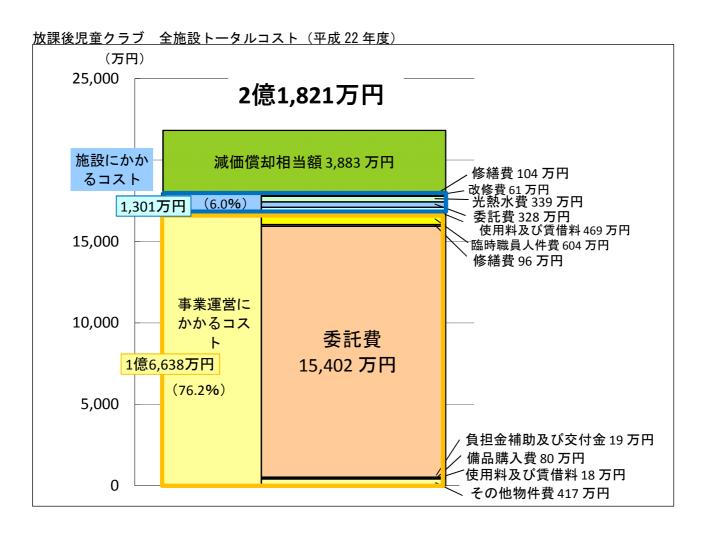
 919	919		8.704		5 6 5 7	
919	919	 	 0,704		3,037	
			·			

7,071	4,660	2,235	5,342	3,866	3,368	12,618	2,592	3,550	9,163	3,128	3,299
7,071	4,660	2,235	5,342	3,866	3,368	12,618	2,592	3,550	9,163	3,128	3,299

											<u>(千円)</u>	
		おおさわ児 童クラブ第2		旧金カニブ		みどりっ子 児童クラブ 第3		第2みどりっ こ児童クラ ブ-2	旧帝カニブ	こばやし 児童クラブ	ひまわり 第1クラブ	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0		0	0	0	609	0	0	0	0	0	
0	184	157	0	534	0	0			374	0		
0	235	213	0		0					232		
0	0	720	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	419	1,090	0	861	0	609	634	. 0	644	232	0	
0	0	0								0		
0	0	8	0				*************					
4,258	4,387	3,484	1,915	2,968	1,356	·		1,386	8,042	4,972	5,088	
0	0	0	0					0	0	0	0	
93	0	0	0	0	0	0	0	0	106	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	4	6	0	19	0	0	13	0	10	0	0	
4,351	4,391	3,498	1,915	2,987	1,356	3,585	3,128	1,386	8,158	4,972	5,088	
4,351	4,810	4,588	1,915	3,848	1,356	4,194	3,762	1,386	8,802	5,204	5,088	
	865			1,776	1,776		1,605	1,605	1,677			
								,				
4,351	5,675	4,588	1,915	5,624	3,132	4,194	5,367	2,991	10,479	5,204	5,088	
4,351	5,675	4,588	1,915	5,624	3,132	4,194	5,367	2,991	10,479	5,204	5,088	
♪まわり <sub>筆ックラ</sub> ブ			スマイル カ <del>ラブ</del>		足尾小 ゼブラクラブ	鬼怒川児 童館		川治たんぽ ぽ広場	合計			
0	0	0	0	0	0	84	124	78	1,042	2 修繕費		to
0	0	0	0	0	0	0	0	0	609	9改修費		が記している。
0	0	90	82	0	10	337	385	345	3,39	1 光熱水費		تا تا <sup>ال</sup> تا تا
0	0	294	266	0	0	1	26	50		7 委託費		<b>  人」</b>
0	0	312	0	0	0	0	57	0	4,689	9 使用料及び賃	<b>告料</b>	
0	0	696	348	0	10	422	592	473		8 施設にかかる		t t
0	0	0	0	0	0	0	0	6,043		3 臨時職員人件	費	
0	0		7	41	0		195	0		8 修繕費		
3,885	3,118	2,672	3,198	2,785	1,992	8,186	9,367	322	154,029	9 委託費		_ [
0	0	0	0	0	0	88	88	0		6 使用料及び賃	昔料	コスにかか
0	79	0	0	0	0	0	0	0		4 備品購入費		ストる
0	0	0	0	0	0	189	0	0		9 負担金補助及	び交付金	」 ' る
0	0	0	0	0	0	298	307	153		7 その他物件費		+
3,885	3,197	2,676	3,205	2,826	1,992	8,761	9,957	6,518		6 事業運営にかた		
3,885	3,197	3,372	3,553	2,826	2,002	9,183	10,549	6,991	179,394	4 現金収支を伴う	コスト 計	
		1,430	1,425		3,561		3,372	2,363	38,823	3減価償却相当	額	コス
3,885	3,197	4,802	4,978	2,826	5,563	9,183	13,921	9,354	218.217	7 コストの部合1	計(トータルコスト)	
3,885	3,197	4,802	4,978	2,826	5,563	9,183	13,921	9,354		7 収支差額(ネッ		

- ※減価償却費相当額の/は、民間施設、賃貸施設及び学校施設になります。

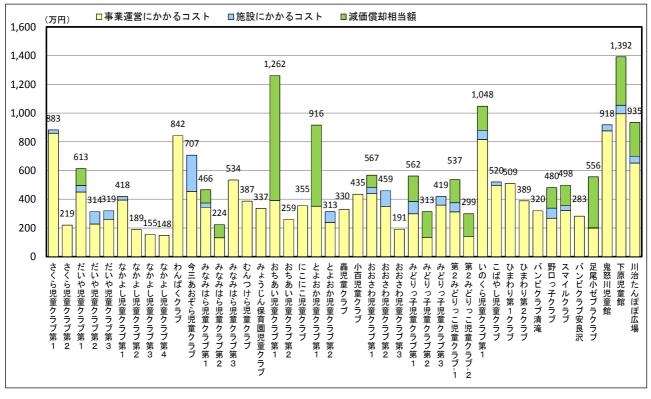
また、放課後児童クラブにかかる年間トータルコストの中で、人件費及び委託費は、約1億6,007万円でトータルコストの約73%を占めています。



# ■ 施設別のトータルコスト

放課後児童クラブ等 43 施設別トータルコストでは、なかよし児童クラブ第 2 の 148 万円~下原児童館の 1,392 万円となっています。1 園当たりの平均は、546 万円です。

#### 放課後児童クラブ 施設別トータルコスト (平成 22 年度)



## 4) 今後の検討の視点

● 放課後児童クラブの利用者数の増加に伴い、近年、放課後児童クラブの数を増加してきているが、平成20年度をピークに利用者数が減少していることを踏まえ、今後の利用状況をみながら整備する必要があります。なお、新たに設置する場合には、学校の余裕教室のや近隣の公民館等その他の公共施設の活用も視野に、他の関連事業とも連携しながら総合的な放課後児童対策の推進を図る必要があります。

## (15) 市営住宅

## 1) 施設概要

## ① 施設一覧

市営住宅とは、住宅に困窮し、比較的収入の少ない低所得者向けに安い家賃で賃貸し、生活の安定を図るため、市が国の補助を受けて建設した住宅です。平成24年3月31日現在の日光市の市営住宅管理戸数は、公営住宅1,491戸、単独住宅69戸、勤労単身者住宅18戸、改良住宅75戸、特別住宅212戸の合計1,865戸となっています。

なお、入居者戸数は、1,553 戸、入居率82.2%となっています。

- ※公営住宅・・・・公営住宅法及びその関係する法令等に係る国の補助を受け、市が建設、買取又 は借り上げを行い、住宅に困窮する者に賃貸し、又は転貸するための住宅。
- ※単独住宅・・・・公営受託法等の補助を受けずに、市が独自に建設、買取り又は借上げて、住宅 に困窮する者に賃貸し、又は転貸するための住宅。
- ※勤労単身者住宅・・若年勤労単身者の住居を確保するため、市が建設、買取り又は借上げた住宅。
- ※改良住宅・・・・・改良法並びに密集市街地整備促進事業制度要綱に基づき市が建設した住宅。
- ※特別住宅・・・・・旧足尾町が寄附を受け、又は購入した住宅で、市が管理し賃貸する住宅。

## 施設一覧

## (平成 24 年 3 月 31 日現在)

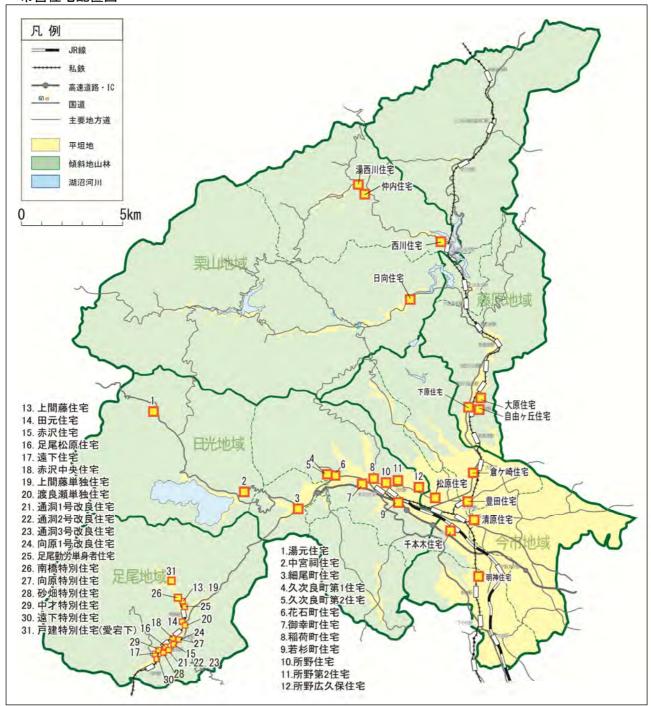
				住	宅	建築	入居		
地区	番号	住宅名	区分	棟数	戸数	年次	入居	入居率 (%)	構造
	1	清原住宅	公営	10	240	S45~50	229	95.4	中耐4:240戸
	2	千本木住宅	公営	17	34	S29~32	23	67.6	準耐平:24戸 木平:15戸
今	3	豊田住宅	公営	3	39	H13~15	38	97.4	中耐3:23戸 中耐4:16戸
市地	4	松原住宅	公営	10	180	H2∼6	174	96.7	中耐3:180戸
域	5	明神住宅	公営	3	36	H7∼9	34	94.4	中耐3:36戸
	6	倉ヶ崎住宅	公営	3	75	H19,20,22	72	96.0	中耐4:75戸
		計		46	604		570	94.4	
	1	湯元住宅	公営	1	12	S55	11	91.7	中耐3:12戸
	2	中宮祠住宅	公営	4	4	S33	2	50.0	木平:4戸
			公営	2	6	S48	3	50.0	準耐平:6戸
			公営	1	12	S56	9	75.0	中耐3:12戸
	3	細尾町住宅	公営	7	10	S29~32	9	90.0	準耐平:4戸 木平:6戸
			単独	3	6	S28	1	16.7	木平:6戸
	4	久次良町第1住宅	公営	1	18	S57	13	72.2	中耐3:18戸
	5	久次良町第2住宅	公営	2	24	S58~59	23	95.8	中耐3:24戸
日	6	花石町住宅	公営	4	72	S51~54	61	84.7	中耐4:72戸
光	7	御幸町住宅	公営	12	35	S29~36,42	15	42.9	準耐平:20戸 準耐2:16戸 木平:7戸
地			単独	3	3	S31.32.42	2	66.7	木平:3戸
域	8	稲荷町住宅	公営	7	13	S25.28	9	69.2	<b>準耐2:8戸 木平:5戸</b>
			単独	1	1	S32	1	100.0	木平:1戸
			公営	1	12	S62	12	100.0	中耐3:12戸
			単独	2	2	S59	2	100.0	木平:2戸
	9	若杉町住宅	公営	10	10	S32	5	50.0	木平:10戸
	10	所野住宅	公営	13	13	S33,36	12	92.3	木平:13戸
	11	所野第2住宅	公営	32	114	S45~50	97	85.1	<b>準耐平:114戸</b>
	12	所野広久保住宅	公営	6	140	H4~7,11~12	131	93.6	中耐3:60戸 中耐4:80戸
		計		112	507		418	82.4	

				住	宅	建築	入居:	状況	
地区	番号	住 宅 名	区分	棟数	戸数	年次	入居	入居率 (%)	構造
	1	大原住宅	公営	14	55	S42~44	36	65.5	<b>準耐平:55</b> 戸
藤			公営	15	82	S46~50	52	63.4	準耐2∶82戸
原	at an		公営	2	34	H12,15	32	94.1	中耐3:34戸
地	2	自由ヶ丘住宅	公営	13	52	S52~54	49	94.2	準耐2∶52戸
域	3	下原住宅	公営	4	20	S54	18	90.0	準耐2∶20戸
		計		48	243		187	77.0	
	1	上間藤住宅	公営	2	30	S56	20	66.7	中耐5:30戸
	2	田元住宅	公営	2	12	S47	8	66.7	準耐2:12戸
	3	赤沢住宅	公営	2	12	S46	11	91.7	準耐2:12戸
	4	足尾松原住宅	公営	2	15	S44	12	80.0	準耐2:15戸
	5	遠下住宅	公営	2	30	S55	16	53.3	中耐5:30戸
	6	赤沢中央住宅	公営	1	9	H5	8	88.9	中耐3:9戸
	7	上間藤単独住宅	単独	2	32	S61	19	59.4	中耐4:32戸
	8	渡良瀬単独住宅	単独	1	16	S63	16	100.0	中耐4:16戸
足	9	通洞1号改良住宅	改良	1	36	H9	33	91.7	高耐6:36戸
尾	10	通洞2号改良住宅	改良	1	18	H10	18	100.0	中耐3:18戸
地	11	通洞3号改良住宅	改良	1	9	H11	8	88.9	中耐3:9戸
域	12	向原1号改良住宅	改良	1	12	H9	11	91.7	中耐3:12戸
	13	足尾勤労単身者住宅	勤労単身	1	18	H2	18	100.0	中耐3:18戸
	14	南橋特別住宅	特別	13	36	T1	11	30.6	木平:36戸
	15	向原特別住宅	特別	10	40	S15	24	60.0	木平:40戸
	16	砂畑特別住宅	特別	7	33	S29	21	63.6	木平:33戸
	17	中才特別住宅	特別	29	91	T1	54	59.3	木平:99戸
	18	遠下特別住宅	特別	1	5	S41	1	20.0	木平:5戸
	19	戸建特別住宅	特別	7	7	S1,S40	5	71.4	木平:7戸
		計		86	461		314	68.1	
	1	日向住宅	公営	2	5	S49	4	80.0	準耐平:5戸
栗	2	湯西川住宅	公営	2	16	H18	16	100.0	低耐2:16戸
地	3	西川住宅	公営	20	20	H13	18	90.0	木平:20戸
域	4	仲内住宅	単独	9	9	H21	6	66.7	木平:9戸
		計		33	50		44	88.0	
	合	計 (44団地)		325	1,865		1,533	82.2	

※ …新規募集停止住宅

※赤字 …非木造

## 市営住宅配置図



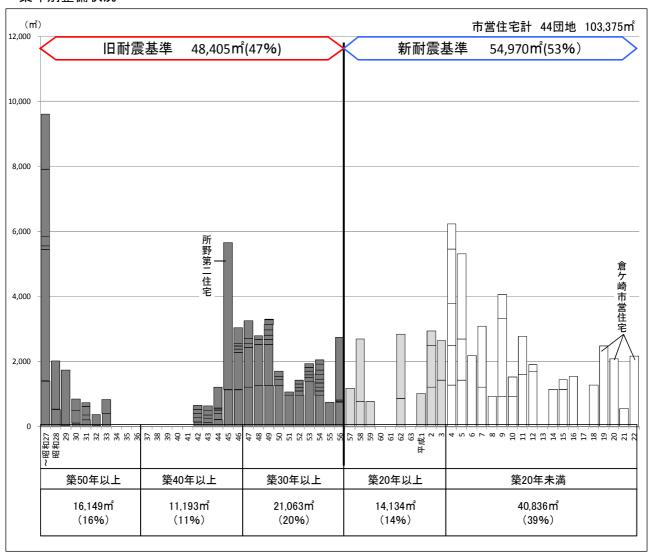
## ② 施設の整備状況

市営住宅は、合計 44 団地 103,375 ㎡あります。

施設の整備状況は、昭和27年以前に建設された特別市営住宅等が7,914㎡で約9%を占めており、その後、昭和45年~昭和59年まで建設が続きました。平成に入ってからも一定規模の建設が現在まで続いています。

また、施設の耐震状況では、昭和 56 年以前に建設された旧耐震基準の建物が 48,405 ㎡ (約 47%)、新耐震基準の建物が 54,970 ㎡ (約 53%) となっています。

#### 築年別整備状況



## ③ 地域別構造別耐用年数経過状況

平成 24年3月末時点で管理していた 44 団地、1,865 戸のうち、耐用年数経過戸数は 521 戸(28%)となっています。

地域別では、日光地域、足尾地域で耐用年数を経過している割合が 40%以上となっており、 特に老朽化が進行しています。

## 地域別構造別耐用年数経過状況

◇ 構造別戸数と耐用年限経過戸数(市営住宅等)…平成 24 年 3 月 31 日現在

		構造	木造	簡平(準平)	簡2(準2)	耐火	計
全市	管理 <u>戸</u> 数		313 戸	223 戸	209 戸	1, 120 戸	1,865 戸
		耐用年数経過戸数	282 戸	223 戸	16 戸	0戸	521 戸
		割合	90. 0%	100.0%	7. 6%	0. 0%	27. 9%
今市地域	管理	戸数	15 戸	19 戸	0戸	570 戸	604 戸
		耐用年数経過戸数	15 戸	19戸	0戸	0戸	34 戸
		割合	100.0%	100.0%	_	0.0%	5.6%
日光地域	管理	戸数	57 戸	144 戸	16 戸	290 戸	507 戸
		耐用年数経過戸数	55 戸	144 戸	16 戸	0戸	215 戸
		割合	96. 5%	100.0%	100.0%	0.0%	42.4%
藤原地域	管理	戸数	0戸	55 戸	154 戸	34 戸	243 戸
		耐用年数経過戸数	0戸	55 戸	0戸	0戸	55 戸
		割合		100.0%	0.0%	0.0%	22.6%
足尾地域	管理	戸数	212 戸	0戸	39 戸	210 戸	461 戸
		耐用年数経過戸数	212 戸	0戸	0戸	0戸	212 戸
		割合	100.0%	_	0.0%	0.0%	45.9%
栗山地域	管理	戸数	29 戸	5戸	0戸	16 戸	50 戸
		耐用年数経過戸数	0戸	5戸	0戸	0戸	5戸
		割合	0.0%	100.0%	_	0.0%	10.0%

(資料:日光市公営住宅等長寿命化計画 H24年3月)

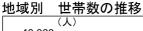
※構造別耐用年数:[木造・簡易耐火(準耐火) 平屋];30年、[簡易耐火(準耐火) 2階建];45年、 [耐火造];70年

#### 2) 利用状況

## ■ 世帯数と市営住宅数

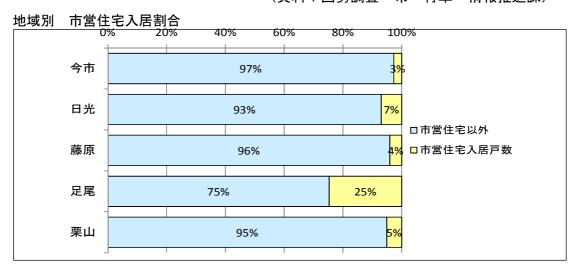
直近 15 年間の世帯数の推移をみると、平成 7 年度 33,177 世帯から平成 22 年度 33,926 世帯と微増傾向にはありますが、ほぼ横ばいで推移しています。地域別では、今市地域では平成 7年度 18,143 世帯から平成 22年度 21,147世帯と 3,004世帯約 1.2倍の増加に対し、他 の地域は減少傾向にあります。中でも足尾地域は、31%減少と減少率が大きくなっています。

地域別の市営住宅入居割合では、足尾地域で全世帯の約25%(4世帯に1世帯の割合)が市 営住宅入居世帯となっており、最も高い割合となっています。





(資料:国勢調査・市・行革・情報推進課)

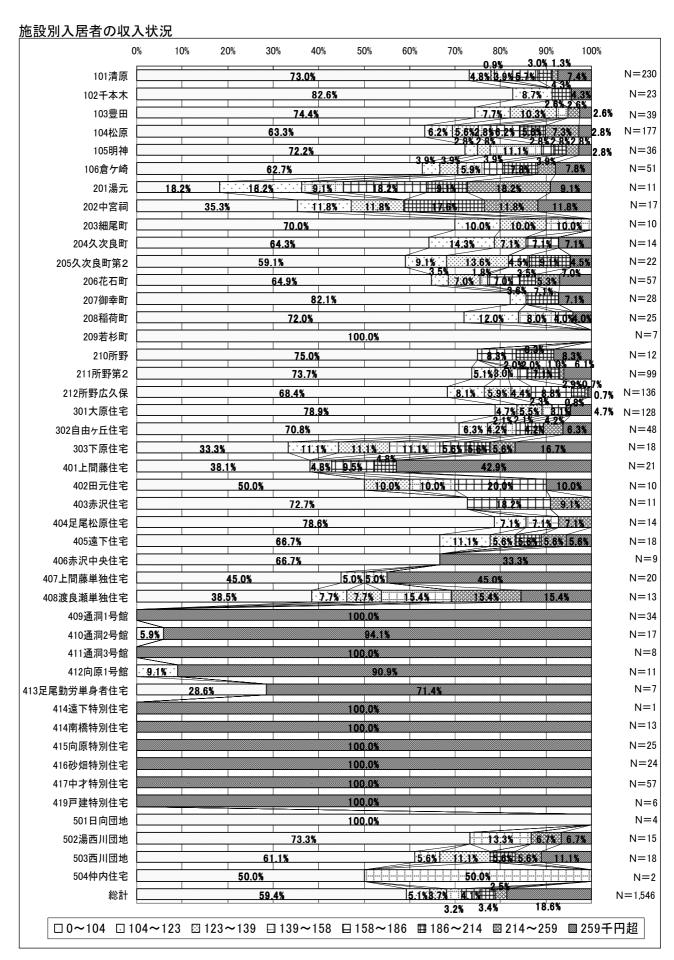


#### ■ 入居者の収入

公営住宅の入居者の収入(月収)では、10.4万円以下の世帯が各住宅とも半分以上を占めて いますが、足尾地域の改良住宅及び特別住宅では収入基準超過者が多くなっています。

◇市営住宅等居住世帯の収入 (政令月収)

	0~104	104~123	123~139	139~158	158~186	186~214	214~259	259千円超	計
世帯数	918	79	57	50	63	52	39	288	1,546
割合	59.4%	5. 1%	3. 7%	3. 2%	4. 1%	3.4%	2.5%	18.6%	100.0%



## 3) コスト状況

## ① トータルコスト

平成22年度の市営住宅の年間トータルコストは、6億7,143万円です。

その内訳は、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)が7,387万円(11%)、 事業運営にかかるコスト(人件費・その他物件費)が1億926万円(16%)、減価償却相当額が4億8,831万円(73%)となっています。

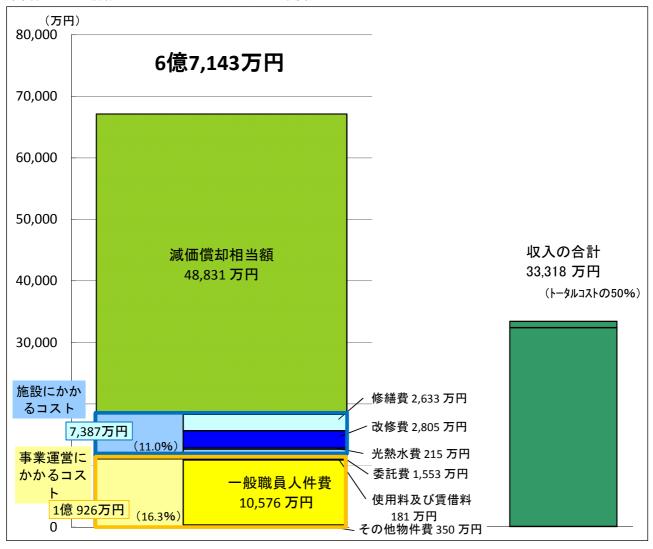
施	設別	行政コス	く ト計算	書(平成	22 年度)	)						(	(千円)
	全収支を トの部	を伴うもの 】		清原住宅	千本木住宅	豊田住宅	松原住宅	明神住宅	倉ケ崎住宅	湯元住宅	中宮祠住宅	細尾町住宅	久次良町第 1住宅
+4	_ <b>修</b>	繕費		2,358	545	391	1,743	1,247	1,247	365	185	620	267
施製	3 - J- /	修費		0		•		662	662	0	257	1,528	0
コにスカ		熱水費	101100000000000000000000000000000000000	19				19	19	0	0	0	0
	)± (	<u>託費</u> 用料及び賃借	¥:1	3,383				957 0	957 0	201 767	222 575	0	54 0
'カ		<del>用れ及り負値</del> 設にかかるコス		5,760		_		2,885	2,885	1,333	1,239	2,148	321
_ 1=			NI*			· ·							
1 to	Alle. commonto	<del>般職員人件費</del> の他物件費		9,742				1,486 51	1,486 51	586 34	1,075 48	782 32	879 36
スト	連 工	業運営にかかん	るコスト	10.071	1,623			1,537	1,537	620	1,123	814	915
	-   -	ジャン・ 計	<u> </u>	15,831	5,192		- 1	4,422	4,422	1,953	2,362	2,962	1,236
				10,001	0,132	0,100	14,070	7,722	7,722	1,000	2,002	2,502	1,200
【収入		中へながられ	△ / Ilm 7 \	1 0			1 0	011	011		0	0	
収入		担金及び負担: 用料収入	並(収入)	38.897	<u>-</u>			211 11,981	211 11,981	2,566	3,321	0 205	0 3,433
127	2000000000	<del>用和权人</del> 収入	nogramment and the second	00,037	***************************************		1,338	296	296	2,300	114	684	0,400
収入の				38,897		13,996		12,488	12,488	2,566	3,435	889	3,433
Ⅱ.現金	シ収支を	を伴わないもの	)	•	•	•	•	•	•				
コス	` 減(	価償却相当額		72,652	0	22,985	76,651	16,909	16,909	4,543	4,549	0	7,062
Ⅲ.総拮	<b>5</b>												
コスト	の部合	計(トータル:	コスト)	88,483	5,192	28,094	90,724	21,331	21,331	6,496	6,911	2,962	8,298
収支差	額(ネ	ットコスト)		49,586	3,441	14,098	32,529	8,843	8,843	3,930	3,476	2,073	4,865
久次良 2住宅	上町第	花石町住宅	御幸町住宅	稲荷町住宅	若杉町住宅			所野広久保 住宅		自由ヶ丘住 宅	下原住宅	上間藤住宅	田元住宅
	上町第 138	680	御幸町住宅 846	稲荷町住宅 95	0	所野性毛 18					下原住宅	上間藤住宅	0
	138 0	680	846 0	95 0	0 326	所野住モ 18 4,071	宅 2,097 0	住宅 1,284 2,573	入原任 <del>七</del> 2,170 4,771	宅 4,081 0	956 886	47 1,163	1,163
	138 0 0	680 0 0	846 0 0	95 0 0	0 326 0	所野住毛 18 4,071 0	宅 2,097 0 0	住宅 1,284 2,573 0	2,170 4,771 0	宅 4,081 0 0	956 886 0	47 1,163 1,866	0 1,163 0
	138 0	680	846 0	95 0	0 326	所野住モ 18 4,071	宅 2,097 0	住宅 1,284 2,573	入原任 <del>七</del> 2,170 4,771	宅 4,081 0	956 886	47 1,163	1,163
	138 0 0 54	680 0 0 874	846 0 0	95 0 0 201	0 326 0	所野住毛 18 4,071 0 84	宅 2,097 0 0 182	住宅 1,284 2,573 0 509	2,170 4,771 0 1,035	宅 4,081 0 0 54	956 886 0 54	47 1,163 1,866 128	0 1,163 0 128
	138 0 0 54 0	680 0 0 874 443	846 0 0 0	95 0 0 201	0 326 0 0	所野住毛 18 4,071 0 84 0	宅 2,097 0 0 182 0	住宅 1,284 2,573 0 509 0	2,170 4,771 0 1,035 0	宅 4,081 0 0 54 0	956 886 0 54	47 1,163 1,866 128 0	0 1,163 0 128
	138 0 0 54 0	680 0 0 874 443 1,997	846 0 0 0 0 0	95 0 0 201 0 296	0 326 0 0 0 326	18 4,071 0 84 0 4,173	宅 2,097 0 0 182 0 2,279	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976	宅 4,081 0 0 54 0 4,135	956 886 0 54 0	47 1,163 1,866 128 0 3,204	0 1,163 0 128 0
	138 0 0 54 0 192	680 0 0 874 443 1,997 3,517	846 0 0 0 0 0 846	95 0 0 201 0 296 1,368	0 326 0 0 0 326 489	18 4,071 0 84 0 4,173 635	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429	宅 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300	956 886 0 54 0 1,896 2,039	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075	0 1,163 0 128 0 1,291 430
	138 0 0 54 0 192 1,172 58	680 0 0 874 443 1,997 3,517	846 0 0 0 0 0 846 1,856 82	95 0 0 201 0 296 1,368 64	0 326 0 0 0 326 489 21	用事件主モ 18 4,071 0 84 0 4,173 635 33	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274	宅 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101	956 886 0 54 0 1,896 2,039	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56	0 1,163 0 128 0 1,291 430
	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645	846 0 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432	0 326 0 0 0 326 489 21	用事件主モ 18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703	年 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444
	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642	846 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728	0 326 0 0 0 326 489 21	門事門生モ 18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703	年 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735
	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230 1,422	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642	846 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728	0 326 0 0 0 326 489 21 510 836	所事性モ 18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787 8,066	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252 11,618	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703 25,679	全 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401 9,536	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093 3,989	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735
	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230 1,422 0 4,963 0	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642	846 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728	0 326 0 0 0 326 489 21 510 836	所事件主モ 18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841 0 519 1,829	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787 8,066	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252 11,618	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703 25,679 0 21,688 2,143	宅 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401 9,536	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093 3,989 0 5,471 398	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735
	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230 1,422	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642	846 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728	0 326 0 0 0 326 489 21 510 836	所事性モ 18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787 8,066	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252 11,618	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703 25,679	全 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401 9,536	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093 3,989	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735
	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230 1,422 0 4,963 0	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642	846 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728	0 326 0 0 0 326 489 21 510 836	所事件主モ 18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841 0 519 1,829	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787 8,066	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252 11,618	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703 25,679 0 21,688 2,143	宅 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401 9,536	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093 3,989 0 5,471 398	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735
	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230 1,422 0 4,963 0	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642 0 11,502 0	846 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728	0 326 0 0 0 326 489 21 510 836	所事件主モ 18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841 0 519 1,829	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787 8,066	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252 11,618	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703 25,679 0 21,688 2,143	宅 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401 9,536	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093 3,989 0 5,471 398	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735
	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230 1,422 0 4,963	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642 0 11,502 0	846 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784 0 1,369	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728	0 326 0 0 0 326 489 21 510 836	18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841 0 519 1,829 2,348	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787 8,066	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252 11,618 0 36,682 1,156 37,838	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703 25,679 0 21,688 2,143 23,831	宅 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401 9,536 0 14,710 0	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093 3,989 0 5,471 398 5,869	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335 0 5,535 0	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735
2住宅	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230 1,422 0 4,963	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642 0 11,502 0	846 0 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784 0 1,369	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728	0 326 0 0 0 326 489 21 510 836	18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841 0 519 1,829 2,348	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787 8,066	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252 11,618 0 36,682 1,156 37,838	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703 25,679 0 21,688 2,143 23,831	宅 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401 9,536 0 14,710 0	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093 3,989 0 5,471 398 5,869	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335 0 5,535 0	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735
2住宅	138 0 0 54 0 192 1,172 58 1,230 1,422 0 4,963 0 4,963	680 0 0 874 443 1,997 3,517 128 3,645 5,642 0 11,502 0 11,502 25,649	846 0 0 0 846 1,856 82 1,938 2,784 0 1,369 0	95 0 0 201 0 296 1,368 64 1,432 1,728 0 4,805 0 4,805	0 326 0 0 0 326 489 21 510 836	18 4,071 0 84 0 4,173 635 33 668 4,841 0 519 1,829 2,348	宅 2,097 0 0 182 0 2,279 5,569 218 5,787 8,066 0 8,301 0 8,301	住宅 1,284 2,573 0 509 0 4,366 6,839 413 7,252 11,618 0 36,682 1,156 37,838	2,170 4,771 0 1,035 0 7,976 17,429 274 17,703 25,679 0 21,688 2,143 23,831	宅 4,081 0 0 54 0 4,135 5,300 101 5,401 9,536 0 14,710 0 14,710	956 886 0 54 0 1,896 2,039 54 2,093 3,989 0 5,471 398 5,869	47 1,163 1,866 128 0 3,204 1,075 56 1,131 4,335 0 5,535 0 5,535	0 1,163 0 128 0 1,291 430 14 444 1,735

(千円)

0         0         364         483         306         339         1,223         169         77         0         578           0         1,163         1,163         0         0         1,163         0 <td< th=""><th>30 0 0 0 0 30 1,289 69</th><th>465 0 0 0 0 0 465</th></td<>	30 0 0 0 0 30 1,289 69	465 0 0 0 0 0 465
0         0         0         0         0         0         0         186         0           128         128         128         128         128         884         128         128         128           0	0 0 0 30 1,289	0 0 0 465
128         128 <td>0 0 30 1,289</td> <td>0 0 465</td>	0 0 30 1,289	0 0 465
0         0	0 30 1,289	0 465
430 537 1,075 322 1,146 573 1,289 645 322 430 645	1,289	
	09	1,433 82
455 553 1,121 344 1,198 600 1,367 674 336 460 662	1,358	1,515
583 1,844 2,776 955 1,632 2,230 3,474 971 541 774 1,368	1,388	1,980
0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0
1,039 1,183 3,171 3,060 5,587 3,173 13,629 7,190 3,558 3,924 1,637 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	462 0	619 0
1,039 1,183 3,171 3,060 5,587 3,173 13,700 7,190 3,558 3,924 1,637	462	619
0 3,808 11,482 13,050 11,725 6,061 14,141 3,448 6,942 4,460 2,659	0	0
0 0,000 11,102 10,000 11,720 0,001 11,111 0,110 0,012 1,100 2,000	<u> </u>	
583 5,652 14,258 14,005 13,357 8,291 17,615 4,419 7,483 5,234 4,027	1,388	1,980
-456     4,469     11,087     10,945     7,770     5,118     3,915     -2,771     3,925     1,310     2,390	926	1,361
砂畑特別市 中才特別市 遠下特別市 営住宅 日向住宅 湯西川住宅 西川住宅 仲内住宅 合計		
191 147 0 14 0 315 246 0 26.327修繕費		施
0         0         0         0         0         0         28,050         改修費           0         0         0         0         0         0         0         2,147         比熱水費		っ設
0 0 0 0 0 0 0 0 15,531 委託費		コに
0 0 0 27 0 0 0 1,812使用料及び賃借料		へ ト か
191 147 0 41 0 315 246 0 73,867 施設にかかるコスト		る る
1,182     3,259     179     251     1,651     5,284     6,605     2,972     105,758     一般職員人件費		ロカルギ
63     211     6     29     18     46     92     44     3,495 その他物件費       1,245     3,470     185     280     1,669     5,330     6,697     3,016     109,254 事業運営にかかるコスト		ストる常
1,436 3,617 185 321 1,669 5,645 6,943 3,016 183,121 現金収支を伴うコスト 計		<u>る</u>
0         0         0         0         0         0         422份担金なび負担金(収入)		UT 7
1,365     2,136     22     477     353     3,391     5,655     1,035     322,706 使用料収入       0     0     0     0     0     0     0     10,050 諸収入		収入
1,365 2,136 22 477 353 3,391 5,655 1,035 333,178 収入の合計		
0 0 0 0 0 0 95 255 7,028 488,304 減価償却相当額		コスト
1,436 3,617 185 321 1,669 5,740 7,198 10,044 671,425 コストの部合計(トータルコ	スト)	
71 1,481 163 -156 1,316 2,349 1,543 9,009 338,247 収支差額(ネットコスト)		

また、市営住宅にかかる年間トータルコストの中で、一般職員人件費合計が、1億576万円でトータルコストの約16%を占めています。

市営住宅 全施設トータルコスト (平成22年度)

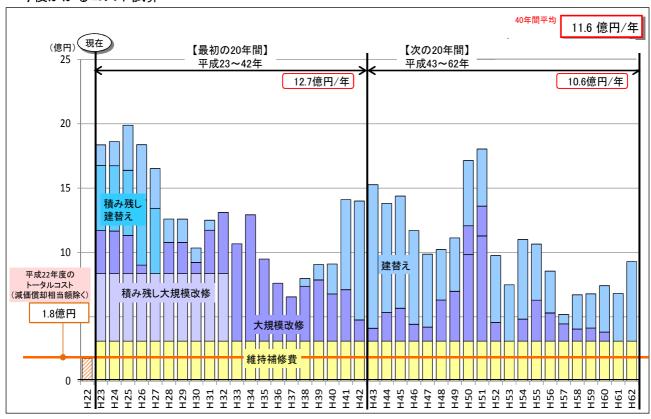


## ■ 今後 40 年間にかかるコスト試算(シュミレーション)

今後 40 年間にかかるコストを総務省が公表しているソフトにより試算すると、年平均 11.6 億円の費用が必要となります。特に、昭和 50 年以前に建設された多くの市営住宅が更新の時期を迎えています。

そのため、市では、「日光市公営住宅等長寿命化計画(平成23年3月)」を作成し、安全で快適な住まいを長期にわたって安定的に確保するため、修繕、改善、建替え等の市営住宅等の活用手法を定め、長期的な維持管理を実現していくこととしています。

#### 今後かかるコスト試算



#### ≪試算条件≫

#### a) 前提

- 現状の施設規模・施設内容を維持することを前提としてコスト試算を行う。
- 施設の統廃合による施設数の増減、および増減築による建物面積の増減については考慮していない。

#### b) 条件

- 建築物の耐用年数は60年と仮定する。大規模改修は、建設後30年で行い、その後30年で建替えると仮定する。
- 建替え及び大規模改修予算は、年度ごとのばらつきを軽減させるために、

建替え : 3年間

大規模改修 : 2年間 に振り分けて、予算計上する。

• 平成22年度(2010年度)以前に大規模改修の時期を迎えている施設のうち、築31年以上50年経過した施設については、最初の10年間(平成23年度(2011年度)~平成32年度(2020年度)で均等に大規模改修を実施する。

## c) <u>単</u>価

	7+++ =	++++++++++++++++++++++++++++++++++++++
	建	<b>大規模</b> 改修
市営住宅	28 万円/㎡	17 万円/㎡

## 4) 今後の検討の視点

- 建物の耐震性、老朽化の面では、非耐火造が 41%、耐用年数経過戸数が 29%となっており、特に日光地域、足尾地域で耐用年数を経過している割合が 40%以上で老朽化の進行が著しく、早急な対応が必要です。一方で、栗山地域では近年も建設されているなど、市内においても地域によって状況は異なることから、今後は、標準修繕周期をふまえて、定期的な点検を行い、適切な時期に予防保全的な修繕を行うことにより、居住性・安全性等の維持・向上を図り、長期的に活用していくことが重要です。
- 昭和50年以前に建設された多くの市営住宅が更新の時期を迎え、早期の建替えや修繕・ 改善など効率的・効果的な市営住宅ストックの運営管理が必要となっています。そこで、 市では、「日光市公営住宅等長寿命化計画(平成23年3月)」に基づいて、安全で快適な 住まいを長期にわたって安定的に確保するため、修繕、改善、建替え等の市営住宅等の活 用手法を定め、長期的な維持管理を実現していくこととしています。

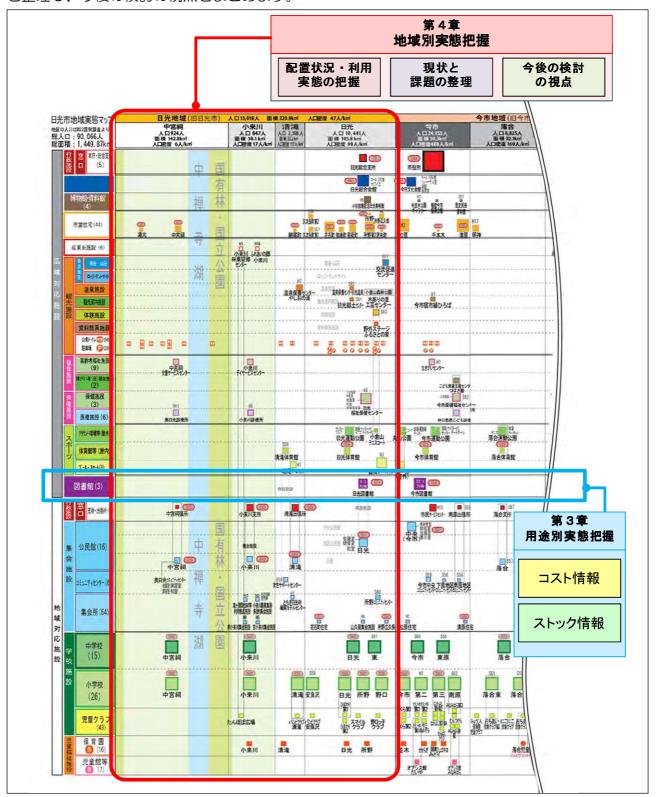
# 第4章 地域別実態把握

- (1) 今市地域
- (2) 日光地域
- (3) 藤原地域
- (4) 足尾地域
- (5) 栗山地域

## 第4章 地域別実態把握

今後、公共施設の有効活用や統廃合を検討するためには、第3章で検証した用途ごとの実態把握に加え、第1章で把握した各地域の特性や人口推計などを踏まえ、総合的に改善の方向性を検討する必要があります。

第4章では、5地域ごとに公共施設の利用実態や整備状況等を整理した上で、地域ごとの課題を整理し、今後の検討の視点をまとめます。



## (1) 今市地域

#### ■地域の概要及び特性

#### 概要

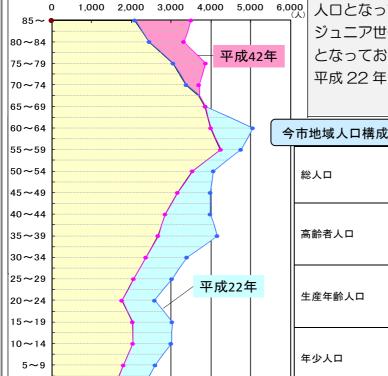
今市地域は、面積が243.54km、人口60,831人、人口密度は約250人/kmです。 東武日光線とJR日光線に囲まれた日光市の中心市街地で、公共公益・商業・居住機能などの機能集積が進み、拠点性が最も高い地域となっています。企業への通勤者や通学者など、 交流人口が多いのが特徴となっています。北部と南西部の一部が都市計画区域外であり、その他は非線引き都市計画区域となっています。

今市地域は、日常生活圏として今市・落合・豊岡・大沢・塩野室地区の5つの地区に区分されています。今市地区は、今市地域の北西部に位置し、日光街道と例幣使街道、会津西街道が合流する要衝の地として発展し、市役所などの公共施設が集積しています。落合地区は、今市地域の南部に位置し、宇都宮市や鹿沼市に隣接する地区です。豊岡地区は、今市地域の北部に位置し、市街地と月山などの山間部から構成されており、鬼怒川温泉や福島県へと続く交通の要衝となっている地区です。大沢地区は、今市地域の南東部に位置し、宇都宮市に隣接する拠点地域で、下野大沢駅や日光宇都宮道路の大沢インターチェンジなどの周辺部に新たな生活圏域が形成されています。塩野室地区は、今市地域の東部に位置する穀倉地帯で、地区のほぼ全域に水田が開けています。

#### 人口

市の5地域の中では最も人口が多く、平成22年時点で、市全体の約68%を占めています。 また、人口密度も250人/k㎡と最も高くなっています。

平成 22 年から平成 42 年までの将来予測では、今後 20 年間で 8,406 人減少する予測ですが、減少率は約 13.8%と 5 地域の中で最も低くなっています。生産年齢人口、年少人口の割合は 5 地域中、最も高くなっています。平成 22 年は、団塊世代である 60~64 歳が最多



3,000 4,000 5,000 6,000 人口となっていますが、平成 42 年では、団塊 ジュニア世代といわれる 55~59 歳が最多人口 となっており、平成 42 年の最多人口年齢層は 平成 22 年と比べて下がっています。

<b>7</b>	市地域人口構成	平成2年	平成22年	平成42年	
		56,008人	60,831人	52,425人	
	総人口	 増減率	+4,823人 (+8.6%)	-8,406人 (-13.8%)	
	高齢者人口	7,738人 (13.8%)	) 14,825人 (24.4%)	) 18,265人 (34.8%)	
	同間日八日	増減率	+7,087人 (+91.6%)	+3,440人 (+23.2%)	
	生産年齢人口	37,516人 (67.0%)	) 37,979人 (62.6%)	28,731人 (54.8%)	
	王 <u>库</u> 平断入口	増減率	+463人 (+1.2%)	-9,248人 (-24.4%)	
	年少人口	10,725人 (19.2%)	> 7,879人 (13.0%)	5,430人 (10.4%)	
	サッヘロ	増減率	-2,846人 (-26.5%)	-2,449人 (-31.1%)	

#### ■公共施設の配置状況

#### 《今市地域全域》

今市地域には、市内の公共施設の44.7%に当たる23.1万㎡ありますが、地域における市民一人当たりの保有面積は、3.80㎡となっています。保有面積で見ると、学校施設が50.6%と最も多く、次いで、公営住宅の17.4%となっています。また、広域対応の施設のクリーンセンターなどの供給処理施設の面積が地域内の8.3%を占めているほか、庁舎、支所などの行政施設が最も多くなっていることが特徴です。

## 〇学校施設

市内で最も年少人口の多い地域であるため、学校数も多く、小学校が13校、中学校が6校となっています。小学校のうち、1学年1学級に満たない学校が13校中2校となっています。また、築後30年を経過し、すでに老朽化している学校は3校にとどまるものの、20年以上経過している小中学校が13校あり、今後、老朽化に対し、同時期に対応する必要があります。なお、すべての小中学校で耐震化に対応していますが、今市中学校旧屋内運動場と卓球場は平成24年度に改築、今市第三小学校の屋内運動場は平成26年度までに改築予定です。

## 〇市営住宅

今市地域内の6つの市営住宅には、604 戸中、570 戸に入居があり、94.4%の入居率となっています。最も建築年度が古い千本木住宅は、老朽化していることから、既に新規入居を停止しています。また、清原住宅も築後30~40 年が経過しており、老朽化への対応が必要な状況にあります。

#### 〇公民館

今市地域内の公民館は、700 ㎡~1,200 ㎡規模で、すべて5地区の支所と併設になっています。また、大沢公民館を除き、築後30年を経過している施設であることに加え、豊岡公民館と小林公民館では耐震化未対応の状況にあります。利用状況をみると、今市地域内の各公民館は、他の地域に比べ利用人数が比較的多いものの、稼働率は12~26%程度にとどまっています。

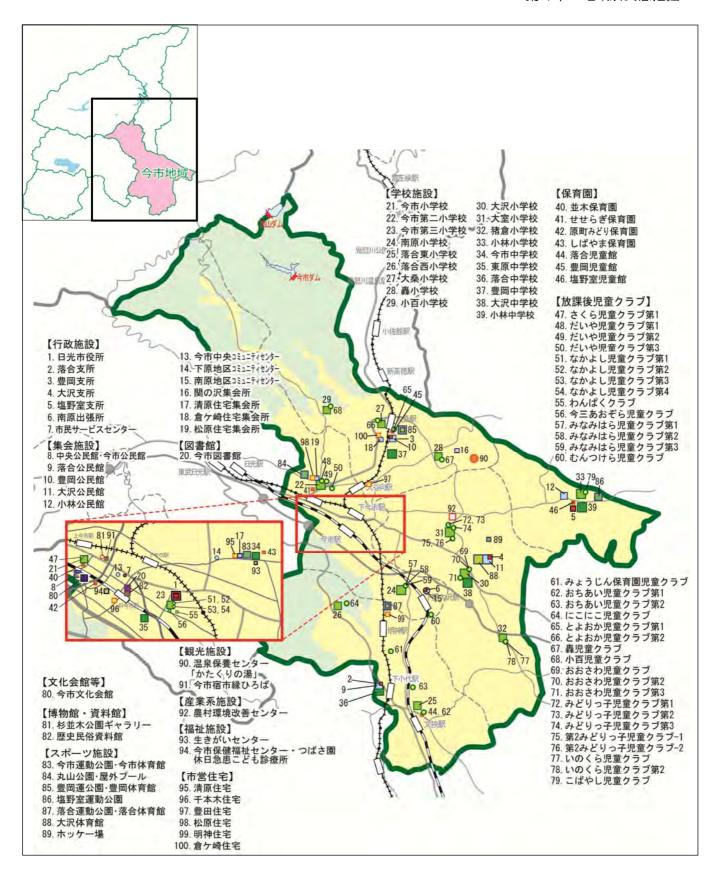
#### 〇コミュニティセンター・集会施設

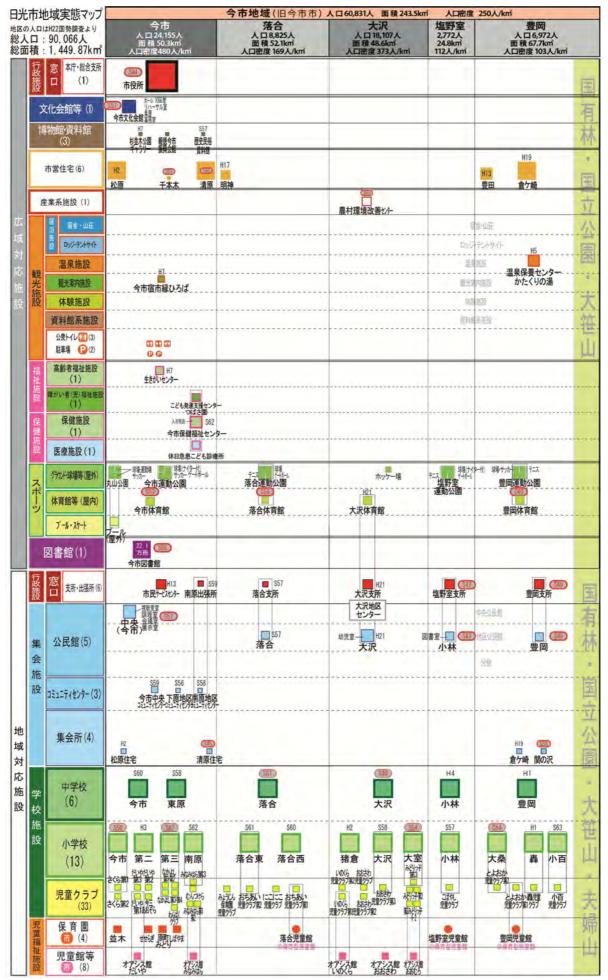
今市地区のコミュニティセンターは、250 ㎡~800 ㎡規模で、3 施設あります。なお、南原コミュニティセンターは、今市・落合・大沢地区にまたがる新たな市街地として拠点性の高い JR 下野大沢駅周辺地域に設置されています。3 施設とも、築後 30 年前後となっており、今後、老朽化への対応が必要な状況にあります。利用状況は、今市中央と南原で 15,000~18,000 人が利用しているものの、下原は、4,000 人程度にとどまっています。

また、自治会等が使用する小さな集会施設は、それぞれの自治会で所有していることが多く、市が保有している集会所は、今市地区と豊岡地区にある市営住宅の集会所などの4施設となっています。

#### 〇その他施設

その他にも今市文化会館、杉並木公園ギャラリー、図書館、歴史民俗資料館等の社会教育施設や 体育館、運動公園等のスポーツ施設のほか、市民活動支援センターなど広域対応の施設が配置され ています。

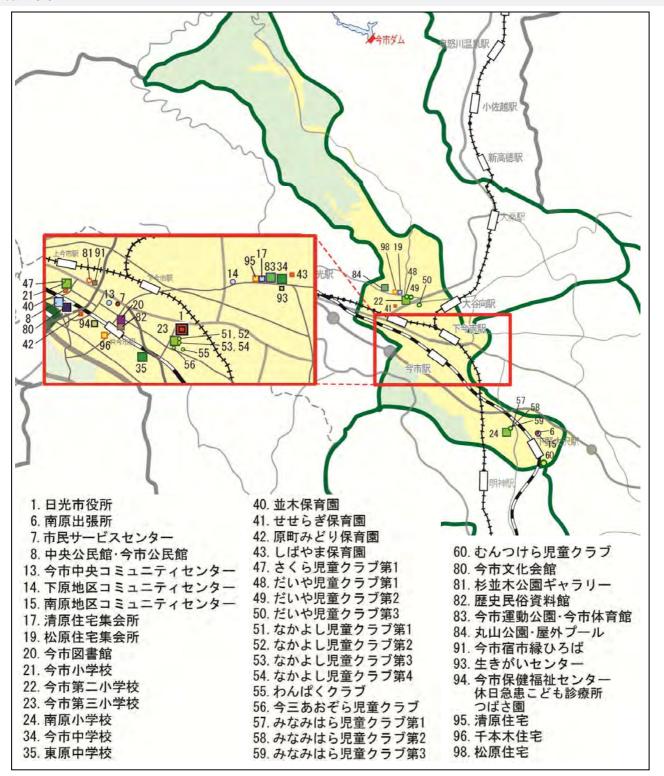




## ■公共施設の配置状況

#### 《今市地域今市地区》

今市地区は、今市地域の中で最も大きな地区で、人口は、24,155 人、人口密度は、480 人/k㎡と市内で最も人口が集中した地区となっています。地区の公共施設面積は 10.5 万㎡で、人口 1 人当たりの保有面積は 4.38 ㎡です。また、市の中心核と位置付けられ、市役所本庁舎のほか、ほぼすべての種別の公共施設が配置されています。特に、中央公民館、今市文化会館、今市図書館、クリーンセンター、市営住宅、市民活動支援センターなど広域対応施設が多く、個々の施設の規模が比較的大きいことが特徴です。



# 《今市地域落合地区》

落合地区は、人口 8,825 人で、人口密度は、169 人/k㎡となっています。過去5年間の人口の推移を見ると今市地域の平均を上回るスピードで減少しています。

また、地区の公共施設面積は 2.8 万㎡で、人口 1 人当たりの保有面積は 3.22 ㎡です。地区内の公共施設は、落合支所・公民館のほか、小中学校、児童福祉施設の地域対応施設がほとんどで、広域対応施設は、明神市営住宅、落合運動公園の2施設となっています。

字市駅 字市駅 字市駅 999 明神駅 0 61 2 25 0 44, 62 文井水駅

2. 落合支所

9. 落合公民館

25. 落合東小学校

26. 落合西小学校

36. 落合中学校44. 落合児童館

61. みょうじん保育園児童クラブ 62. おちあい児童クラブ第1

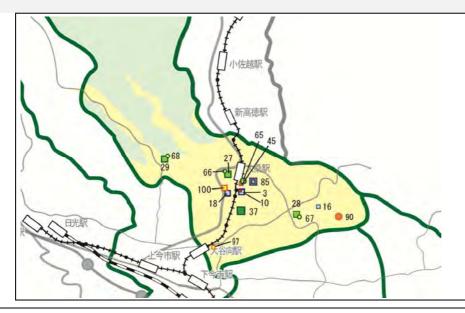
63. おちあい児童クラブ第2 64. にこにこ児童クラブ

87. 落合運動公園·落合体育館

99. 明神住宅

# 《今市地域豊岡地区》

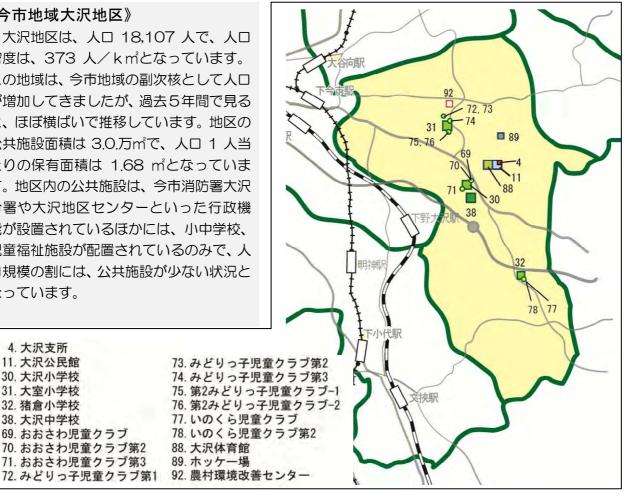
豊岡地区は、人口 6,972 人ですが、山間部が多いため、人口密度は、103 人/k㎡となっています。地区の公共施設面積は 5.4 万㎡で、人口 1 人当たりの保有面積は 7.81 ㎡です。今市地区と藤原地域の間に位置することから、今市地域内でも比較的多様な種別の公共施設があります。行政機能として豊岡支所のほか、今市地区に隣接する場所に消防本部が設置されています。さらに、温泉保養施設や運動公園、市営住宅などの広域対応施設も配置されています。地域対応施設は、小中学校のほか豊岡児童館があります。なお、併設となっている支所・公民館は、築後 40 年近く経過し、老朽化していることに加え、耐震化にも未対応の状況となっています。



- 3. 豊岡支所
- 10. 豊岡公民館
- 16. 関の沢集会所
- 18. 倉ケ崎住宅集会所
- 27. 大桑小学校
- 28. 轟小学校
- 29. 小百小学校
- 37. 豊岡中学校
- 45. 豊岡児童館
- 65. とよおか児童クラブ第1
- 66. とよおか児童クラブ第2
- 67. 轟児童クラブ
- 68. 小百児童クラブ
- 85. 豊岡運公園·豊岡体育館
- 90. 温泉保養センター「かたくりの湯」
- 97. 豊田住宅
- 100. 倉ケ崎住宅

# 《今市地域大沢地区》

大沢地区は、人口 18,107 人で、人口 密度は、373 人/k㎡となっています。 この地域は、今市地域の副次核として人口 が増加してきましたが、過去5年間で見る と、ほぼ横ばいで推移しています。地区の 公共施設面積は 3.0.万㎡で、人口 1 人当 たりの保有面積は 1.68 ㎡となっていま す。地区内の公共施設は、今市消防署大沢 分署や大沢地区センターといった行政機 能が設置されているほかには、小中学校、 児童福祉施設が配置されているのみで、人 口規模の割には、公共施設が少ない状況と なっています。



# 《今市地域塩野室地区》

69. おおさわ児童クラブ

70. おおさわ児童クラブ第2 71. おおさわ児童クラブ第3

4. 大沢支所 11. 大沢公民館

30. 大沢小学校

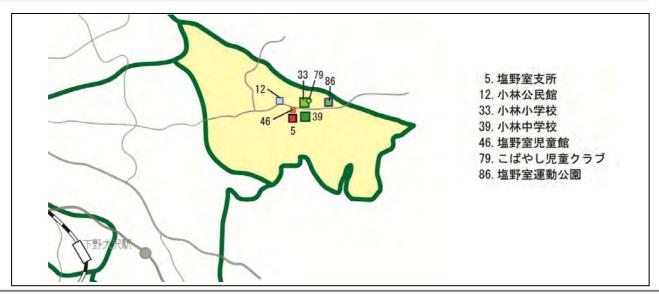
31. 大室小学校

32. 猪倉小学校 38. 大沢中学校

塩野室地区は、人口 2,772 人で、今市地域で最も小さな地区で足尾地域とほぼ同程度のとなってい ますが、人口密度は、足尾地域の 7.5 倍となる 112 人/k㎡です。地区の公共施設面積は 1.3 万㎡ で、人口 1 人当たりの保有面積は 4.69 ㎡です。公共施設は、塩野室支所・小林公民館のほか、運動 公園、小中学校、塩野室児童館があります。なお、併設となっている支所・公民館は、築後 40 年が 経過し、老朽化していることに加え、耐震化にも未対応の状況となっています。

88. 大沢体育館

89. ホッケー場



## ■今後の課題

# 人口動態の変化からみる課題 地域の年齢階層ごとの人口変化と必要な施設の検討

今市地域の人口は、平成12年をピークに減少傾向に転じ、平成22年度までの10年間で1,645人(2.6%)減少しました。市全体の減少率(-8.2%)と比較すると、減少幅は小さいものの、高齢者人口は、他地域に比べ急増しています。この傾向は、今後20年間の推計でも続くと予測され、地域の総人口が13.8%の減少となる一方で、高齢者人口は、市内で唯一増加する地域となっており、3,440人(23.2%)増加する見込みとなっています。

つまり、今後、今市地域では、新たに高齢者となった退職者等が増え、地域内で活動するようになると予測できます。そのため、これらの人たちが利用する施設に対する需要が高まるとともに、高齢者を活用した施設の管理方法を検討する必要があります。

また、地区別の人口を見ると、今市地区と塩野室地区では、約8倍もの差があり、人口構成も異なっていることから、それぞれの地区の市民ニーズが違ってくることも想定されます。さらに、地区別の人口の推移を見ると、減少の幅は小さいものの、全体として減少傾向にあります。そのため、生活の移動圏域を想定し、それぞれの地区の市民ニーズを的確に捉えた上で、比較的人口の多い今市地区や大沢地区を中心に、地域内に必要な機能を抽出し、施設の再整備を図っていく必要があります。

加えて、今市地域は、日光市の中心核として位置付けられていることから、他地域の人口動態を見据えた上で、広域対応の施設の再配置についても検討する必要があります。

# 施設の保有機能からみる課題 地区単位の施設利用率と現有施設・機能の適合性の検討

地域内には、会議や集会等を行える集会施設が公民館・コミュニティセンターなど計12施設整備されています。いずれも、稼働率5%~26%と低く、特に今市地区にはこれらの施設が6施設あるものの、平均稼働率は、約25%にとどまっています。そのため、利用者が求めるニーズと現在提供しているサービス(施設数及び機能)とのバランスを検証し、今後の高齢者数の増加も視野に入れた上で、施設統合等による利用想定や費用対効果等を踏まえつつ、公共サービスを向上することができるような施設配置の計画等を策定する必要があります。

また、O~14歳の子どもに着目すると、今後20年間でさらに30%以上が減少し、5,400 人程度になると予測されることから、学校施設や保育所などの児童福祉施設についても、通 学区域等に配慮しながら保有施設を有効に活用するという視点で検討することが必要となり ます。

#### 施設保全の課題 災害時の拠点整備・安全性の確保等の検討

地域内には、市役所本庁舎や各地区の支所はもとより、中央公民館、図書館など市の行政 サービスの中心となる施設が集積しています。これらの建物は、災害時において避難所など、 特に重要な役割を果たす拠点施設であるにもかかわらず、その多くは耐震安全性の確保と老 朽化対策が不十分な状況にあります。そのため、災害時への対応を見据えた大規模修繕、建 替え、さらには災害対策本部となりえる代替施設の検討等、具体的かつ早急な対応が課題と なっています。その際、厳しい財政状況下において、今後、投資的経費が減少していくこと が予測されるため、より費用を抑えた効率的な施設整備手法を検討することが必要となりま す。

# ■今後の検討の視点<地区の特性に応じた機能見直しや複合化などの検討視点の提起>

- 市の行政サービスの中心機能を有する建物の耐震安全性が確保がされていないことに加え、軒並み老朽化しており、建替えや大規模改修等が必要な状況にあるため、機能の集約化や施設の複合化など一体的かつ効率的な整備を検討する必要があります。
- その際、公民館やコミュニティセンターなどの集会施設も多く配置されていることから、地域内での利用状況や今後の人口動態等を踏まえ、利用促進の方針や改善の方向性などを含めた施設の在り方を検討し、それに基づいた効果的な施設整備計画を検討する必要があります。

# (2) 日光地域

#### ■地域の概要及び特性

#### 概要

日光地域は、面積が320.90 km、人口14,810人、人口密度は46人/kmです。

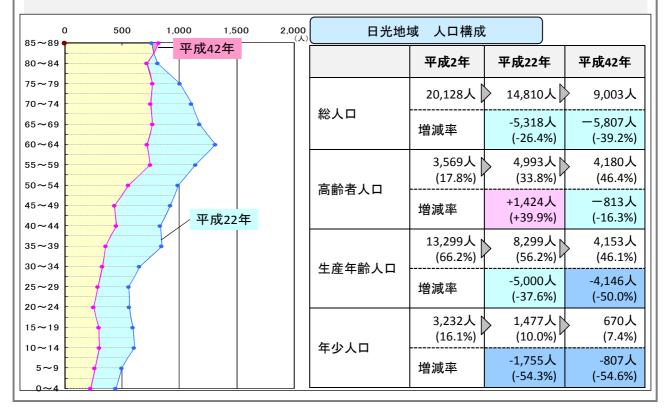
歴史・文化、自然豊かな観光地域であり、東部の日光市街地は、今市市街地に次いで高い 拠点性を有する市街地となっているとともに、世界遺産「日光の社寺」や日光田母沢御用邸 記念公園などがあり、観光交流の拠点としても機能しています。南部と西部の一部が都市計 画区域外であり、その他は非線引き都市計画区域となっています。

日光地域は、日常生活圏として日光・清滝・中宮祠・小来川の4つの地区に区分できます。 日光地区は、日光地域の東部に位置し、日光東照宮の門前町として発展し、日光地域の中心 地として、日光総合支所など多くの施設が配置されています。清滝地区は、日光地区と中宮 祠地区の中間に位置し、企業城下町として栄えた地区です。中宮祠地区は、日光地域の西部 に位置し、ラムサール条約登録「奥日光の湿地」や中禅寺湖などの大自然を有する地区です。 小来川地区は、日光地域の南部に位置し、鹿沼市に隣接する林業が盛んな地区です。

#### 人口

本市の5地域の中では2番目に人口が多く、平成22年時点で、市全体の約16%を占めています。また、人口密度も46人/kmと今市地域に次いで高くなっています。

平成 22 年から平成 42 年までの将来予測では、今後 20 年間で 5,807 人減少し、高齢者人口の割合(46.4%)が、生産年齢人口の割合(46.1%)と同程度になると見込まれています。 平成 22 年は、団塊世代である 60~64 歳が最多人口となっていますが、平成 42 年には85 歳以上人口が最多人口となり、最多人口の年齢層が平成 22 年に比べて上昇しています。また、ほとんどの年齢階級で人口減少が見られ、将来も減少傾向が続くと予想されます。



#### ■公共施設の配置状況

#### 《日光地域全域》

日光地域にある公共施設の面積は、11.8 万㎡で、今市地域に次いで多く、市内の公共施設の22.5%を占め、地域における市民 1 人当たりの保有面積は、7.97 ㎡となっています。保有面積で見るとスポーツ・観光施設が15,000 ㎡を超え、市内の同種施設の半数近くを占めていることが特徴です。なお、日光地域は、旧日光市の区域となっているため、行政活動に必要なほぼすべての施設が地域内に整備されています。

# 〇学校施設

学校は、小学校が7校、中学校が4校あります。小学校のうち1学年1学級に満たない学校が4校あり、中宮祠小学校と小来川小学校は、それぞれ中宮祠中学校・小来川中学校と併設し、同一建物となっています。また、小中学校8校が築後30年を経過しており、今後老朽化への対応が必要な状況にあります。なお、所野小学校と中宮祠小中学校は、平成24年度に耐震化補強工事を予定しています。

#### 〇市営住宅

日光地域内には、12の市営住宅がありますが、老朽化している6住宅では、新規入居を停止しており、入居率は、82.4%となっています。その他の市営住宅も昭和50年代に建設されたものが多く、今後老朽化への対応が必要となります。

#### 〇公民館

日光地域における公民館活動の拠点となる日光公民館は、1,200 ㎡を超え、地域最大の規模となっています。そのほかの清滝・中宮祠・小来川公民館は、支所・出張所と併設され、200~500 ㎡程度の規模となっています。いずれの施設も築後30年以上を経過しており、特に小来川公民館は、40年を超え、老朽化が進んでいます。利用状況を見ると日光公民館の稼働率が28%程度となっていますが、その他の3つの公民館は、3%程度の稼働率で、利用が非常に少ないことがわかります。

# 〇コミュニティセンター・集会施設

奥日光コミュニティセンターと女性サポートセンターが、比較的広域的な範囲で利用される集会的な施設として設置されています。いずれも築後30年程度が経過しており、今後老朽化への対応が必要な状況にあります。利用状況は、女性サポートセンターが10%の稼働率であるのに対し、奥日光コミュニティセンターは、主に自治会の集会施設として利用され、1%の稼働率となっています。

このほか、日光地域には、自治会等が利用する集会施設が9施設あります。これらはいずれも比較的新しい時期に建設されていますが、花石住宅集会所と所野広久保住宅集会所が築後30年程度となっており市営住宅への対応に合わせて検討していく必要があります。

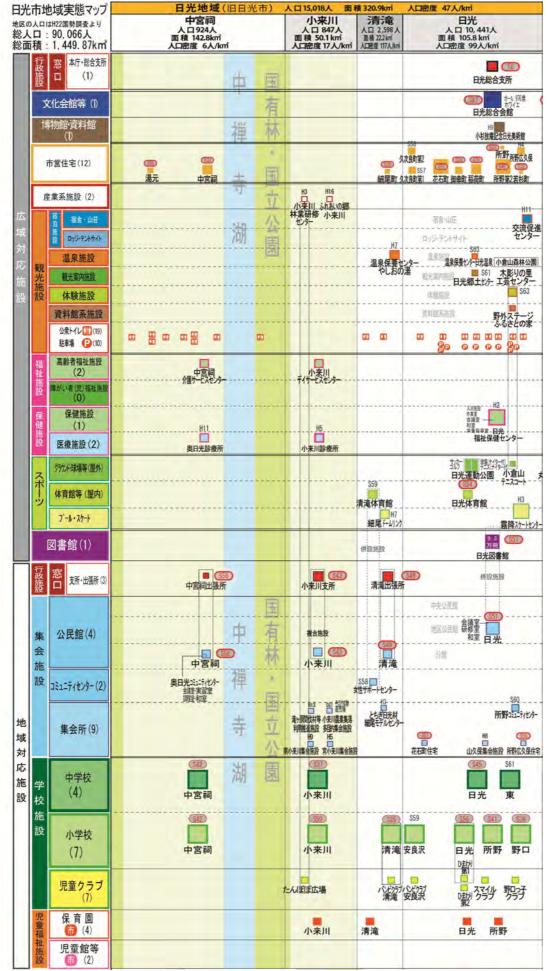
#### 〇スポーツ・観光施設

市内の4割以上のスポーツ・観光施設を保有しています。特に、スケートセンターなど冬期スポーツ施設が、7,000 ㎡規模となっているほか、観光案内所や宿泊施設、温泉施設、体験施設等が日光地域に集中的に整備されています。これらの多くは、比較的近年に建てられたものが多くなっていますが、日光体育館・清滝体育館は、築後30年程度となっており、今後老朽化への対応が必要になってきます。

#### 〇その他施設

その他、広域対応施設として日光総合会館や日光図書館、小杉放菴記念日光美術館が日光地域に配置されています。

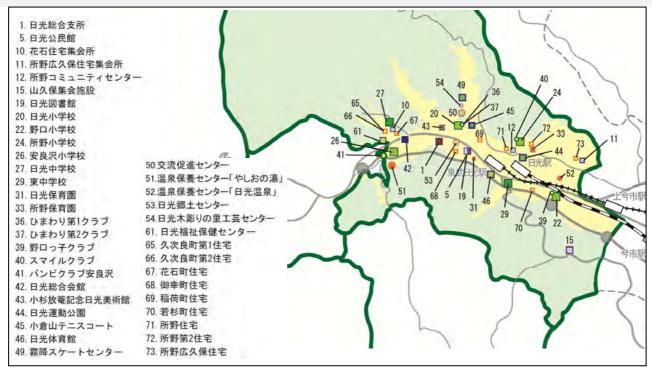




# ■公共施設の配置状況

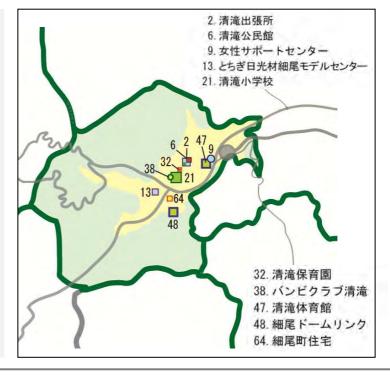
#### 《日光地域日光地区》

日光地区は、日光地域最大の地区で、人口 10,441 人、人口密度は、99 人/k㎡となっており、過去5年間の人口推移を見ると、8%程度減少しています。また、旧日光市の拠点地域であったことから、多くの公共施設が配置されており、地区の公共施設面積は9.1 万㎡で、人口1 人当たりの保有面積は8.67㎡です。また、日光市の副次核として位置付けられていることから日光総合支所のほか、スポーツ施設や社会教育施設、市営住宅など広域対応の施設が多く配置されています。さらに、世界遺産「日光の社寺」を有する地域であるため、観光施設がこの地区に集中しているのが特徴です。なお、日光総合支所は、築後90年経過しているため、早急な対応が必要な状況にあります。



#### 《日光地域清滝地区》

清滝地区は、人口 2,598 人、人口密度は、117 人/k㎡となっています。この地区は、古くから企業城下町として栄えた地区ですが、過去5年間の人口推移を見ると、14%程度減少し、地域内で最も高齢化率が高くなっています。地区の公共施設面積は 1.2 万㎡で、人口 1 人当たりの保有面積は 4.69 ㎡となっています。地区内には、やしおの湯や清滝体育館、細尾ドームリンクなど広域対応施設が多く設置されています。なお、行政施設として清滝出張所が設置されていますが、築後、30 年以上が経過し、老朽化へ対応が必要な状況にあります。



# 《日光地域中宮祠地区》

中宮祠地区は、人口924人、人口密度は、6人/k㎡ですが、過去5年間の人口推移を見ると、10% 程度の減少にとどまっています。この地区は、標高 1,200mを超える地域で、ラムサール条約登録「奥 日光の湿原」や中禅寺湖・湯の湖、さらには華厳の滝や竜頭の滝など大自然に囲まれた観光地域となっ ています。そのため、観光客用の公衆トイレが数多く設置されているのが特徴です。その他の公共施設 は、中禅寺湖畔近くの中宮祠出張所に併設されていますが、築後 30 年程度であり、今後、老朽化への 対応が必要となってきます。なお、地区の公共施設面積は0.9万㎡で、人口1人当たりの保有面積は9.56 がです。



#### 《日光地域小来川地区》

小来川地区は、人口847人、人口密度 は、17人/k㎡となっています。この地 区は、過去5年間の人口推移を見ると、最 も減少率が高く、14.6%の減少となって います。地区の公共施設面積は 0.7 万㎡ で、人口 1 人当たりの保有面積は 7.76 ㎡ となっています。小来川支所周辺に、主要 な公共施設が集中しているほかは、自治会 が使用する集会施設が点在している状況 にあります。小来川支所・公民館が、築後 40年以上を経過しているほか、小来川小 中学校が築後37年を経過しており、老朽 化への対応が必要な状況にあります。



14. 宮小来川集会施設 16. 小来川農業集落多目的集会施設 34. 小来川保育園

17. 滝ヶ原間伐材等利用推進施設 35. たんぽぽ広場

- 18. 南小来川集会施設
- 25. 小来川小学校
- 30. 小来川中学校



## ■今後の課題

# 人口動態の変化からみる課題 地域の年齢階層ごとの人口変化と必要な施設の検討

日光地域の人口は、減少が続いており、平成2年度からの20年間で5,318人(26.4%)減少しました。これは、市全体の減少率(-7.0%)と比較すると、減少幅が大きく、今後もこの傾向が続き、20年後の平成42年には、人口がさらに39%減少し、9,000人程度になると推計されています。これまで増加傾向にあった高齢者人口も、今後は、減少傾向に転じると予測されています。地域内には、人口増加時期の昭和20年代から建設が続いた市営住宅が多く、地域内の公共施設の約25%を占めていますが、大半の施設で老朽化が進行している状況にあります。そのため、特に市営住宅が集中している日光地区の今後の人口動態の変化を勘案して、施設の必要性とともに統合・集約等の検討が必要となります。

さらに、生産年齢人口が、今後、急速に減少し、20年後には、65歳以上の高齢者人口の割合と同程度となる見込みであることに加え、年少人口が50%以上減少する状況を踏まえると、大幅に変化する人口構成に伴う利用ニーズの変化を詳細に把握した上で、地域内に必要な機能を抽出し、施設の再整備を図っていく必要があります。

#### │施設の保有機能からみる課題 │地区単位の施設利用率と現有施設・機能の適合性の検討

地域内には、会議や集会等を行える集会施設が公民館・コミュニティセンターなど計14施設整備されています。いずれも、稼働率2%~28%と低く、特に小来川地区には50kmと狭い範囲に類似機能の施設が5施設と集中しています。そのため、利用者が求めるニーズと現在提供しているサービス(施設数及び機能)とのバランスを検証し、小来川地区の人口減少も視野に入れた上で、施設統合等による利用想定や費用対効果等を踏まえつつ、公共サービスを維持することができるような施設配置の計画等を策定する必要があります。

また、O~14歳の子どもに着目すると、今後20年間でさらに50%以上が減少し、平成42年には、平成2年の約5分の1となる670人程度になると予測されています。そのため、学校施設や保育所などの児童福祉施設について、耐震化に合わせた統廃合も視野に入れつつ、通学区域等にも配慮しながら保有施設を有効に活用するという視点で検討することが必要となります。

さらに、この地域には、市内のスポーツ・観光施設の4割が集中しています。これらの施設を中心に、他の地域の観光施設との連携を図り、活用していくことにより、観光客入込数を増加させていく方策を検討することが必要となります。

# 施設保全の課題 災害時の拠点整備・安全性の確保等の検討

日光総合支所や支所・出張所、公民館など地域の行政サービスの中心となる施設は、災害時において避難所など、特に重要な役割を果たす拠点施設であるにもかかわらず、そのほとんどが耐震安全性の確保及び老朽化対策が必要な状況にあります。特に、日光総合支所は、地域の中心的施設にもかかわらず、築後90年を経過し、大規模修繕や建替え等の具体的かつ早急な対応が課題となっています。その際、厳しい財政状況下において、投資的経費が減少していくことが予測されるため、公民館等の一体的な整備による多機能化・複合化等より費用を抑えた効率的な施設整備手法を検討することが必要となります。

#### ■今後の検討の視点<地区の特性に応じた機能見直しや複合化などの検討視点の提起>

- 地域の行政サービスの拠点となる支所や公民館等の建物が耐震安全性の確保がされていないことに加え、軒並み老朽化しており、建替えや大規模改修等が必要な状況にあるため、機能の集約化や施設の複合化など一体的かつ効率的な整備を検討する必要があります。
- その際、公民館やコミュニティセンターなどの集会施設も多く配置されていることから、人口規模や地域内での利用状況、さらには今後の人口動態等を踏まえた施設の在り方を検討し、それに基づいた効果的な施設整備計画を検討する必要があります。
- 老朽化した市営住宅を多く保有しているため、これらの建替や大規模改修に当たっては、今後の人口減少や人口構成の変化も視野に入れた住宅政策を検討する必要があります。
- 市内のスポーツ・観光施設の4割が集中しているため、他の地域の観光施設との連携 や活用をしていくことにより、観光客入込数を増加させていく方策を検討することが 必要となります。
- 今後、大幅な年少人口の減少が予測されているため、学校施設の他用途への転換や複合化など、地域全体で活用するという視点からの柔軟な検討が必要となります。

# (3)藤原地域

#### ■地域の概要及び特性

#### 概要

藤原地域は、面積が272.27 km、人口9,936人、人口密度は37人/kmです。

日本でも屈指の温泉街である鬼怒川温泉と川治温泉を有し、自然景観はもとより、テーマパークなど数多くの観光資源に恵まれ、東武鉄道鬼怒川線や国道 121 号などを利用した観光交流の拠点となっています。南部が都市計画区域であり、その他は都市計画区域外となっています。

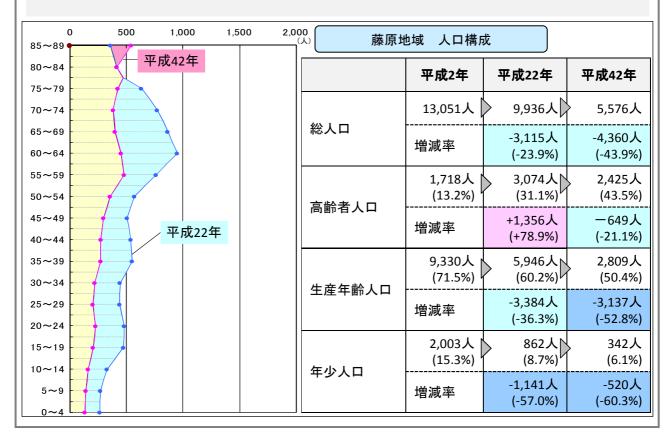
藤原地域は、日常生活圏として、藤原・川治・三依の3地区に区分されています。藤原地区は、藤原地域の南部に位置し、鬼怒川温泉として栄えているほか、地域の拠点として、行政サービスや日常生活の各種機能を有しています。川治地区は、藤原地区の北部に位置し、温泉保養地として栄えた地区です。三依地区は、市内最北部に位置し、福島県や那須塩原市に通ずる山間部となっています。

#### 人口

本市の5地域の中では3番目に人口が多く、平成22年時点で、市全体の約11%を占めています。また、人口密度も37人/kmと今市・日光地域に次いで高くなっています。

平成 22 年から平成 42 年までの将来予測では、今後 20 年間で 4,360 人減少し、日光地域と同程度の減少率(-43.9%)と予測されています。年齢構成別に見ると、すべての階層で減少し、高齢者人口が 4 割を超え、年少人口が 340 人(6.1%)程度になる見込みです。

平成 22 年は、団塊世代である 60~64 歳が最多人口となっていますが、平成 42 年には 85 歳以上が最多人口となります。また、ほとんどの年齢階級で人口減少が見られ、将来も減 少傾向が続くものと予想されます。



#### ■公共施設の配置状況

# 《藤原地域全域》

藤原地域にある公共施設の面積は、5.8万㎡で、地域における市民 1 人当たりの保有面積が 5.86 ㎡となっており、市の平均と同程度です。保有面積別に見ると、学校が 39%を占めるほか、市営住宅、行政施設、市民文化系施設がそれぞれ 1 0%程度となっています。なお、藤原地域も今市・日光地域同様、行政活動に必要なほぼすべての機能が地域内に整備されています。

# ○学校施設

学校は、小学校が3校、中学校が2校あります。三依小学校・三依中学校の規模が非常に小さく、 児童生徒数がそれぞれ10人程度となっています。また、平成22年に建て替えられた藤原中学校 を除き、築後40~50年を経過しており、今後老朽化への対応が必要な状況にあります。なお、三 依小学校と三依中学校は、平成26年度以降に耐震化補強工事を予定しています。

#### 〇観光施設

施設面積の占める割合は高くないものの、観光案内所をはじめ、温泉や見学施設、さらには観光 客用の公衆トイレなど観光施設が数多く整備され、地域内に万遍なく配置されていることが特徴です。また、すべての建物が新耐震基準で造られており、比較的新しいものが多くなっていますが、川治ダム資料館は、築後30年程度となっており、今後老朽化への対応が必要な状況にあります。

#### 〇市営住宅

藤原地域にある3市営住宅は、すべて藤原地区にありますが、大原住宅の一部で老朽化のため新規入居を停止しており、入居率は、77%にとどまっています。自由ヶ丘住宅と下原住宅は、築後30年が経過し、老朽化が進んでいます。

#### 〇公民館

藤原地域における公民館活動の拠点となる藤原公民館は、700㎡程度の規模で、藤原総合文化会館と併設されています。また、三依公民館は、200㎡程度で、三依支所と併設になっています。いずれも老朽化が進んでおり、特に三依公民館は、昭和47年の建築で、耐震化も未対応の状況にあります。稼働率では、いずれも低く、藤原公民館が13%、三依公民館が3%となっています。

# ○集会施設

自治会等が利用するコミュニティセンターや集会所が計 12 施設配置されており、特に藤原地区に集中しています。そのうち、市営住宅集会所など6施設が昭和50年代に建設され、築後30年を経過し、老朽化している状況にあります。

#### 〇その他施設

その他、広域対応施設として藤原総合文化会館や藤原図書館、さらには運動公園・プール等のスポーツ施設が藤原地区を中心に配置されています。





# ■公共施設の配置状況 《藤原地域藤原地区》

藤原地区は、人口8,740人で、地域の88% の人口が集中し、人口密度は、92人/k㎡で す。過去5年間の人口推移を見ると、今市地 域を除いた地域の中でも最も減少幅が小さい 地区で、7.4%の減少にとどまっています。こ の地区は、藤原地域の拠点地域として総合支 所や総合会館など広域的な機能を持った施設 が配置されていますが、いずれも、老朽化し、 特に総合支所は、築後 50 年以上を経過し、 早急な対応が必要な状況にあります。また、 日本有数の温泉地である鬼怒川温泉を有して おり、温泉保養地として、さらには渓谷美あ ふれた観光地として、年間を通じて交流人口 が多いのが特徴です。そのため、観光情報セ ンターや温泉施設、観光客用の公衆トイレが 数多く設置されています。その他は、市営住 宅、学校、集会所など多くの施設がこの地区 に集中しており、地区の公共施設面積は 5.0 万㎡で、人口 1 人当たりの保有面積は 5.71 がです。



- 1. 藤原総合支所
- 3. 藤原公民館
- 5. 大原住宅集会所
- 6. 自由ヶ丘住宅集会所
- 7. 鬼怒川地区コミュニティセンター
- 10. 高徳生活改善センター
- 11. 小佐越地区多目的集会センター
- 12. 小原地区多目的集会所
- 13. 柄倉多目的集会所
- 14. 大原地区集会所
- 15. 藤原地区集会所
- 16. 鶏頂地区活性化センター
- 17. 藤原図書館
- 18. 鬼怒川小学校
- 19. 下原小学校
- 21. 藤原中学校
- 24. 藤原保育園 25. 鬼怒川保育園
- 26. 下原保育園

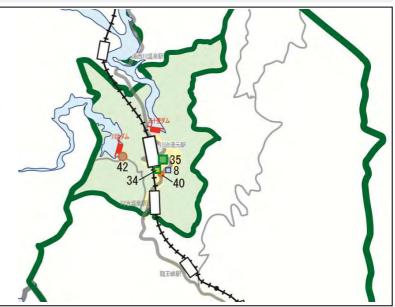
- 27. 高徳保育園
- 28. 下原児童館
- 29. 鬼怒川児童館
- 30. 藤原総合文化会館
- 31. 藤原運動公園
- 32. 藤原運動場
- 33. 藤原プール
- 36. 下原運動場
- 37. 鬼怒川レジャー公園
- 39. 市営浴場「鬼怒川公園岩風呂」
- 45. 藤原福祉センター「ふじの郷」
- 46. うぐいす園
- 47. 藤原保健センター
- 49. 大原住宅
- 50. 自由が丘住宅
- 51. 下原住宅

#### 《藤原地域川治地区》

川治地区は、人口 697 人、人口密度は、46 人/k㎡となっており、過去5年間で、22.7%減少しています。地区の公共施設少なく、藤原消防署川治分署が地区の中心となる温泉街に配置されているほか、スポーツ・観光施設が4施設、自治会の集会所として利用される施設が1施設となっており、その面積は0.15万㎡で、人口1人当たりの保有面積は2.15㎡となっています。

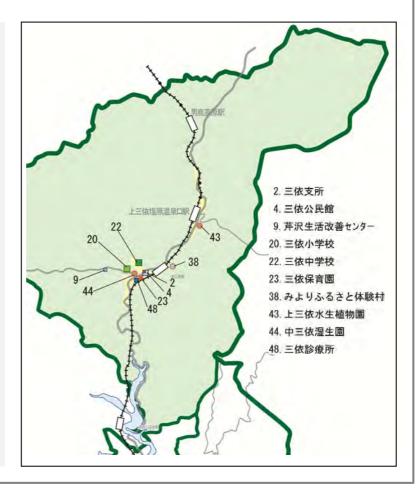


- 34. 川治プール(旧川治中)
- 35. 川治運動場
- 40. 市営浴場「川治温泉薬師の湯」
- 42. 川治ダム資料館



# 《藤原地域三依地区》

三依地区は、人口499人、人口密度 は、3人/k㎡で、高齢化率が53%と なっており、過疎化とともに高齢化が 著しい地域となっています。この地区 は、市の最北部に位置し、支所・公民 館が設置されていますが、築後39年 以上が経過し、老朽化への対応が必要 な状況です。さらに保育園、小学校、 中学校が設置されているものの、児童 生徒数が非常に少なく、保育園が休止、 小学校が9名、中学校が13名となっ ています。また、地区内には自然を活 かした観光施設が配置され、地元自治 会が所有する温泉施設とともに、地域 の活性化に寄与しています。なお、地 区の公共施設面積は 0.7 万㎡で、人口 1 人当たりの保有面積は 14.98 ㎡で す。



## ■今後の課題

# 人口動態の変化からみる課題 地域の年齢階層ごとの人口変化と必要な施設の検討

藤原地域の人口は、減少が続いており、平成2年度からの20年間で3,115人(23.9%)減少しました。これは、市全体の減少率(-7.0%)と比較すると、減少幅が大きく、今後もこの傾向が続き、20年後の平成42年には、人口がさらに44%減少し、5,500人程度になると推計されています。高齢者人口もこれまでの増加傾向から減少傾向に転じるため、今後は、地域内の公共施設の利用実態・コスト状況等を踏まえ、統合・集約化の検討が必要となります。さらに、65歳以上の高齢者の割合が約44%と地域内人口の5人に2人が高齢者となる予測であることから、人口構成に対応した利用者ニーズの変化を詳細に把握した上で、地域内に必要な機能を抽出し、施設の再整備を図っていく必要があります。

# │施設の保有機能からみる課題 │地区単位の施設利用率と現有施設・機能の適合性の検討

地域内には、会議や集会等を行える集会施設が公民館と小規模な集会施設併せて14施設整備されています。公民館の稼働率は2%~13%と低く、特に藤原地区には公民館1施設と200㎡程度の集会施設が9施設と集中しています。利用も、地域住民や一般利用あるいは官公庁利用と限定的な利用となっているため、利用者が求めるニーズと現在提供しているサービス(施設数及び機能)とのバランスを検証し、他施設での機能代替や施設統合など公共サービスの維持を図りながら、施設の再編等の検討を行う必要があります。

また、地域内には、鬼怒川温泉・川治温泉を中心に観光施設が多く整備されており、一番 古い施設でも川治ダム資料館で築後30年経過と比較的新しい施設を多く保有しています。観 光施設の利用状況をみると、温泉施設はほぼ横ばいで推移していますが、上三依水生植物園 では減少傾向がみられるため、事業内容の見直し等を含めた利用率向上による資産の有効活 用を検討する必要があります。

さらに、O~14歳の子どもに着目すると、今後20年間でさらに約60%の大幅な減少が予測されています。特に、三依地区では、少子化が深刻な状況にあります。関連する学校施設や保育所は、いずれも老朽化への対応が必要な状況となっていることから、今後施設の建替え・大規模改修等の際には、通学区域等に配慮しながら学校施設以外の施設の統合・集約化等を含めて検討する必要があります。

# 施設保全の課題

#### 災害時の拠点整備・安全性の確保等の検討

藤原総合支所や三依支所・公民館など地域の行政サービスの中心となる施設は、災害時において避難所など、特に重要な役割を果たす拠点施設であるにもかかわらず、そのほとんどが耐震安全性の確保及び老朽化対策が必要な状況にあります。特に藤原総合支所は、地域の中心的施設にもかかわらず、築後50年を経過し、大規模修繕や建替え等の具体的かつ早急な対応が課題となっています。その際、厳しい財政状況下において、投資的経費が減少していくことが予測されるため、公民館・支所等の一体的な整備による多機能化・複合化等より費用を抑えた効率的な施設整備手法を検討することが必要です。

#### ■今後の検討の視点<地区の特性に応じた機能見直しや複合化などの検討視点の提起>

- 地域の行政サービスの拠点となる支所や公民館等の建物が耐震安全性の確保がされていないことに加え、軒並み老朽化しており、建替えや大規模改修等が必要な状況にあるため、機能の集約化や施設の複合化など一体的かつ効率的な整備を検討する必要があります。
- 大幅な年少人口の減少が予測されており、かつ、地域内の学校及び保育所の多くで老 朽化が進行しているため、施設改修等に際しては、通学区域等に配慮しながら統合・ 集約化等を含めて検討する必要があります。
- 特に、三依地区については、少子高齢化が著しいことから、施設を地区全体で有効に活用するという視点で柔軟に検討することで、行政サービスの維持と地域振興の両立を図っていく必要があります。

# (4)足尾地域

#### ■地域の概要及び特性

#### 概要

足尾地域は、周囲を急峻な山々に囲まれた自然豊かな地域で、面積が 185.79 km、人口 2,763 人、人口密度は 15 人/kmです。

江戸時代初期に鉱脈が発見されて以来、銅山の町として発展しましたが、昭和 48 年の銅山の閉山以降、急激に人口が流出しました。地域全域が過疎地域に指定されています。

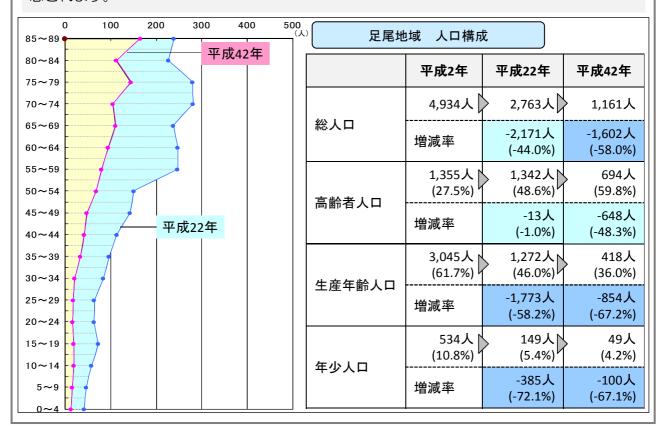
足尾地域の北部には、昭和 25 年に日光国立公園に編入された庚申山があります。また、東部には、薬師岳・地蔵岳・方塞山があり、西部に赤城山をはじめ両毛の山々が連なり、南部は、関東平野を一望できる広々とした高原になっており、前日光県立自然公園に指定されています。

# 人口

市の5地域の中では2番目に人口が少なく、平成22年時点で、市全体の約3%となっています。

平成 22 年から平成 42 年までの将来予測では、今後 20 年間で 1,602 人(58%)減少し、1,100 人程度になると推計されています。平成 22 年時点でも高齢者の人口が最も多く、48%を占めていますが、この傾向は、今後さらに加速し、20 年後には、高齢化率が約 60%、75 歳以上の人口が 4 割を超える見込みです。加えて、生産年齢人口が 36.0%、年少人口が 4.2%にまで低下することが予測されています。

平成 22 年は、75~79 歳が最多人口となっており、既に超高齢化地域となっています。 平成 42 年には、最多人口が 85 歳以上となることに加え、50 歳未満の若年層が極端に少な くなることから、平成 42 年以降も人口減少に歯止めがかからず、地域の自治機能低下が懸 念されます。



#### ■公共施設の配置状況

# 《足尾地域全域》

足尾地域の公共施設の面積は、5.4万㎡で、地域における市民 1 人当たりの保有面積は、19.42 ㎡となっています。保有面積別に見ると、市営住宅が 2.5万㎡を超え、48.2%となっています。次いで、学校、スポーツ・観光施設の順に多くなっています。また、施設の面積は多くはないものの、集会所を 22 施設保有していることが特徴です。

# 〇市営住宅

足尾地域には、市内で最多となる19の市営住宅がありますが、大正元年から昭和41年に建設された特別市営住宅は、老朽化に伴い新規入居を停止しているため、入居率は、68.1%となっています。なお、入居のある314戸は、足尾全体の世帯数の約25%を占めています。また、田元、赤沢、足尾松原住宅で築後40年を経過しているほか、上間藤、遠下住宅でも30年を経過し、老朽化しています。

# 〇公民館・集会施設

足尾地域には、700 m規模の公民館と 500 m規模のコミュニティセンター(銅ふれあい館)が それぞれ 1 施設ありますが、いずれも低い稼働率なっています。

さらに、自治会が利用する集会施設は、すべて市が保有しており、その数は、22 施設になります。 いずれも使用者である自治会が指定管理者となって管理していますが、利用件数は、年間平均で件、 稼働率 10.4%となっています。これらの多くは、昭和 60 年以降に建設されていますが、砂畑集会 所が昭和 29 年建築、松原集会所が昭和 43 年建築となっており、老朽化している状況です。

#### 〇観光施設

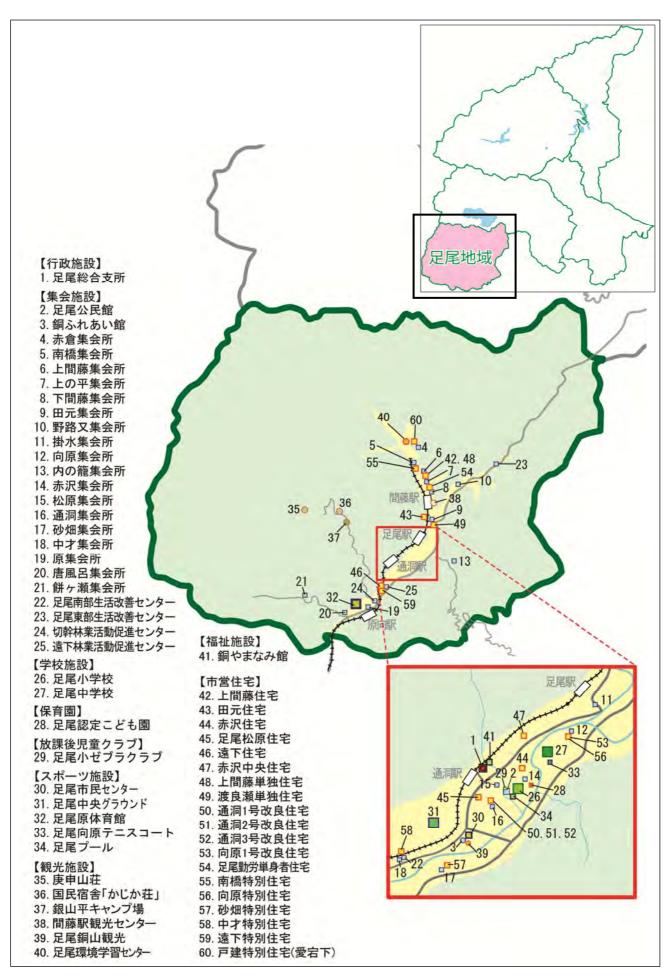
間藤駅に併設している観光案内所のほか、宿泊施設、資料館、体験施設等が整備されており、主に足尾銅山に関連した観光施設が中心となっています。これらの施設の多くは、昭和 40 年代から50 年代に建設されており、老朽化への対応が必要になっています。

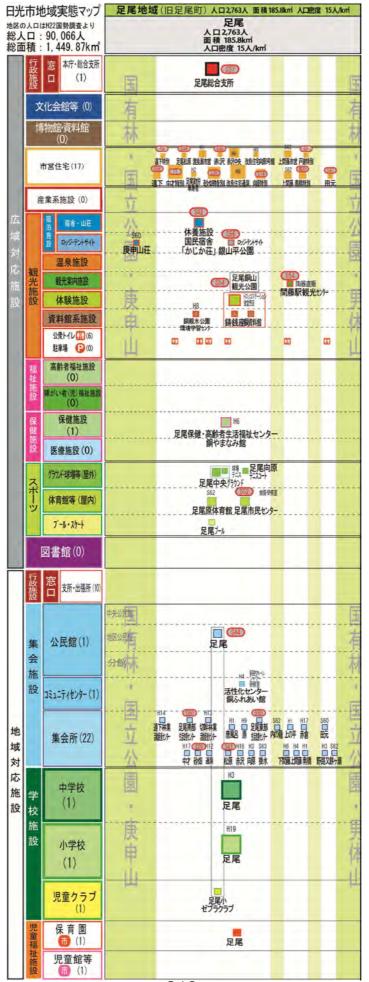
# ○学校施設

学校は、小学校、中学校ともに 1 校ずつあります。学級数は、足尾小学校が 6 学級、足尾中学校 が 3 学級で、児童生徒数は、1 学年平均 10 名程度となっています。足尾中学校が築後 20 年を経過しています。

#### 〇その他施設

足尾地域には、体育館、グラウンド、プール等のスポーツ施設が配置されていますが、年間利用者数は、3,000人未満となっています。





346

## ■今後の課題

# 人口動態の変化からみる課題 地域の年齢階層ごとの人口変化と必要な施設の検討

足尾地域は、市内で最も人口減少が著しい地域で、平成2年度からの20年間で2,171人(44.0%)減少しています。今後20年間の推計では、さらに58%減少し、平成42年には、1,162人になると予測されています。地域内には、足尾銅山関連の市営住宅のほか、閉山以降も市営住宅が多く建設され、地域内公共施設の約48%を占め、地域の5分の1の世帯が利用している状況です。これらの住宅の大半で老朽化が進行しており、今後の人口動態変化を勘案して、統合・集約等の検討が必要です。また、20年後には65歳以上の高齢者が60%、75歳以上でも40%を超える予想となっていることから、地域住民の日常生活圏域等の変化や住民ニーズ、さらには住民の移動手段等を詳細に把握した上で、地域内に必要な機能を抽出し、施設の再整備を図っていくことが課題となっています。

#### 施設の保有機能からみる課題 地区単位の施設利用率と現有施設・機能の適合性の検討

地域内には、会議や集会等を行える集会施設が公民館や小規模な集会施設など計23施設整備されています。稼働率は、足尾公民館が7%、銅ふれあい館が4%と非常に低くなっています。また、小規模な集会施設は、50㎡~180㎡程度で、22施設保有しています。利用実態をみると自治会の集会施設として活用しており、人口減少や他地域とのバランスを考慮すると、今後の老朽化への対応にかかるコストを踏まえた上で、保有形態等の見直しや集約化・合同化による効率化などを検証しながら、施設の再編等の検討を行う必要があります。

また、O~14歳の子どもに着目すると、今後20年間でさらに約67%減少し、地域全体で50人程度になると予測されています。合併以降、認定こども園の設置や足尾小学校の建設など教育環境の整備を行ってきていますが、今後、若年層の定住促進に向けた学校施設の利活用など更なる工夫が必要です。

# 施設保全の課題 災害時の拠点整備・安全性の確保等の検討

足尾総合支所や公民館等地域の行政サービスの中心となる施設は、いずれも耐震安全性の確保及び老朽化対策が必要となっていますが、これらを複合化した施設の整備が進んでおり、今後、施設のライフサイクルコストを意識した、予防保全の観点から施設管理を行っていく必要があります。また、足尾地域の観光の拠点施設となる銅山観光や国民宿舎かじか荘の老朽化への対応に当たっては、他施設との複合化や多機能化を進め、効率的な施設整備手法とともに、利用促進、地域振興にも配慮し、検討する必要があります。

# ■今後の検討の視点<地区の特性に応じた機能見直しや複合化などの検討視点の提起>

- 市営住宅や小規模な集会施設が多く配置されていることから、人口減少や少子高齢化の進展に伴う住民の日常生活圏域の変化などを踏まえ、今後の施設の改善方針等を検討する必要があります。
- これまでに、認定こども園の整備や足尾小学校の建設など教育環境の整備を行っていますが、今後も年少人口の減少が予測されているため、今後、若年層の定住促進に向けた施設の有効活用に更なる工夫が必要です。
- 現在建設を進めている総合支所等について、ライフサイクルコストを意識した維持管理を進めていく必要があります。

# (5) 栗山地域

#### ■地域の概要及び特性

#### 概要

栗山地域は、面積が427.37k㎡、人口1,726人、人口密度は4人/k㎡です。

市内北西部の急峻な山々に囲まれた地域に位置し、総面積の約76%が日光国立公園に指定されており、良質な温泉地や高山植物の宝庫「鬼怒沼湿原」など数多くの自然豊かな観光資源に恵まれています。また、広大な山間部に集落が点在する多雪地帯で、地域全体が過疎地域に指定されています。

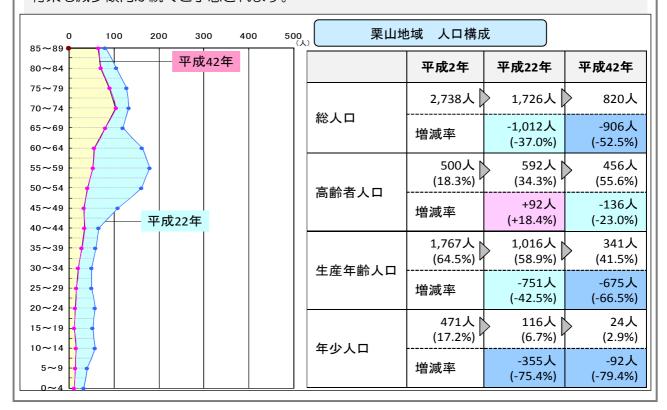
栗山地域は、日常生活圏として栗山・湯西川地区の2地区に区分されています。栗山地区は、栗山地域の南部に位置し、栗山地域の核として機能しているとともに、湯種豊富な温泉資源に恵まれています。また、湯西川地区は、地域の北部に位置し、温泉地として栄えるとともに、近年、湯西川ダムの建設に伴い、大規模な公共施設が建設されています。

#### 人口

本市の5地域の中では最も人口が少なく、平成22年時点で、市全体の約2%となっています。

平成 22 年から平成 42 年までの将来予測では、今後 20 年間で 906 人(52.5%)減少し、人口が 1,000 人を割り込み、820 人程度になると推計されています。平成 22 年時点では、高齢者の人口は34%程度でしたが、20 年後には55%程度まで増加する見込みです。また、生産年齢人口がこれまで以上のスピードで減少し、41.5%にまで落ち込むとともに、年少人口が2.9%まで減少します。

平成 22 年は、ポスト団塊世代である 55~59 歳が最多人口となっていますが、平成 42 年は、70~74 歳が最多人口となっており、最多人口年齢層が上昇しています。すべての年齢階層で人口が減少していることに加え、特に 60 歳以下の人数が極端に少ないことから、将来も減少傾向が続くと予想されます。



#### ■公共施設の配置状況

# 《栗山地域全域》

栗山地域の公共施設の面積は、5.5万㎡で、地域における市民 1 人当たりの保有面積は、31.82 ㎡となっています。保有面積別に見ると、学校が最も多く 13,000 ㎡を超え、約 24%となっています。次いで、普通財産を含むその他施設(18.3%)、産業系施設(13.8%)、観光施設(12.4%)の順に多くなっています。栗山地区と湯西川地区の間の交通の便がよくないことから、それぞれの地域に、基本的な行政機能を持つ施設が網羅されています。

# 〇学校施設

学校は、小学校、中学校ともに 2 校ずつあります。いずれの小中学校も児童生徒数が少なく、平均で小学校が 20 名、中学校が15名となっています。栗山中学校で築30 年を経過し、老朽化への対応が必要となっています。

#### 〇公民館

公民館活動の拠点となる栗山公民館が栗山総合支所内に配置されているほか、400 ㎡~1,000 ㎡規模で日向、川俣、湯西川公民館の3施設が配置されています。稼働率は、いずれも低く、2~8%となっています。なお、日向、川俣公民館は、通常、職員が配置されておらず、予約のみに対応しています。また、日向、川俣公民館は、いずれも築後30年以上を経過し、老朽化している状況にあります。

#### 〇集会施設

自治会が利用する 45 ㎡~340 ㎡程度の小規模な集会所が 17 施設あります。いずれも、自治会が指定管理者として施設の管理を行っていますが、利用件数は、年間平均で 15 件、稼働率 4%となっています。これらの建物は、昭和 51 年以降に建設され、5施設で築後 30 年が経過しています。

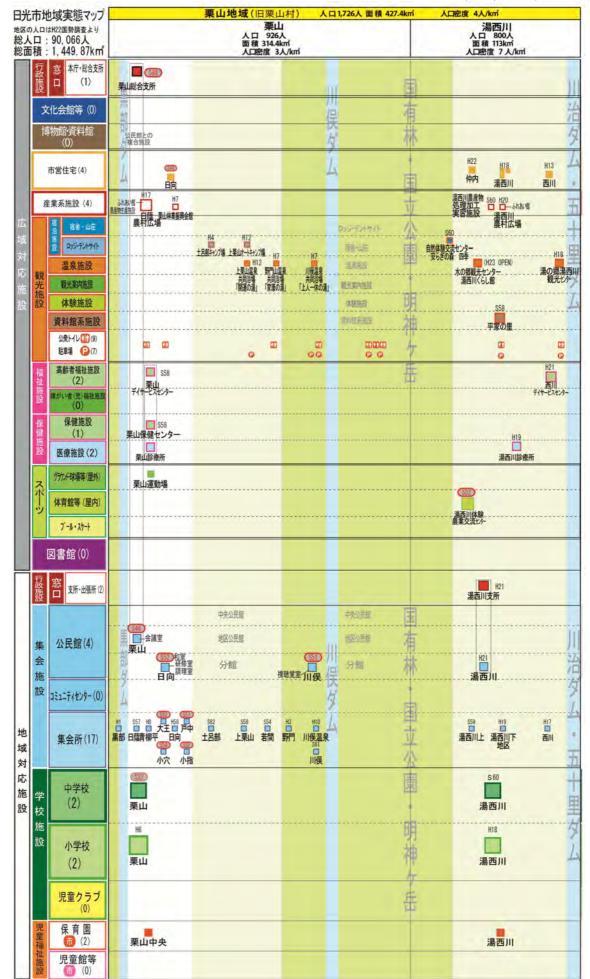
# 〇観光施設

栗山地域の随所に、キャンプ場、温泉施設が整備されています。すべての施設で地元の組合等が 指定管理者となり、管理しています。なお、近年建築された建物が多く、ほとんどで築後 20 年未 満となっています。

#### 〇その他施設

その他、市営住宅は市内44団地が配置されており、うち、湯西川地区の3団地は比較的新しい施設となっています。





# ■公共施設の配置状況

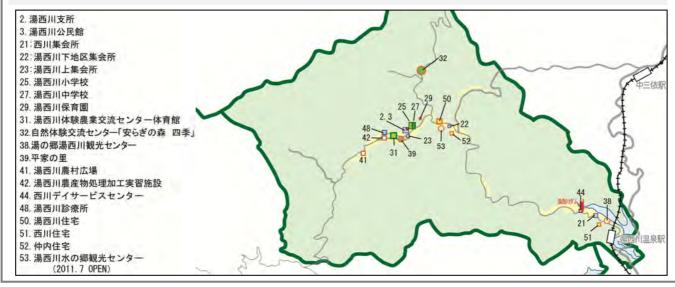
#### 《栗山地域栗山地区》

栗山地区は、人口926人で、人口密度は、3人/k㎡です。過去5年間の人口推移を見ると、20%以上減少し、高齢化率も40%を超えています。この地区は、栗山地域の拠点地域として総合支所が配置されていますが、築後40年以上を経過し、老朽化への対応が必要な状況にあります。この地区は、豊かな自然に囲まれ、多様な温泉が湧出する地域のため、キャンプ場や共同浴場が配置されています。また、地区内に自治会が使用する集会所が14施設あり、場所によっては、利用者が重複し、施設の利用率が低下している所もあります。なお、地区の公共施設面積は3.5万㎡で、人口1人当たりの保有面積は37.72㎡です。



#### 《栗山地域湯西川地区》

湯西川地区は、人口800人、人口密度は、7人/k㎡となっており、過去5年間で、16%減少しています。地区内には、湯西川ダム建設に伴い近年整備された湯西川支所・公民館、湯の郷湯西川観光センターや湯西川小中学校、安らぎの森四季など大きな施設が多いことが特徴です。なお、地区の公共施設面積は2.0万㎡で、人口1人当たりの保有面積は23.92㎡となっています。



## ■今後の課題

# 人口動態の変化からみる課題 地域の年齢階層ごとの人口変化と必要な施設の検討

栗山地域の人口は、平成2年度からの20年間で1,012人(37.0%)減少しました。今後20年間の推計では、さらに52%減少し、地区の人口は820人程度になると予測されています。地域内には、湯西川ダムや川治ダムの建設に伴う集会施設や観光施設が多く整備され、人口が市内で最も小さい地域であるにも関わらず、近年も新しい施設の建設が続いています。今後の人口動態変化を勘案し、機能が重複した施設や老朽化した施設を中心に統合・集約等の検討が必要です。

さらに、20年後には65歳以上の高齢者の割合が、地域内で55.6%となることから、地域 住民の日常生活圏域等の変化や住民ニーズ、さらには住民の移動手段等を詳細に把握した上 で、地域内に必要な機能を抽出し、施設の再整備を図っていく必要があります。

# 施設の保有機能からみる課題 地区単位の施設利用率と現有施設・機能の適合性の検討

地域内には、会議や集会等を行える集会施設が公民館・小規模な集会施設など計20施設整備されていますが、いずれも稼働率は、非常に低い状況にあります。特に45㎡~340㎡程度の小さな規模の集会施設では、主に自治会が利用しており、人口減少や他地域とのバランス、さらには利用者の重複等を考慮すると今後の老朽化への対応にかかるコストを踏まえた上で、保有形態等の見直しや集約化・合同化等による効率化などを検証しながら、施設の再編等の検討を行う必要があります。

また、O~14歳の子どもに着目すると、今後20年間でさらに約79%減少し、24人になると予測されています。これまでに、栗山小学校、湯西川小中学校の整備や遠距離通学児童生徒のためのスクールバスの運行など学校教育環境の改善を行ってきましたが、今後は、若年層の定住促進に向けた学校施設等の有効活用など更なる工夫が必要です。

#### 施設保全の課題

# 災害時の拠点整備・安全性の確保等の検討

栗山総合支所や日向、川俣公民館等地域の行政サービスの中心となる施設は、災害時において、避難所など、特に重要な役割を果たす拠点施設であるにもかかわらず、そのほとんどが耐震安全性の確保及び老朽化対策が必要な状況にあります。また、観光施設の中には休止施設もあることから、厳しい財政状況を踏まえ、施設の一体的な整備による多機能化・複合化等を含め、地域全体で効率的な施設整備手法を検討することが必要です。

#### ■今後の検討の視点<地区の特性に応じた機能見直しや複合化などの検討視点の提起>

- 地域の行政サービスの拠点となる支所や公民館等の建物が耐震安全性の確保がされていないことに加え、老朽化しており、建替えや大規模改修等が必要な状況にあることから、機能の集約化や施設の複合化など、一体的かつ効率的な整備を検討する必要があります。
- また、小規模な集会施設について、人口減少や少子高齢化の進展に伴う住民の日常生活圏域の変化などを踏まえ、今後の施設の改善方針等を検討する必要があります。
- 観光施設や集会施設をはじめダム建設に伴い近年も新しい公共施設の建設が続いていたが、大幅な人口減少予測を踏まえ、地域全体でライフサイクルコストを意識した維持管理に努めるとともに、既存施設の有効活用を行っていく必要があります。

# 第5章 保有資産の有効活用

- 1 課題等のまとめ
- 2 資産の有効活用の必要性
- 3 今後の取組み

# 第5章 保有資産の有効活用

- 1 課題等のまとめ
- (1) 施設から見える課題の整理

第3章では用途ごとの実態と検討の視点から見えてくる課題、第4章では地域ごとの実態と検討の視点から見えてくる課題を把握しました。

# 第3章 用途別実態把握

市民利用の多い15区分の施設について、 公共施設の建物状況、利用・運営状況、コ スト状況を総合的に把握し、検討の視点と して整理した。

- 広域対応施設 庁舎等、文化会館等施設、美術館等施設、 産業系施設、観光施設、福祉施設、 スポーツ施設、図書館、市営住宅
- 地域対応施設 庁舎等、公民館、コミュニティセンター、 集会施設、小学校・中学校、保育園、 放課後児童クラブ

※第3章で整理した用途ごとの検討の視点ついてま とめたものを、358ページに記載してあります。

# 第4章 地域別実態把握

5地域15区域について、公共施設の配置 状況及び保有機能と、将来の人口予測等 を重ね合わせ、検討の視点として整理した。

- 今市地域 (今市地区、落合地区、豊岡地区、 大沢地区、塩野室地区)
- 日光地域 (日光地区、小来川地区、清滝地区、 中宮祠地区)
- 藤原地域 (藤原地区、川治地区、三依地区)
- 足尾地域 (足尾地区)
- 栗山地域 (栗山地区、湯西川地区)

※第4章で整理した地域ごとの検討の視点ついてま とめたものを、358ページに記載してあります。

各地域ごとの人口構成変化、少子高齢化の進行状況、生産年齢人口の減少に伴う税収への影響、さらには地域ごとの施設整備の状況と行政需要や市民ニーズ等のバランスを検証し、社会環境の変化に応じた公共施設の更新に向け、選択と集中に基づく、優先順位付けを行う必要がある。

#### ■ 施設から見える課題の整理(まとめ)

今回の白書では、用途別の実態や地域別の実態を把握するため、例えば、用途別では、施設面で安全性の問題・老朽化問題・維持管理コストがどのくらいかかっているのか、施設の利用状況はどうか、運営面ではどのように運営されているのか、地域別では、将来の人口予測等と公共施設の配置状況と保有機能はどうか、など様々な視点から見えてきた課題や今後の方向性について、整理しました。

ここでは、それぞれ整理した課題や今後の方向性の中から、全体的な共通事項についてまとめてあります。そのため、施設の区分ごとや地域ごとについては、第3章及び第4章に記載してありますので、そちらを参照してください。

なお、今回、第3章の用途別実態把握を実施していない施設については、今後、同様の状況把握をすることになります。

#### ●用途別実態把握の課題

(施設状況)

- ・施設の耐震安全性が確保されていない施設があることから、早急な対応が必要である。
- ・ 耐震安全性は確保されているものの、老朽化が進行している施設があることから、大規模改修 等の検討が必要である。
- ・ 合併により機能が重複していることから、効果的・効率的な施設のあり方について検討が必要である。

(利用状況)

- ・ 施設の利用状況が非常に低い施設があることから、他の施設への機能移管や統合等を含めた検 討が必要である。
- ・ 施設の利用状況が、当初の設置目的とかい離している施設があることから、施設のあり方や施設の有効活用について検討が必要である。

(運営状況)

- ・ 利用者1人(1件)当たりのコストが高い施設があることから、コストの削減につながる利用 率の向上に向けた検討が必要である。
- ・ 施設保有するだけでもコストが発生することから、施設の保有や運営方法について検討が必要である。

# ●地域別実態把握の課題

- ・ 5地域又は 15 区域ごとに大きく異なる地域の特性や今後の人口動態の変化に対応した公共施設サービスのあり方について検討が必要である。
- ・ 地域ごとの保有施設の構成に違いはあるものの、市民1人当たりの床面積に大きな差が生じて おり、公平性に配慮した施設配置の検討が必要である。

# (2) 施設を取り巻く課題の整理

施設から見える直接的な課題に加え、人口減少や高齢化の進行、税収減等に伴う財政への影響といった、当該施設を取り巻く課題があります。

# 人口状況

- 過去20年間では約7,000人程度の緩や かなスピードでの人口減少であったが、 今後20年間では約23,000人を超える急 激なスピードで人口が減少していくこと が予想される。
- 過去20年間が高齢者人口の増加に伴う高齢化率の上昇であったことに対して、 今後20年間は、高齢者人口に大きな変動がないと予想されることから、総人口の減少に伴う相対的な高齢化率の上昇になる。
- 2030年には高齢者人口の割合が38% に上昇する一方で、生産年齢人口が 53%、年少人口が9%と深刻な少子高 齢化の時代を迎える。

# 財政状況

- 合併に伴う財政支援の終了や人口減少 による税収の減が懸念される。
- 一方で、少子高齢化に伴う扶助費が 年々増加傾向にあり、今後も拡大する ことが予想される。
- 投資的経費は、合併特例債やダム事業 (平成23年度終了)の補助金により、近 年、高水準となっているが、合併特例債 終了以降はより一層の経費の圧縮が必 要になる。

- 人口構成の変化や市民ニーズの変化に対応した社会資本整備の必要性
- 社会保障費の増大等
- 財政力に見合った財政運営
- 生産年齢人口の減少等による税収の減少
- 地球環境問題への対応
- 防災機能の向上

# 2 資産の有効活用の必要性

現在、市の一部の公共施設は、老朽化が顕著で建替えや大規模改修が急務となっています。しかし、現下の厳しい財政状況の中では、計画的に財源を確保し、他の施策への影響を考慮しながら進める必要があります。つまり、今後の行政サービスの在り方や公共施設についての全体方針を策定することで、限られた予算を適正に配分し、優先度に応じて計画的・効果的に施策を進めていかなければなりません。

そこで、公共施設の効果的・効率的な運営と有効活用の具体策としては、次に示す(1)から(4)を基軸にした、8つの項目に基づき総合的に検証していく必要があります。

# 公共施設の効果的・効率的な運営と有効活用(公共施設マネジメント)

- (1) 個々の施設の老朽化が顕著であるため、建替えや大規模改修さらには施設の長寿命化等を含め、早急に公共施設及び行政サービスのあり方についての全体方針を立てる必要がある。
- (2) 目的別の整備には限界があるため、横断的、総合的な公共施設の機能の見直しや複合化など施設配置のあり方を検討する必要がある。
- (3) 公設・公営の発想をかえていく必要がある。
- (4) 地域の特性・ニーズに応じた公共施設の配置・運営等に配慮しつつ、効率化を進める必要がある。



100		
200		
	財産の	
	有効は	
	活用に	
	5001 6 500 5000 5	
	項	
-		

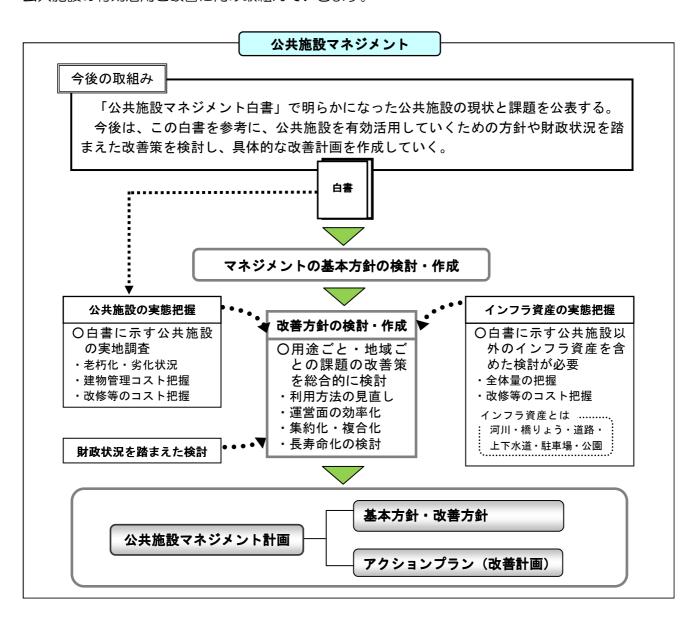
① 使用形態・利用形態 の見直し等による効 率的利用	・各部門横断的利用 ・利用機能の見直し ・他用途への転用 ・遊休施設の外部利用	⑤ 建物のライフサイクル を通じた効率化等	<ul> <li>・整備方針の見直し</li> <li>・優先度判定         (建管・改修・事業方針の判断)</li> <li>・維持管理コスト削減</li> <li>・施設の長寿命化</li> </ul>
② 保有形態の見直し等 による効率化	(新規整備時・継続整備時) ・自ら所有 ・賃借	⑥ 集約化・合同化等による 効率化	・施設の集約化・合同化 ・統廃合 ・総量の圧縮
③ 運営面の効率化 (業務改善)	<ul><li>・自ら運営</li><li>・一部アウトソーシング</li><li>・運営の外部化 (指定管理者制度等)</li></ul>	⑦ 情報化等による 効率化	・IT化による業務の変化 ・IT化による施設変化
④ スペースの 効率的利活用	・スペースの有効活用・共用化・集約化	<ul><li>⑧</li><li>予算面</li></ul>	・重点投入すべき分野 の明確化 ・評価結果の予算への反映

#### 3 今後の取組み

公共施設マネジメント白書の作成後には、公共施設マネジメント実現に向けた具体的な計画(改善策)づくりにつなげていく必要があります。つまり、公共施設の実態(現状や課題)とそれに基づくマネジメントの方向性等をまとめた公共施設マネジメント白書の内容を踏まえ、具体的な施設の整備・管理・運営にかかる改善策を多面的な視点から検討する必要があります。

また、改善策の検討とともに、施設の老朽化等の状況の詳細な把握や、建物情報の一元化を図るためのデータベースを構築し、今後発生することが予測される建物の詳細なコストを把握しなければなりません。

そのため、市では、公共施設だけでなく、インフラ資産も含めた市の保有する資産全体について 状況を把握し、「公共施設改善計画((仮称)日光市公共施設マネジメント計画)」としてまとめ、 公共施設の有効活用と改善に向け取組んでいきます。



# ■ 用語集

ア行	依存財源	国や県から交付される財源。 具体的には、地方交付税・地方譲与税・国庫支出金・都支出金・地方債など。
力行	小規模修繕費	窓ガラスの破損等軽微な修繕にかかるコスト。
	稼働率	施設の利用度合いを示す指標。
	<b>修</b> 图 <del>华</del>	保有部屋数と時間区分から各施設の年間利用可能コマ数を算出し、年間利用可能
		コマ数と1年間の利用件数より求める。
	行政財産	市が行政サービスを行うことを目的として保有している財産(土地・建物)。
	门场对注	A TO 15 JOHN CONTRACTOR AND A TOTAL AND A
	減価償却相当額	企業会計で用いられ、使用や時の経過による建物等の価値減少分を「コスト」と
	火山河山	して計上する手法で、一般的な公会計(現金主義会計)では用いない手法。
		本白書では、価値減少分をコストとしてみなすことにより、計画的な施設整備に
		つながるため、トータルコストとして仮定している。
サ行	事業運営にかかるコ	人件費や、そこで行われている事業費、事業にかかる消耗品等のコスト。
913	スト	八川 文 「
		地方公共団体が自主的に収入することができる財源。
	自主財源	現力公共団体が自主的に収入することができる財源。 具体的には、市税・使用料・手数料・財産収入など。
	施設にかかるコスト	行政サービスが行われている施設を維持管理していくために必要なコスト。
		光熱水費や各所修繕費、清掃・警備等の委託費、賃料等。
	自主財源	地方公共団体が自主的に収入することができる財源。
		具体的には、市税・使用料・手数料・財産収入など。
	施設にかかるコスト	行政サービスが行われている施設を維持管理していくために必要なコスト。
		光熱水費や各所修繕費、清掃・警備等の委託費、賃料等。
	指定管理者制度	従来、自治体や外郭団体に制限されていた一部の公共施設の管理運営に、株式会
		社やNPOといった民間事業者も参入できる制度。
		市では、観光施設やスポーツ施設等に導入している。
	事務事業	市が施策目的を実現するための日々の業務。
	3 0,00 3 214	
	消費的経費	支出の効果が単年度の短期間で終わる性質の経費。
	/13 <b>X</b> 03/1 <b>X</b>	
夕行	大規模改修	経年劣化に伴う修繕と建築当初の機能・性能を上回る機能向上を伴う改修工事。
) IJ	ハがは大いと	
	耐震基準	建物等の構造物が最低限度の耐震能力を示す基準。
	心辰卒年	現行の耐震基準(新耐震基準)は 1981 年に改正された基準。
	7キルﺳイシン◇ミ亚/エ	建物の物理的状況(建物の安全性、維持管理にかかる費用の効率)を容易に判断
	建物総合評価	達物の物理的状況 (建物の女主性、維持管理にかかる責用の効率) を各場に刊断し、施設整備の優先度を把握するための手法。
		建物の老朽化状況、法改正や時代のニーズの変化に対応するための改善状況、維
		持管理に必要な経常的経費(光熱水費等)の状況を把握する。
	投資的経費	その支出の効果が資本の形成のためのものであり、将来に残る施設等を整備する
	1メ貝リルは貝	ための経費。普通建設事業費など。
	トーカルつフト	人件費や事業費等の事業運営にかかるコストや光熱水費、各所修繕費等の施設に
	トータルコスト	かかるコスト、減価償却相当額等、行政サービスにかかる全ての費用。
	団塊世代	第二次大戦後、1947年~1951年に生まれた世代(ベビーブーム) のこと
	団塊 Jr 世代	団塊の世代の子ども世代を指す。広義では、1971 年から 1974 年までに生ま
		れた世代(第二次ベビーブーム)のこと

八行	バリアフリー	高齢者や障がい者、さらには、小さな子どもを含め、誰でも不自由なく移動できるように建物の障害を除く施策。 建物のバリアフリー対応として、多目的トイレの設置や車椅子エレベータの設置、道路から入口までのスロープの設置等がある。
	ファシリティマネジ メント	企業・団体などの全施設及び環境を経営的視点から総合的に企画・管理・活用する経営管理活動で、組織体が保有し、あるいは使用するすべての業務用施設設備を対象として、その有り方を最適に保つことを目的として、総合的、長期的視野に立ち、多面的な知識・技術を活用して行う計画、管理活動。
***************************************	扶助費	社会保障制度の一環として、現金や物品などで支給される費用。 生活保護法・児童福祉法・老人福祉法などの法令に基づくもののほか、乳幼児医療の公費負担など市の施策として行うものも含まれる。
	普通会計	予算・決算書数値とは若干異なり、自治体間の財政状況を比較・分析できるよう にするために総務省が定める基準を用いて作成される会計。
	普通財産	行政財産以外の財産。 特定の行政サービスを行っていない土地・建物。
	ポスト団塊世代	団塊ジュニアの後に生まれた世代の事を指す。広義では、1975 年(昭和 50 年度)から 1982 年(昭和 57 年度) までに生まれた世代に相当する
ラ行	老朽箇所修繕	経年劣化に伴う修繕。 劣化した部分を建築当初の機能・性能に回復する工事。

# 日光市公共施設マネジメント白書

平成 24年6月発行

編集·発行:日光市総務部行政改革課

〒321-1292 日光市今市本町 1 番地 電 話 0288-25-7722(直通)

㈱ファインコラボレート研究所